

所沢市  
子ども・子育て支援に関する  
アンケート調査  
報告書

令和6年3月

所沢市



# 目 次

## 第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査の実施	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査設計	3
(3) 調査項目	4
3. 調査票の配布・回収状況	4
4. 調査結果を見る上での注意事項	5
(1) 図表の見方	5
(2) 年齢・学年の定義	5

## 第2章 調査結果

### I. 就学前児童保護者調査結果

1. 子どもと家族の状況	11
(1) 居住地区	11
(2) 子どもの年齢・性別	12
(3) きょうだいの状況	13
(4) 世帯の人数	15
(5) 父母の同居の状況	16
(6) 子育てを主に行っている人	17
(7) 子どもをみてもらえる親族・知人	18
(8) 子育ての相談ができる人・場所	20
2. 保護者の就労状況	22
(1) 保護者の就労状況	22
(2) 就労日数・就労時間	23
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	25
(4) フルタイム等への転換希望	27
(5) 就労希望	28
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	32
(1) 定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無	32
(2) 利用している教育・保育事業	33
(3) 利用している教育・保育事業の実施場所	36
(4) 現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由	37
(5) 定期的に利用したい教育・保育事業	38
(6) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所	39
(7) 幼稚園の利用の強い希望の有無	40
(8) 幼稚園の利用希望	40

(9) 幼稚園を利用するために必要な環境	41
4. 地域の子育て支援事業の利用状況	42
(1) 地域の子育て支援事業の利用状況	42
(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用希望	45
(3) 各種支援事業の認知度、利用状況、利用希望	48
5. 土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	51
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	51
(2) 土曜日または日曜日・祝日で、たまに利用したい理由	53
(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	53
(4) 幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を週に数日利用したい理由	54
6. 子どもの病気の際の対応	55
(1) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかったことの有無	55
(2) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法	56
(3) 病児・病後児保育の利用希望	57
(4) 病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由	58
(5) 母親・父親以外が対処した理由	58
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況	59
(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況	59
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	60
(3) 不定期の教育・保育事業の利用希望	61
(4) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態	62
(5) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望	63
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方	64
(1) 放課後過ごさせたい場所	64
(2) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望	66
(3) 子どもが通う予定の小学校の「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況	67
(4) 「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用希望	67
(5) 「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望の有無	69
9. 子育てと職場の両立支援制度	70
(1) 育児休業の取得状況	70
(2) 育児休業給付、保険料免除の認知度	73
(3) 育児休業取得後の職場復帰	74
(4) 職場復帰と保育所入所のタイミング	75
(5) 育児休業からの復帰時期	76
(6) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の希望	78
(7) 希望時期に職場復帰しなかった理由	79
(8) 短時間勤務制度の利用状況	81
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	82
(10) 現在、育児休業中の場合の1歳までの職場復帰意向	84
10. 生活や家庭のことについて	85

(1) 朝食の摂取状況	85
(2) 子どもとのかかわりの状況	85
(3) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無	86
(4) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無	86
(5) 令和4(2022)年の可処分所得金額	87
(6) 公的年金、社会保障給付金の受給状況	88
(7) 現在の暮らしの状況	88
11. 子ども・子育て全般について	89
(1) 「ヤングケアラー」の認知状況	89
(2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組	89
(3) 子育てに関しての孤立感	90
(4) 地域の子育て環境や支援への満足度	90
(5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先	91
(6) 子育て支援で充実を希望すること	92
(7) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について	93

## II. 小学生児童保護者調査結果

1. 子どもと家族の状況	99
(1) 居住地区	99
(2) 子どもの学年・性別	100
(3) きょうだいの状況	101
(4) 世帯の人数	103
(5) 父母の同居の状況	104
(6) 子どもをみてもらえる親族・知人	105
(7) 子育ての相談ができる人・場所	107
2. 保護者の就労状況	109
(1) 保護者の就労状況	109
(2) 就労日数・就労時間	110
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	112
(4) フルタイム等への転換希望	114
(5) 就労希望	115
3. 放課後の過ごし方	118
(1) 現在の放課後の過ごし方	118
(2) 希望する放課後の過ごし方	120
(3) 「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していない(希望しない)理由	122
(4) 低学年の子どもが高学年になったときに希望する放課後の過ごし方	123
(5) 長期休暇中の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望	125
(6) 子どもが通っている小学校の「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況	127
(7) 「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用状況	127
(8) 「ほうかごところ・ほうかご広場」の感想・評価	129

(9) 「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望の有無	130
(10) 「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用していない・利用を希望しない理由	131
4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	132
(1) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望	132
5. 生活や家庭のことについて	133
(1) 朝食の摂取状況	133
(2) 子どもとのかかわりの状況	133
(3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無	134
(4) 今後の子どもの教育の段階	134
(5) 今後の子どもの教育の段階を希望する理由	135
(6) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無	136
(7) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無	136
(8) 令和4（2022）年の可処分所得金額	137
(9) 公的年金、社会保障給付金の受給状況	138
(10) 現在の暮らしの状況	138
6. 子ども・子育て全般について	139
(1) 「ヤングケアラー」の認知状況	139
(2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組	139
(3) 子育てに関しての孤立感	140
(4) 地域の子育ての環境や支援への満足度	140
(5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先	141
(6) 子育て支援で充実を希望すること	142
(7) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見	143

### Ⅲ. 中高生生徒保護者調査結果

1. 子どもと家族の状況	147
(1) 居住地区	147
(2) 子どもの状況	148
(3) 続柄	148
(4) 世帯の人数	149
(5) 一緒に住んでいる人	150
(6) 両親の年齢	151
(7) 婚姻状況	152
(8) 保護者の就労状況	153
(9) 働いていない理由	154
(10) 子育ての相談ができる人・場所	155
(11) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無	156
2. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について	157
(1) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望	157
3. 生活や家庭のことについて	158

(1) 朝食の摂取状況	158
(2) 子どもとのかかわりの状況	158
(3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無	160
(4) 今後の子どもの教育の段階	160
(5) 今後の子どもの教育の段階を希望する理由	161
(6) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無	162
(7) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無	162
(8) 令和4（2022）年の可処分所得金額	163
(9) 公的年金、社会保障給付金の受給状況	164
(10) 現在の暮らしの状況	164
4. 子ども・子育て全般について	165
(1) 「ヤングケアラー」の認知状況	165
(2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組	166
(3) 子育てに関しての孤立感	167
(4) 地域の子育ての環境や支援への満足度	167
(5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先	168
(6) 子育て支援で充実を希望すること	169
(7) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について	170

#### IV. 児童・生徒本人調査結果

1. 自分自身と家族の状況について	175
(1) 居住地区	175
(2) 現在の状況	176
(3) 性別	176
(4) 世帯の人数	177
(5) 一緒に住んでいる人	177
2. 日常生活について	178
(1) 普段の生活の中で一番楽しさを感じる時	178
(2) 放課後、休日午後の過ごし方	179
(3) クラブや部活動等への参加状況	180
(4) クラブや部活動等へ参加していない理由	180
(5) 今の自分にとっての居場所	181
(6) 就労経験の有無	182
(7) 給料の使用用途	182
3. インターネットの利用状況について	183
(1) デジタル機器の所有状況	183
(2) インターネットの利用頻度	184
(3) インターネットを利用する目的	185
(4) インターネット利用上の家庭でのルール	186
4. 家族とのかかわりについて	187

(1) 家族の世話の状況	187
(2) 世話が必要な家族の状況	188
(3) お世話をしていることで困ったこと	189
(4) 「ヤングケアラー」の認知状況	190
5. 自分自身、悩みなどについて	191
(1) 毎日の充実感	191
(2) 自分自身に対して思うこと	192
(3) 興味・関心があること	195
(4) 考え方に影響を受けている大人	196
(5) 孤立感を感じるものの有無	197
(6) 現在困っていることや悩んでいること	198
(7) 相談相手	199
(8) 相談しない・できない理由	200
6. 社会参加について	201
(1) 希望するボランティア活動	201
(2) ボランティア活動に興味がある理由	202
(3) 近所の大人にしてほしいこと	203
7. 将来について	204
(1) 自分の将来についての考え	204
(2) 子どもが健やかに成長するために大切なことや市への要望	205



# 第 1 章 調査の概要



## 1. 調査実施の目的

所沢市では、子育て支援の充実を図るため「所沢市子ども・子育て支援事業計画（令和2～6年度）」に基づき、計画的に各種事業に取り組んでいます。この度、次期計画を策定するにあたり、子育て支援に関するご意見を伺うため、本調査を実施いたしました。

## 2. 調査の実施

### (1) 調査地域

所沢市内全域

### (2) 調査設計

調査の区分	調査方法	調査期間
就学前児童保護者	郵送配布—郵送・WEB併用回収	令和5年11月7日～12月20日
小学生児童保護者	郵送配布—郵送回収	令和5年11月7日～12月20日
中学生生徒保護者	郵送配布—郵送回収	令和5年11月7日～12月20日
高校生世代保護者	郵送配布—郵送回収	令和5年11月7日～12月20日
小学生児童本人 (小学5年生)	学校配布—学校回収	令和5年11月30日～令和6年1月9日
中学生生徒本人 (中学2年生)	学校配布—学校回収	令和5年11月30日～令和6年1月9日
高校生世代本人 (16、17歳)	郵送配布—郵送・WEB併用回収	令和5年12月13日～令和6年1月15日

## 第1章 調査の概要

### (3) 調査項目

調査の区分	調査項目
就学前児童保護者	1. 子どもと家族の状況 2. 保護者の就労状況 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況 4. 地域の子育て支援事業の利用状況 5. 土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望 6. 子どもの病気の際の対応 7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方 9. 子育てと職場の両立支援制度 10. 生活や家庭のことについて 11. 子ども・子育て全般について
小学生児童保護者	1. 子どもと家族の状況 2. 保護者の就労状況 3. 放課後の過ごし方 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について 5. 生活や家庭のことについて 6. 子ども・子育て全般について
中学生生徒保護者	1. 子どもと家族の状況 2. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について
高校生世代保護者	3. 生活や家庭のことについて 4. 子ども・子育て全般について
小学生児童本人（小学5年生）	1. 自分自身と家族の状況について 2. 日常生活について
中学生生徒本人（中学2年生）	3. インターネットの利用状況について 4. 家族とのかかわりについて
高校生世代本人（16、17歳）	5. あなた自身、悩みなどについて 6. 社会参加について 7. 将来について

### 3. 調査票の配布・回収状況

調査の区分	配布数	回収数	回収率
就学前児童保護者	1,500	798	53.2%
小学生児童保護者	500	288	57.6%
中学生生徒保護者	500	284	56.8%
高校生世代保護者	500	245	49.0%
小学生児童本人（小学5年生）	541	507	93.7%
中学生生徒本人（中学2年生）	532	469	88.2%
高校生世代本人（16、17歳）	500	165	33.0%
全体	4,573	2,756	60.3%

## 4. 調査結果を見る上での注意事項

### (1) 図表の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・グラフの中で回答者が0人であった選択肢の割合は、「-」と表しています。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、またクロス集計の結果を出していない場合があります。

### (2) 年齢・学年の定義

- ・調査結果における子どもの年齢は「学齢」で換算し、対象の子どもの生年月から以下のように区分しています。

#### 【学齢区分】

年齢（学齢） 表記	調査時 実年齢	生年月
0歳	0歳	令和5年（2023年）4月以降生まれ
1歳	0～1歳	令和4年（2022年）4月～令和5年（2023年）3月
2歳	1～2歳	令和3年（2021年）4月～令和4年（2022年）3月
3歳	2～3歳	令和2年（2020年）4月～令和3年（2021年）3月
4歳	3～4歳	平成31年（2019年）4月～令和2年（2020年）3月
5歳	4～5歳	平成30年（2018年）4月～平成31年（2019年）3月
6歳	5～6歳	平成29年（2017年）4月～平成30年（2018年）3月

学年表記	調査時 実年齢	生年月
小学1年生	6～7歳	平成28年（2016年）4月～平成29（2017年）3月
小学2年生	7～8歳	平成27年（2015年）4月～平成28（2016年）3月
小学3年生	8～9歳	平成26年（2014年）4月～平成27（2015年）3月
小学4年生	9～10歳	平成25年（2013年）4月～平成26（2014年）3月
小学5年生	10～11歳	平成24年（2012年）4月～平成25（2013年）3月
小学6年生	11～12歳	平成23年（2011年）4月～平成24（2012年）3月

## 第1章 調査の概要

学年表記	調査時 実年齢	生年月
中学生	12～13歳	平成22年（2010年）4月～平成23年（2011年）3月
	13～14歳	平成21年（2009年）4月～平成22年（2010年）3月
	14～15歳	平成20年（2008年）4月～平成21年（2009年）3月
高校生世代	15～16歳	平成19年（2007年）4月～平成20年（2008年）3月
	16～17歳	平成18年（2006年）4月～平成19年（2007年）3月

## 第 2 章 調査結果





# I . 就学前兒童保護者調查結果



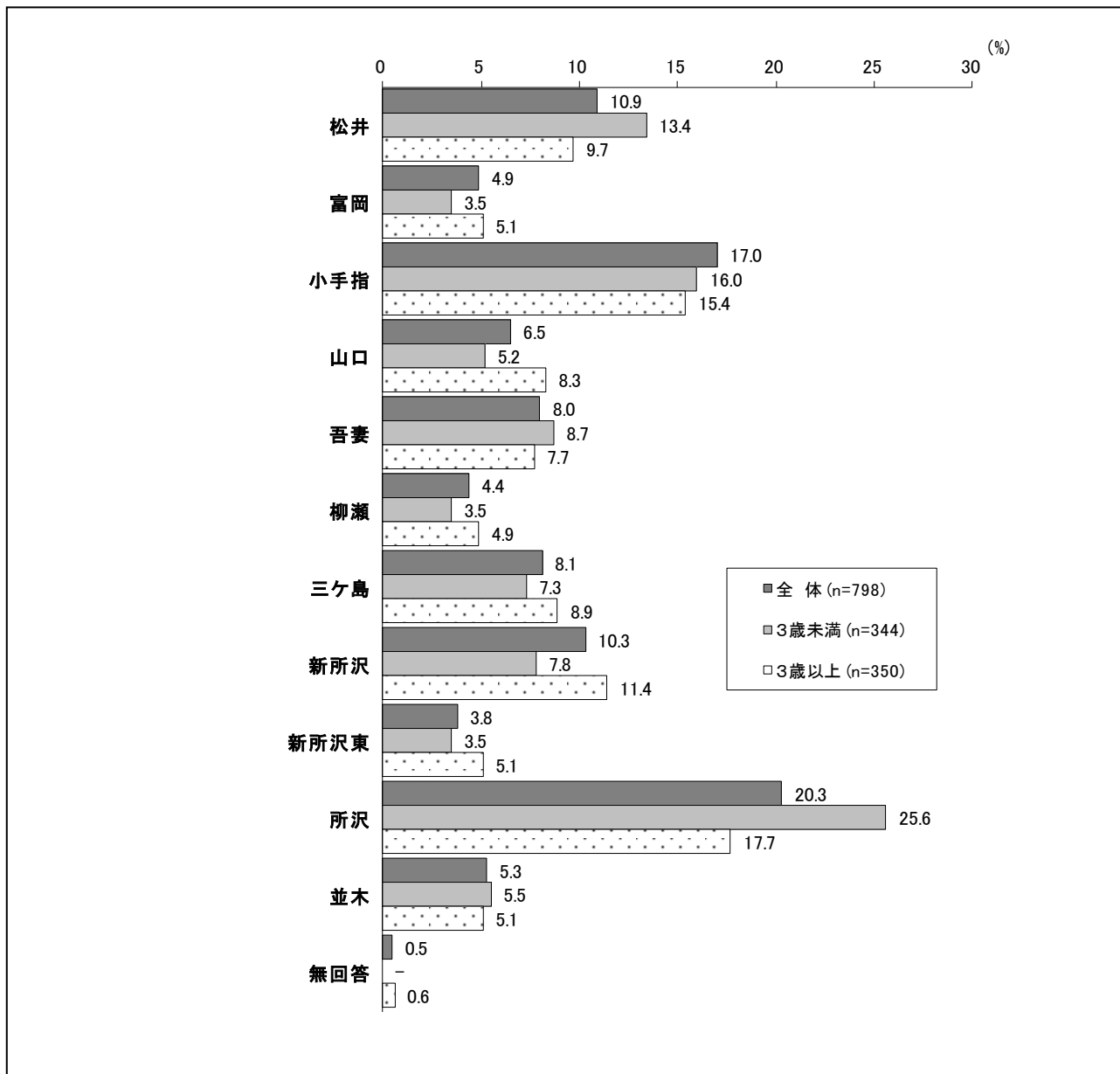
## 1. 子どもと家族の状況

### (1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

※どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

居住地区は、「所沢」が20.3%と最も高く、次いで「小手指」が17.0%となっている。



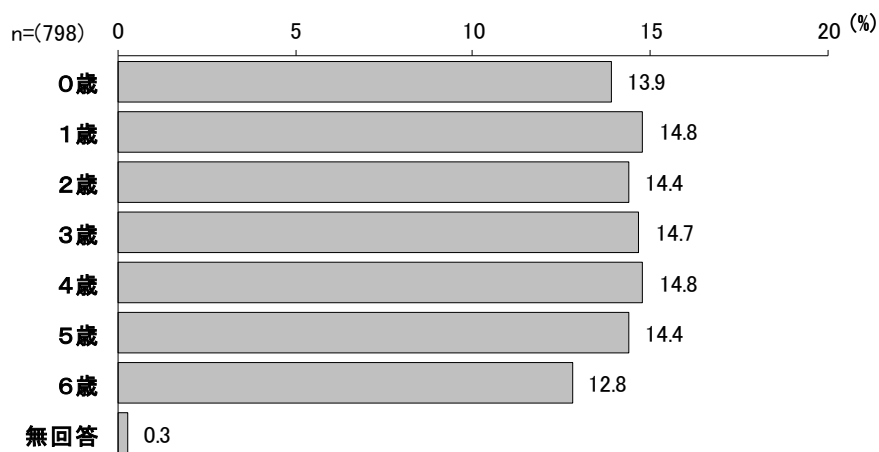
## 第2章 調査結果

### (2) 子どもの年齢・性別

問2 宛名のお子さんの生年月を口枠内に数字でご記入いただき、性別について○をつけてください。

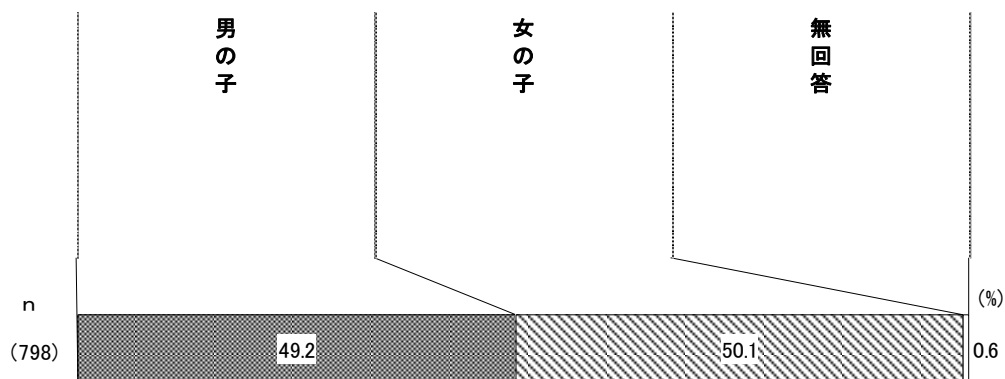
#### ①年齢

子どもの年齢は、「1歳」と「4歳」が14.8%と最も高く、次いで「3歳」が14.7%、「2歳」と「5歳」が14.4%、「0歳」が13.9%、「6歳」が12.8%となっている。



#### ②性別

子どもの性別は、「男の子」が49.2%、「女の子」が50.1%となっている。



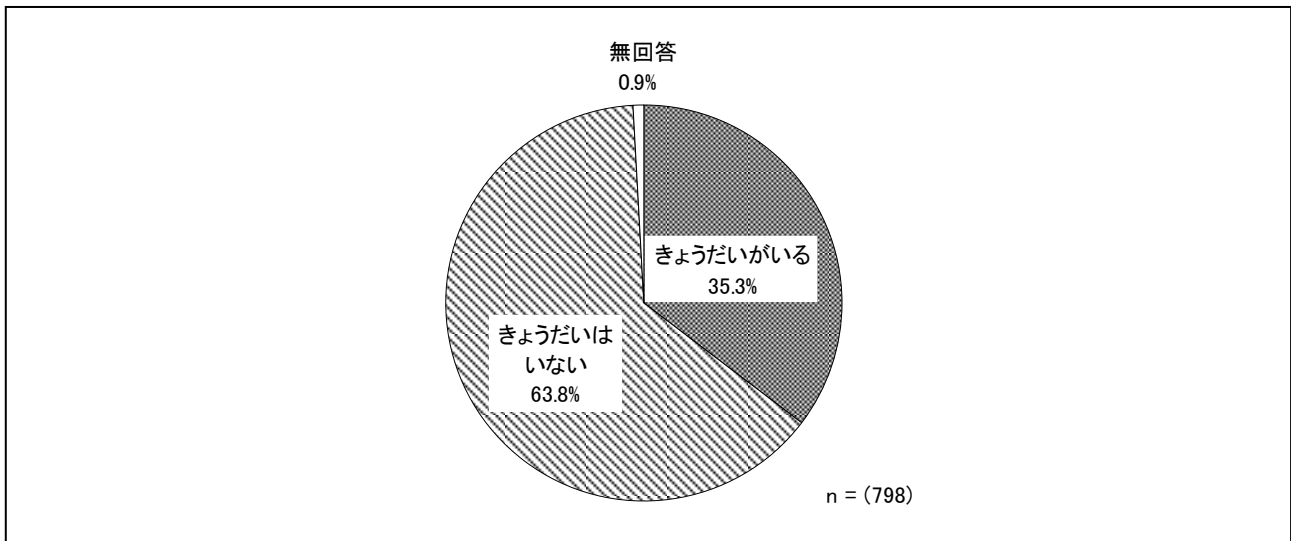
(3) きょうだいの状況

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

きょうだいがいらっしゃる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目か口枠内に数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を口枠内に数字でご記入ください。

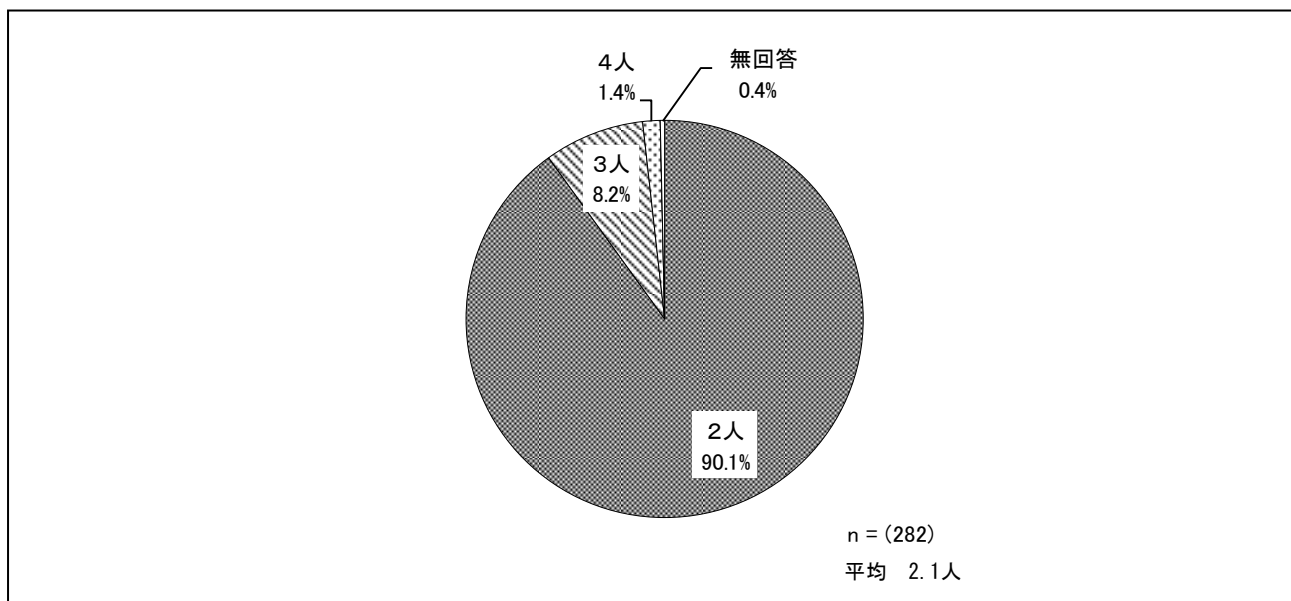
①きょうだいの有無

きょうだいについては、「いる」が35.3%、「いない」が63.8%となっている。



②きょうだいの人数

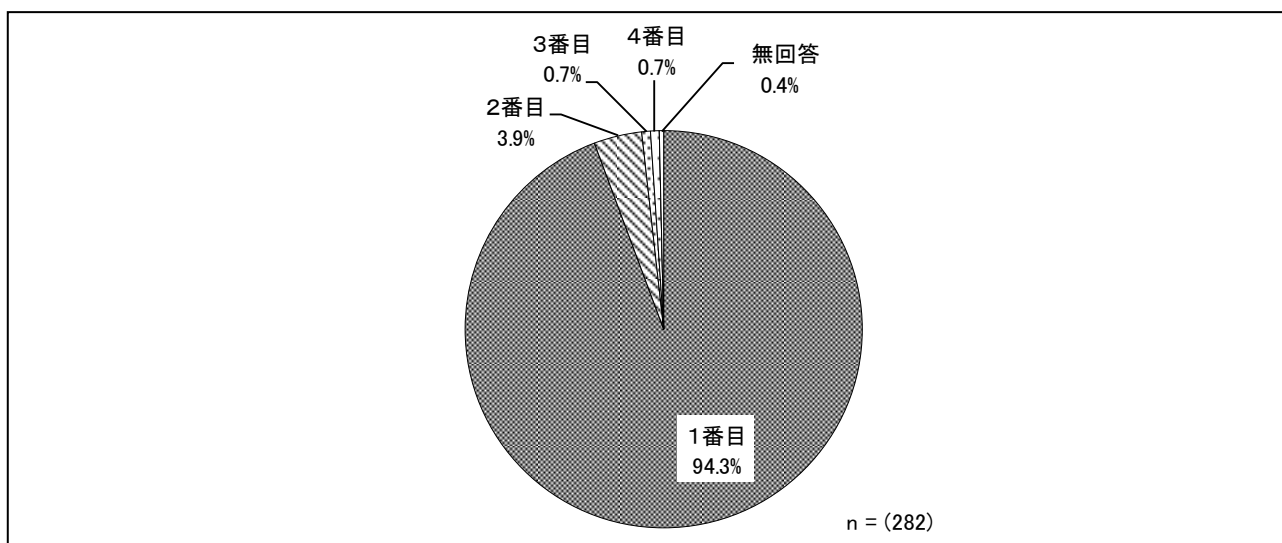
「きょうだいがいる」場合のきょうだいの人数は、「2人」が90.1%、「3人」が8.2%を占め、平均2.1人となっている。



## 第2章 調査結果

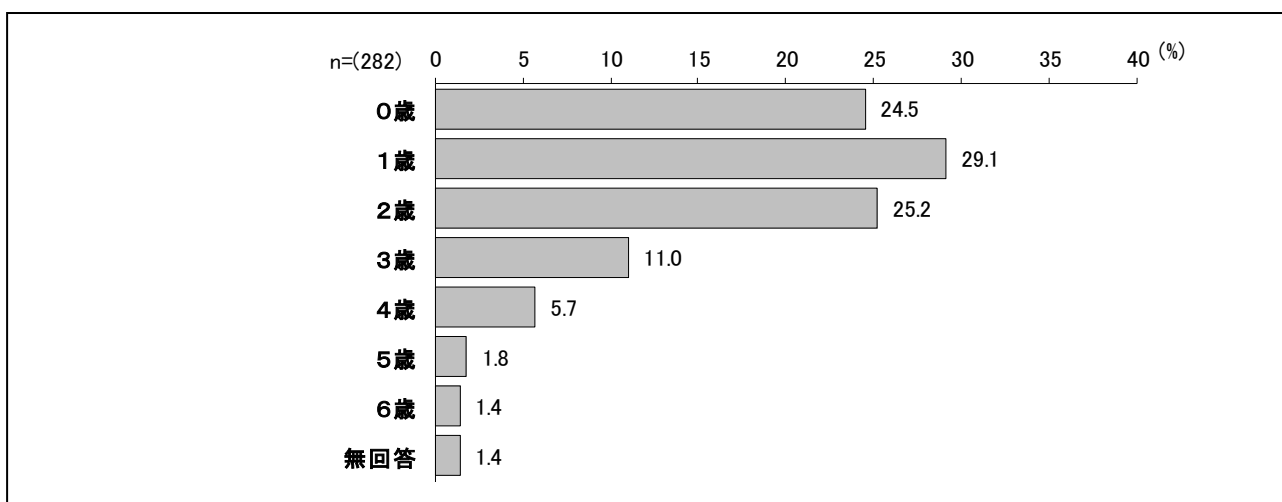
### ③きょうだいの中での出生順位

宛名の子どものきょうだいの中での出生順位は、「1番目」が94.3%と最も高く、次いで「2番目」が3.9%となっている。



### ④末子の年齢

末子の年齢は、「1歳」が29.1%と最も高くなっている。

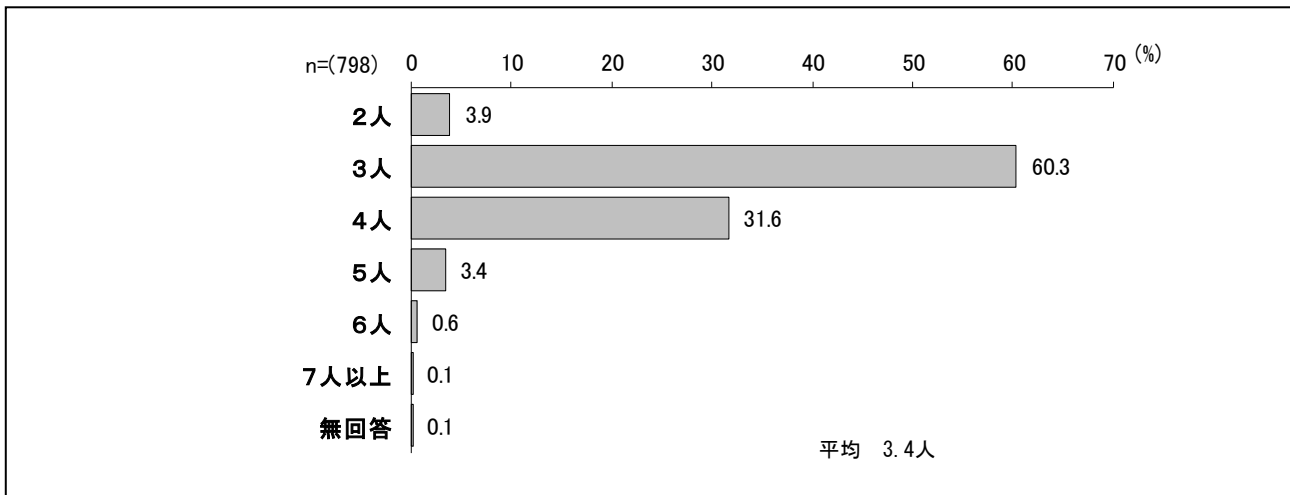


(4) 世帯の人数

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満のお子さんの人数は何人ですか。□枠内に数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

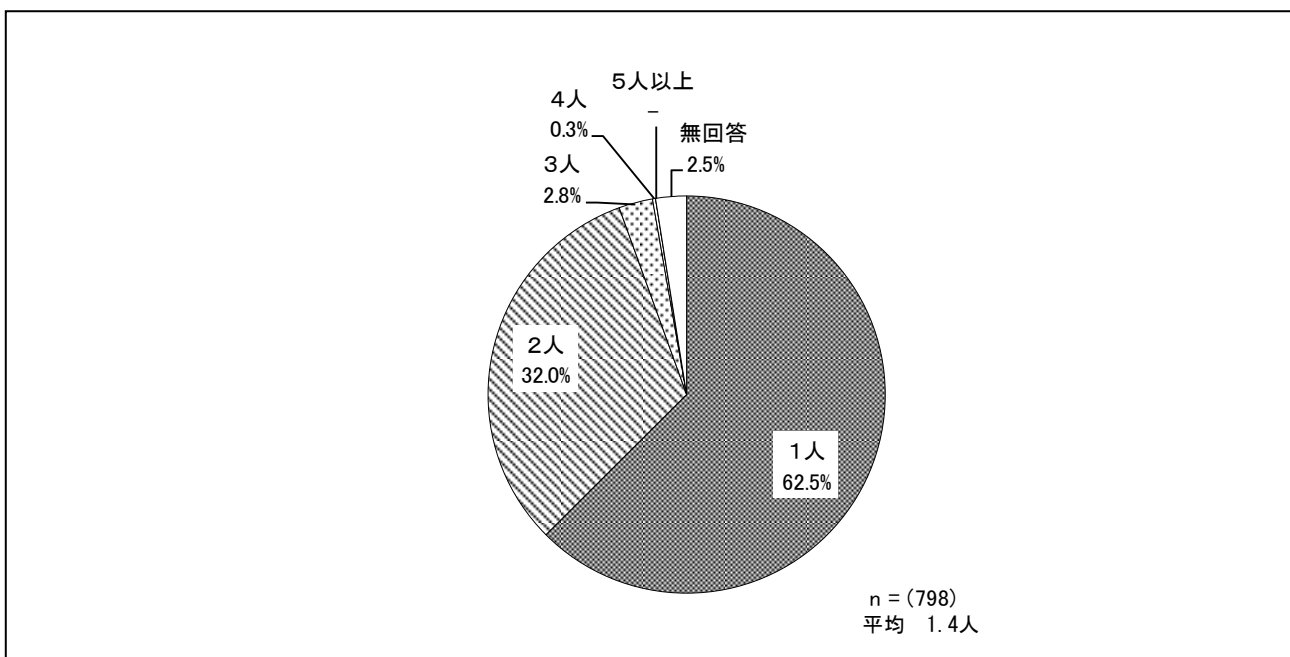
①世帯の人数

世帯の人数は、「3人」が60.3%と最も高く、次いで「4人」が31.6%となっており、平均3.4人となっている。



②子どもの人数

子どもの人数は、「1人」が62.5%と最も高く、次いで「2人」が32.0%となっており、平均1.4人となっている。



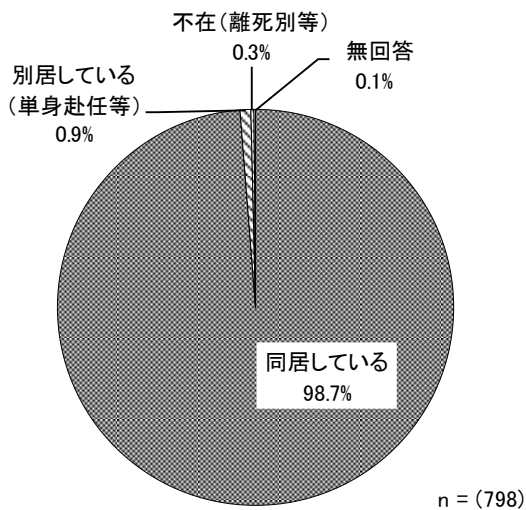
## 第2章 調査結果

### (5) 父母の同居の状況

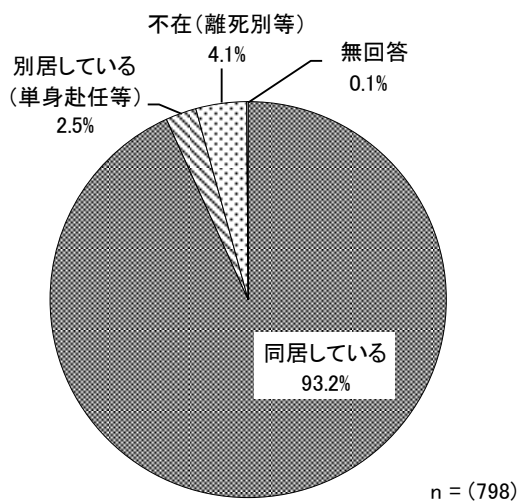
問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

父母の同居の状況を見ると、「同居している」は母親98.7%、父親93.2%、「別居している(単身赴任等)」は母親0.9%、父親2.5%、「不在(離死別等)」は母親0.3%、父親4.1%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】

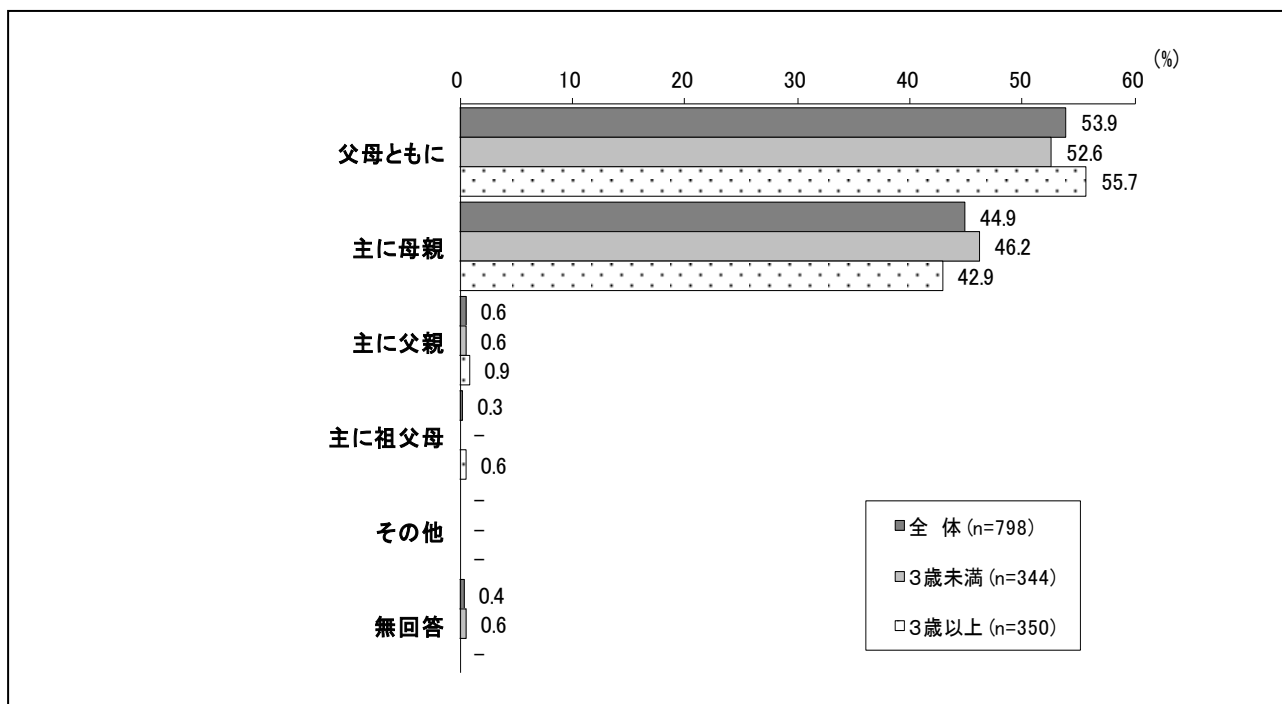




(6) 子育てを主に行っている人

問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が53.9%と最も高く、次いで「主に母親」が44.9%となっている。



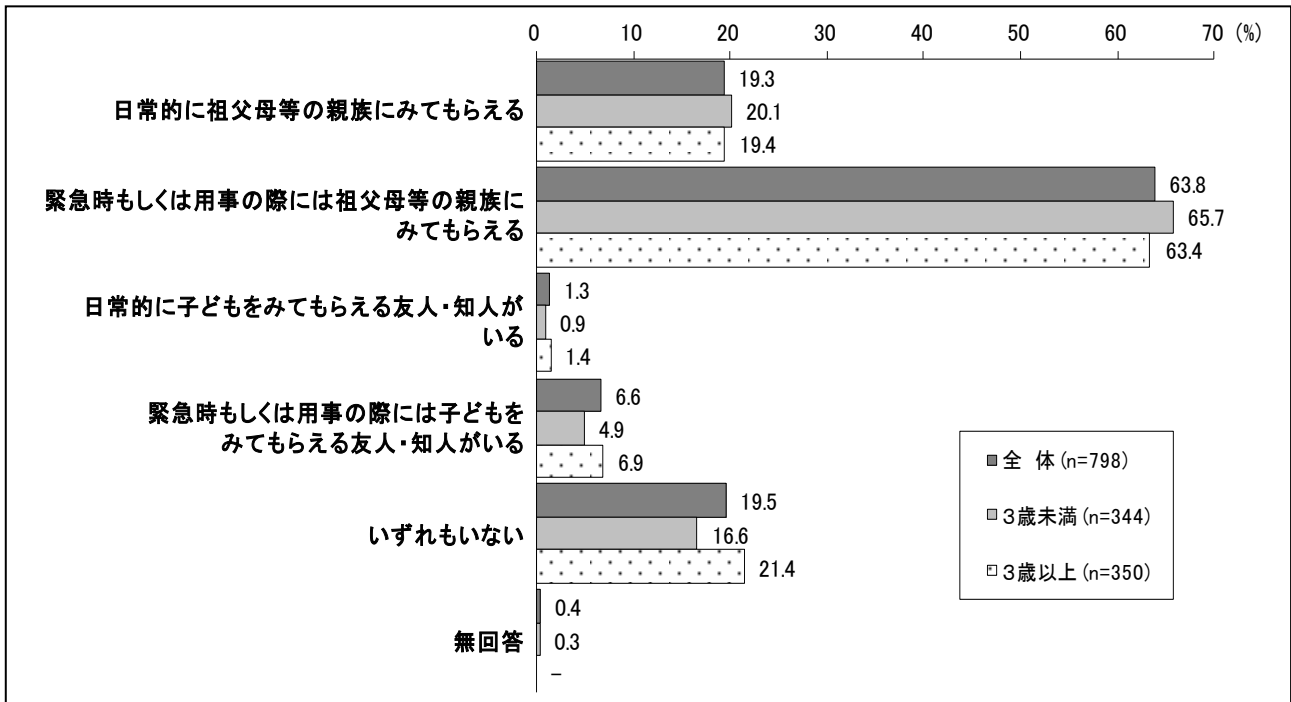
## 第2章 調査結果

### (7) 子どもをみてもらえる親族・知人

#### ①子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が63.8%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が19.3%となっている。一方、「いずれもない」は19.5%となっている。

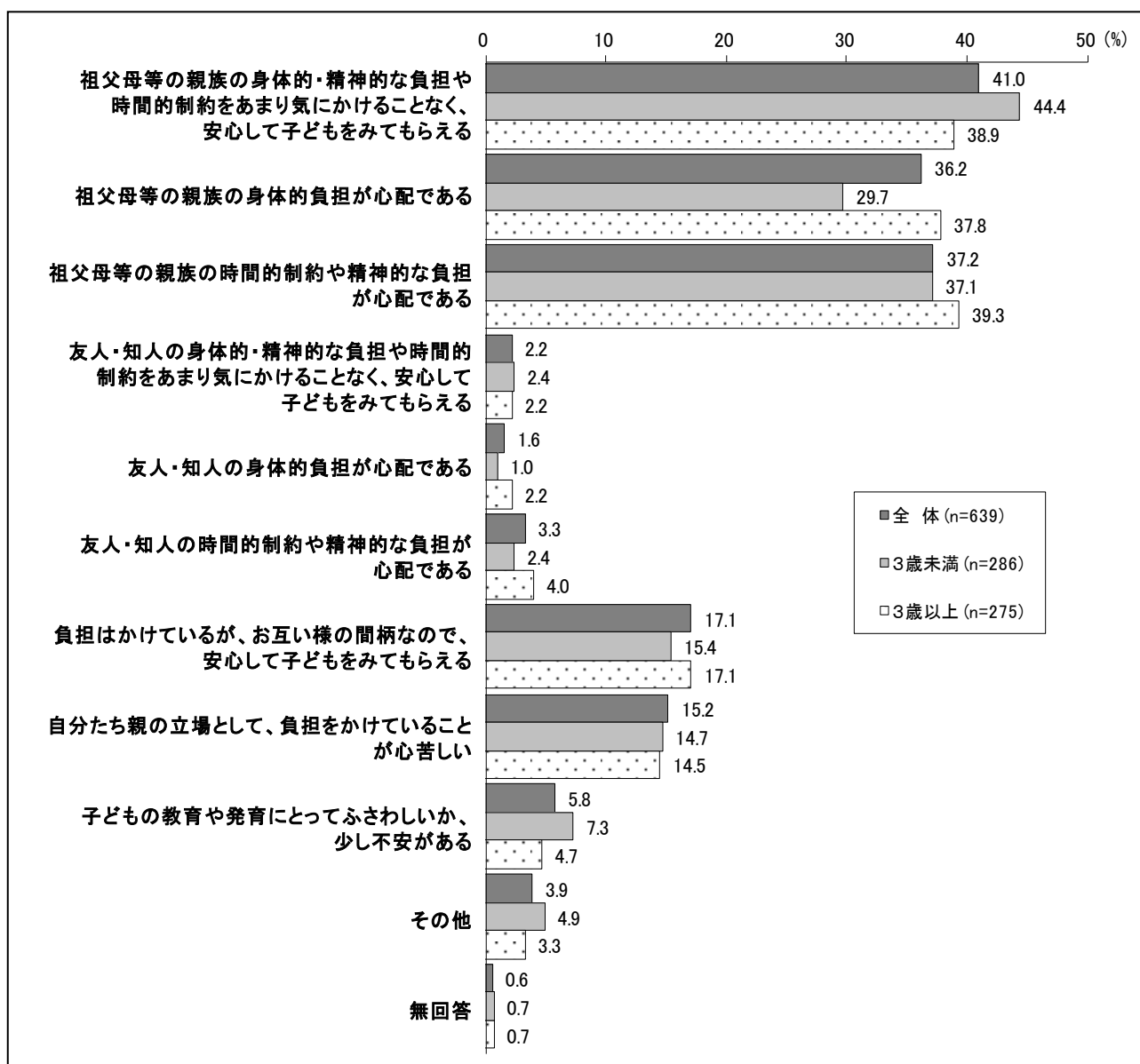


②親族・知人にみてもらっている状況

問6で、「1」～「4」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問6-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

親族・知人にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる」が41.0%と高くなっている一方で、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」が37.2%、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が36.2%と祖父母等の負担を心配する意識も3割以上と高くなっている。



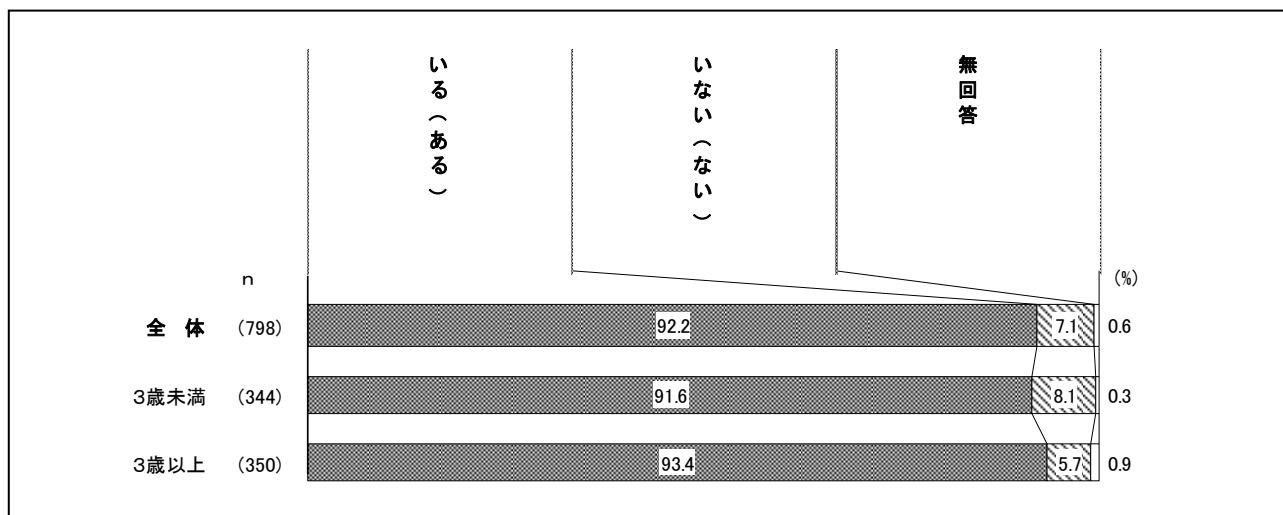
## 第2章 調査結果

### (8) 子育ての相談ができる人・場所

#### ① 子育ての相談ができる人・場所の有無

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(〇は1つ)

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる(ある)」が92.2%で、「いない(ない)」が7.1%となっている。



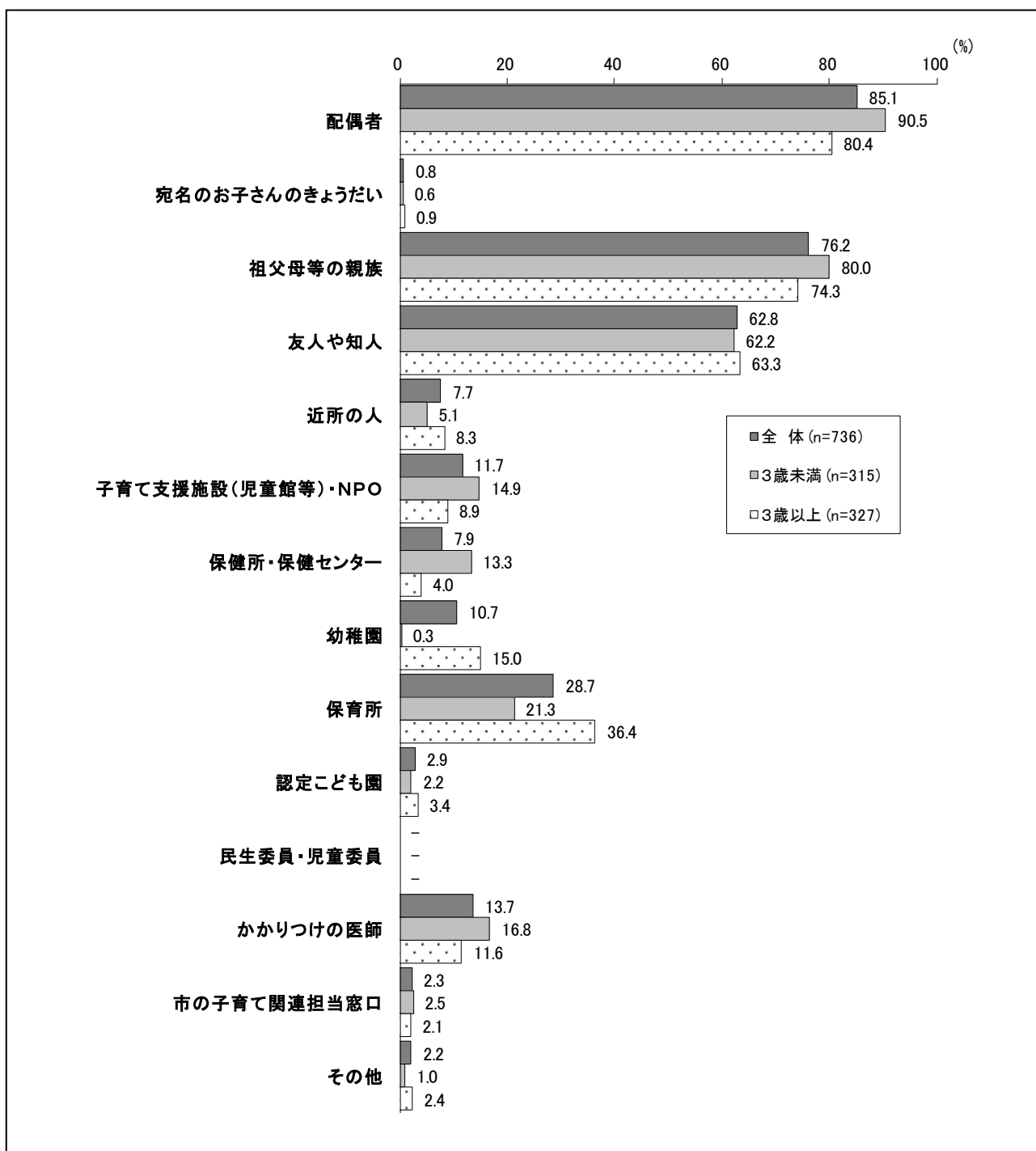
②子育ての相談ができる人・場所

問7で、「1」（いる（ある））を選択した方にうかがいます。

問7-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。

（当てはまるものすべてに○）

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「配偶者」が85.1%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」が76.2%、「友人や知人」が62.8%となっている。



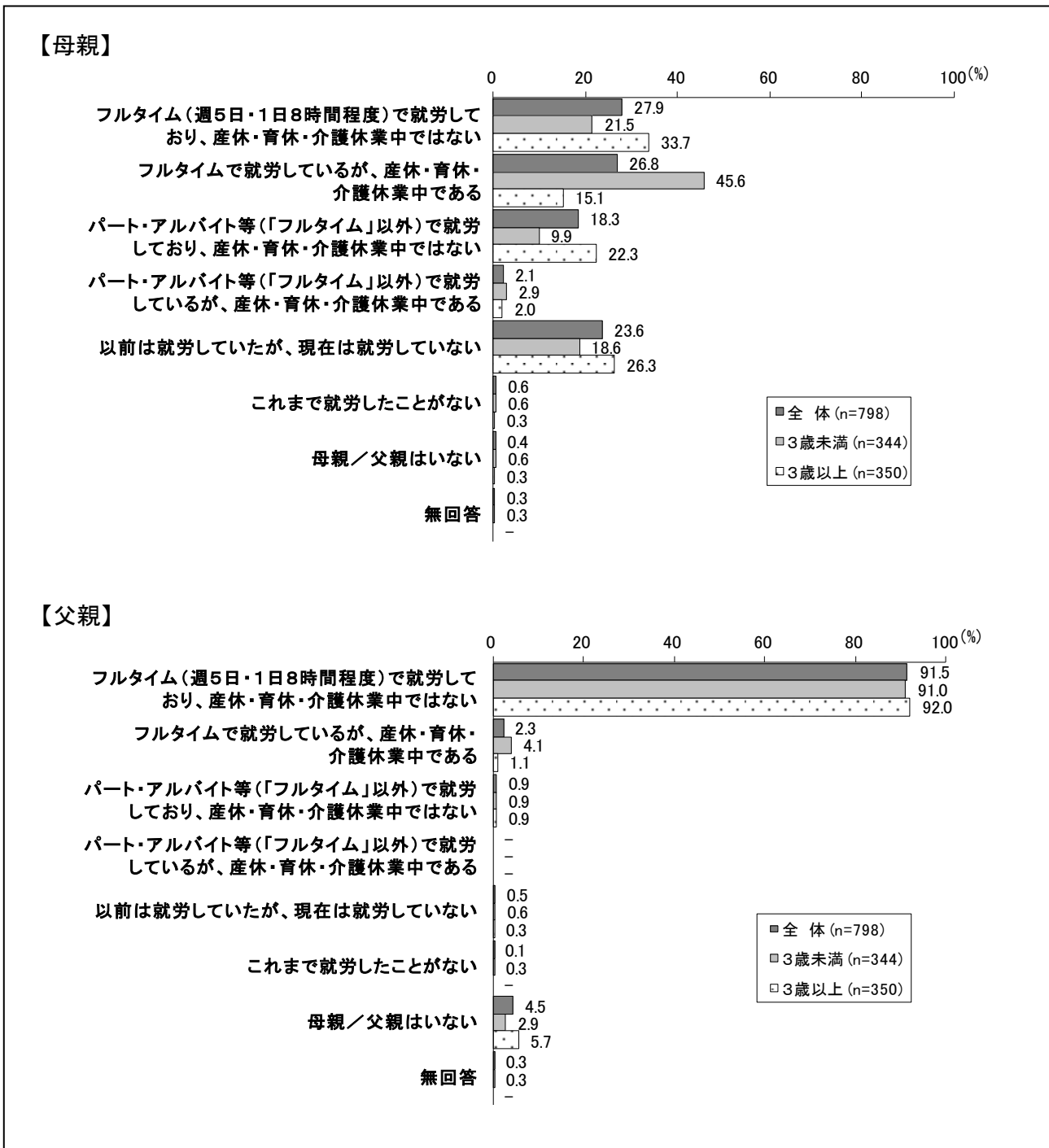
## 2. 保護者の就労状況

### (1) 保護者の就労状況

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号を口枠内にそれぞれ1つずつご記入ください。

母親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が27.9%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」が26.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が23.6%となっている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が91.5%を占めている。



(2) 就労日数・就労時間

問8の母親または父親で、「1」～「4」(就労している)を選択した方にかかっています。

問8-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(休憩時間・残業時間等を含む拘束時間)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

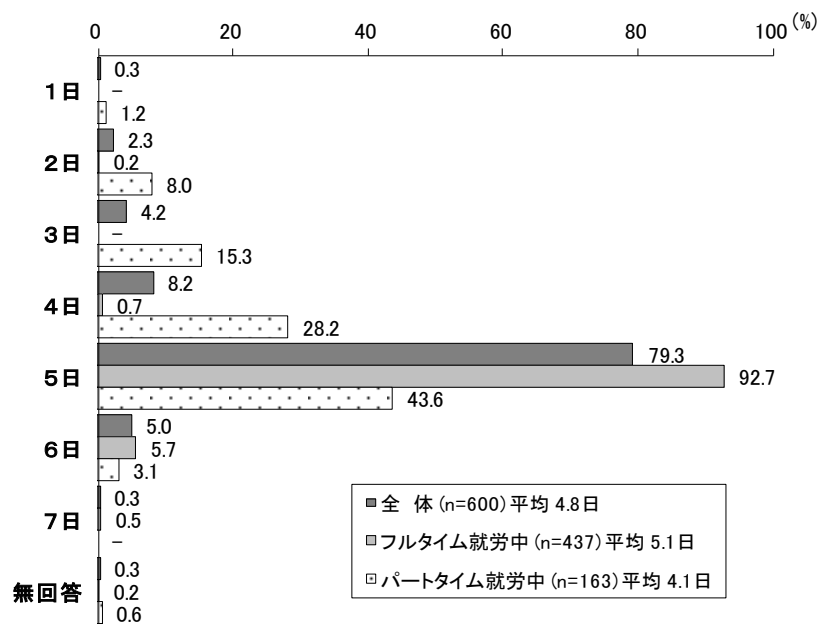
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 1週当たりの就労日数

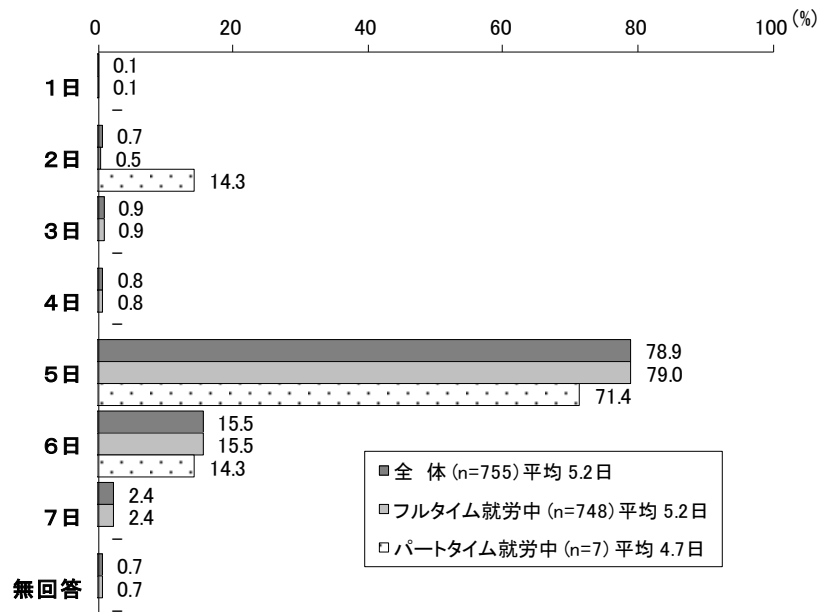
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が79.3%と最も高く、平均4.8日となっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が78.9%と最も高く、平均5.2日となっている。

【母親】



【父親】

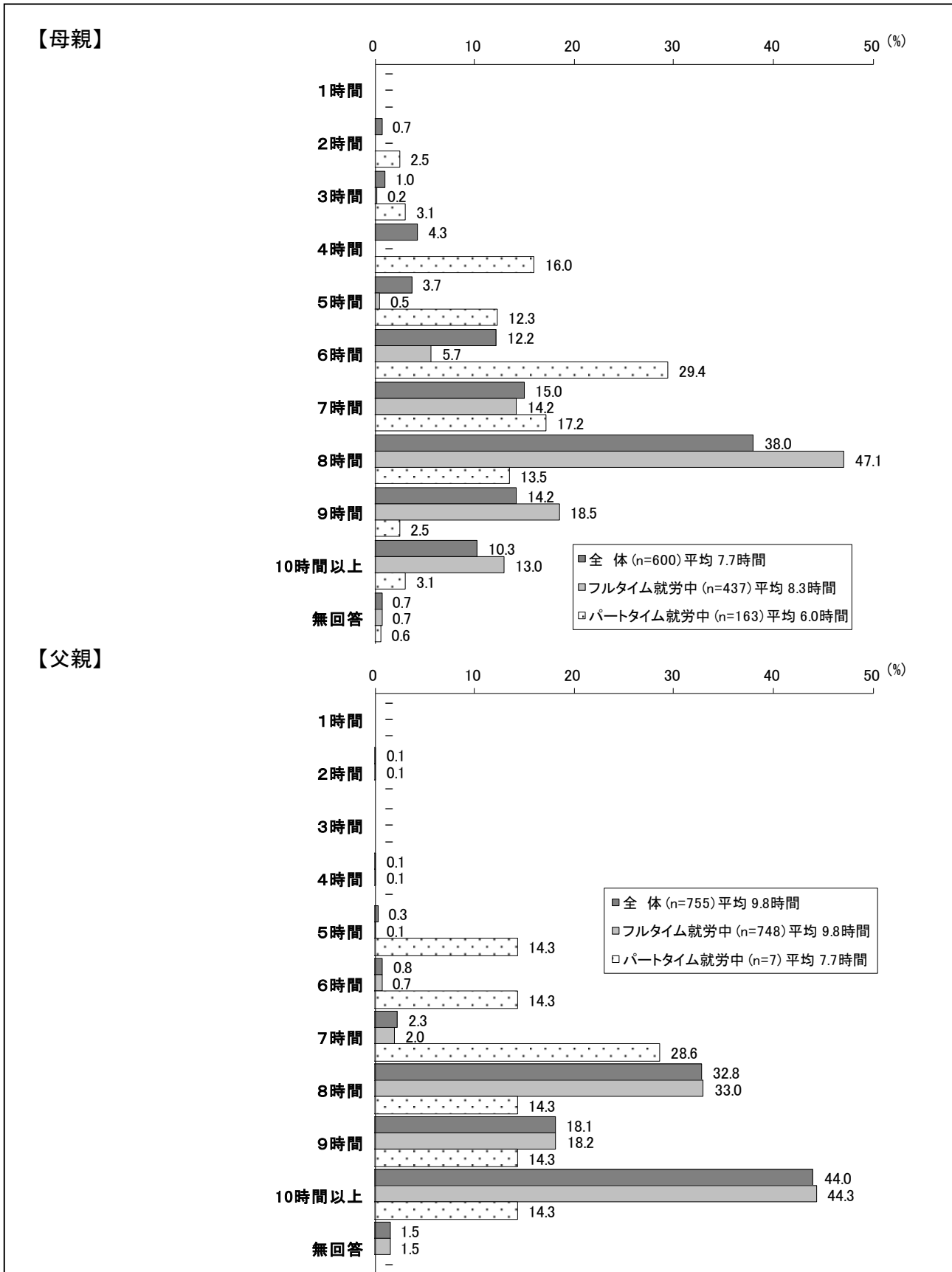


## 第2章 調査結果

### ② 1日当たりの就労時間

母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が38.0%と最も高く、平均7.7時間となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が44.0%と最も高く、平均9.8時間となっている。





(3) 家を出る時刻、帰宅時刻

問8-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

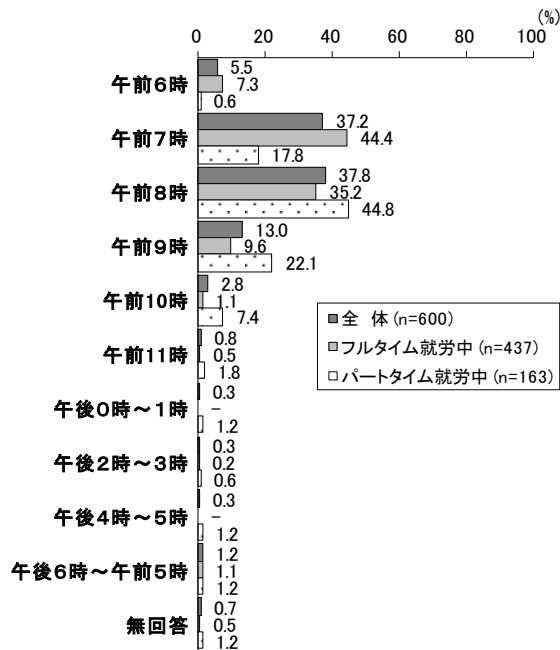
※在宅勤務を実施されている方は、就業開始時刻及び終了時刻をお答えください。

①家を出る時刻

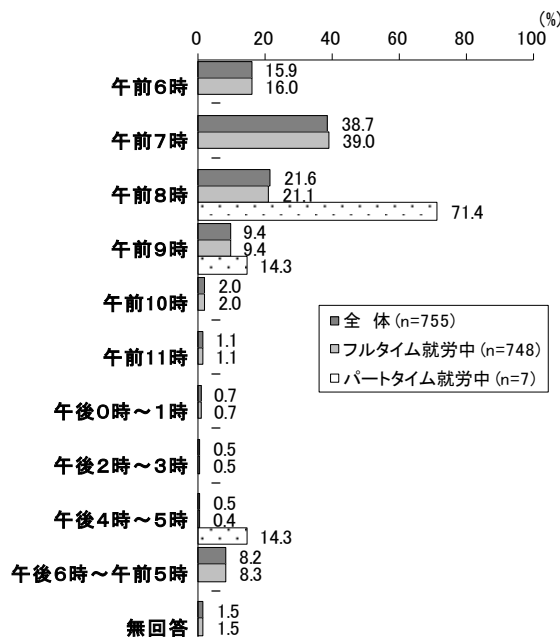
母親の家を出る時刻は、「午前8時」が37.8%、「午前7時」が37.2%と特に高くなっている。

父親の家を出る時刻は、「午前7時」が38.7%と最も高くなっている。

【母親】



【父親】

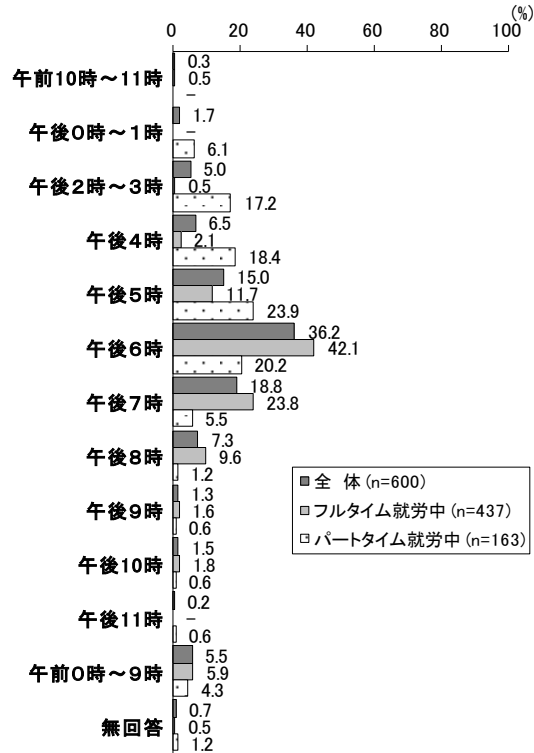


## 第2章 調査結果

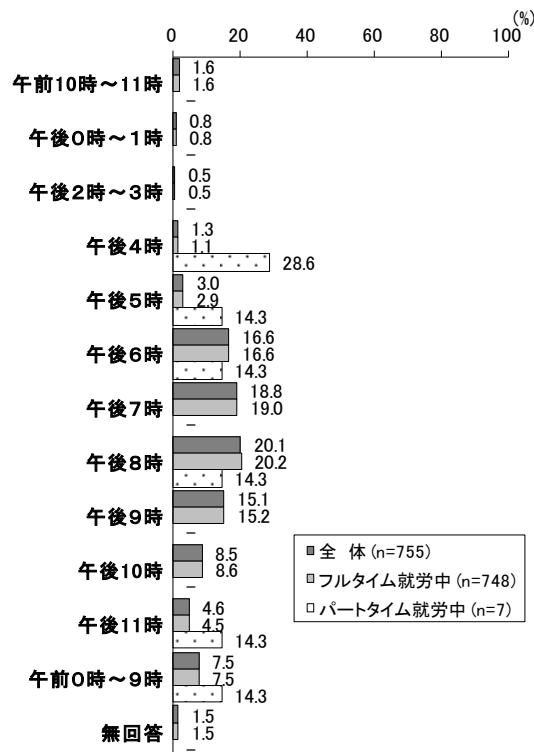
### ②帰宅時刻

母親の帰宅時刻は、「午後6時」が36.2%と最も高く、次いで「午後7時」が18.8%となっている。  
 父親の帰宅時刻は、「午後8時」が20.1%と最も高く、次いで「午後7時」が18.8%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】



## (4) フルタイム等への転換希望

問8の母親または父親で、「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労している）を選択した方にうかがいます。

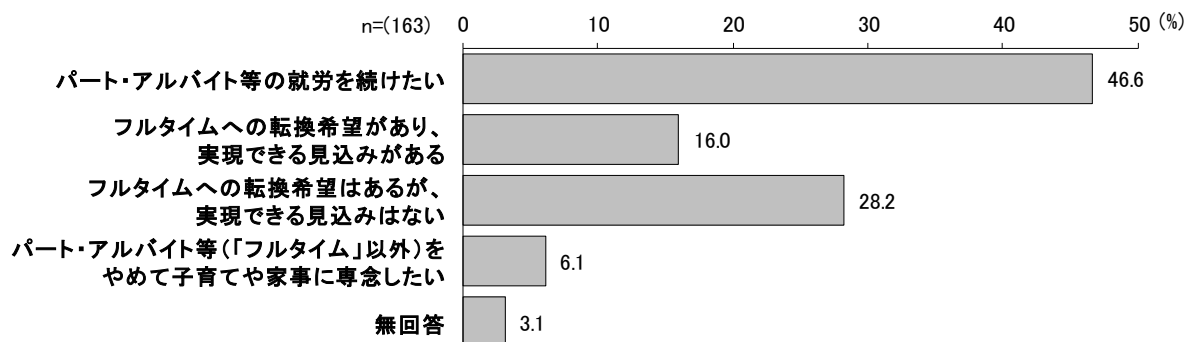
問9 フルタイム等への転換希望はありますか。父母それぞれ該当する番号を口枠内にそれぞれ1つずつ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期に○をつけてください。

## ①フルタイム等への転換希望

現在パート・アルバイト等で就労している母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が46.6%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.2%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が16.0%となっている。

父親は、7人のうち3人が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」と回答し、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2人となっている。

## 【母親】



## 【父親】

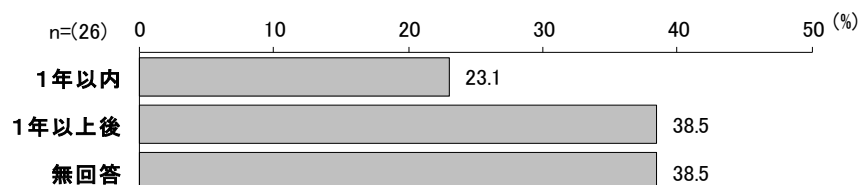
父親は回答者が7人のため、グラフを掲載していない。

## ②フルタイムへの転換の見込み

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答した母親の転換見込み時期は、「1年以上後」が38.5%、「1年以内」が23.1%となっている。

父親の回答者は1人（3歳未満）で、転換見込み時期は「1年以内」と回答している。

## 【母親】



## 【父親】

父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

## 第2章 調査結果

### (5) 就労希望

問8の母親または父親で、「5」（以前は就労していたが、現在は就労していない）または「6」（これまで就労したことがない）を選択した方にうかがいます。

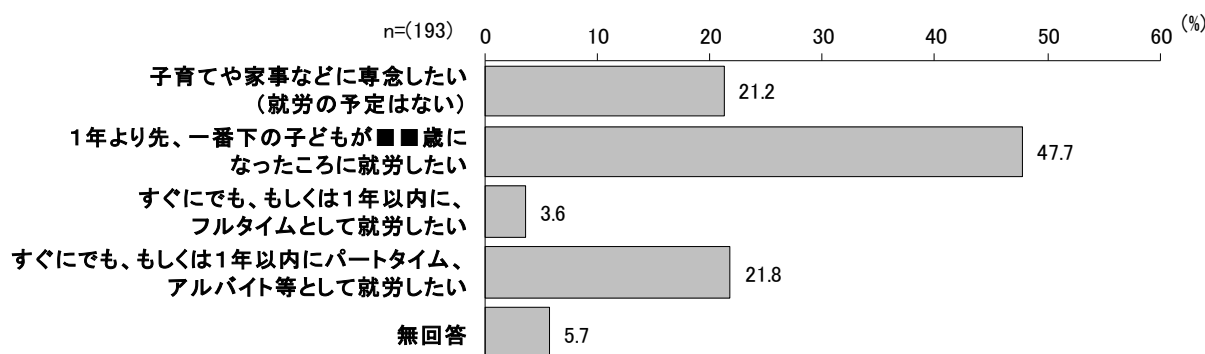
問10 就労したいという希望はありますか。父母共に該当する番号を□枠内にそれぞれ1つずつご記入ください。また、「2」または「4」を選んだ場合には、□枠内にそれぞれ数字をご記入ください。

#### ①就労希望

現在就労していない母親の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが■■歳になったころに就労したい」が47.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい」が21.8%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が21.2%となっている。

現在就労していない父親は、5人の回答が各選択肢1人ずつとなっている。

#### 【母親】



#### 【父親】

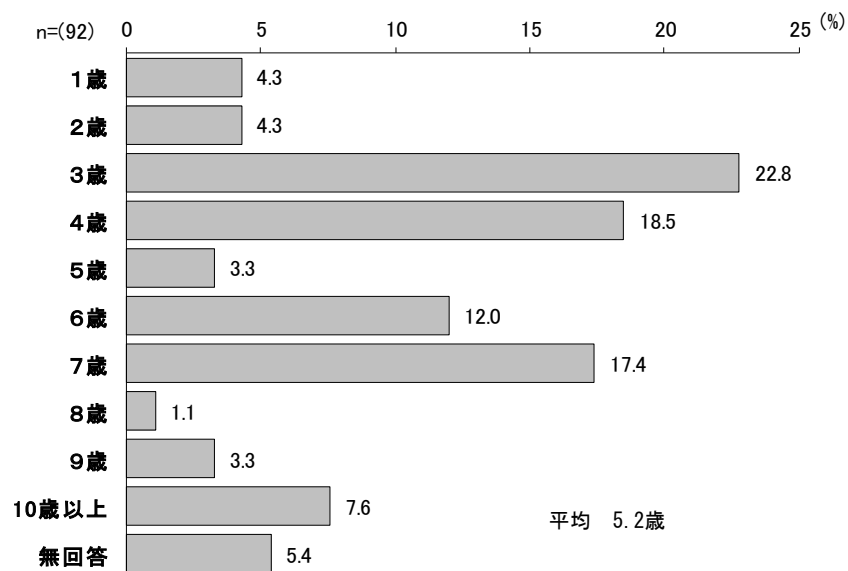
父親は回答者が5人のため、グラフを掲載していない。

## ②一番下の子どもが何歳になったら就労したいか

母親の就労意向は、一番下の子どもの年齢が「3歳」が22.8%と最も高く、次いで「4歳」が18.5%、「7歳」が17.4%となっており、平均5.2歳となっている。

父親の回答者は1人で、「4歳」と回答している。

## 【母親】



## 【父親】

父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

## 第2章 調査結果

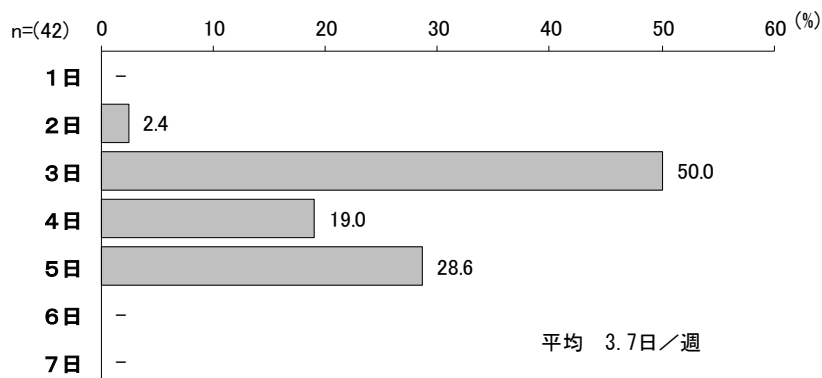
### ③ すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい方の希望する就労日数及び時間

母親の希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が50.0%と最も高く、平均3.7日/週となっている。また、母親の希望する1日当たりの就労時間は、「4時間」が38.1%と最も高く、平均5.3時間/日となっている。

父親は、希望する就労日数及び時間の回答が1件のみであった。

#### <就労日数>

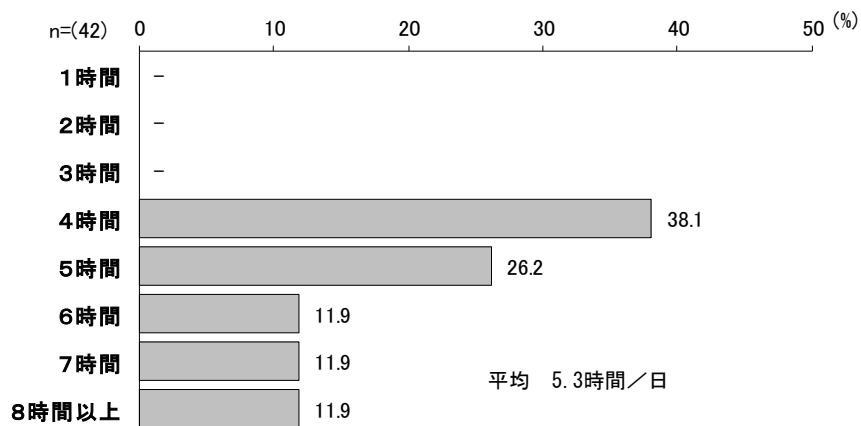
##### 【母親】



父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

#### <就労時間>

##### 【母親】



父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

## ④就労希望があるのに働いていない理由

問10の母親または父親で、「3」、「4」（すぐにでも就労したい）を選択した方にうかがいます。

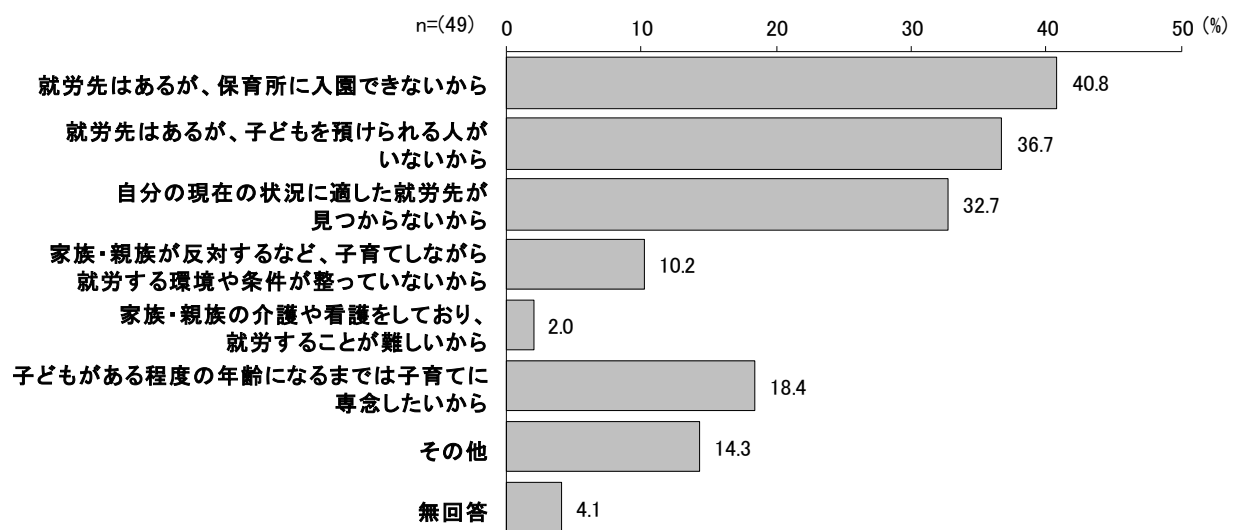
問10-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。

（それぞれ当てはまるものすべてに○）

母親の就労希望があるのに働いていない理由は、「就労先はあるが、保育所に入園できないから」が40.8%と最も高く、次いで「就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから」が36.7%、「自分の現在の状況に適した就労先が見つからないから」が32.7%となっている。

父親の就労希望があるのに働いていない理由は、回答者が2人のみであった。

## 【母親】



## 【父親】

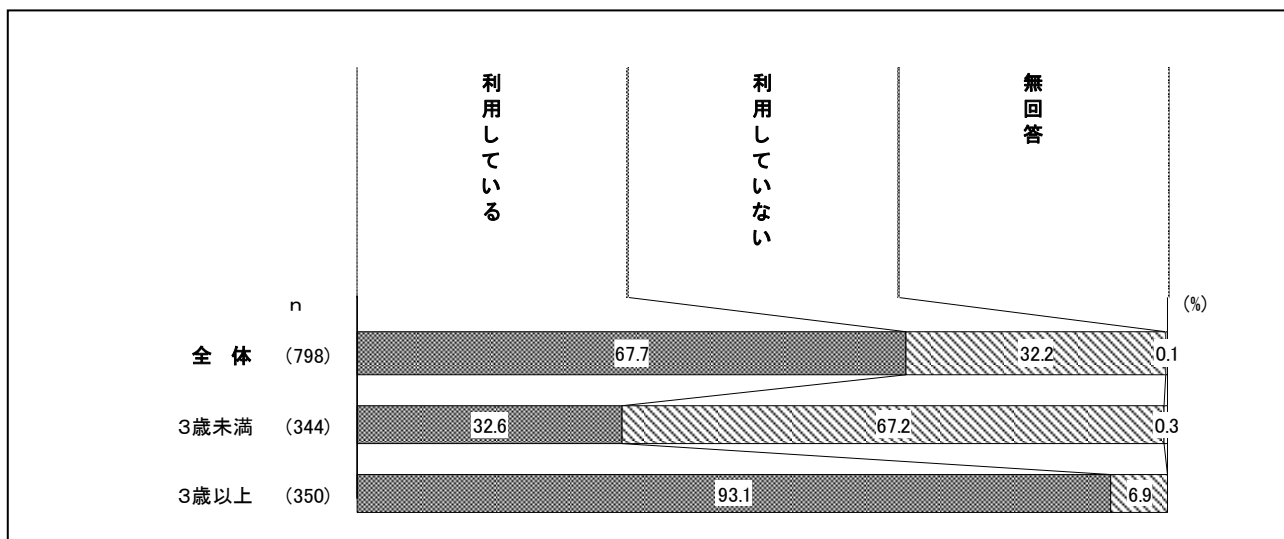
父親は回答者が2人のため、グラフを掲載していない。

### 3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

#### (1) 定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(〇は1つ)

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が67.7%、「利用していない」が32.2%となっている。



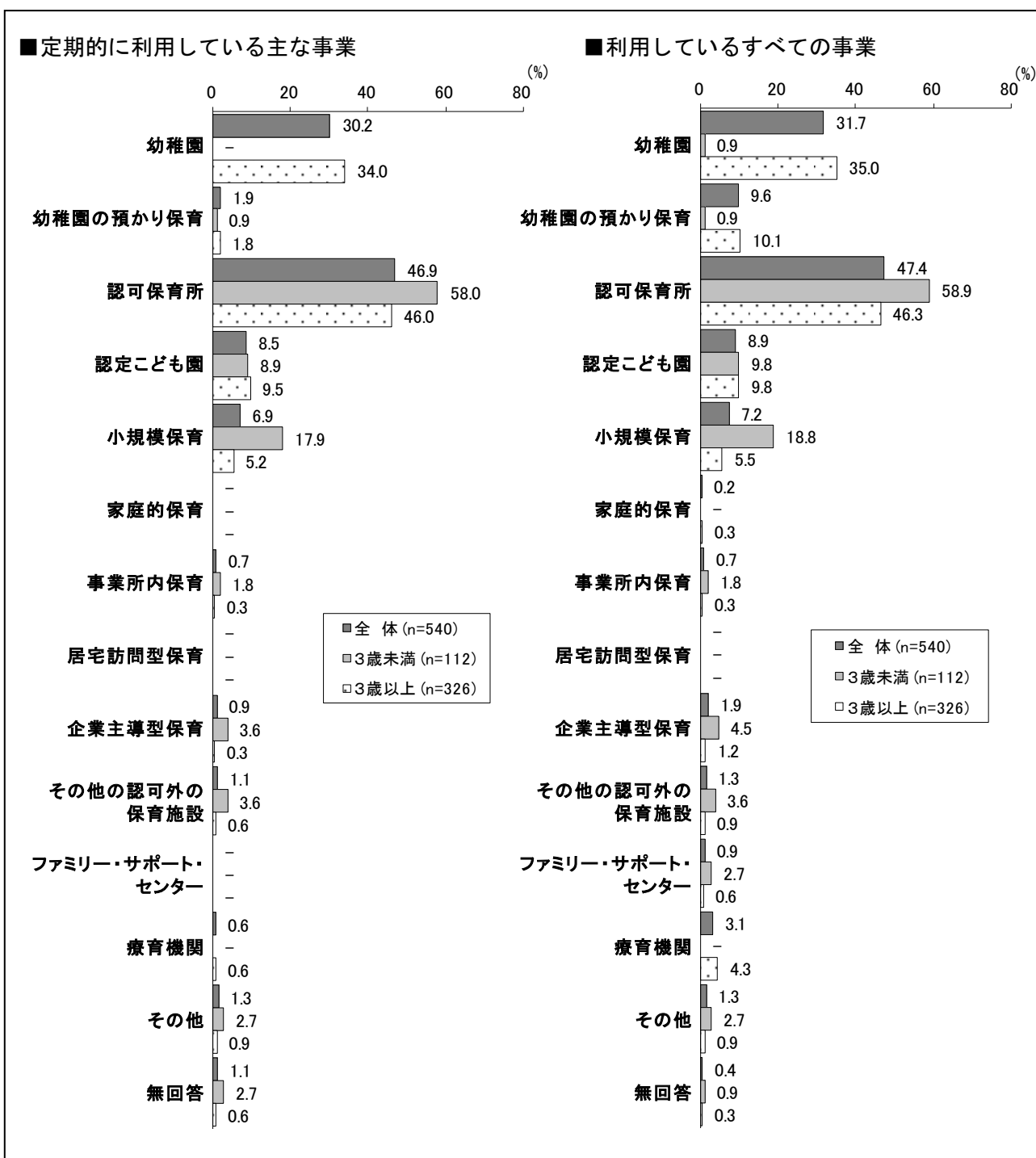


(2) 利用している教育・保育事業

問11-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している主な事業1つに◎(二重丸)、その他、利用している事業すべてに○をつけてください。また、利用している事業の利用日数・時間を口枠内にご記入ください。

平日に定期的に利用している主な教育・保育事業は、「認可保育所」が46.9%と最も高く、次いで「幼稚園」が30.2%、「認定こども園」が8.5%、「小規模保育」が6.9%となっている。

利用しているすべての事業では、「認可保育所」が47.4%と最も高く、次いで「幼稚園」が31.7%となっている。



## 第2章 調査結果

### ① 1週当たりの利用日数

主な教育・保育事業の1週当たり平均利用日数は、「認可保育所」と「認定こども園」が5.0日、「幼稚園」が4.9日、「小規模保育」が4.8日、「幼稚園の預かり保育」が3.0日となっている。

(単位:%)

	回答者数 (人)	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	平均 (日)
幼稚園	171	2.3	-	-	1.8	95.9	-	-	-	4.9
幼稚園の預かり保育	52	30.8	7.7	17.3	11.5	26.9	-	-	5.8	3.0
認可保育所	256	0.4	0.4	0.4	4.3	91.4	2.3	0.4	0.4	5.0
認定こども園	48	-	-	-	4.2	95.8	-	-	-	5.0
小規模保育	39	-	-	2.6	15.4	82.1	-	-	-	4.8
家庭的保育	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0
事業所内保育	4	-	-	-	-	100.0	-	-	-	5.0
居宅訪問型保育	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業主導型保育	10	30.0	-	-	10.0	40.0	-	-	20.0	3.4
その他の認可外の保育施設	7	14.3	14.3	14.3	-	57.1	-	-	-	3.7
ファミリー・サポート・センター	5	60.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	2.0
療育機関	17	47.1	41.2	5.9	-	5.9	-	-	-	1.8
その他	7	14.3	14.3	57.1	-	14.3	-	-	-	2.9

### ② 1日当たりの平均利用時間

主な教育・保育事業の1日当たり平均利用時間は、「認可保育所」が9.3時間、「小規模保育」が9.2時間、「認定こども園」が8.2時間、「幼稚園」が5.4時間、「幼稚園の預かり保育」が3.3時間となっている。

	回答者数 (人)	平均 (時間)
幼稚園	171	5.4
幼稚園の預かり保育	52	3.3
認可保育所	256	9.3
認定こども園	48	8.2
小規模保育	39	9.2
家庭的保育	1	8.0
事業所内保育	4	8.5
居宅訪問型保育	-	-
企業主導型保育	10	7.7
その他の認可外の保育施設	7	6.1
ファミリー・サポート・センター	5	1.2
療育機関	17	1.8
その他	7	4.9

③ 1日の利用時間帯

主な教育・保育事業の種類別の1日の利用時間帯は、「幼稚園」は「午前9時台」から「午後2時台」、「幼稚園の預かり保育」は「午後2時台」から「午後4時台」が主な利用時間帯となっている。また、「認可保育所」、「認定こども園」、「小規模保育」は「午前8時台」から「午後5時台」が主な利用時間帯となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	午前6時台	午前7時台	午前8時台	午前9時台	午前10時台	午前11時台	午後0時台	午後1時台	午後2時台	午後3時台	午後4時台	午後5時台	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時～午前5時
幼稚園	171	-	-	17.0	<b>93.0</b>	<b>99.4</b>	<b>99.4</b>	<b>98.8</b>	<b>98.2</b>	<b>97.1</b>	21.6	3.5	1.2	-	-	-	-
幼稚園の預かり保育	52	-	5.8	13.5	15.4	17.3	19.2	19.2	21.2	<b>86.5</b>	<b>92.3</b>	<b>84.6</b>	53.8	19.2	3.8	-	-
認可保育所	256	-	17.2	<b>68.8</b>	<b>99.2</b>	<b>99.2</b>	<b>99.2</b>	<b>99.2</b>	<b>99.2</b>	<b>98.8</b>	<b>98.8</b>	<b>98.8</b>	<b>82.4</b>	52.7	6.6	0.4	-
認定こども園	48	-	10.4	<b>60.4</b>	<b>97.9</b>	<b>97.9</b>	<b>97.9</b>	<b>97.9</b>	<b>97.9</b>	<b>97.9</b>	<b>81.3</b>	<b>72.9</b>	<b>62.5</b>	27.1	2.1	-	-
小規模保育	39	-	20.5	<b>79.5</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>97.4</b>	<b>97.4</b>	<b>82.1</b>	51.3	2.6	-	-
家庭的保育	1	-	-	-	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	-	-	-	-
事業所内保育	4	-	-	50.0	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>75.0</b>	25.0	-	-	-
居宅訪問型保育	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
企業主導型保育	10	-	-	50.0	<b>80.0</b>	<b>80.0</b>	<b>80.0</b>	<b>90.0</b>	<b>90.0</b>	<b>90.0</b>	<b>90.0</b>	<b>70.0</b>	50.0	30.0	10.0	10.0	-
その他の認可外の保育施設	7	-	-	42.9	<b>85.7</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>85.7</b>	<b>85.7</b>	<b>71.4</b>	42.9	-	-	-	-	-
ファミリー・サポート・センター	5	-	<b>60.0</b>	<b>60.0</b>	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	-	-
療育機関	17	5.9	-	-	35.3	41.2	29.4	23.5	23.5	29.4	35.3	23.5	11.8	-	-	-	5.9
その他	7	-	-	14.3	57.1	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	<b>100.0</b>	57.1	57.1	42.9	42.9	28.6	-	-	-	-

※太字は60%以上の利用率を示す。

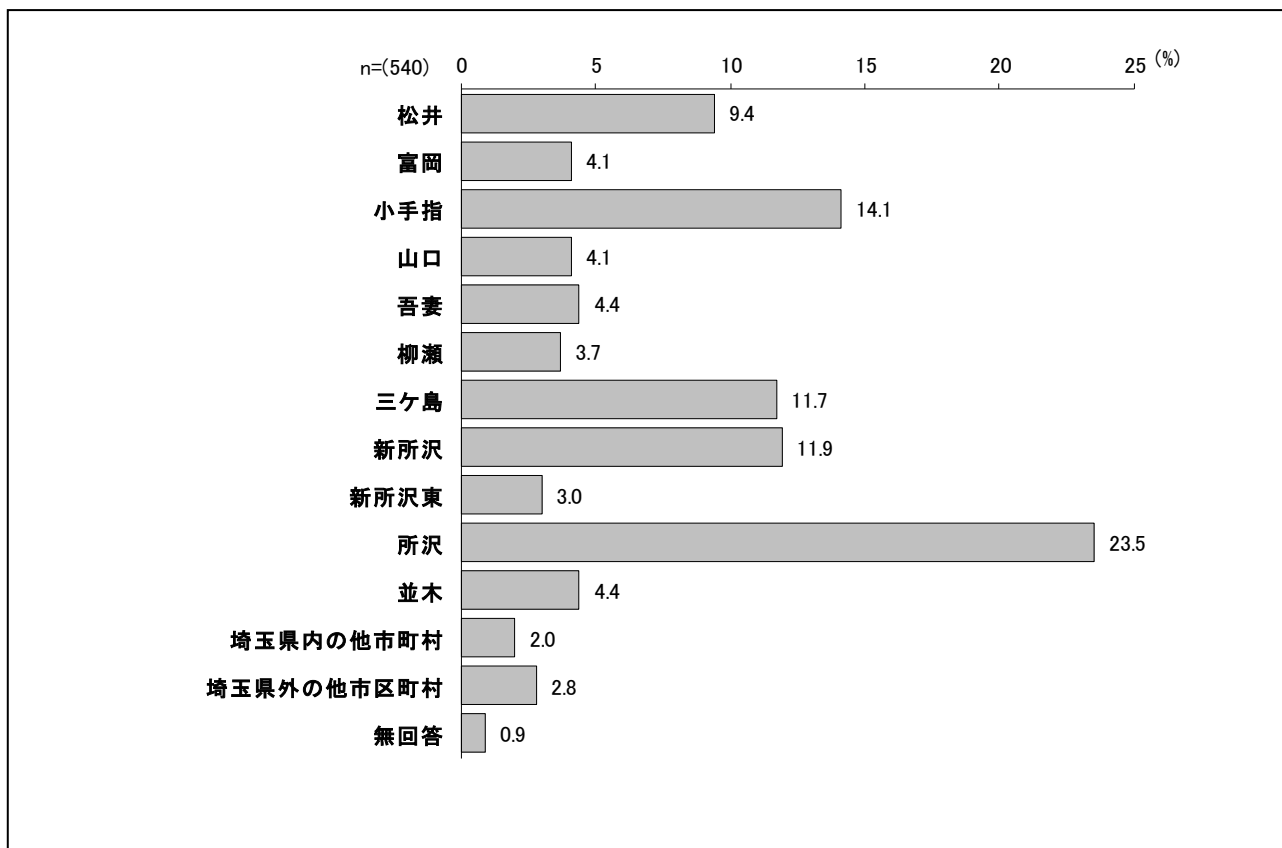
## 第2章 調査結果

### (3) 利用している教育・保育事業の実施場所

問11-2 宛名のお子さんが現在、利用している主な教育・保育の事業（問11-1で◎をつけた事業）の実施場所はどの地区ですか。（○は1つ）

※市内の場合どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、「所沢」が23.5%と最も高く、次いで「小手指」が14.1%、「新所沢」が11.9%、「三ヶ島」が11.7%となっている。市外での利用としては、県内では入間市、狭山市、新座市、川越市、県外では清瀬市、東村山市などの回答があった。

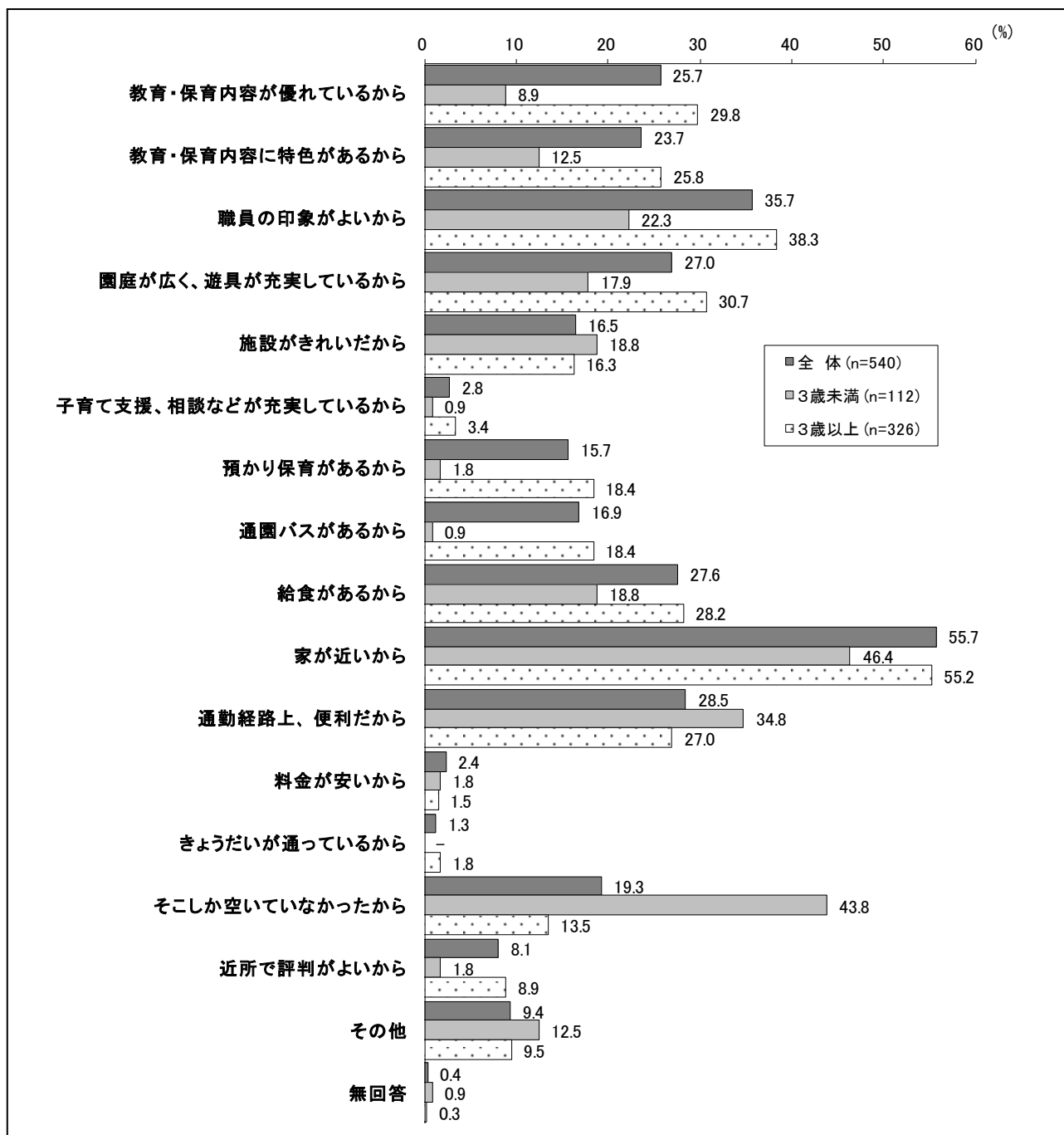


(4) 現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由

問11-3 宛名のお子さんが現在の教育・保育事業の施設を選んだ理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○)

現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由は、「家が近いから」が55.7%と最も高く、次いで「職員の印象がよいから」が35.7%、「通勤経路上、便利だから」が28.5%、「給食があるから」が27.6%、「園庭が広く、遊具が充実しているから」が27.0%と続く。



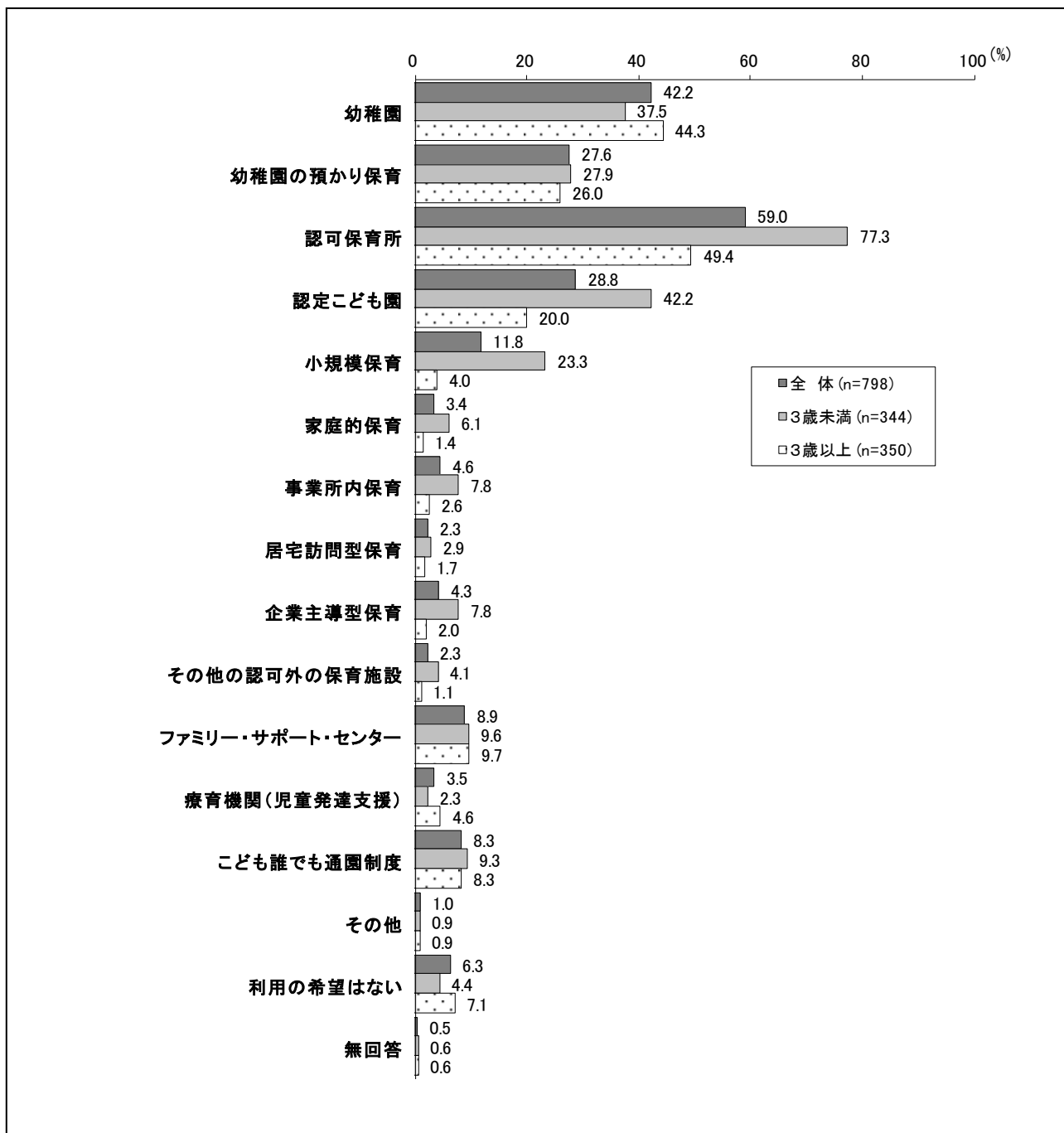
## 第2章 調査結果

### (5) 定期的に利用したい教育・保育事業

問12 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的」に利用したいと考える事業をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。別紙②「教育・保育等事業一覧」で事業の詳細を確認してください。

平日の教育・保育事業で定期的利用したい事業は、「認可保育所」が59.0%と最も高く、次いで「幼稚園」が42.2%、「認定こども園」が28.8%、「幼稚園の預かり保育」が27.6%となっている。



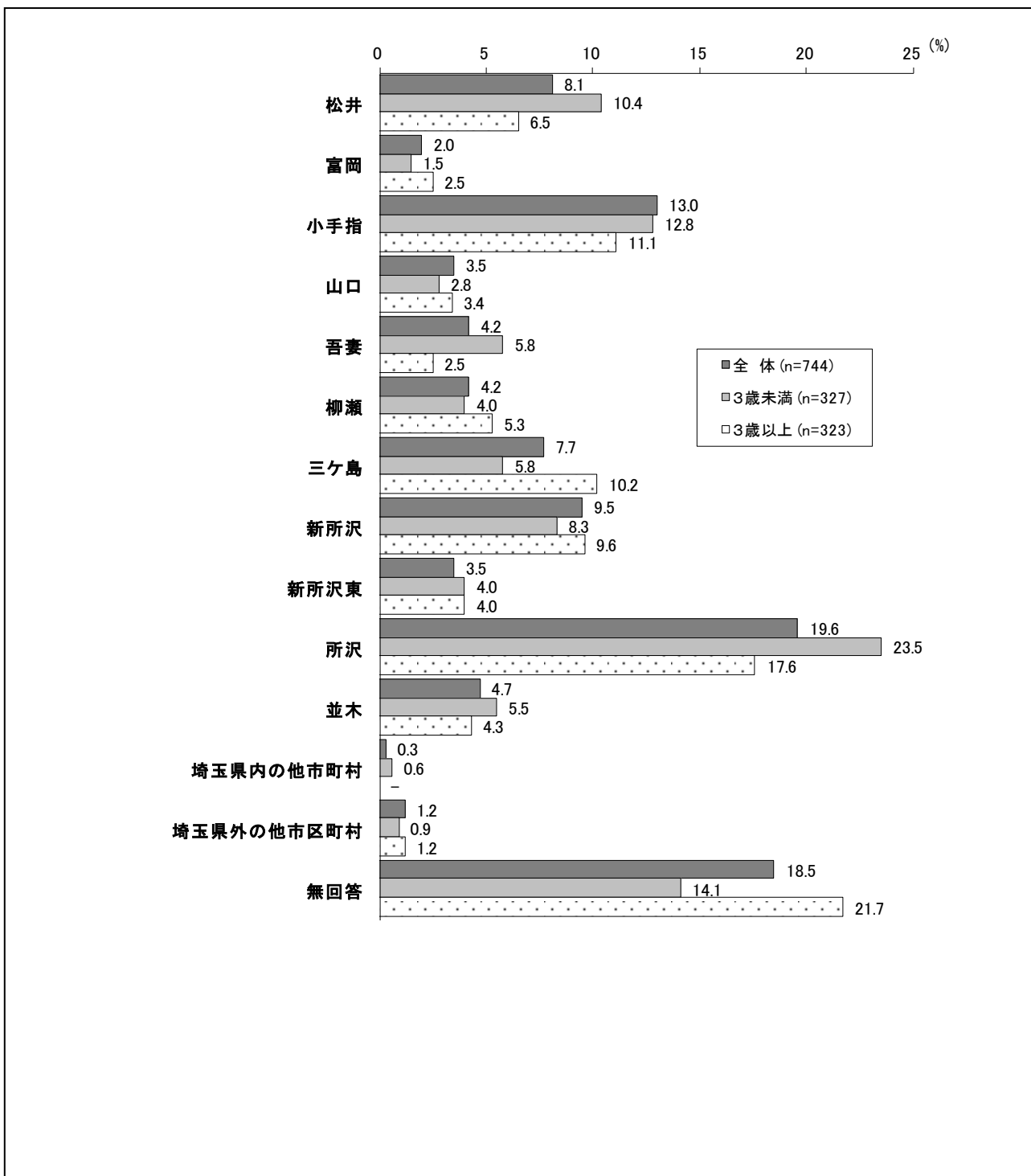
(6) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問12で「15」(利用の希望はない) 以外に○をつけられた方(1~14のいずれかを選んだ方)にうかがいます。

問12-1 教育・保育事業を主に利用したい場所はどの地区ですか。(○は1つ)

※市内の場合どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

主に利用したい教育・保育事業の実施場所は、「所沢」が19.6%と最も高く、次いで「小手指」が13.0%となっている。市外での利用希望としては、県内では入間市、県外では東村山市、清瀬市などの回答があった。



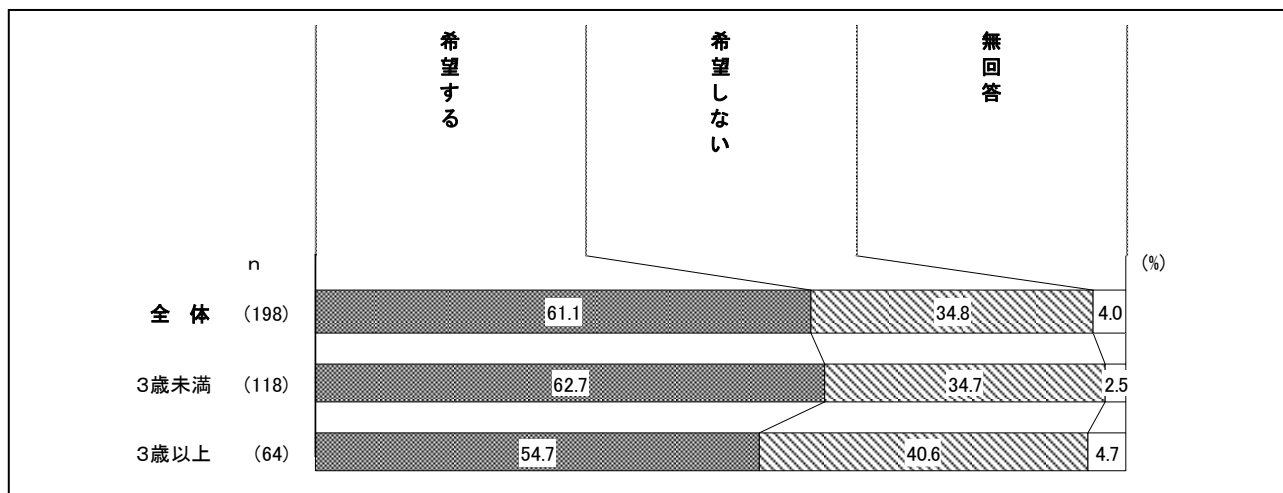
## 第2章 調査結果

### (7) 幼稚園の利用の強い希望の有無

問12で「1」（幼稚園）または「2」（幼稚園の預かり保育）を選択し、かつ「3」～「14」を選択した方にうかがいます。

問12-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」の希望者は、平日の教育・保育事業の中で、「特に幼稚園を希望する」割合が61.1%となっている。

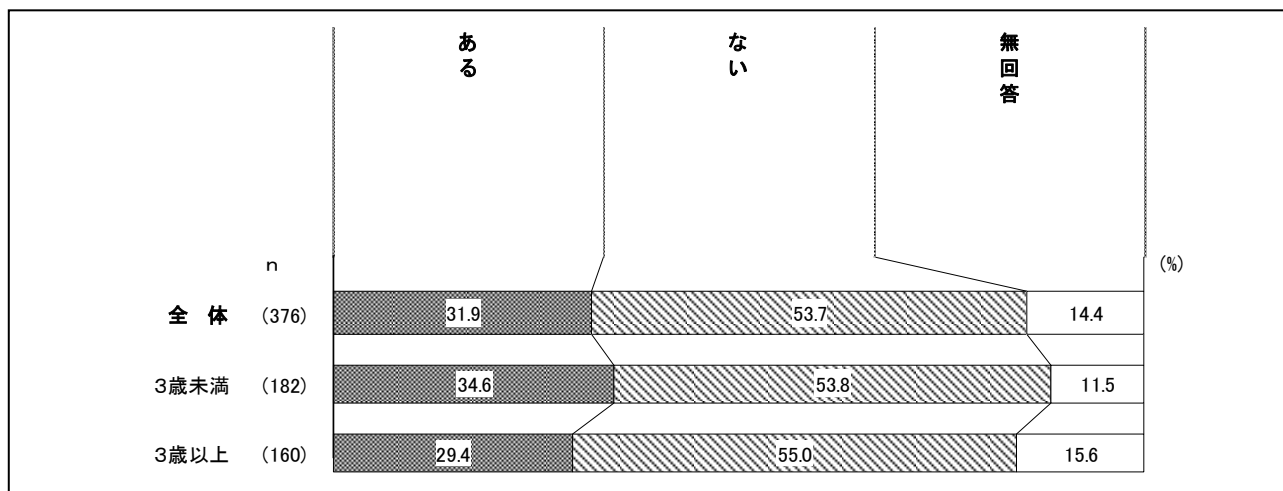


### (8) 幼稚園の利用希望

問12で「1」（幼稚園）、「2」（幼稚園の預かり保育）以外を選択した方（「3」～「14」のいずれかを選択した方）にうかがいます。

問12-3 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を考えたことがありますか。（○は1つ）

「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」以外の希望者のうち、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の利用を「考えたことがある」人は31.9%となっている。

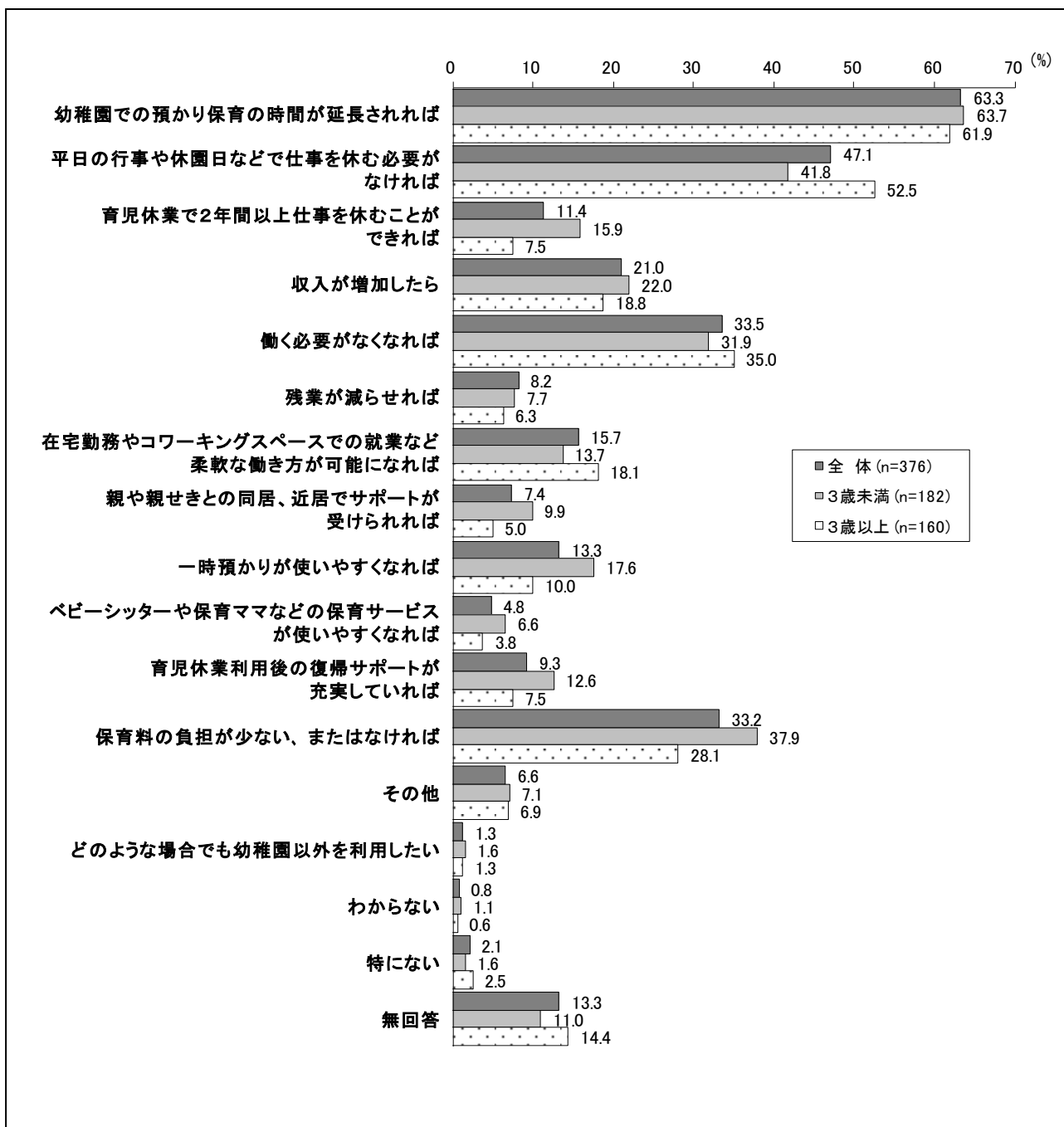




(9) 幼稚園を利用するために必要な環境

問12-4 どのような環境であれば、幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）を利用できるとお考えですか。（当てはまるものすべてに○）

「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」以外の希望者が幼稚園を利用するために必要な環境としては、「幼稚園での預かり保育の時間が延長されれば」が63.3%と最も高く、次いで「平日の行事や休園日などで仕事を休む必要がなければ」が47.1%、「働く必要がなくなれば」が33.5%、「保育料の負担が少ない、またはなければ」が33.2%となっている。



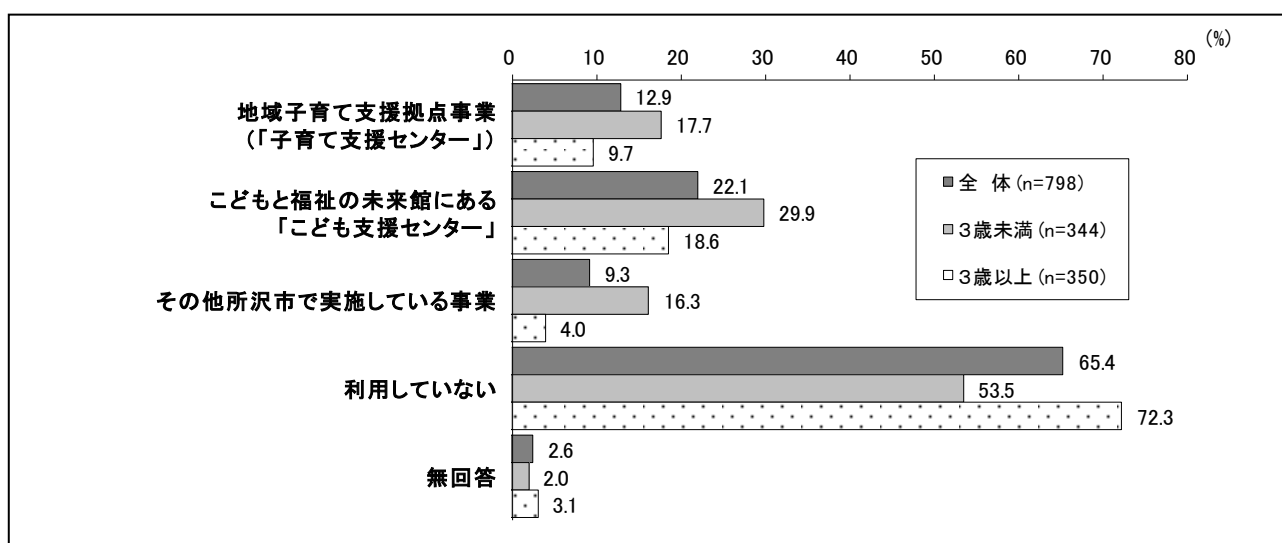
## 4. 地域の子育て支援事業の利用状況

### (1) 地域の子育て支援事業の利用状況

問13 宛名のお子さんは、「子育て支援センター」やその他の地域の子育て支援事業を利用していますか。(当てはまるものすべてに○)  
また、おおよその利用回数(頻度)を口枠内に数字でご記入ください。

#### ①利用有無

「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」が22.1%、「地域子育て支援拠点事業(『子育て支援センター』)」が12.9%、「他所沢市で実施している事業」が9.3%となっている。「他所沢市で実施している事業」としては、図書館のおはなし会、あそぼう会、児童館等の講座などの回答があった。一方、「利用していない」は65.4%となっている。



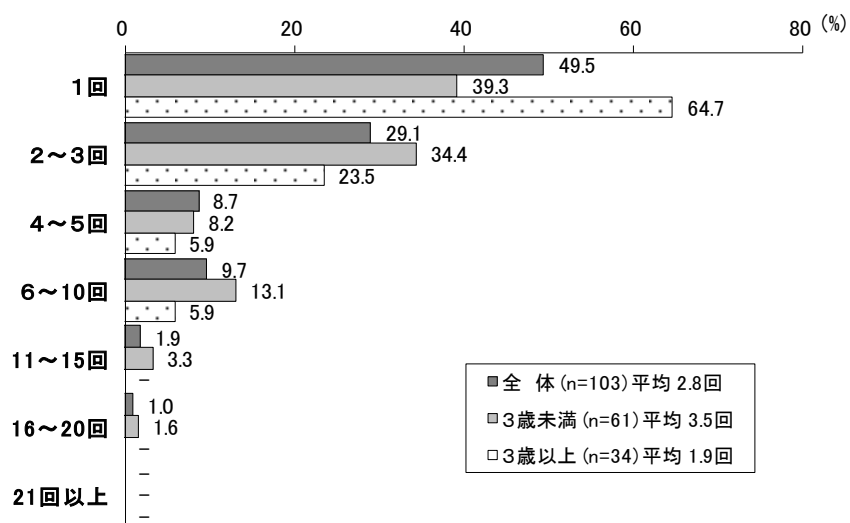
② 1ヶ月当たりの利用回数

「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が49.5%、「2～3回」が29.1%、平均2.8回となっている。

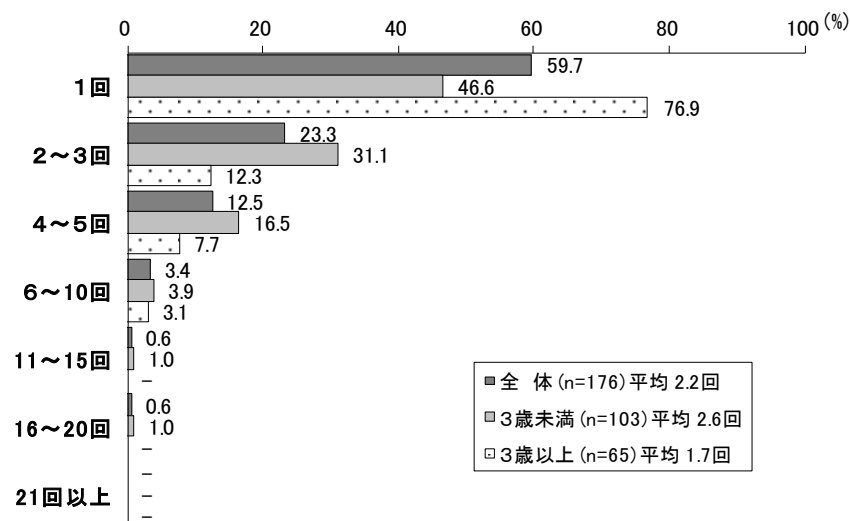
「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が59.7%、「2～3回」が23.3%、平均2.2回となっている。

「他所沢市で実施している事業」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が63.5%、「2～3回」が21.6%、平均1.7回となっている。

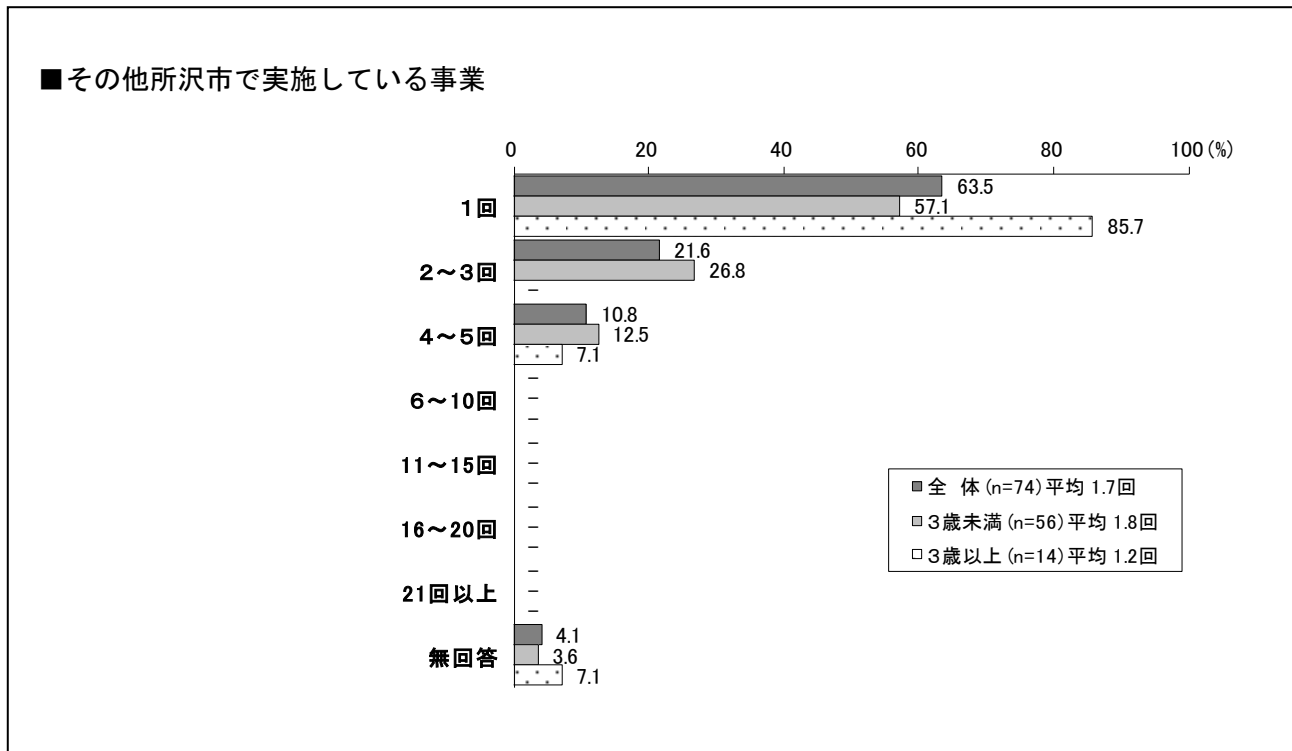
■ 地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）



■ こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」



## 第2章 調査結果



(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用希望

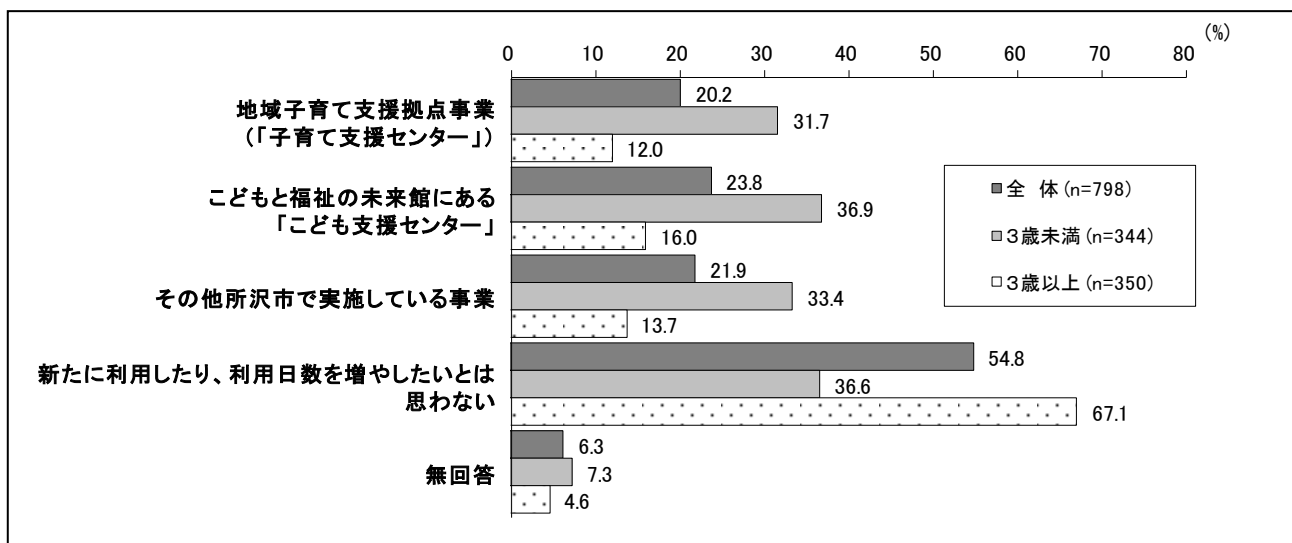
①利用希望

問14 地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないができれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。(当てはまるものすべてに○)

また、おおよその利用回数(頻度)を口枠内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業は、原則無料ですが、一部の事業では実費負担が発生する場合があります。

「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」が23.8%、「その他所沢市で実施している事業」が21.9%、「地域子育て支援拠点事業(『子育て支援センター』)」が20.2%となっている。「その他所沢市で実施している事業」としては、あそぼう会の回答が多くみられた。一方、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」は54.8%となっている。



## 第2章 調査結果

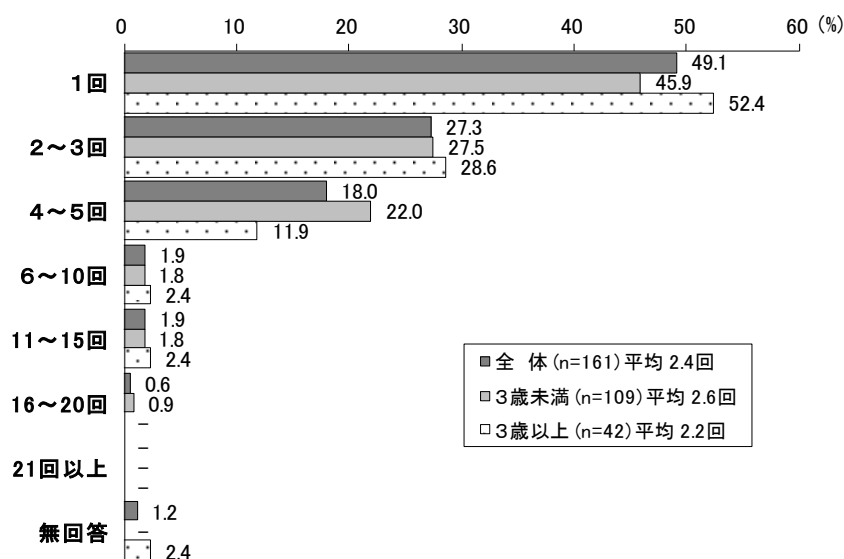
### ② 1ヶ月当たりの利用希望回数

「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が49.1%、「2～3回」が27.3%、「4～5回」が18.0%、平均2.4回となっている。

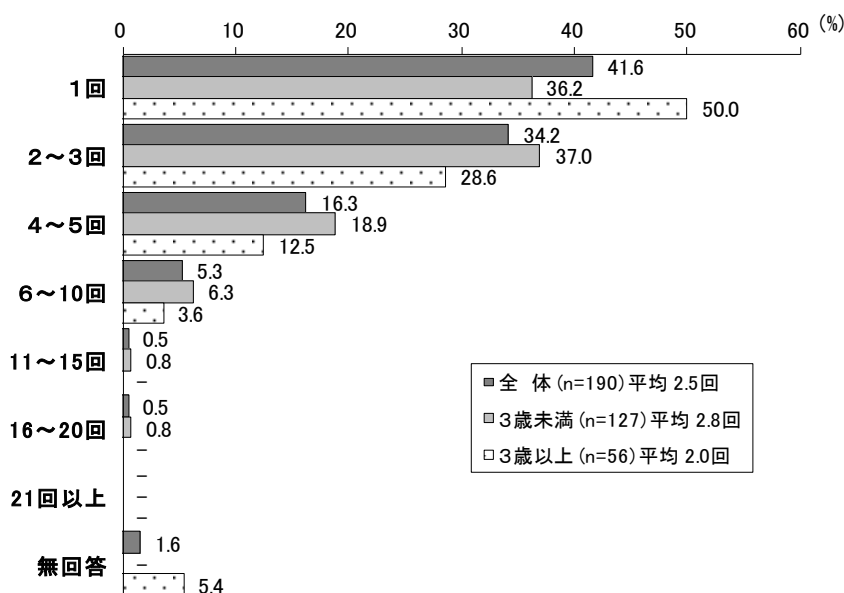
「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が41.6%、「2～3回」が34.2%、「4～5回」が16.3%、平均2.5回となっている。

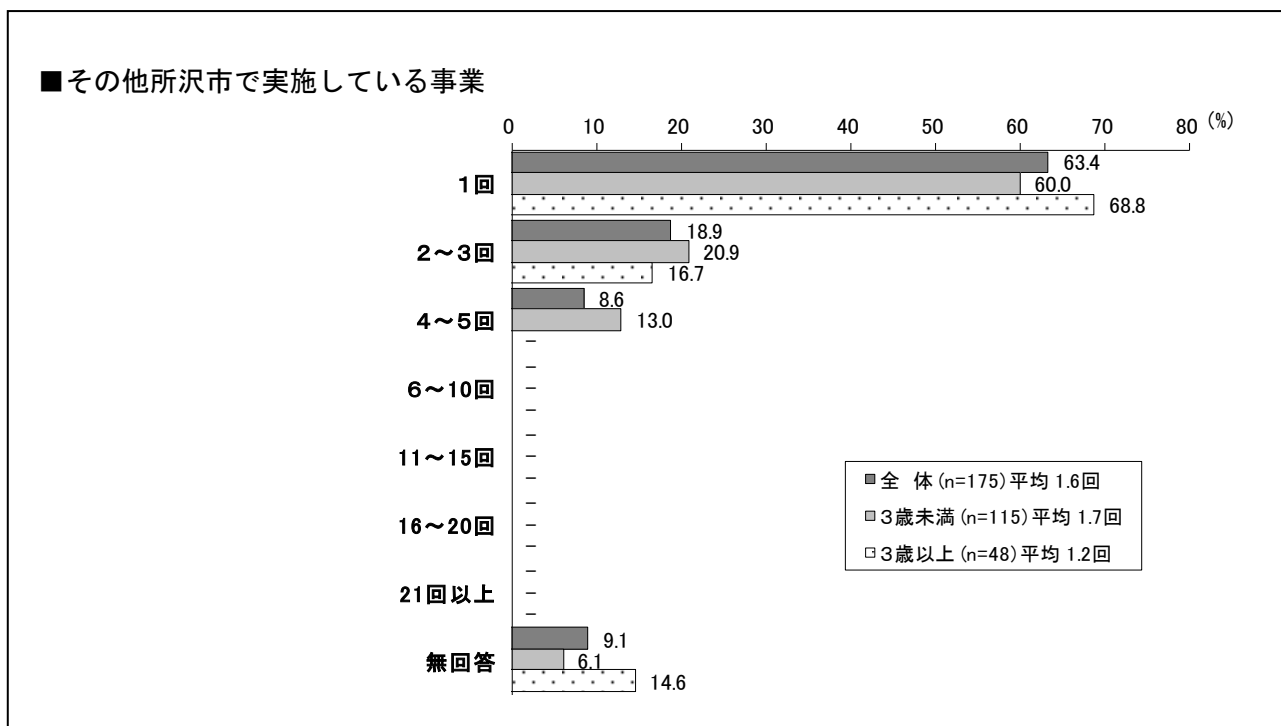
「他所沢市で実施している事業」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が63.4%、「2～3回」が18.9%、平均1.6回となっている。

#### ■地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）



#### ■こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」





## 第2章 調査結果

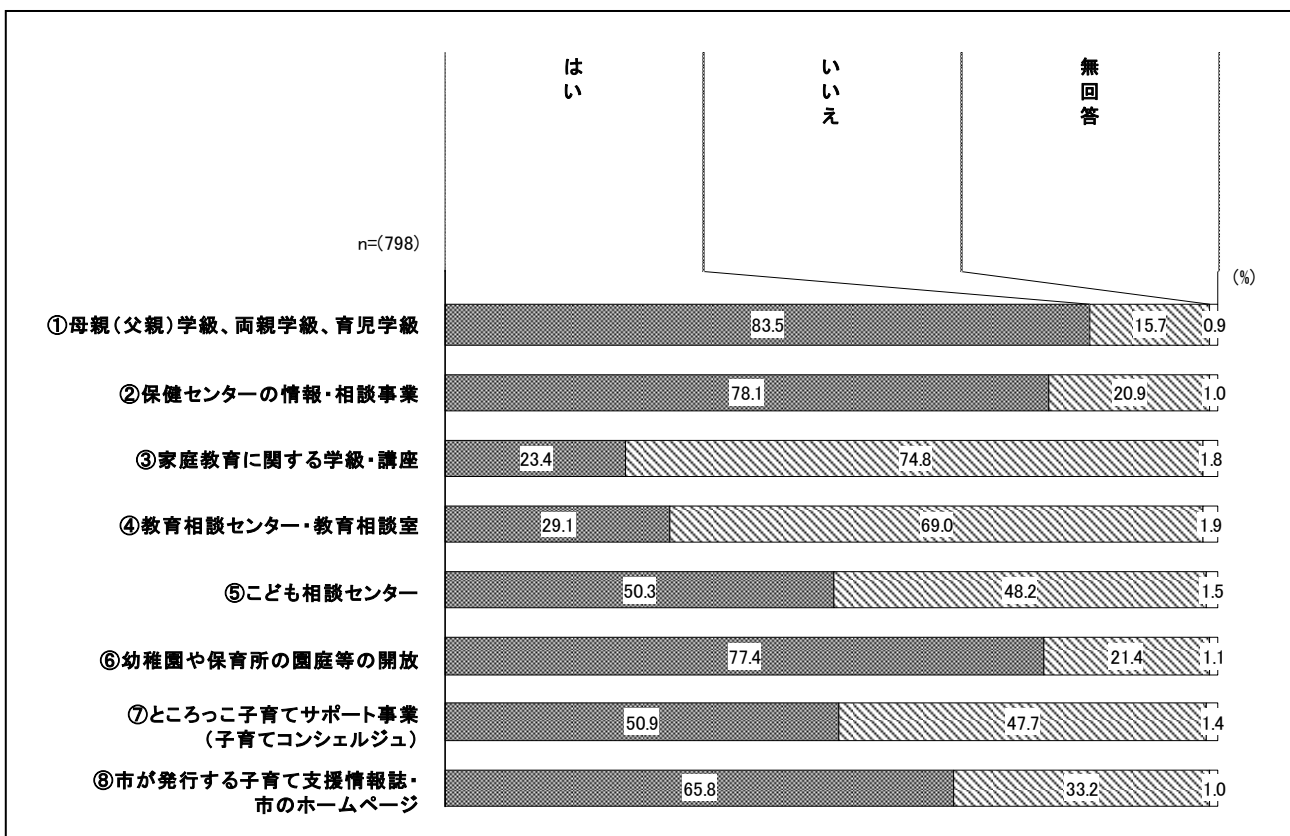
### (3) 各種支援事業の認知度、利用状況、利用希望

問15 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。(①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、○は1つ)

また、①～⑧に該当しない地域の子育て支援事業が他に何かありましたら、⑨と⑩の「その他」に事業名をご記入の上、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

#### ①認知度

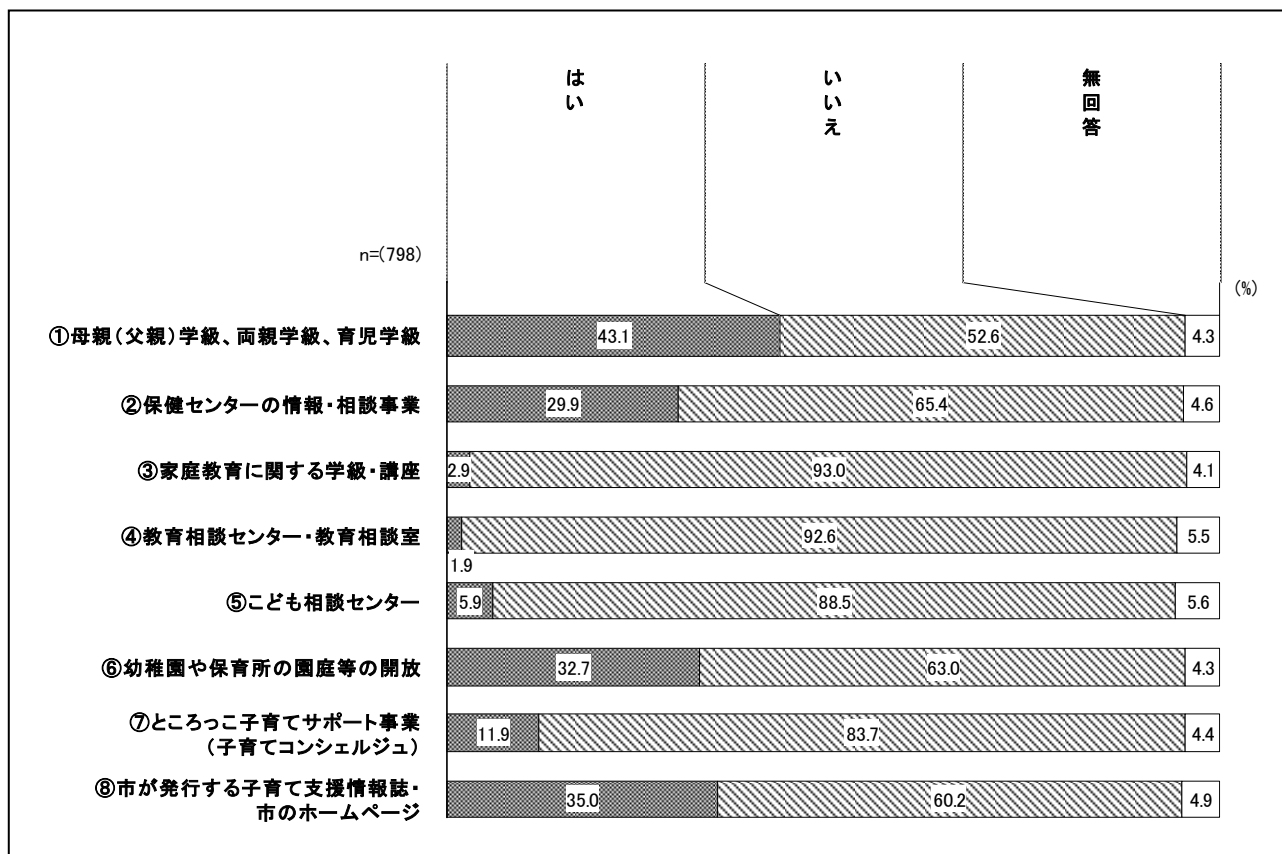
子育て支援事業の認知は、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が83.5%と最も高く、次いで、「保健センターの情報・相談事業」が78.1%、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が77.4%、「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が65.8%、「ところっこ子育てサポート事業（子育てコンシェルジュ）」が50.9%、「こども相談センター」が50.3%となっている。その他の事業としては、あそぼう会、ひよっこ、ルピナスなどの回答があった。





②利用状況

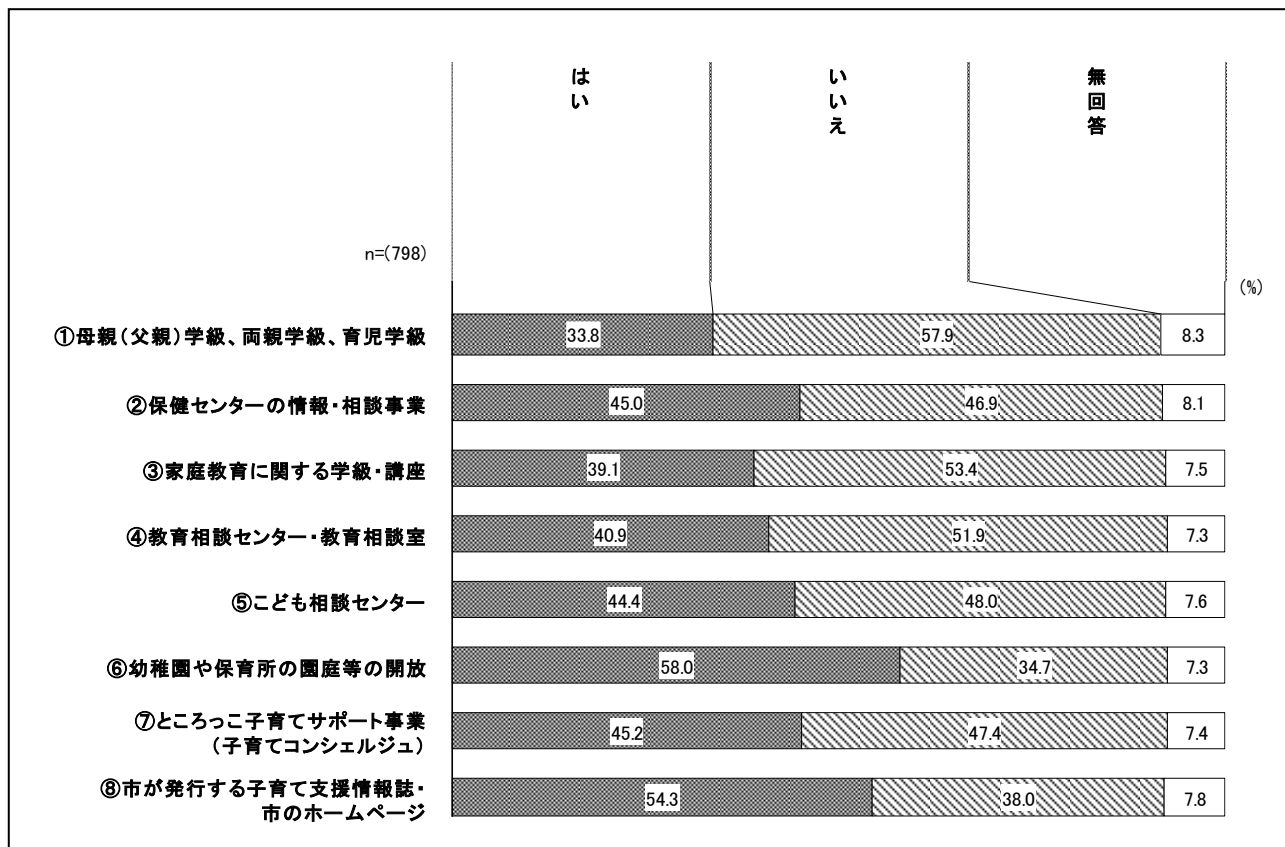
子育て支援事業の利用状況は、「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が43.1%と最も高く、次いで「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が35.0%、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が32.7%、「保健センターの情報・相談事業」が29.9%となっている。



## 第2章 調査結果

### ③今後の利用希望

子育て支援事業の利用希望は、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が58.0%、「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が54.3%と各5割以上で上位となっており、次いで「ところっこ子育てサポート事業（子育てコンシェルジュ）」が45.2%、「保健センターの情報・相談事業」が45.0%、「こども相談センター」が44.4%、「教育相談センター・教育相談室」が40.9%と4割以上となっている。



## 5. 土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

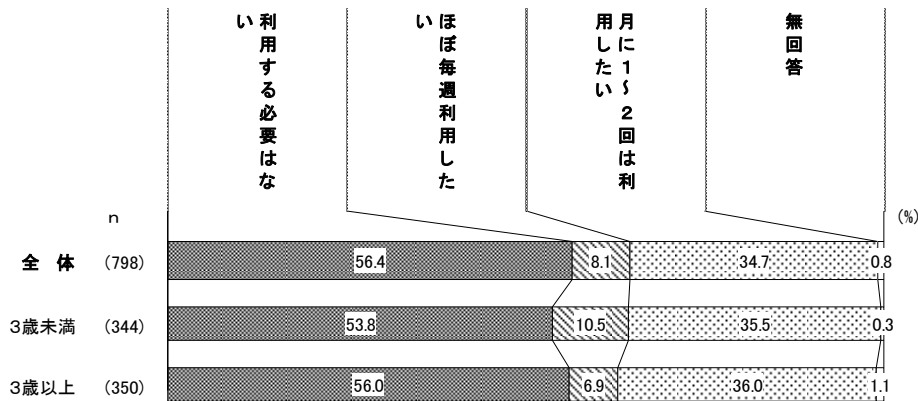
### (1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（それぞれ〇は1つ）  
 また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、□枠内に数字でご記入ください。  
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

#### ①土曜日

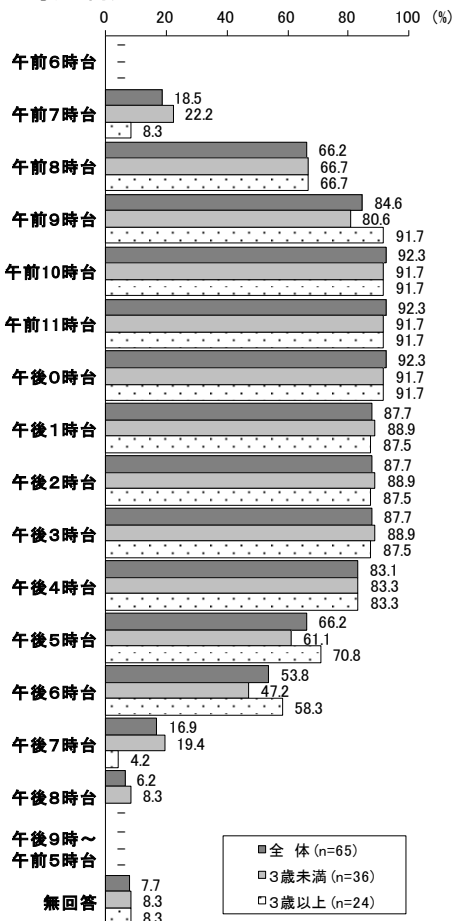
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」34.7%と「ほぼ毎週利用したい」8.1%の合計で42.8%となっている。

#### ■利用希望

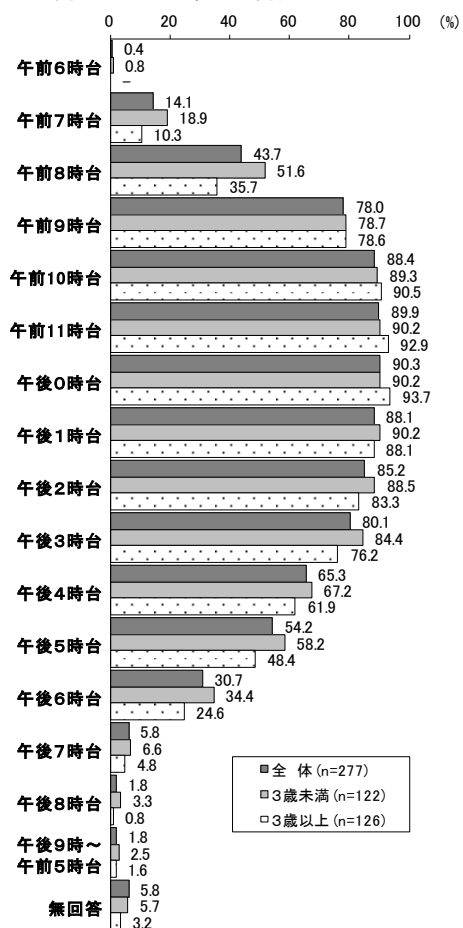


#### ■希望利用時間帯

##### <ほぼ毎週利用したい>



##### <月に1～2回は利用したい>

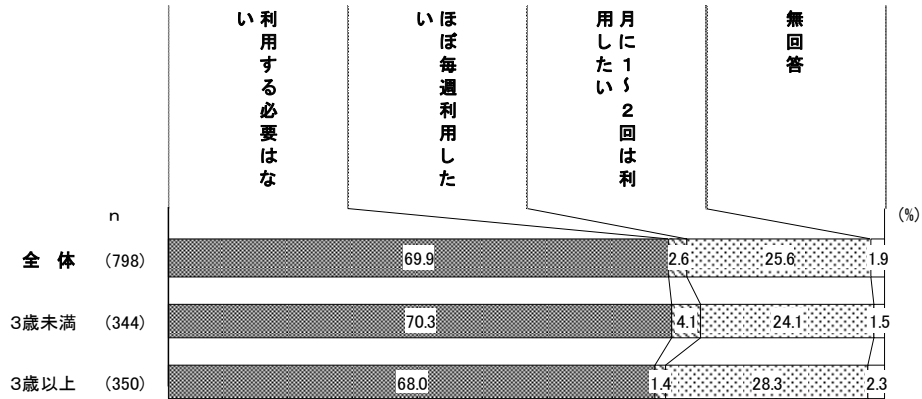


## 第2章 調査結果

### ②日曜日・祝日

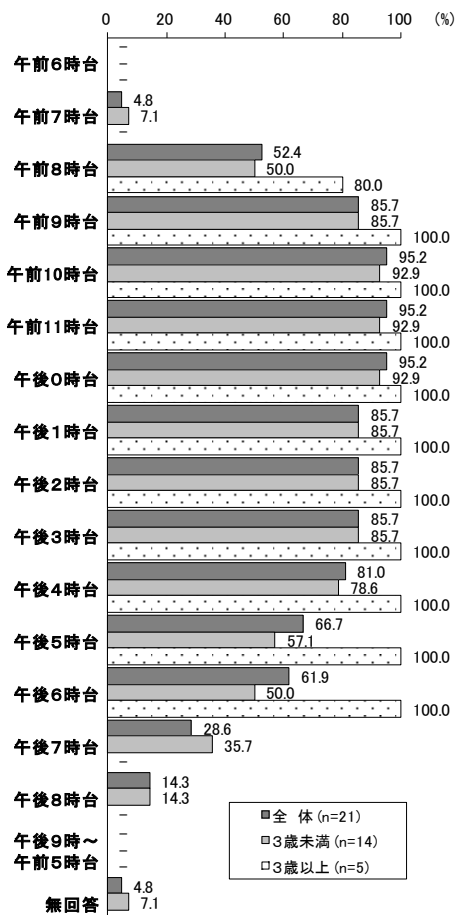
日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」25.6%と「ほぼ毎週利用したい」2.6%の合計で28.2%となっている。

#### ■利用希望

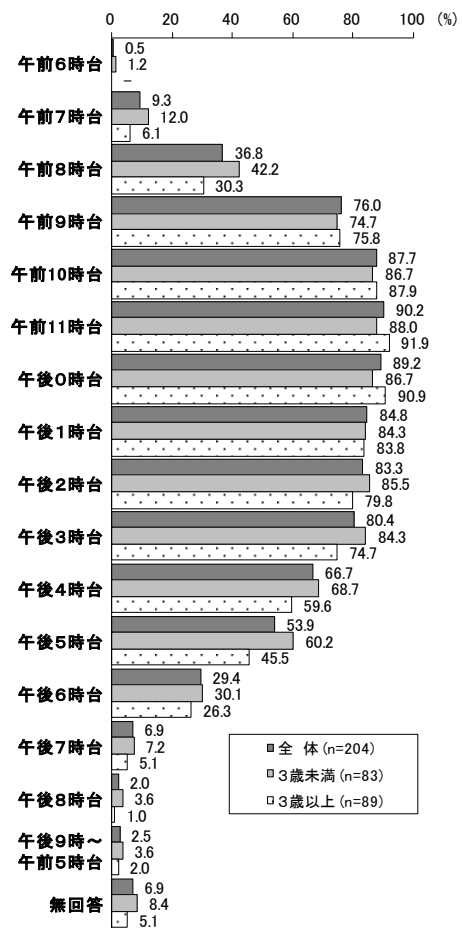


#### ■希望利用時間帯

##### <ほぼ毎週利用したい>



##### <月に1～2回は利用したい>

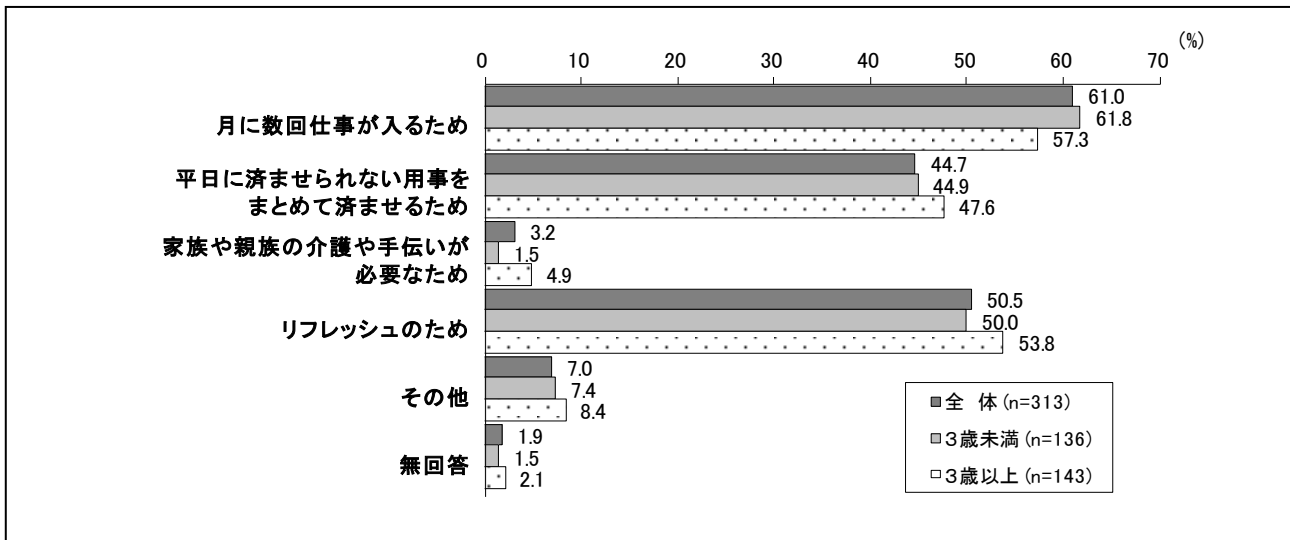


(2) 土曜日または日曜日・祝日で、たまに利用したい理由

問16の土曜日または日曜日・祝日で、「3」（月に1～2回は利用したい）を選択した方にうかがいます。

問16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

土曜日または日曜日・祝日に毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が61.0%と最も高く、次いで「リフレッシュのため」が50.5%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が44.7%と続いている。



(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

現在、「幼稚園」を利用されている方（問11-1で「1」（幼稚園）を選んだ方）にうかがいます。

問17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は1つ）

希望がある場合（「2」または「3」を選んだ場合）は、利用したい時間帯をご記入ください。

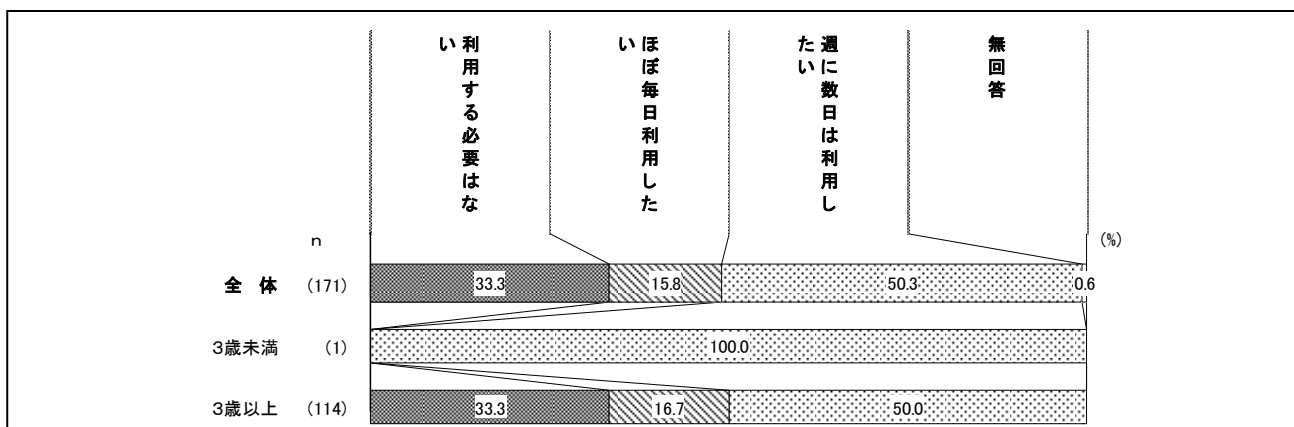
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用料（1時間）：私立幼稚園 施設により月極や回数払い

（無償化2・3号認定を受けた場合、1日当たり450円まで無償）

①利用希望

幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は、「週に数日は利用したい」が50.3%、「ほぼ毎日利用したい」が15.8%となり、合計で66.1%となっている。

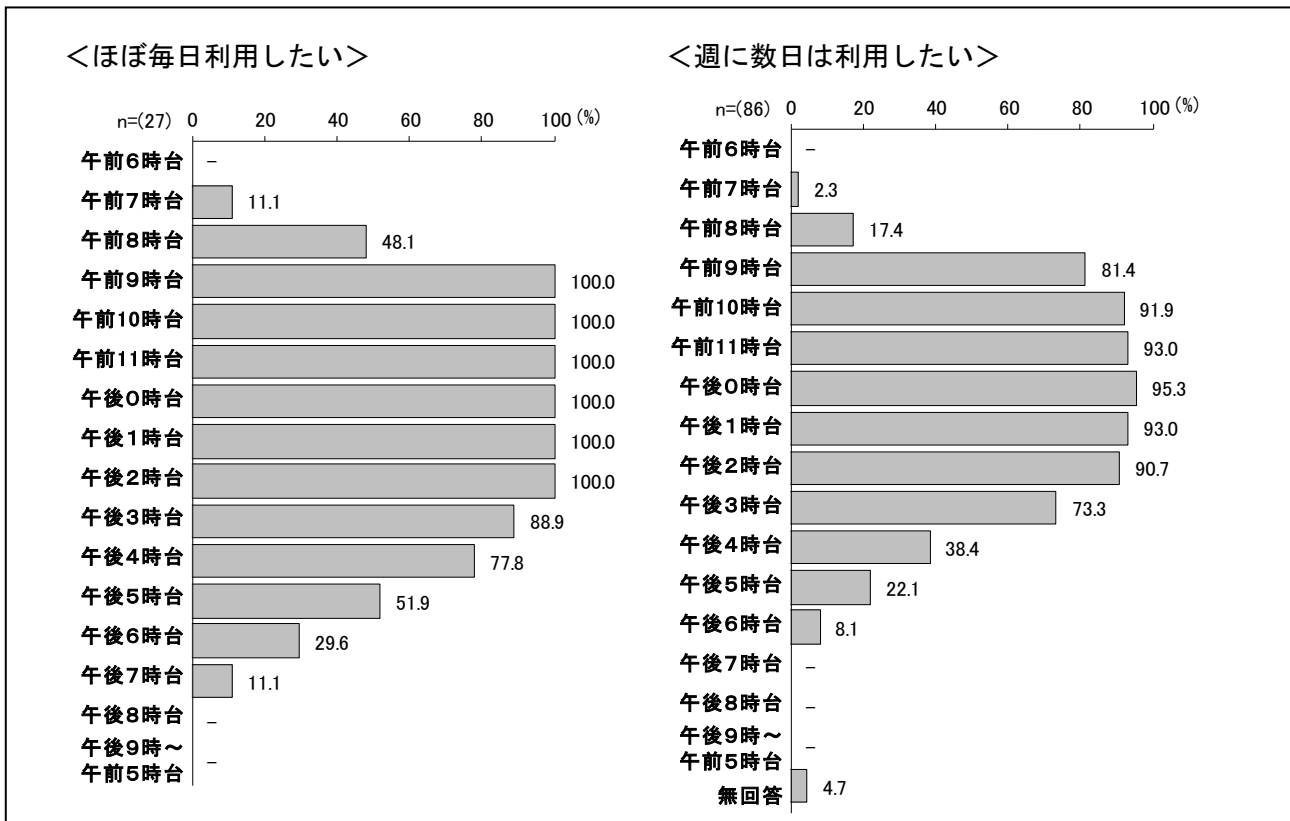


## 第2章 調査結果

### ②希望利用時間帯

「ほぼ毎日利用したい」場合の利用希望時間帯は、定期的な保育・教育事業での土曜日、日曜日・祝日の利用とほぼ同様の傾向がみられる。

一方で、「週に数日は利用したい」場合は、「ほぼ毎日利用したい」に比べて「午後4時台」は38.4%と半減している。

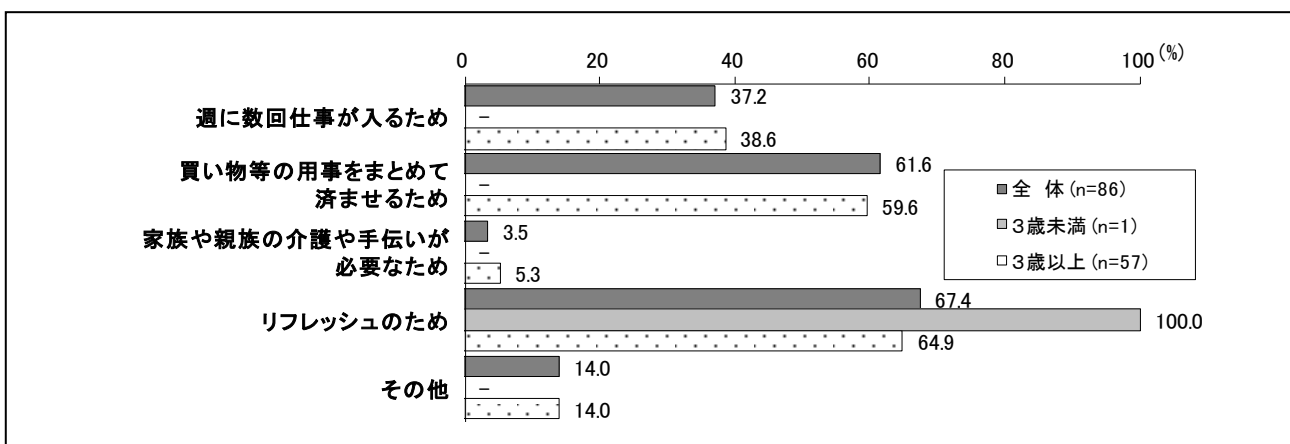


### (4) 幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を週に数日利用したい理由

問17で、「3」（週に数日は利用したい）を選択した方にかがいます。

問17-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「リフレッシュのため」が67.4%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が61.6%と6割以上と特に高くなっており、次いで「週に数回仕事が入るため」が37.2%となっている。



## 6. 子どもの病気の際の対応

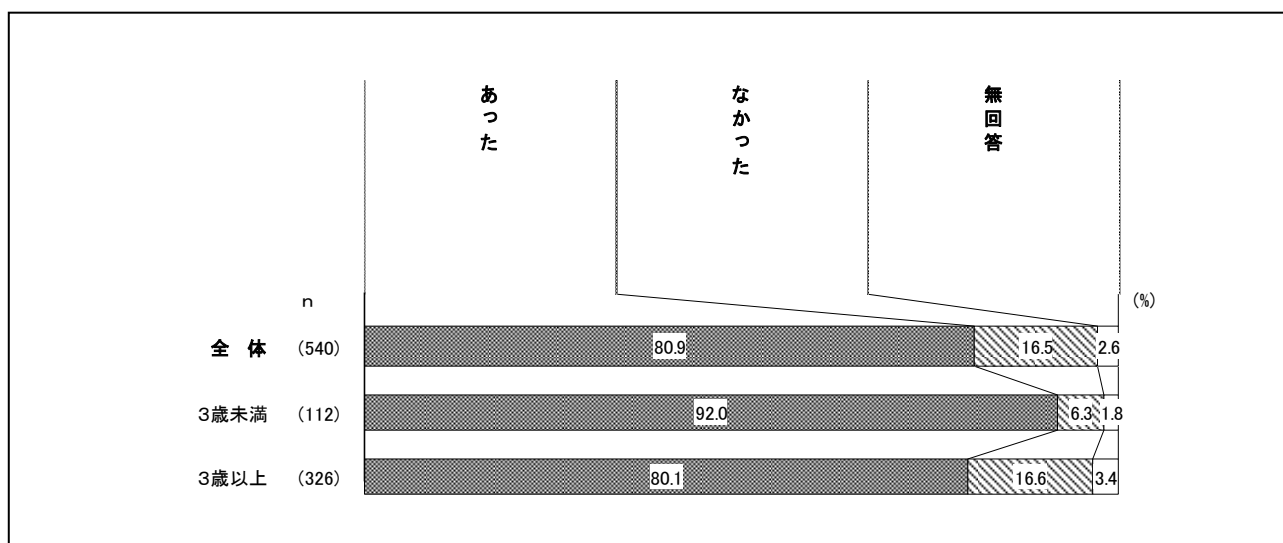
### (1) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかったことの有無

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している保護者の方（問11で、「1」（利用している）を選択した方）にうかがいます。※利用していっらない方は、問19にお進みください。

問18 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

※事業の利用が1年に満たない場合は、入所・入園からの期間でお答えください。

子どもが病気やケガで事業が利用できなかったことの有無は、「あった」が80.9%と高くなっている。



## 第2章 調査結果

### (2) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法

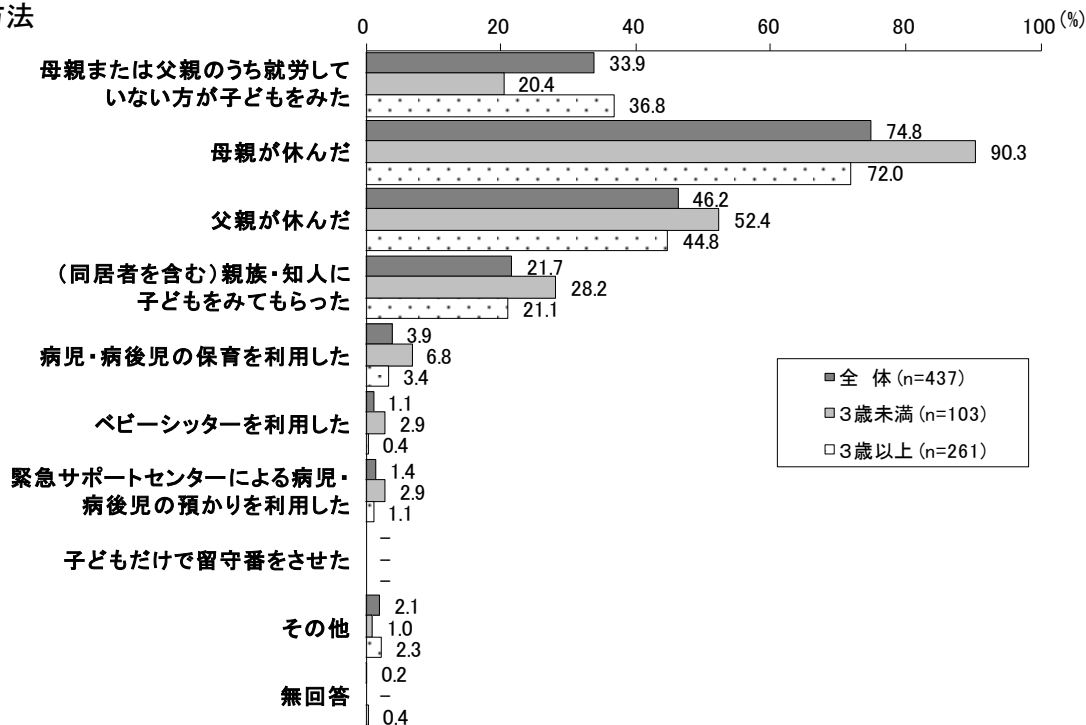
問18で、「1」（あった）を選択した方にうかがいます。

問18-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数（おおよそ）も口枠内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法は、「母親が休んだ」が74.8%と最も高く、次いで「父親が休んだ」が46.2%、「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」が33.9%、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」が21.7%となっている。

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処別年間平均日数は、「母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた」が15.1日で最も多く、次いで「母親が休んだ」13.7日、「父親が休んだ」7.4日、「（同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった」7.2日となっている。

#### ① 対処方法



#### ② 年間平均日数

対処方法	回答者数 (人)	平均 (日)
母親または父親のうち就労していない方が子どもをみた	148	15.1
母親が休んだ	327	13.7
父親が休んだ	202	7.4
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	95	7.2
病児・病後児の保育を利用した	17	4.6
ベビーシッターを利用した	5	3.4
緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した	6	1.5
子どもだけで留守番をさせた	0	0.0
その他	9	9.7



(3) 病児・病後児保育の利用希望

問18-1で、「1」～「3」のいずれかを選択した方にうかがいます。

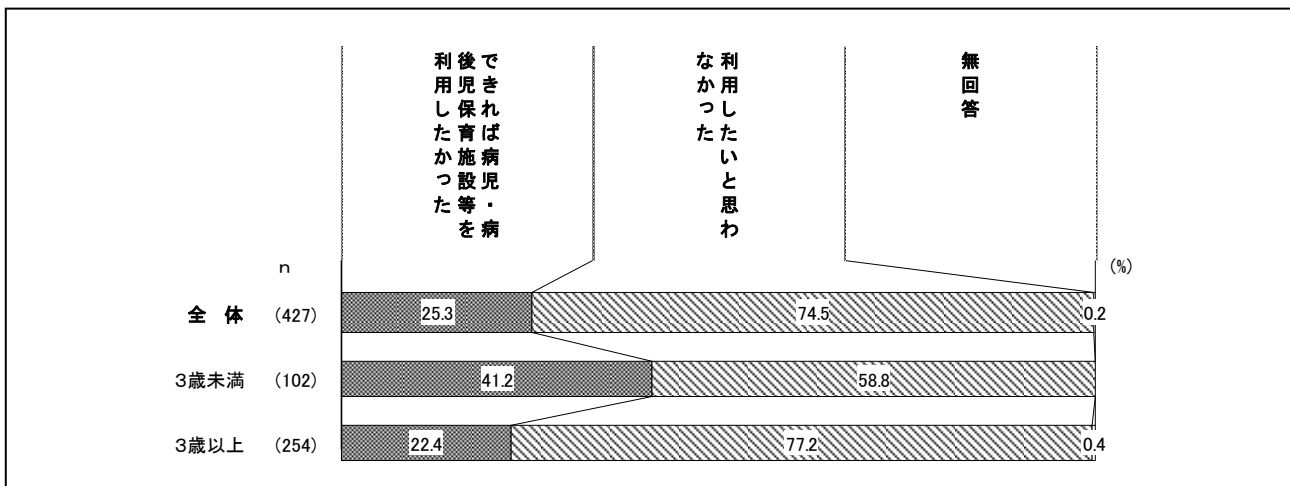
問18-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口枠内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児保育の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。病児・病後児保育利用料(日額)：2,000円+飲食物費実費

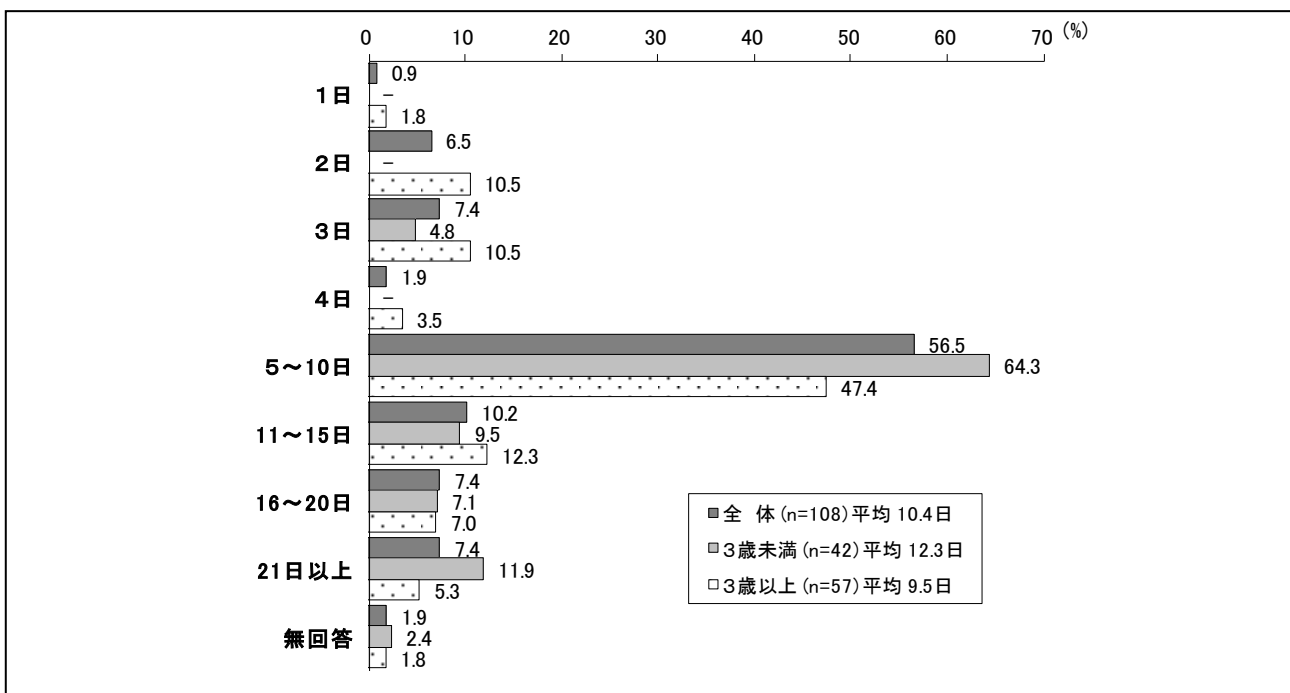
①利用希望

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際、母親または父親が対処していると回答した人の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わなかった」が74.5%「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」が25.3%となっている。



②利用希望日数

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と回答した人の利用希望日数は、「5～10日」が56.5%と最も高く、平均10.4日となっている。



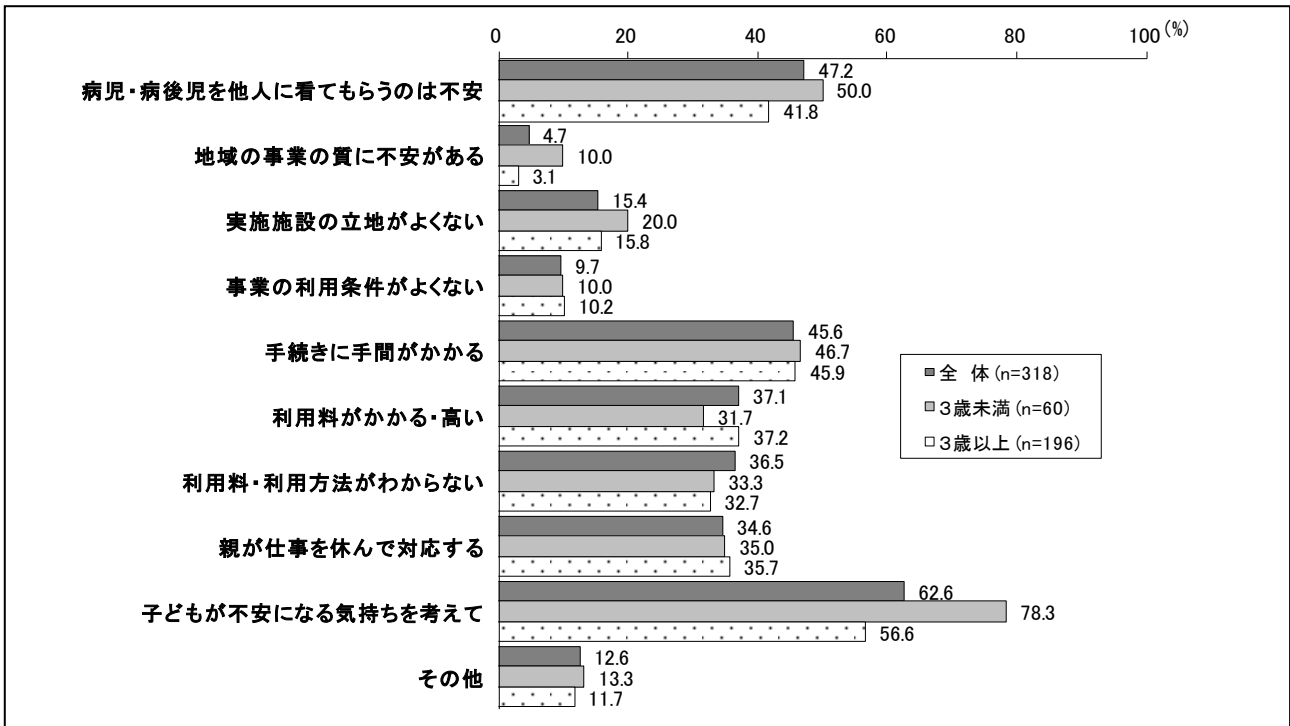
## 第2章 調査結果

### (4) 病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由

問18-2で、「2」（利用したいと思わなかった）を選択した方にうかがいます。

問18-3 そう思われる理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由は、「子どもが不安になる気持ちを考えて」が62.6%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が47.2%、「手続きに手間がかかる」が45.6%となっている。

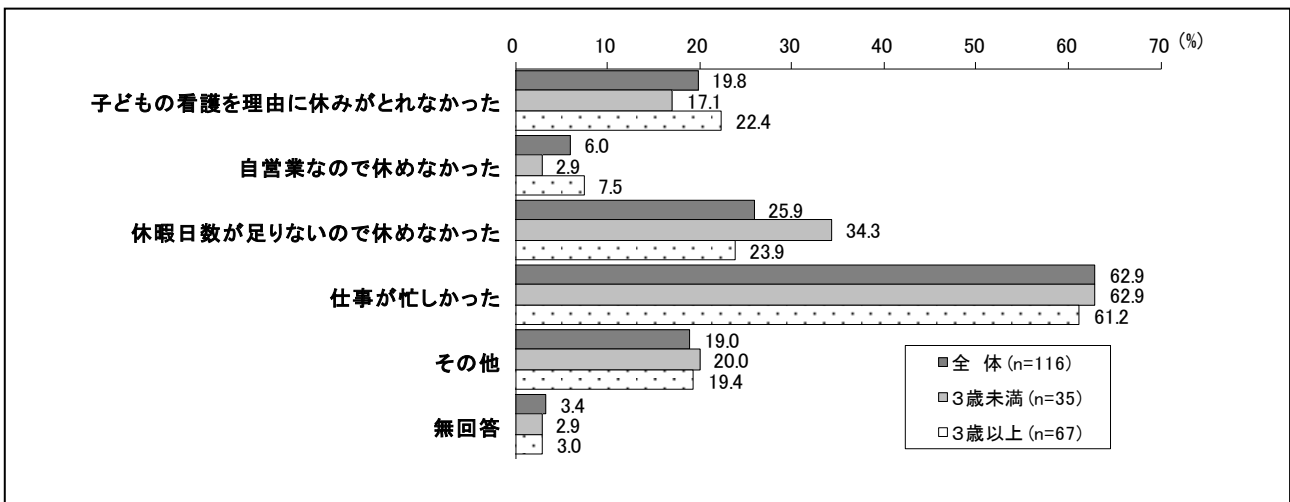


### (5) 母親・父親以外が対処した理由

問18-1で、「4」～「9」（母親・父親以外が対処）のいずれかを選択した方にうかがいます。

問18-4 そうされた理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

母親・父親以外が対処した理由は、「仕事が忙しかった」が62.9%と最も高く、次いで「休暇日数が足りないので休めなかった」が25.9%となっている。



## 7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況

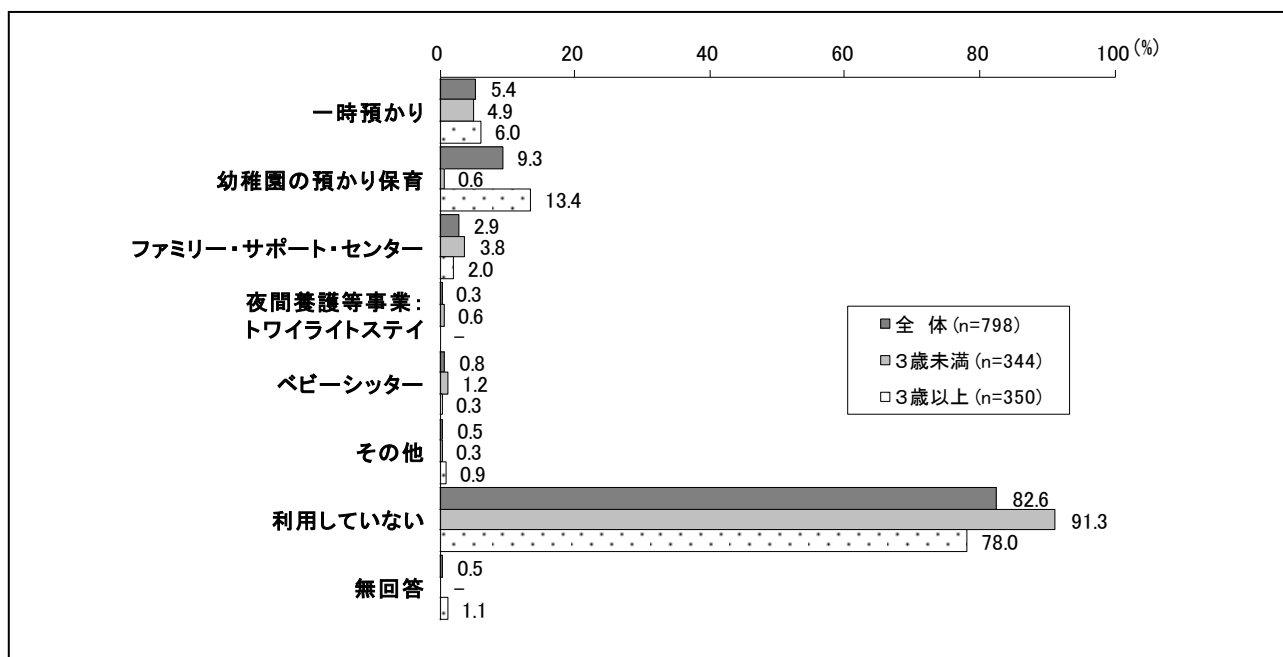
## (1) 不定期の教育・保育事業の利用状況

問19 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(当てはまるものすべてに○)  
また、1年間の利用日数(おおよそ)も口枠内に数字でご記入ください。

## ①利用状況

不定期の教育・保育事業を「利用していない」が82.6%となっている。

不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が9.3%と最も高く、次いで「一時預かり」が5.4%となっている。



## ②年間平均利用日数

不定期に利用している教育・保育事業の年間平均利用日数は、「幼稚園の預かり保育」が27.7日、「一時預かり」が23.1日、「ファミリー・サポート・センター」が17.8日となっている。

事業種別	回答者数 (人)	平均(日)
一時預かり	43	23.1
幼稚園の預かり保育	74	27.7
ファミリー・サポート・センター	23	17.8
夜間養護等事業: トワイライトステイ	2	16.0
ベビーシッター	6	14.5
その他	4	5.8

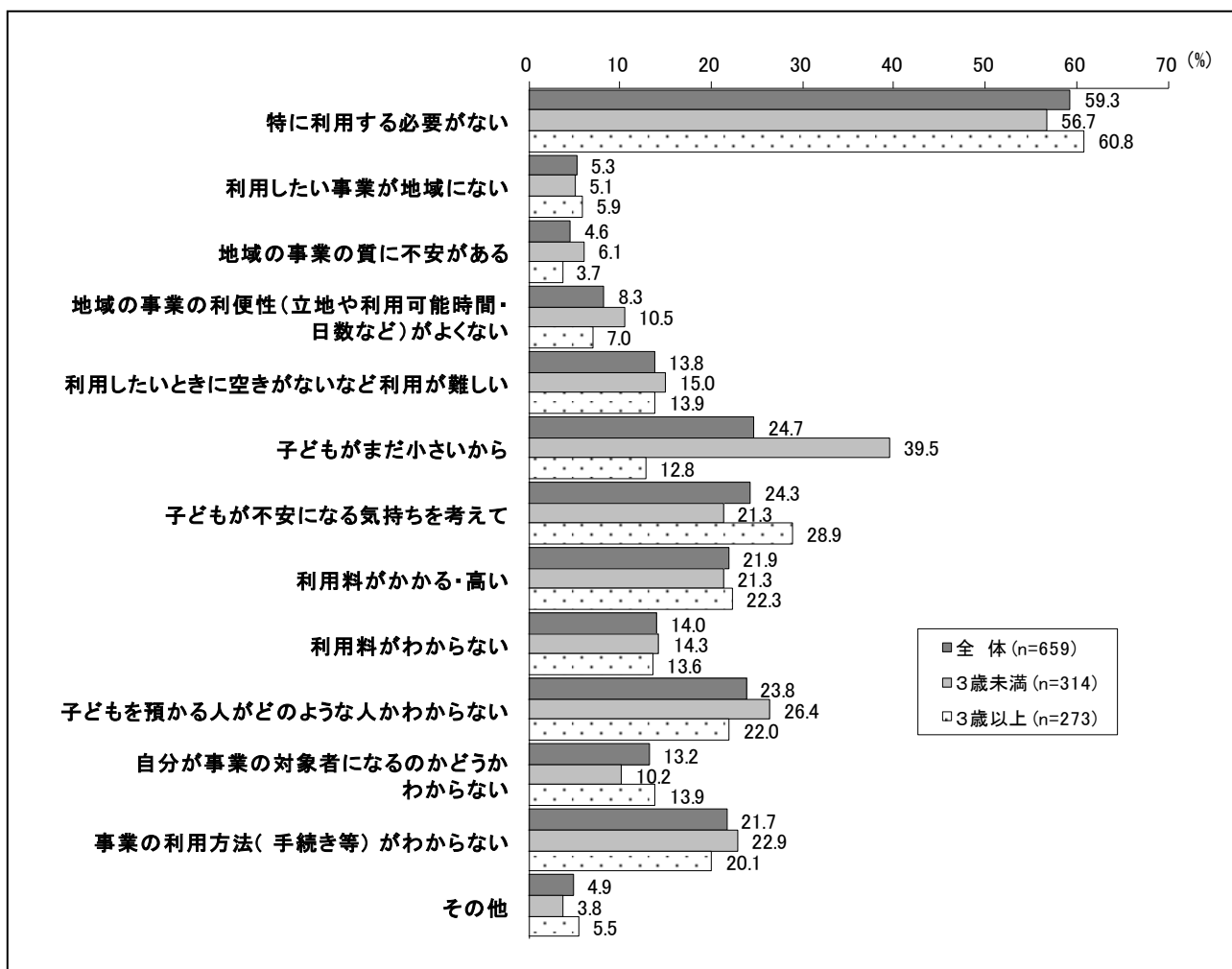
## 第2章 調査結果

### (2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問19で、「7」(.利用していない)と回答した方にうかがいます。

問19-1 現在利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が59.3%と最も高く、次いで「子どもがまだ小さいから」が24.7%、「子どもが不安になる気持ちを考えて」が24.3%、「子どもを預かる人がどのような人かわからない」が23.8%となっている。



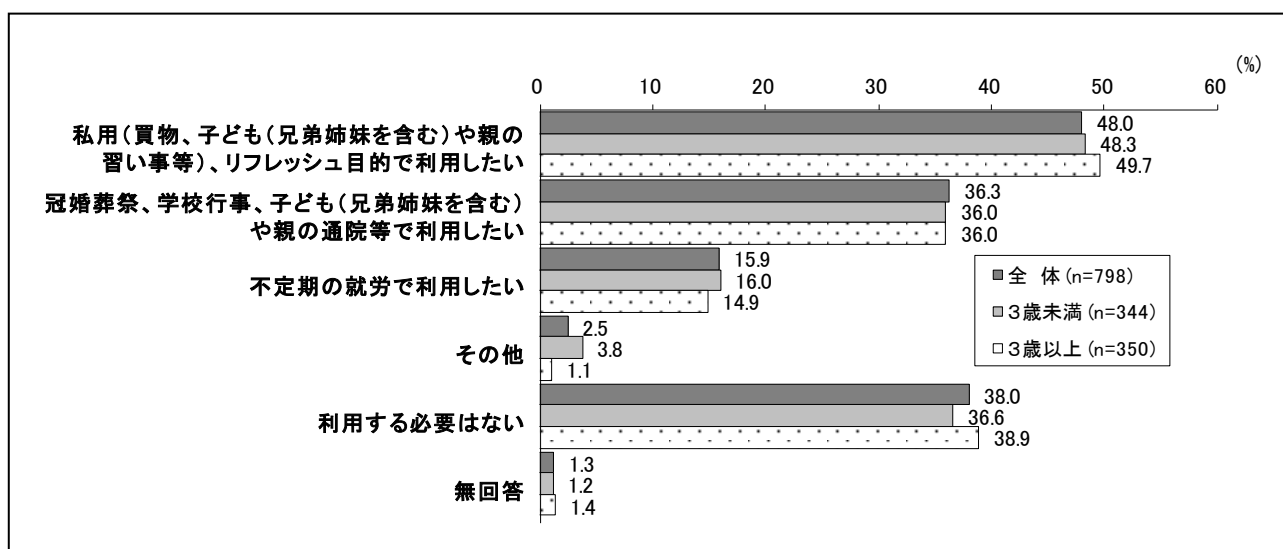
(3) 不特定の教育・保育事業の利用希望

問20 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、今後1年間で何日くらい  
 問19の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号すべてに  
○をつけ、目的別に必要な日数を口枠内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①利用を希望する理由

利用を希望する目的は、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい」が48.0%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等で利用したい」が36.3%、「不特定の就労で利用したい」が15.9%となっている。「その他」としては、家事、勉強、ボランティア活動、急な用事、障害があるため、不妊治療などの回答があった。



②平均利用希望日数

不特定の教育・保育事業の平均利用希望日数は、「不特定の就労で利用したい」が30.0日、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的で利用したい」が12.1日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等で利用したい」が8.1日、「その他」が42.1日となっている。

	回答者数 (人)	平均(日)
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的で利用したい	383	12.1
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等で利用したい	290	8.1
不特定の就労で利用したい	127	30.0
その他	20	42.1

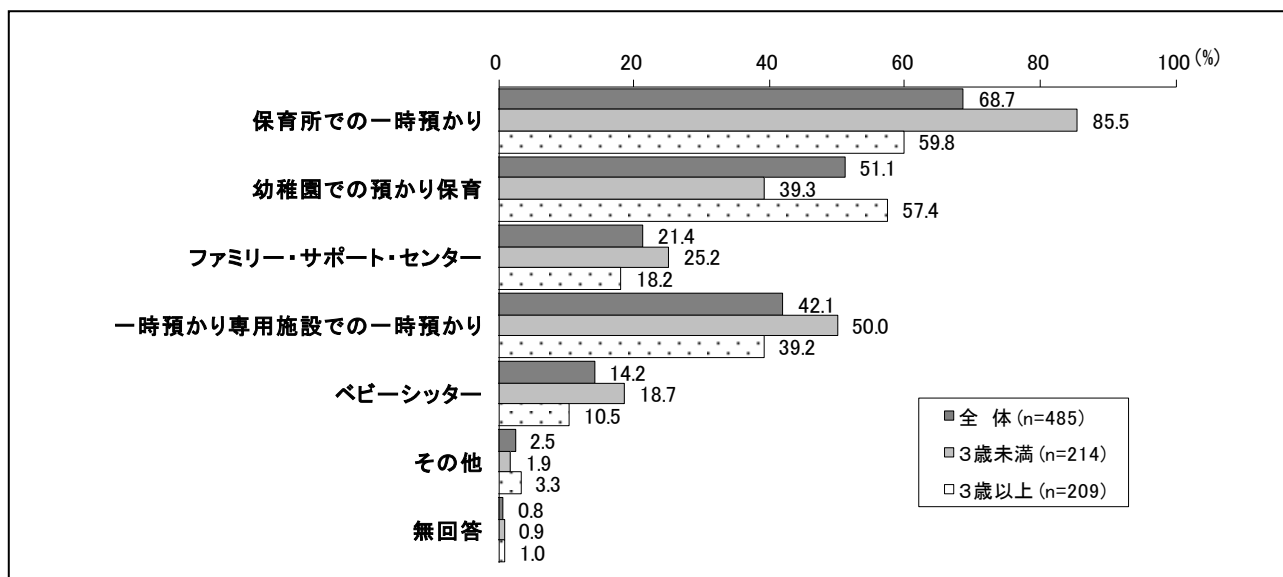
## 第2章 調査結果

### (4) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

問20で、「1」～「4」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問20-1 問20の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(当てはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態は、「保育所での一時預かり」が68.7%と最も高く、次いで「幼稚園での預かり保育」が51.1%、「一時預かり専用施設での一時預かり」が42.1%となっている。



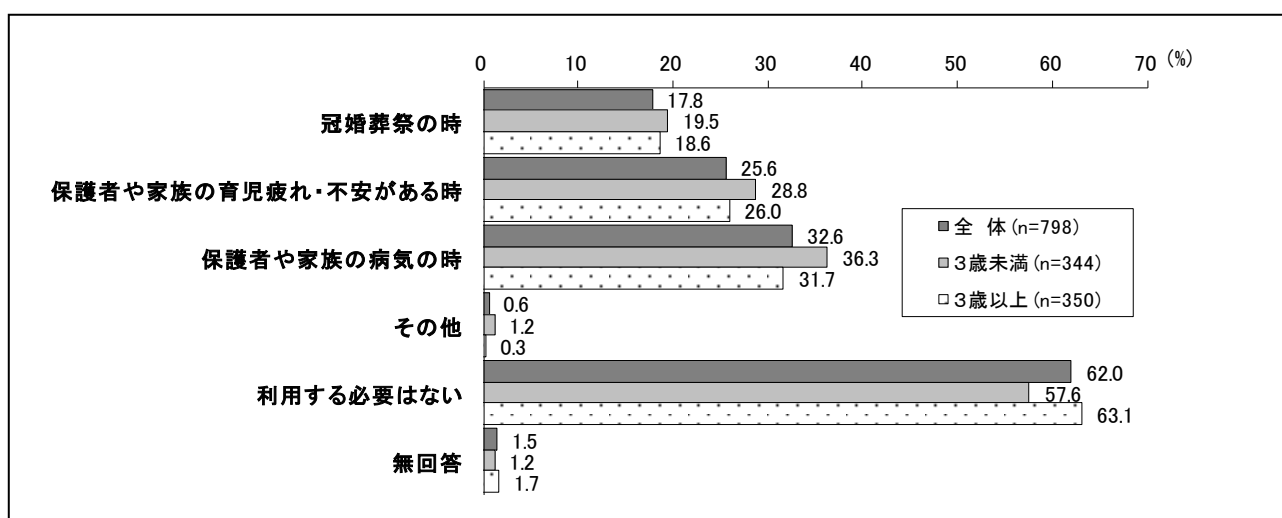
(5) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

問21 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子育て短期支援事業（ショートステイ）（里親宅等に児童を預け、一定期間養育する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

①利用希望

具体的な利用希望の理由としては、「保護者や家族の病気の時」が32.6%、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が25.6%、「冠婚葬祭の時」が17.8%となっている。



②平均利用希望泊数

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがある場合の必要な年間の平均泊数は、「保護者や家族の病気の時」が4.5泊、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が4.0泊、「冠婚葬祭の時」が2.0泊、「その他」が6.5泊となっている。

理由	回答者数 (人)	平均(泊)
冠婚葬祭の時	142	2.0
保護者や家族の育児疲れ・不安がある時	204	4.0
保護者や家族の病気の時	260	4.5
その他	5	6.5

## 8. 小学校就学後の放課後の過ごし方

### (1) 放課後過ごさせたい場所

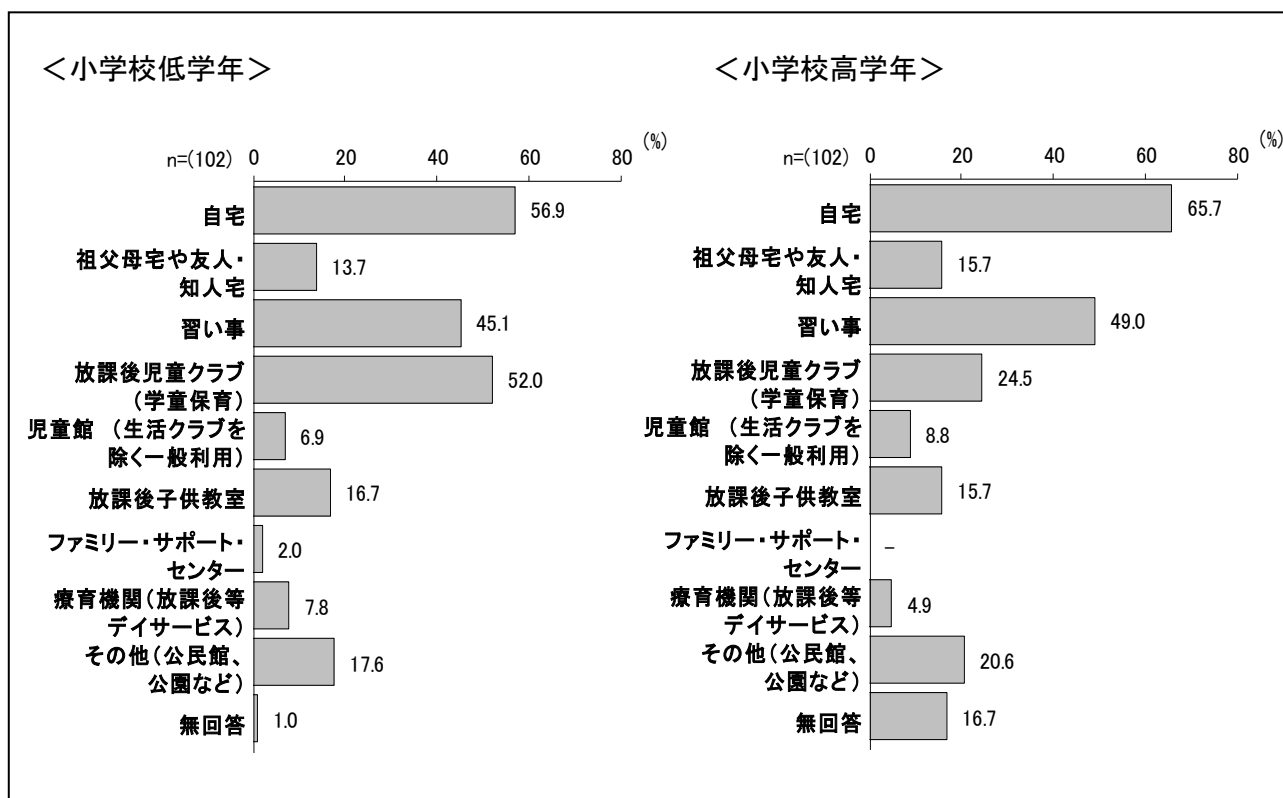
問22 宛名のお子さんについて、小学校に就学したら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する週当たり日数を口枠内に数字でご記入ください。「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用を希望する時間も24時間制で口枠内に数字でご記入ください。

※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

#### ① 過ごさせたい場所

小学校就学後に放課後過ごさせたい場所は、低学年の間では「自宅」が56.9%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が52.0%と5割以上となっており、次いで「習い事」が45.1%となっている。

高学年の間では、「自宅」が65.7%と最も高く、次いで「習い事」が49.0%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が24.5%となっている。





## ②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

低学年の間で過ごさせたい主な場所の1週間の平均日数をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が4.5日、「自宅」が3.4日、「習い事」が1.9日となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望時間は「午後6時まで」が45.3%と最も高くなっている。

高学年の間では、「放課後児童クラブ（学童保育）」が3.6日、「自宅」が3.1日、「習い事」が2.3日となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望時間は「午後6時まで」が40.0%と最も高くなっている。

## &lt;小学校低学年&gt;

	回答者数 (人)	平均(日)
自宅	58	3.4
祖父母宅や友人・知人宅	14	1.6
習い事	46	1.9
放課後児童クラブ(学童保育)	53	4.5
児童館（生活クラブを除く一般利用）	7	2.4
放課後子供教室	17	2.7
ファミリー・サポート・センター	2	2.0
療育機関(放課後等デイサービス)	8	2.4
その他(公民館、公園など)	18	2.0

放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間 (単位:%)

回答者数 (人)	午後3時 まで	午後4時 まで	午後5時 まで	午後6時 まで	午後7時 まで	午後8時 まで	午後9時 以降まで	無回答
53	0.0	11.3	15.1	45.3	24.5	0.0	1.9	1.9

## &lt;小学校高学年&gt;

	回答者数 (人)	平均(日)
自宅	67	3.1
祖父母宅や友人・知人宅	16	1.8
習い事	50	2.3
放課後児童クラブ(学童保育)	25	3.6
児童館（生活クラブを除く一般利用）	9	2.3
放課後子供教室	16	3.0
ファミリー・サポート・センター	0	0.0
療育機関(放課後等デイサービス)	5	2.6
その他(公民館、公園など)	21	2.0

放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間 (単位:%)

回答者数 (人)	午後3時 まで	午後4時 まで	午後5時 まで	午後6時 まで	午後7時 まで	午後8時 まで	午後9時 以降まで	無回答
25	0.0	8.0	16.0	40.0	24.0	0.0	4.0	8.0

## 第2章 調査結果

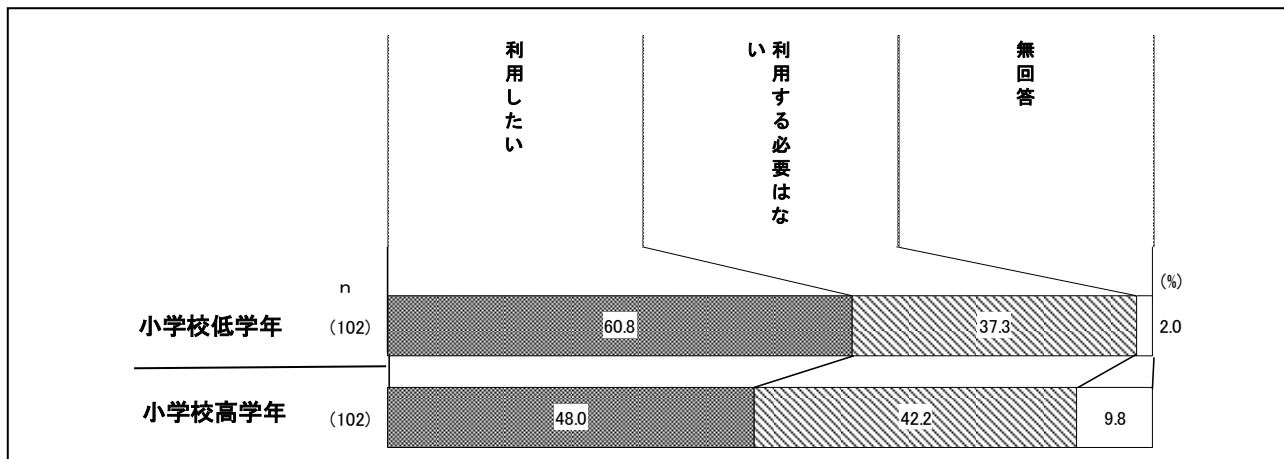
### (2) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望

問23 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（それぞれ〇は1つ）

「1」に〇をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、□枠内に数字でご記入ください。

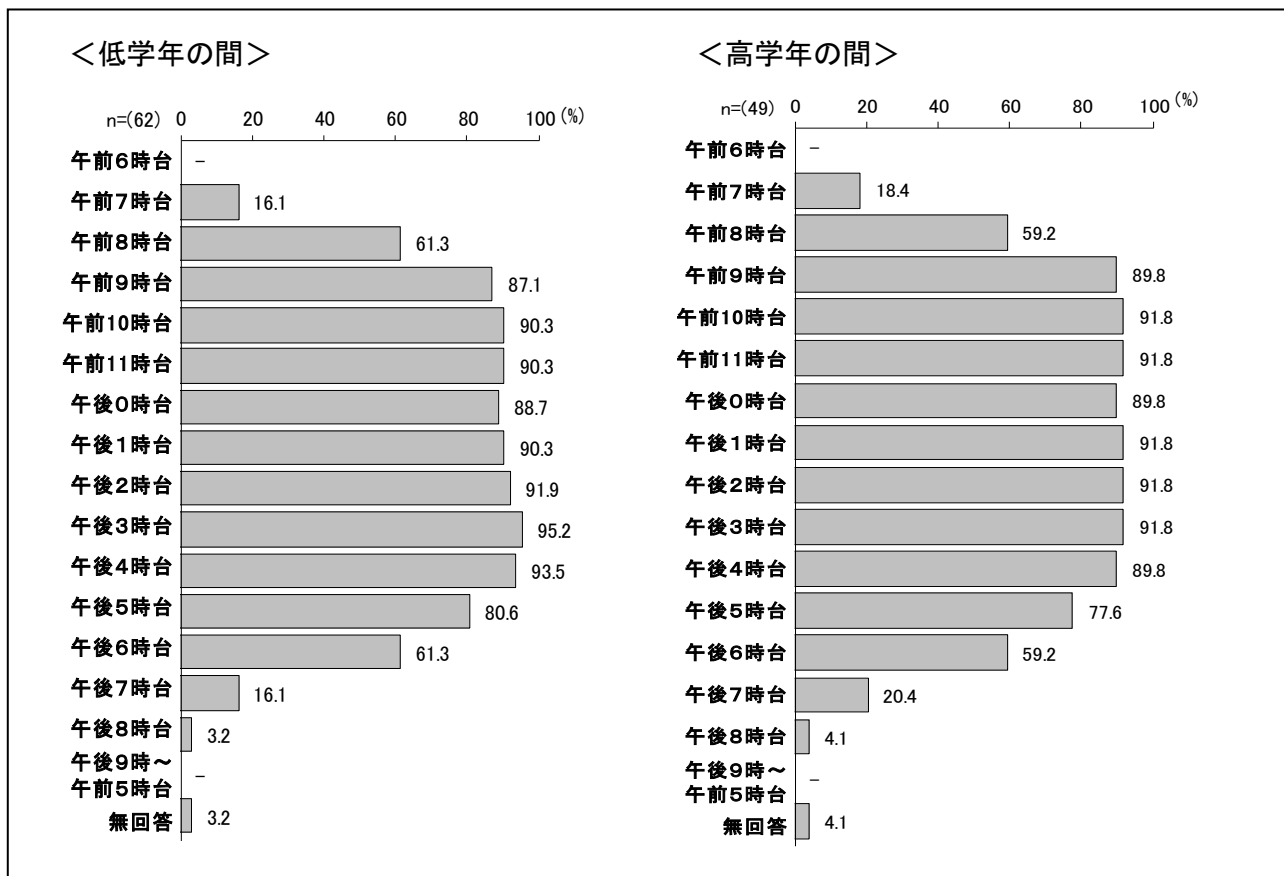
#### ■利用希望

長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、低学年の間は60.8%、高学年の間は48.0%となっている。



#### ■希望利用時間帯

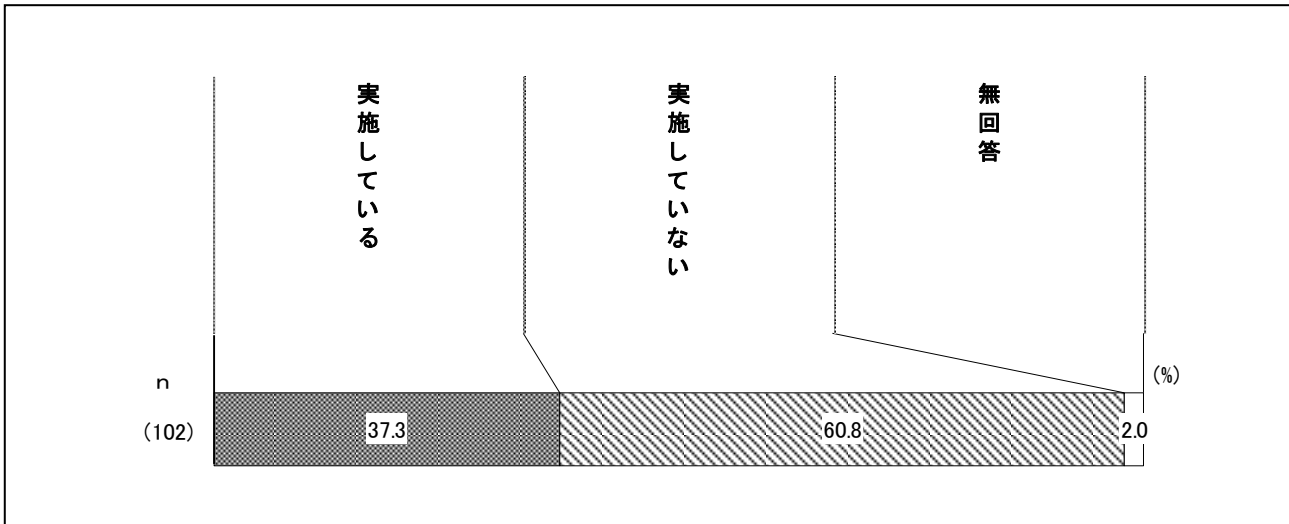
長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年の間と高学年の間ともに「午前9時台」から「午後4時台」までが9割前後となっている。



(3) 子どもが通う予定の小学校の「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況

問24 宛名のお子さんが通う予定の小学校では、「ほうかごところ・ほうかご広場」を実施していますか。(〇は1つ)

子どもが通う予定の小学校における「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況は、「実施している」が37.3%、「実施していない」が60.8%となっている。



(4) 「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用希望

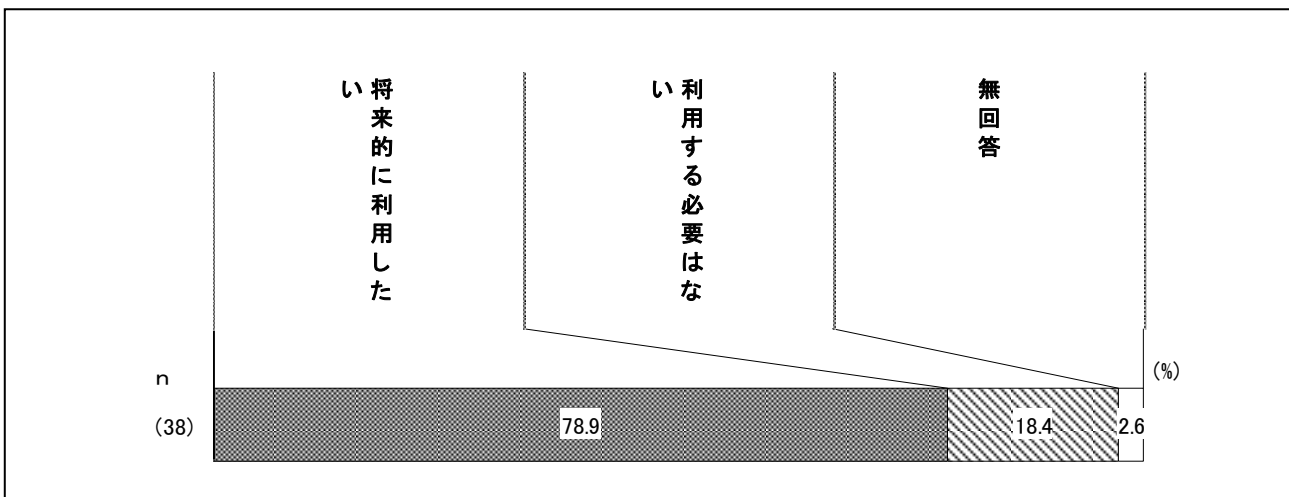
問24で、「1」(実施している)を選択した方にうかがいます。

問24-1 「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用したいと思いますか。当てはまる番号1つに〇をつけてください。

利用したい場合は、利用したい日数や時間帯を、24時間制で口枠内にご記入ください。

■利用希望

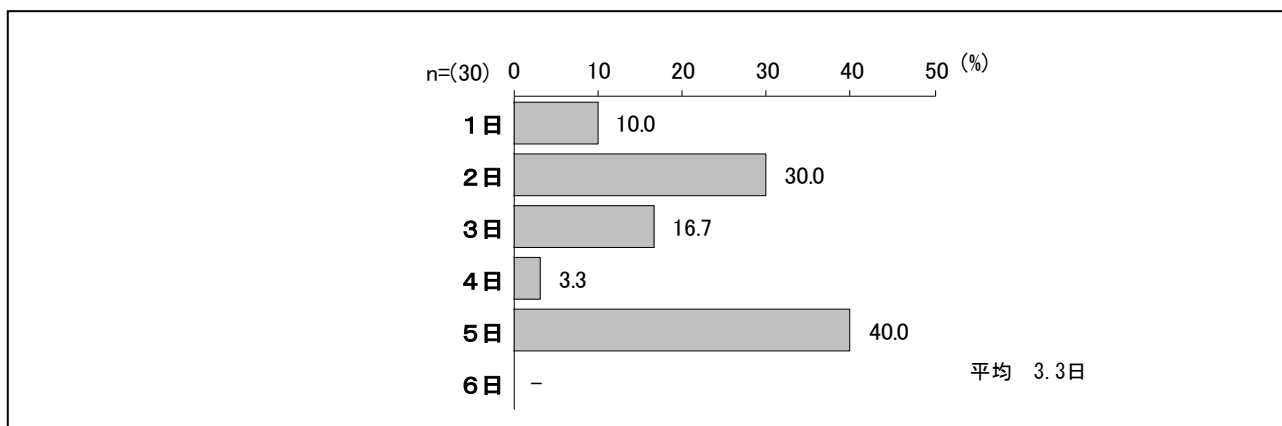
「ほうかごところ・ほうかご広場」を実施している小学校に通う予定の人の「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用希望は、「将来的に利用したい」が78.9%となっている。



## 第2章 調査結果

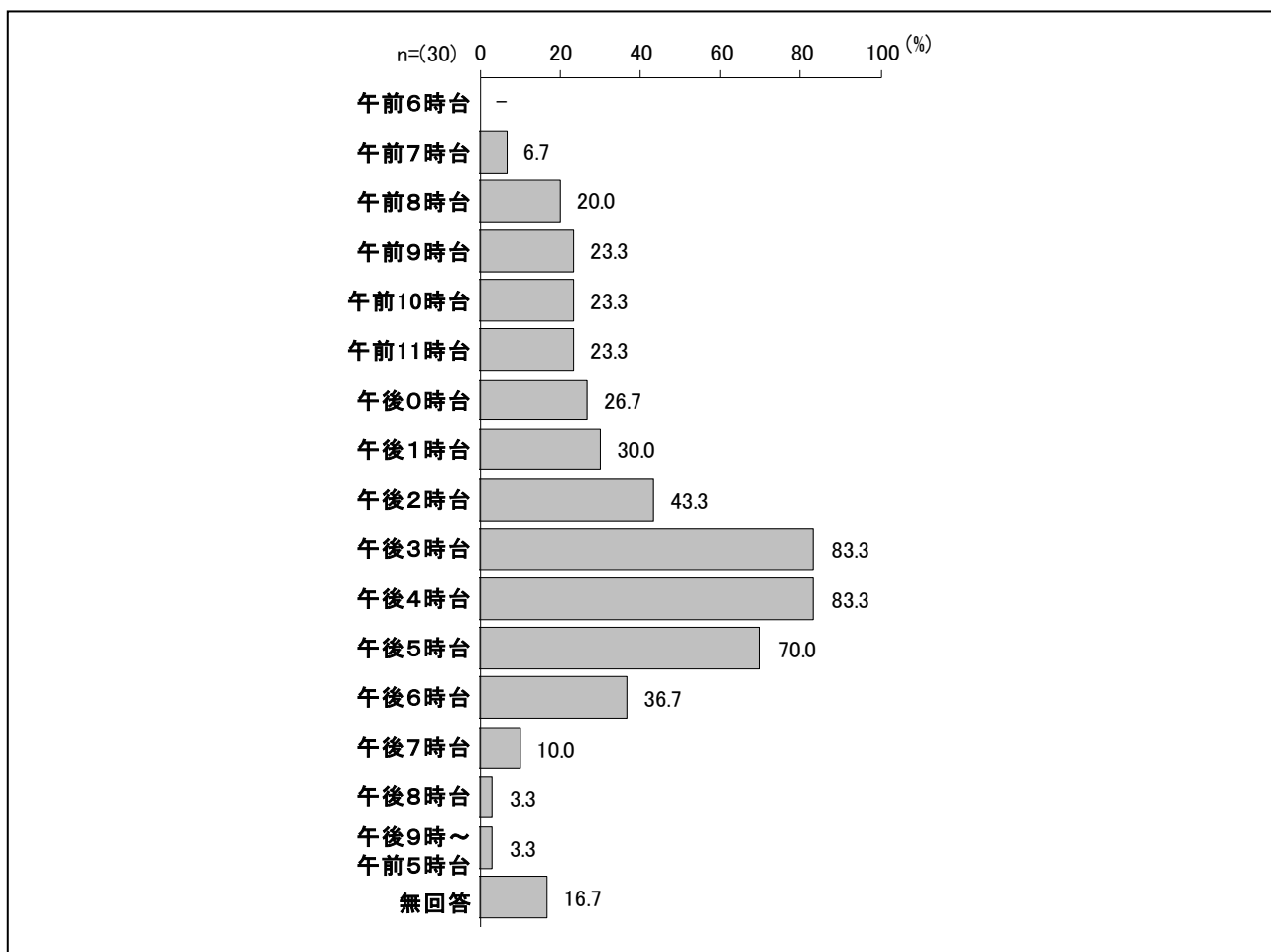
### ■利用希望日数

利用希望日数は、「週5日」が40.0%と最も高く、平均3.3日となっている。



### ■希望利用時間帯

希望利用時間帯は、低学年が授業を終える頃の「午後2時台」から増え始め、「午後6時台」までが多くなっている。

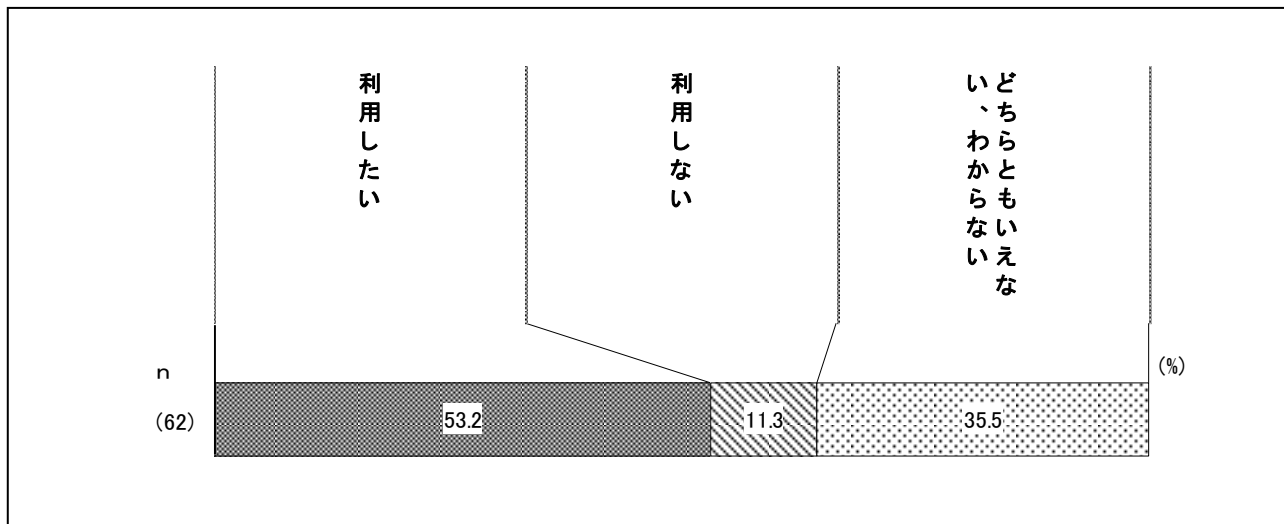


(5) 「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望の有無

問24で、「2」（実施していない）を選択した方にうかがいます。

問24-2 今後「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合、利用したいと思いますか。  
 (〇は1つ)

子どもが通う予定の小中学校で「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望は、「利用したい」が53.2%、「どちらともいえない、わからない」が35.5%、「利用しない」が11.3%となっている。



## 9. 子育てと職場の両立支援制度

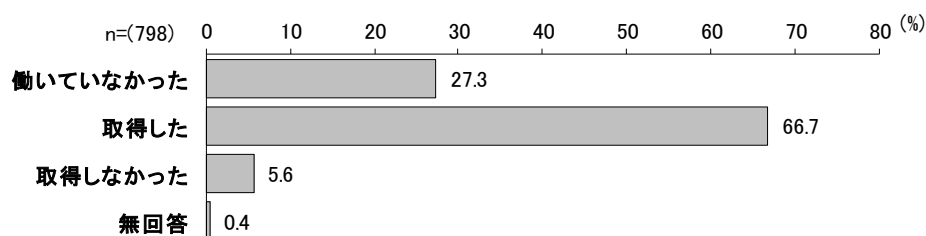
### (1) 育児休業の取得状況

問25 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

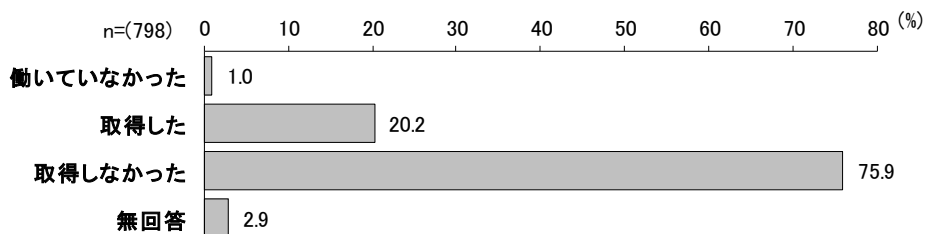
#### ① 育児休業の取得状況

育児休業の取得状況について、母親は「取得した」が66.7%、「働いていなかった」が27.3%、「取得しなかった」が5.6%となっている。一方、父親は「取得しなかった」が75.9%と最も高く、「取得した」は20.2%、「働いていなかった」は1.0%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】



②育児休業を取得しなかった理由

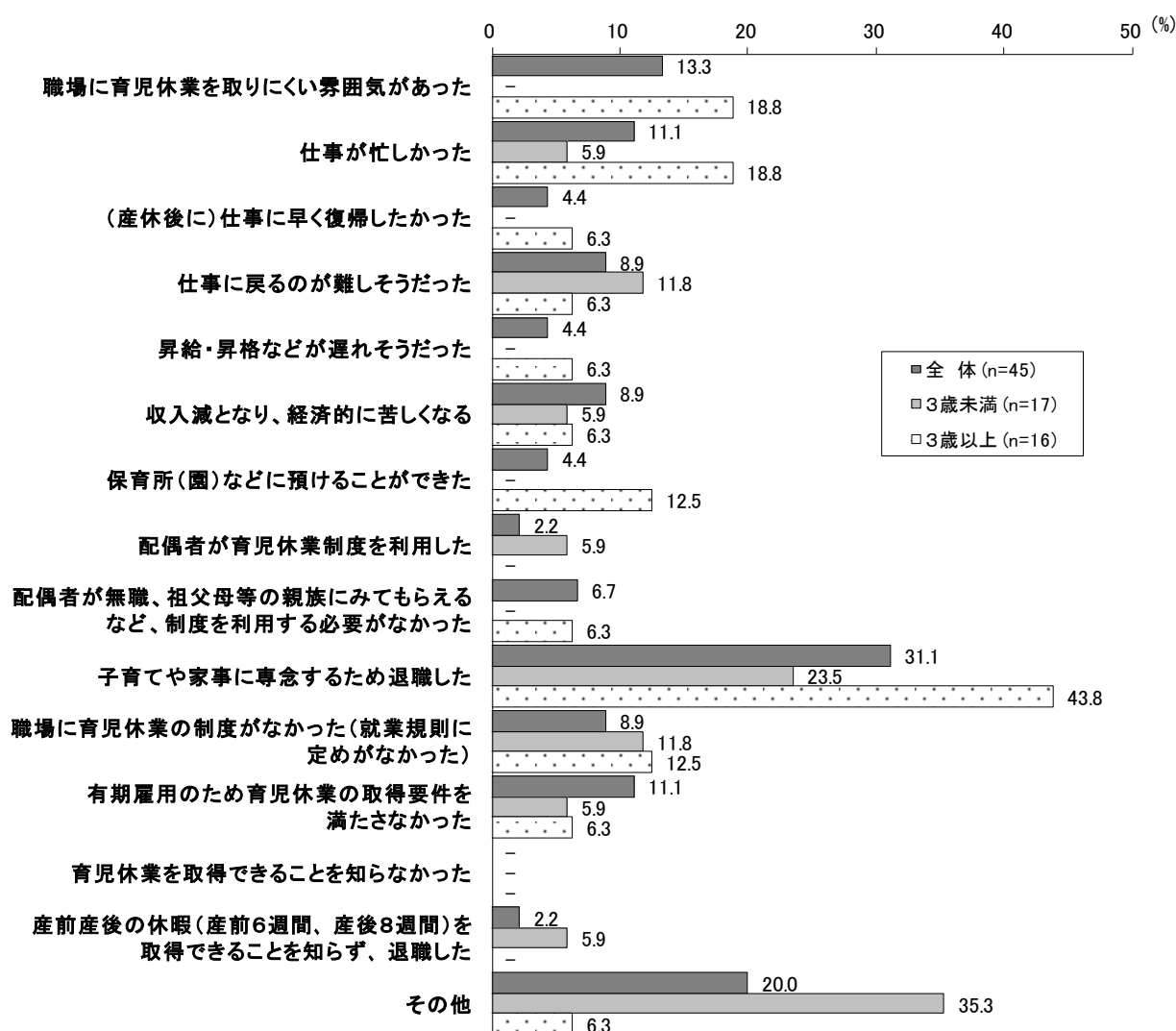
問25で、「3」（取得しなかった）を選択した方にうかがいます。

問25-1 取得しなかった理由をお選びください。

（当てはまるものすべてに○）

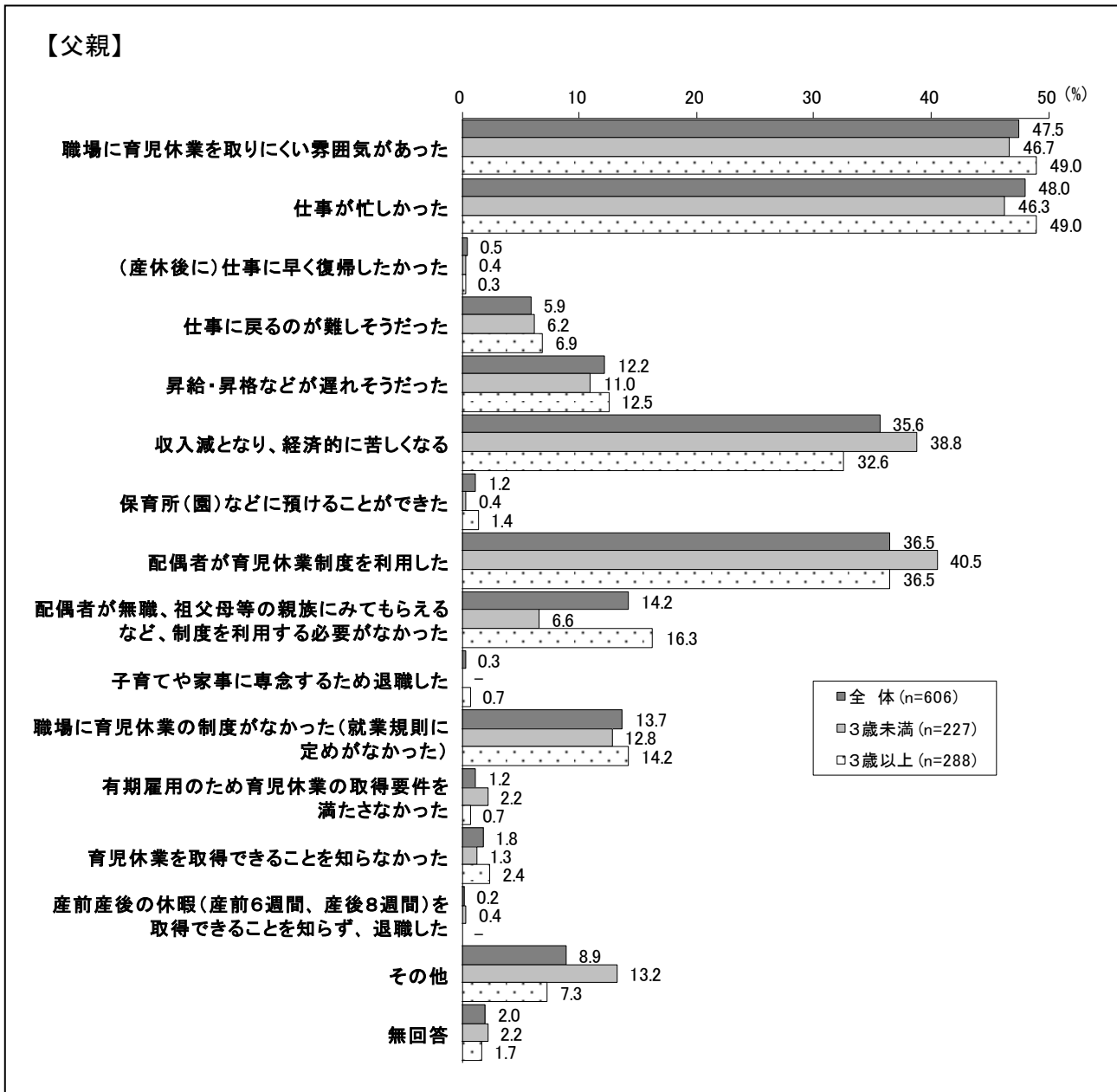
母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が31.1%と最も高く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が13.3%、「仕事が忙しかった」と「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」がともに11.1%となっている。「その他」としては、自営業のため育休がない、退職させられたなどの回答があった。

【母親】



## 第2章 調査結果

父親が育児休業を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が48.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が47.5%とともに5割弱と高く、次いで「配偶者が育児休業制度を利用した」が36.5%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が35.6%となっている。

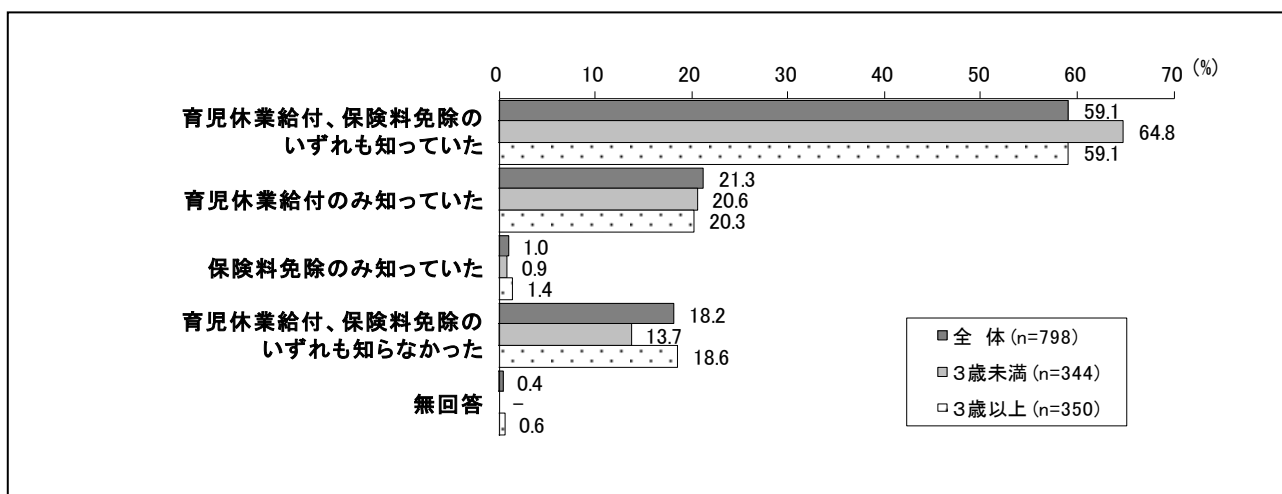




(2) 育児休業給付、保険料免除の認知度

問25-2 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み（育児休業給付）や、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み（保険料免除）があります。そのような仕組みをご存じでしたか。（○は1つ）

育児休業給付や保険料が免除になる制度の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が59.1%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が21.3%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が18.2%となっている。



## 第2章 調査結果

### (3) 育児休業取得後の職場復帰

問25で「2」（取得した）を選択した方にうかがいます。

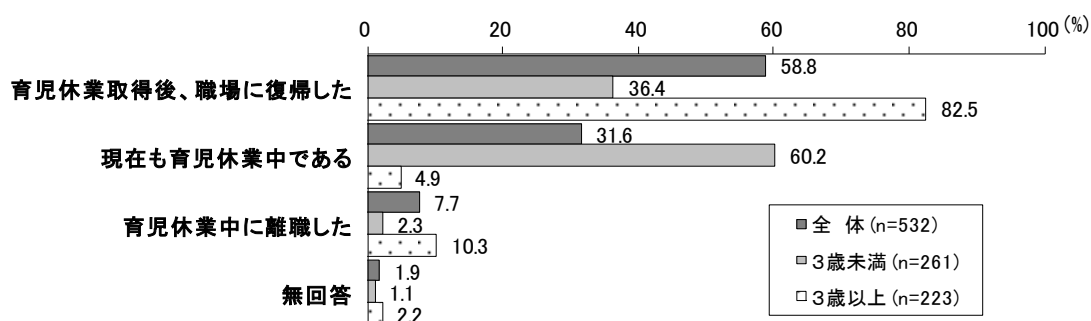
問25で「1」または「3」を選択した方は、問26へお進みください。

問25-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（それぞれ〇は1つ）

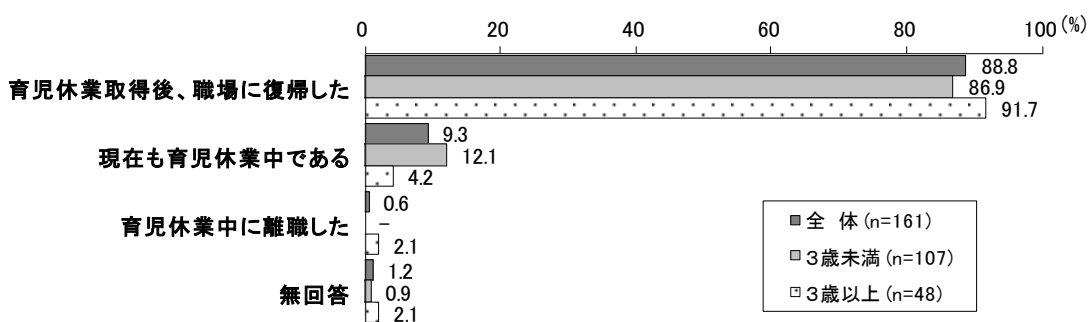
母親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が58.8%、「現在も育児休業中である」が31.6%、「育児休業中に離職した」が7.7%となっている。

父親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が88.8%、「現在も育児休業中である」が9.3%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】



(4) 職場復帰と保育所入所のタイミング

問25-3で、「1」（育児休業取得後、職場に復帰した）を選択した方にうかがいます。

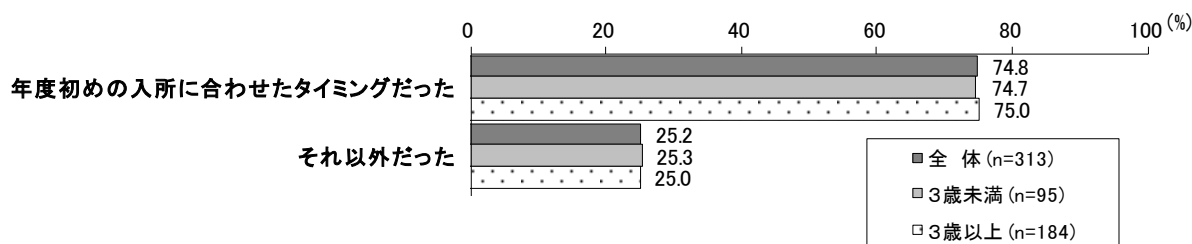
問25-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。またはそれ以外でしたか。（それぞれ〇は1つ）

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

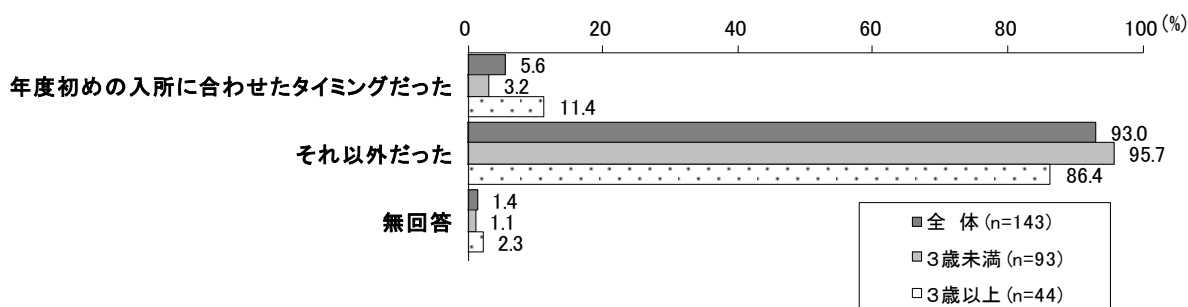
母親の職場復帰と保育所入所のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が74.8%、「それ以外だった」が25.2%となっている。

父親の職場復帰と保育所入所のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が5.6%、「それ以外だった」が93.0%となっている。

【母親】



【父親】



## 第2章 調査結果

### (5) 育児休業からの復帰時期

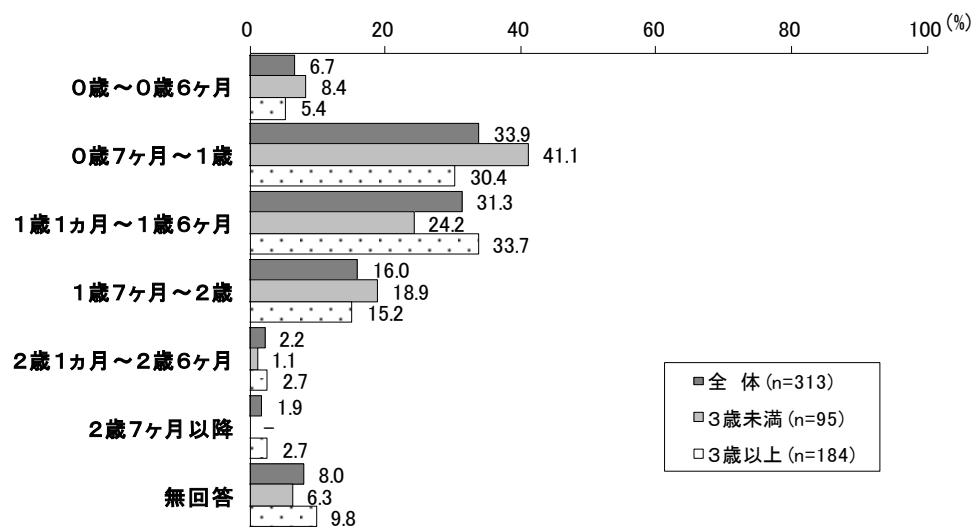
問25-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□枠内に数字でご記入ください。

#### ① 実際の復帰時期

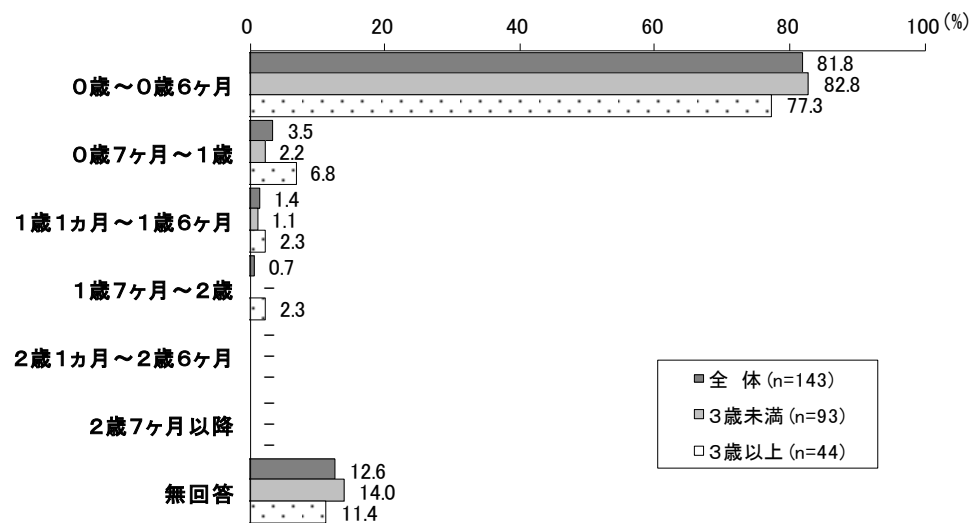
母親の育児休業からの実際の復帰時期は、「0歳7ヶ月～1歳」が33.9%と最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が31.3%となっている。

父親の育児休業からの実際の復帰時期は、「0歳～0歳6ヶ月」が81.8%と突出している。

#### 【母親】



#### 【父親】

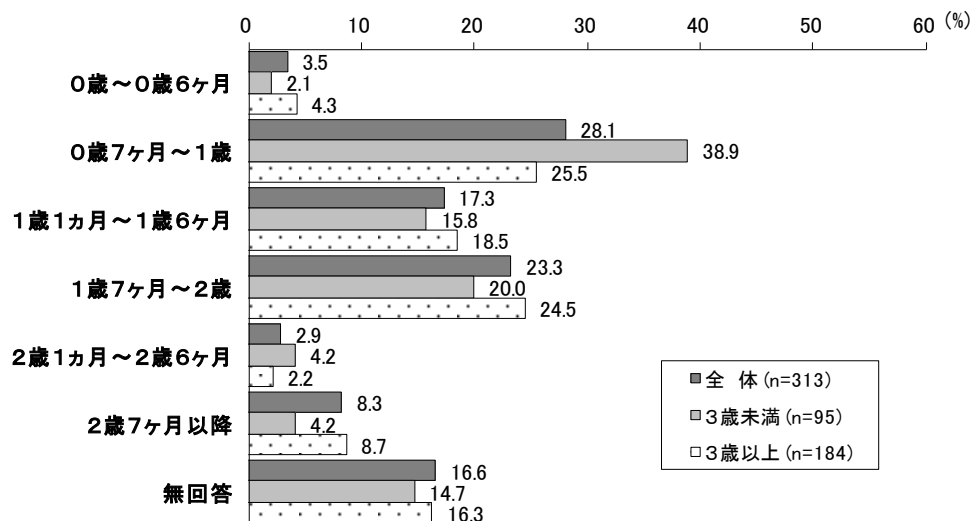


②希望の復帰時期

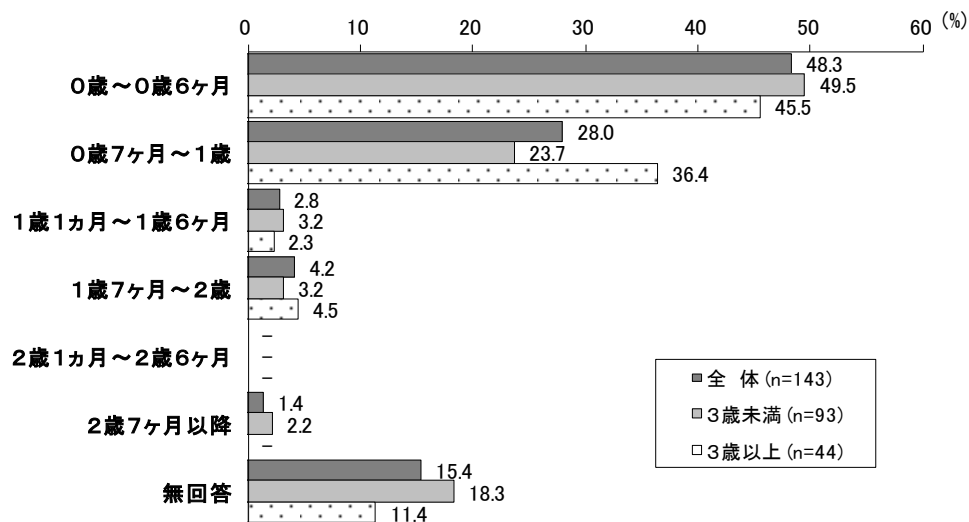
母親が希望する育児休業からの復帰時期は、「0歳7ヶ月～1歳」が28.1%と最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が23.3%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が17.3%となっている。

父親が希望する育児休業からの復帰時期は、「0歳～0歳6ヶ月」が48.3%と最も高くなっている。

【母親】



【父親】



## 第2章 調査結果

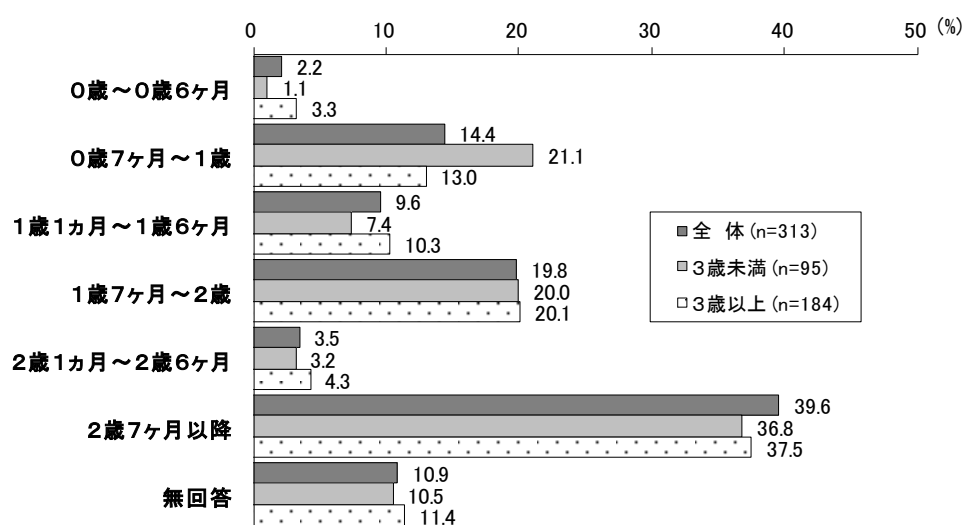
### (6) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の希望

問25-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□枠内に数字でご記入ください。

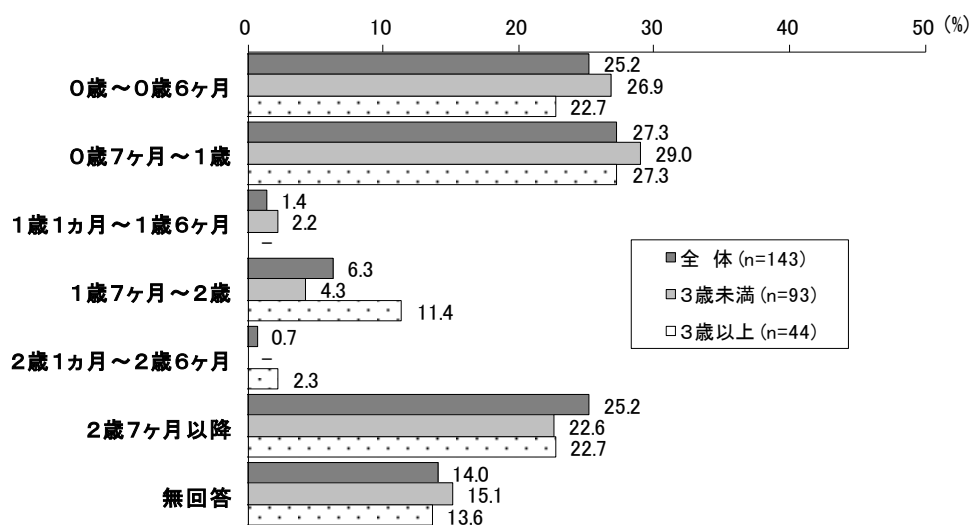
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する育児休業の取得期間について、母親は、子どもの年齢が「2歳7ヶ月以降」が39.6%と最も高く、次いで「1歳7ヶ月～2歳」が19.8%、「0歳7ヶ月～1歳」が14.4%となっている。

父親は、「0歳7ヶ月～1歳」が27.3%、「0歳～0歳6ヶ月」と「2歳7ヶ月以降」がともに25.2%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】



(7) 希望時期に職場復帰しなかった理由

問25-5で、実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

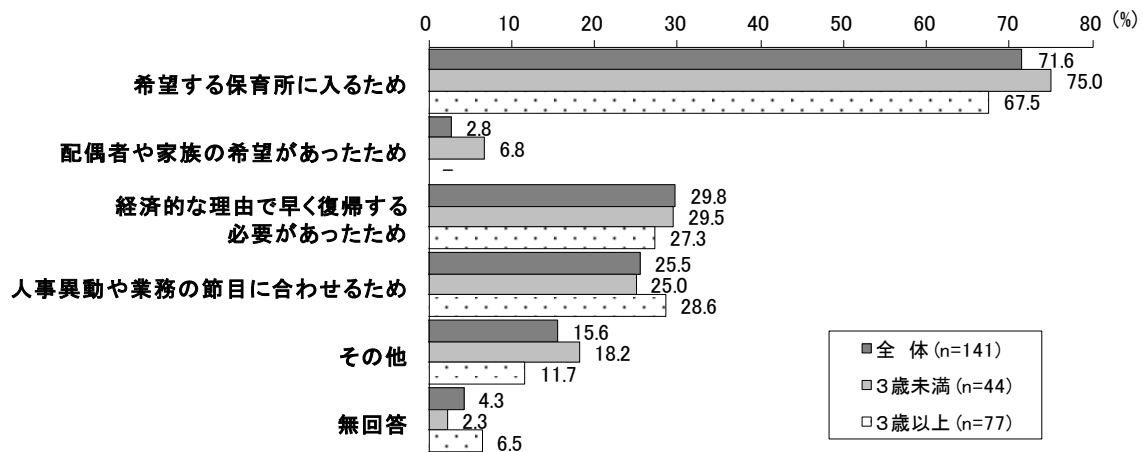
問25-7 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①希望より早く復帰した理由

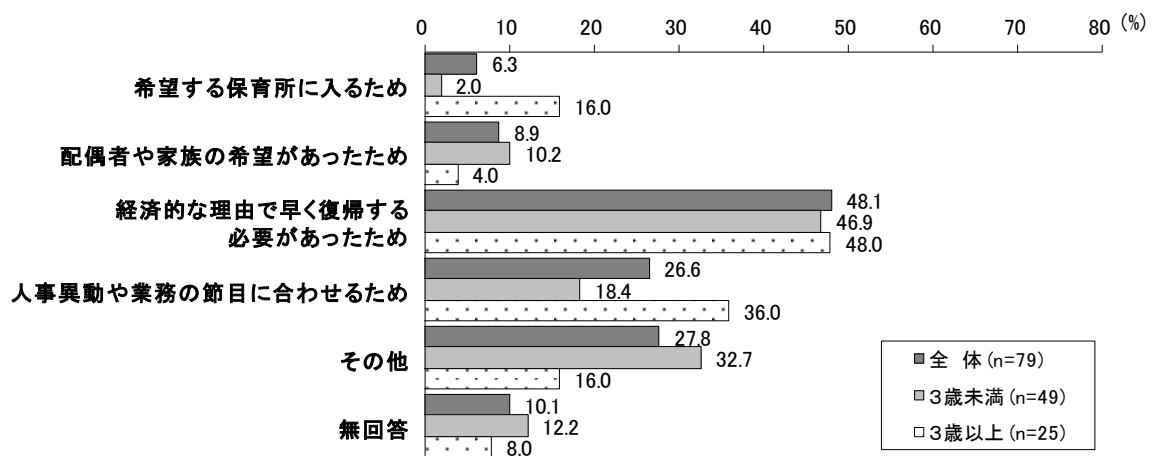
希望より早く復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入るため」が71.6%と最も高くなっている。母親のその他の理由として、職場の育休の範囲内（2歳までなど）で復帰したため、早めに保育園等に入ったため、職場の都合・意向（代理の人員がいなかった）などの回答があった。

希望より早く復帰した父親の理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」が48.1%と最も高く、次いで「人事異動や業務の節目に合わせるため」が26.6%となっている。父親のその他の理由として、職場の都合・意向（業務都合、長く休めない）、職場の育休の範囲内（1、2週間しかとれなかったなど）で復帰したためなどの回答があった。

【母親】



【父親】



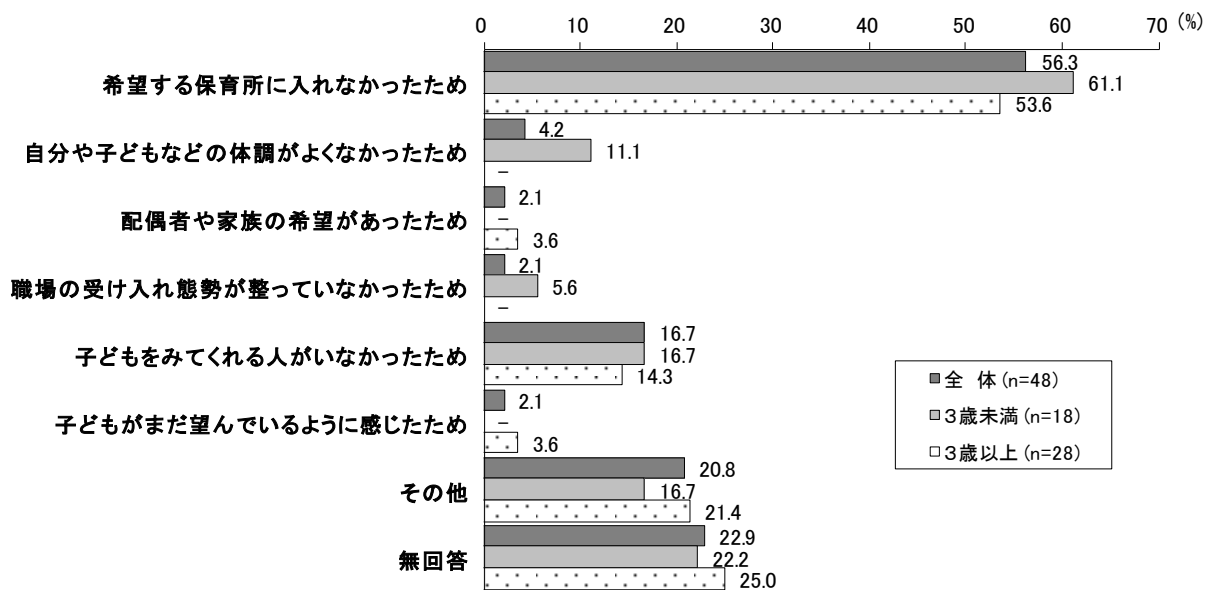
## 第2章 調査結果

### ②希望より遅く復帰した理由

希望より遅く復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が56.3%と最も高くなっている。母親のその他の理由として、コロナ禍だったため、第二子を妊娠したためなどの回答があった。

希望より遅く復帰した父親の理由は、対象者13件とも無回答であった。

#### 【母親】



#### 【父親】

父親は回答者が13人であるが、全員無回答のためグラフを掲載していない。

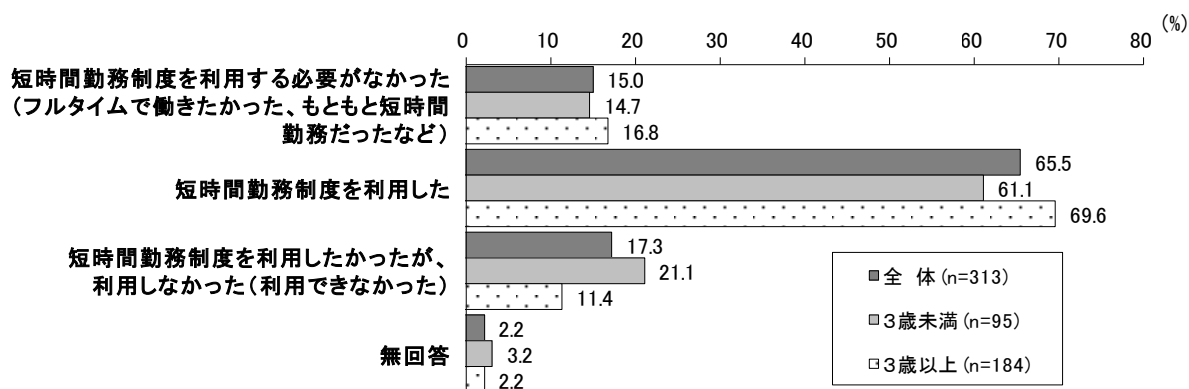


(8) 短時間勤務制度の利用状況

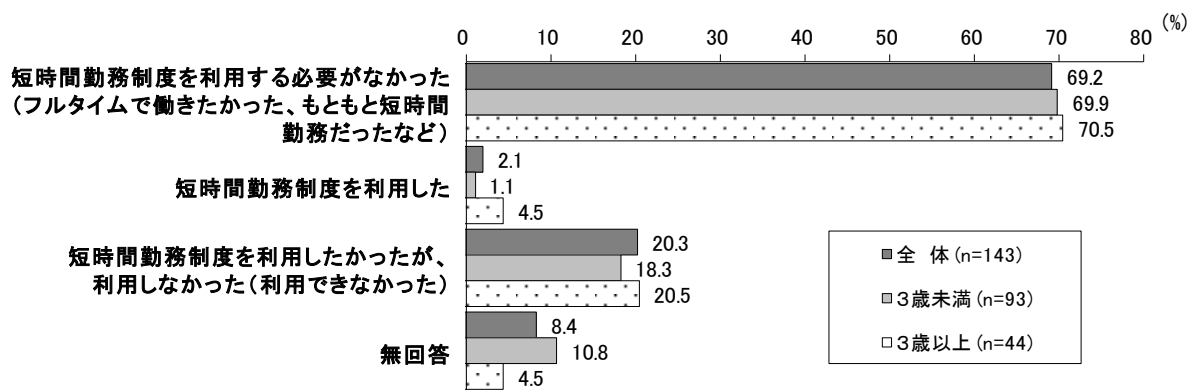
問25-8 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。父母共に該当する番号を□枠内にそれぞれ1つずつご記入ください。

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について、母親は「短時間勤務制度を利用した」が65.5%となっている。一方、父親は「短時間勤務制度を利用する必要がなかった」が69.2%を占め、「短時間勤務制度を利用した」は2.1%と少なくなっている。

【母親】



【父親】



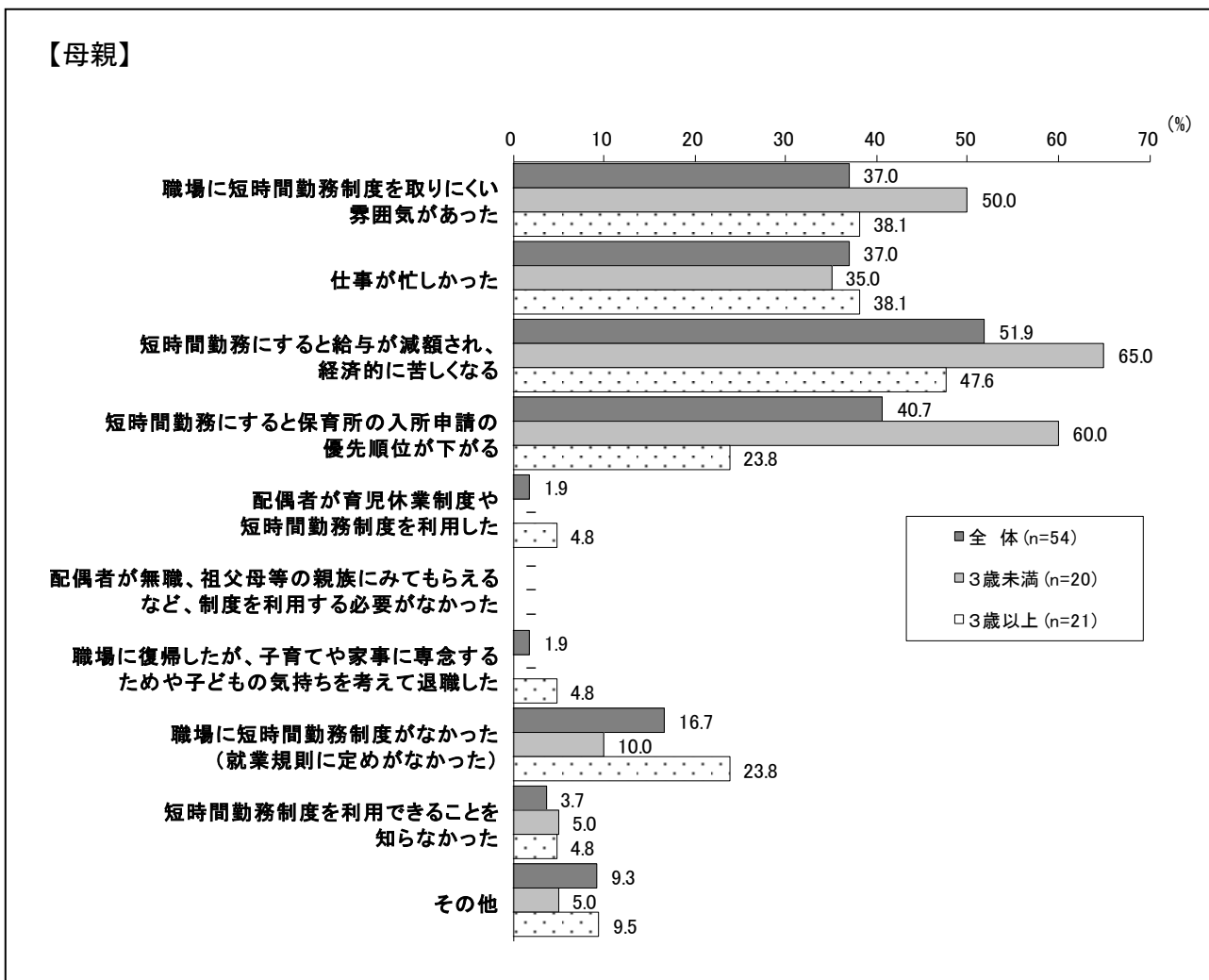
## 第2章 調査結果

### (9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

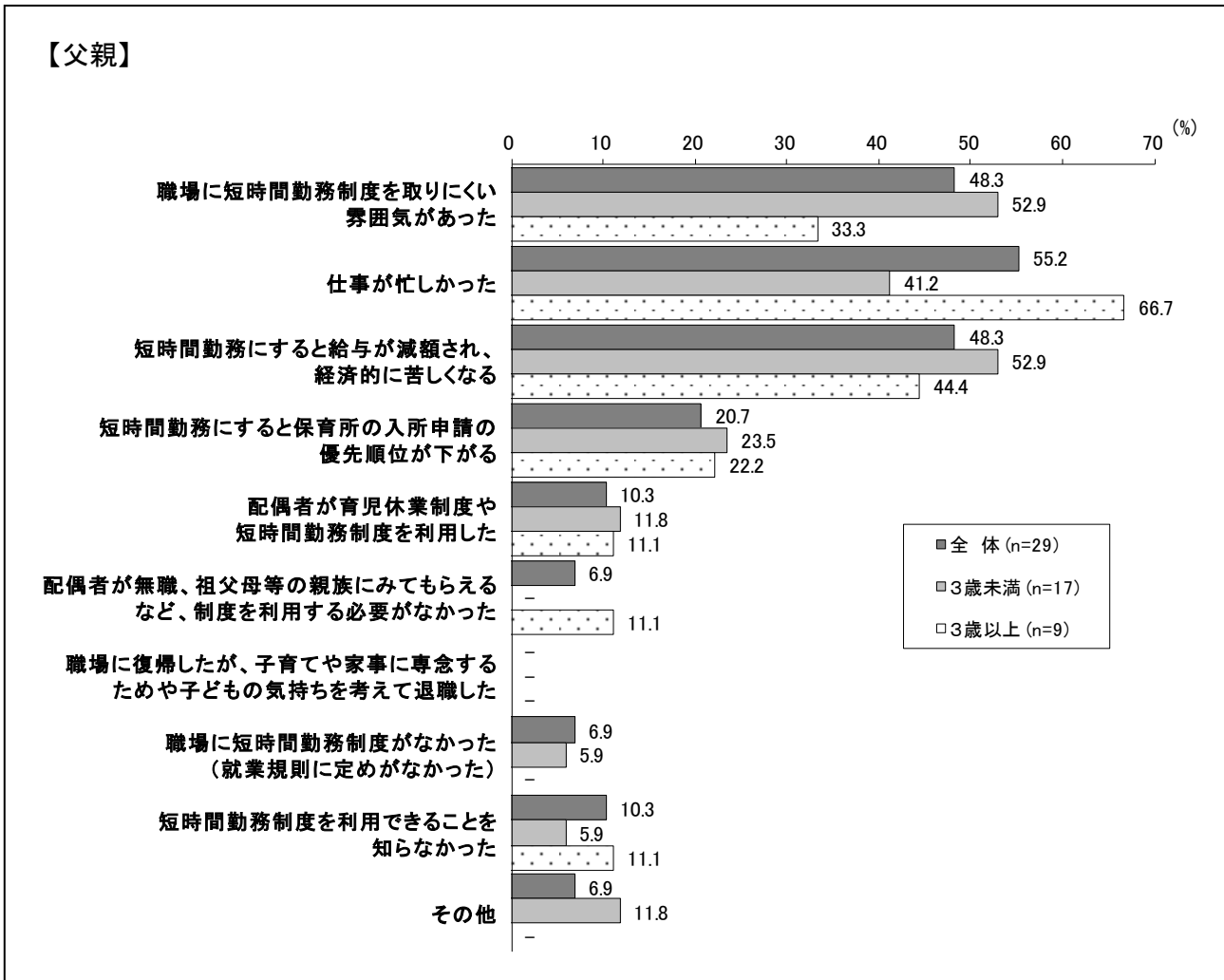
問25-8で、「3」（短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)）と回答した方にかかっています。

問25-9 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。  
（それぞれ当てはまるものすべてに○）

育児休業からの職場復帰時に「短時間勤務制度を利用しなかった」理由について、母親は「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が51.9%と最も高く、次いで「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が40.7%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「仕事が忙しかった」がともに37.0%と4割前後となっている。



父親は、「仕事が忙しかった」が55.2%と最も高く、次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」と「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」がともに48.3%となっている。



## 第2章 調査結果

### (10) 現在、育児休業中の場合の1歳までの職場復帰意向

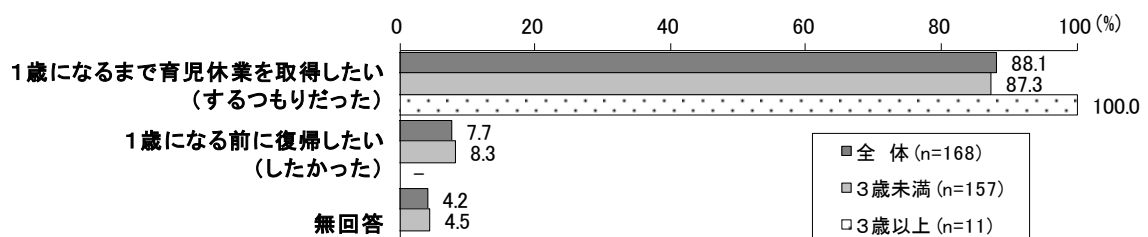
問25-3で、「2」（現在も育児休業中である）と回答した方にうかがいます。

問25-10 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つを回答欄にご記入ください。なお、お子さんがすでに1歳を超えている場合、1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、復帰していましたか。  
(それぞれ〇は1つ)

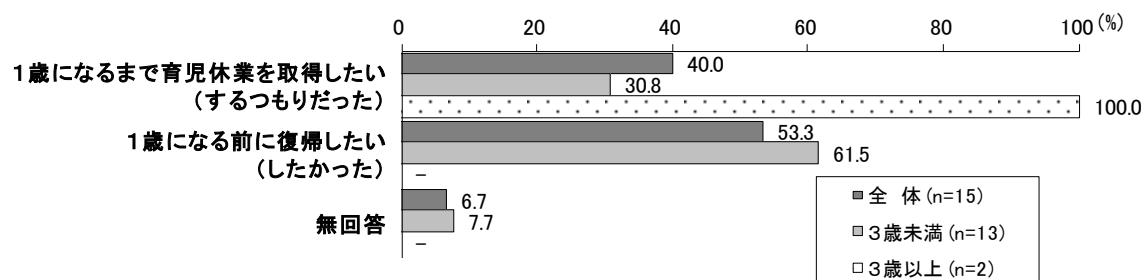
現在も育児休業中である場合で、1歳から必ず利用できる事業があった際の育児休業の取得意向について、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい（するつもりだった）」が88.1%、「1歳になる前に復帰したい（したかった）」が7.7%となっている。

父親は、「1歳になる前に復帰したい（したかった）」が53.3%、「1歳になるまで育児休業を取得したい（するつもりだった）」が40.0%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】

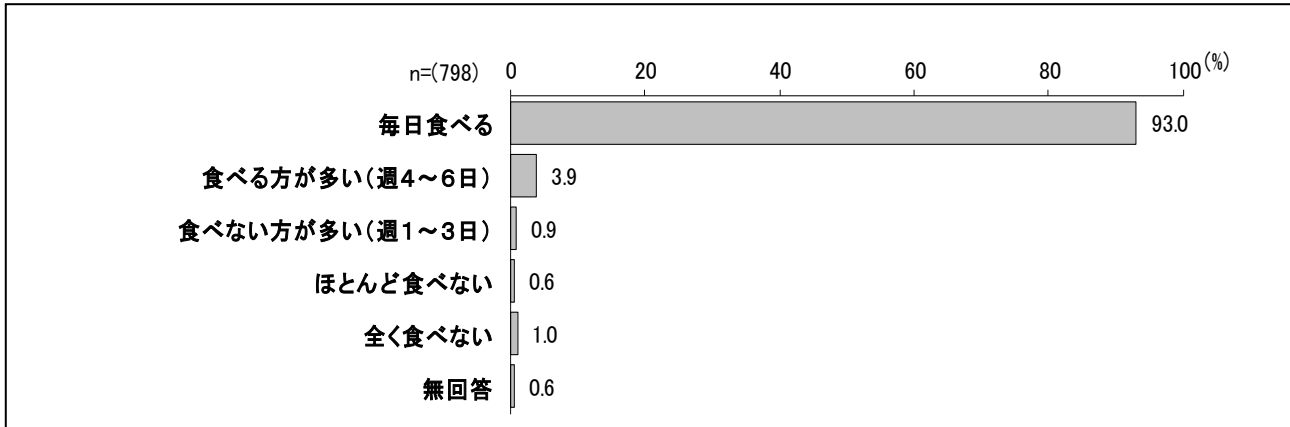


## 10. 生活や家庭のことについて

### (1) 朝食の摂取状況

問26 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

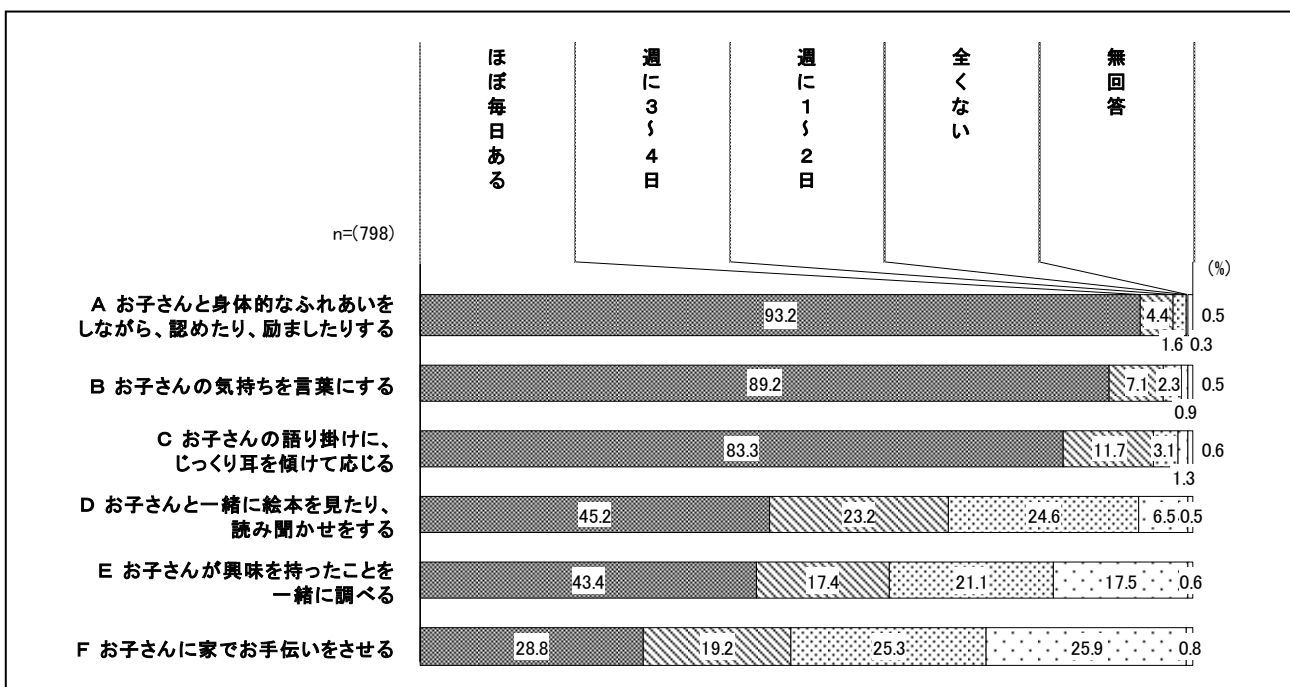
子どもの朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が93.0%を占めている。



### (2) 子どもとのかかわりの状況

問27 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ〇は1つ)

子どもとのかかわりの状況について、「ほぼ毎日ある」項目は、「お子さんと身体的なふれあいをしながら、認めたり、励ましたりする」が93.2%、「お子さんの気持ちを言葉にする」が89.2%、「お子さんの語り掛けに、じっくり耳を傾けて応じる」が83.3%と8~9割で上位となり、次いで「お子さんと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする」が45.2%、「お子さんが興味を持ったことを一緒に調べる」が43.4%、「お子さんに家でお手伝いをさせる」が28.8%となっている。

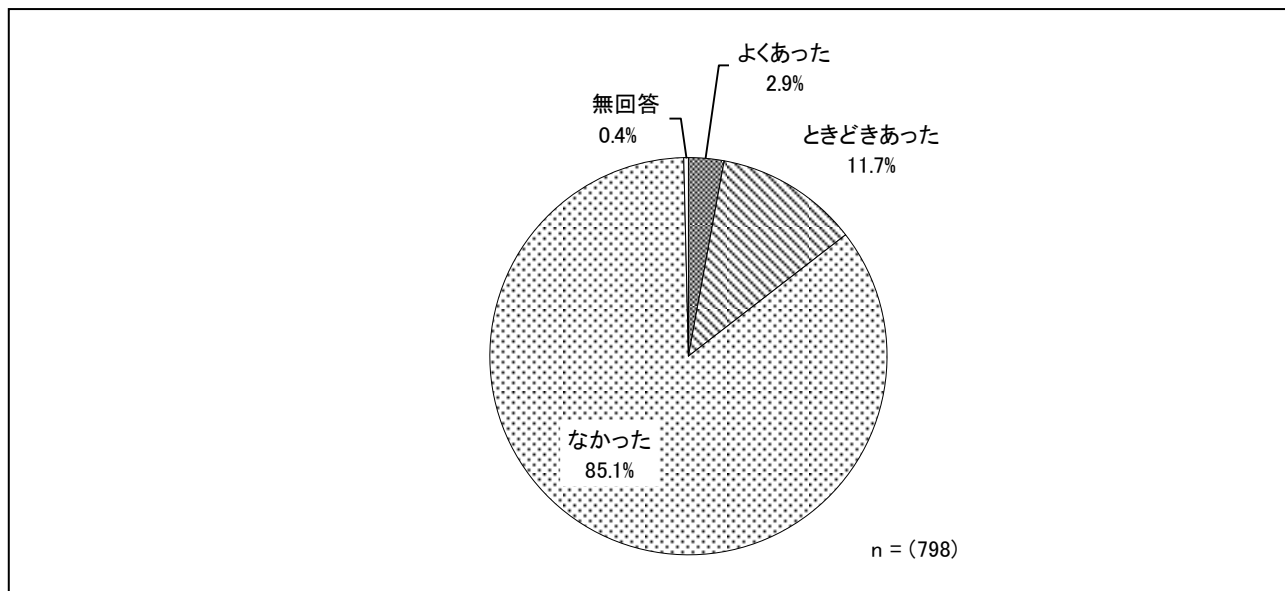


## 第2章 調査結果

### (3) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無

問28 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

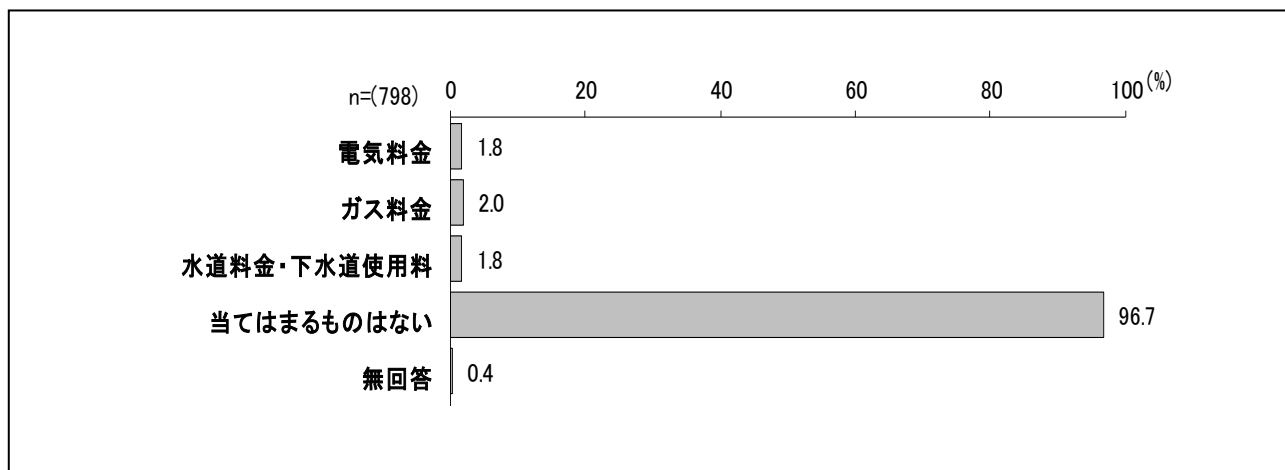
過去1年間に経済的な理由で食料・衣類を買えないことが「あった」家庭は、「よくあった」2.9%と「ときどきあった」11.7%の合計で14.6%となっている。



### (4) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無

問29 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下の費用を支払えないことがありましたか。(当てはまるものすべてに○)

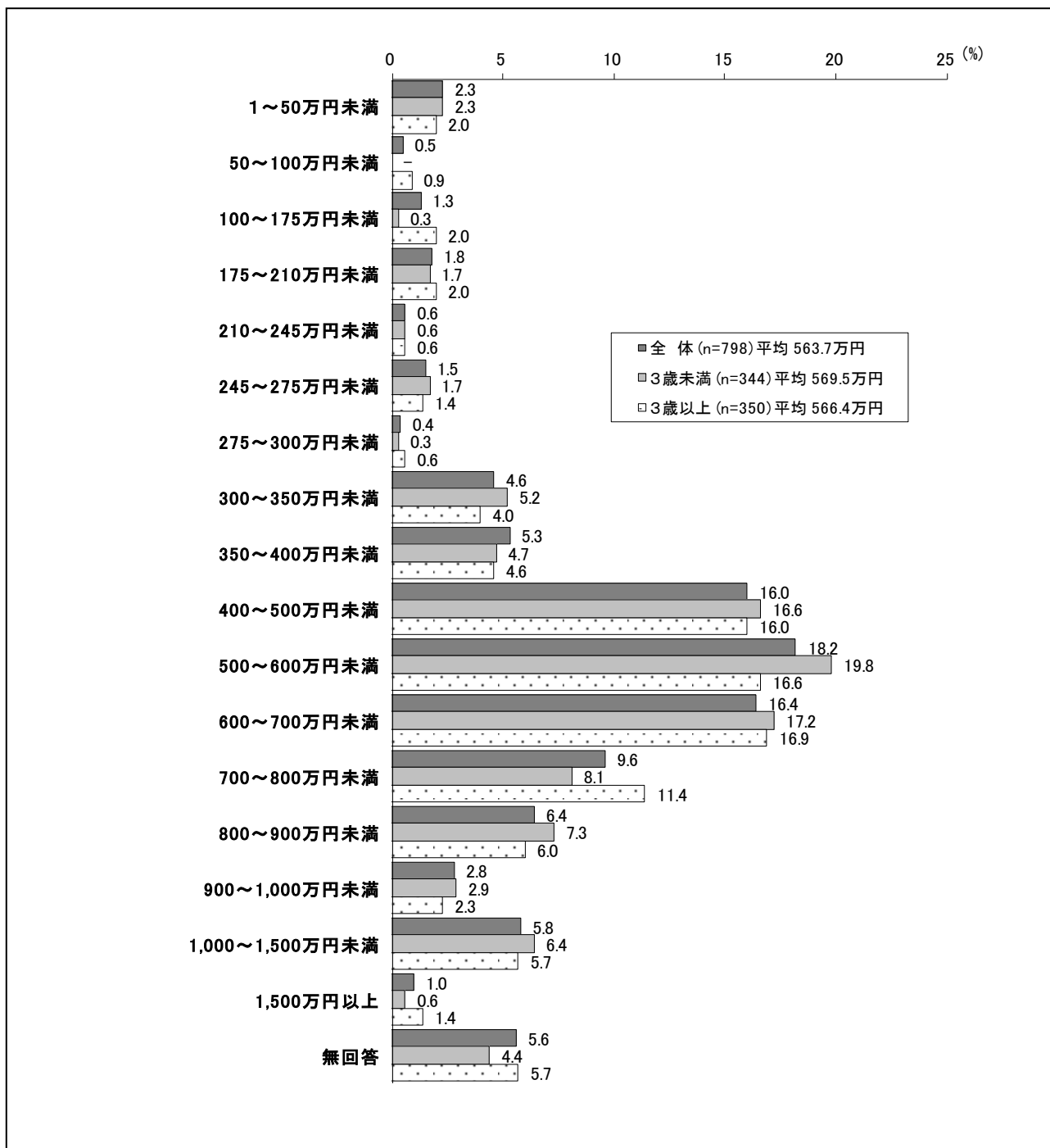
過去1年間に経済的な理由で支払えないことがあった公共料金等としては、「ガス料金」が2.0%、「電気料金」と「水道料金・下水道使用料」がともに1.8%となっている。「当てはまるものはない」が96.7%を占めている。



(5) 令和4(2022)年の可処分所得金額

問30 宛名のお子さんの世帯の、令和4(2022)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。□枠内に数字でご記入ください。

令和4(2022)年の可処分所得は、「500～600万円未満」が18.2%、「600～700万円未満」が16.4%、「400～500万円未満」が16.0%となっており、平均564万円となっている。

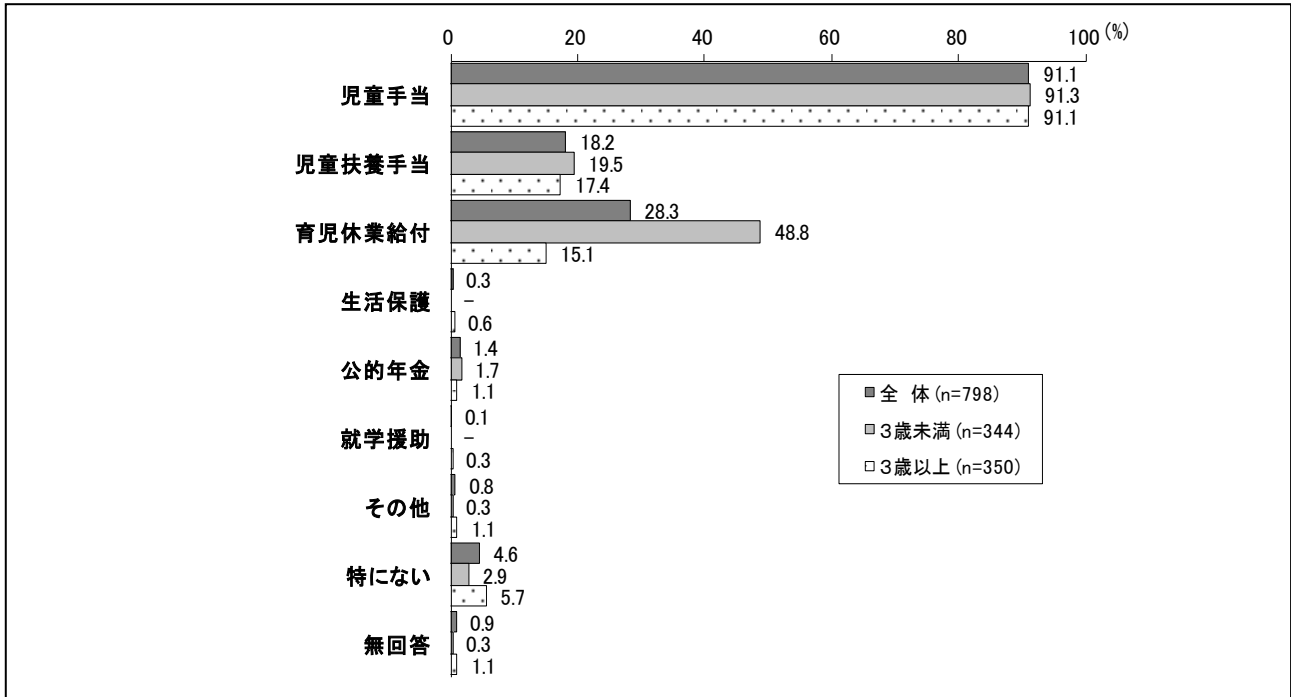


## 第2章 調査結果

### (6) 公的年金、社会保障給付金の受給状況

問31 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金がありますか。  
(当てはまるものすべてに○)

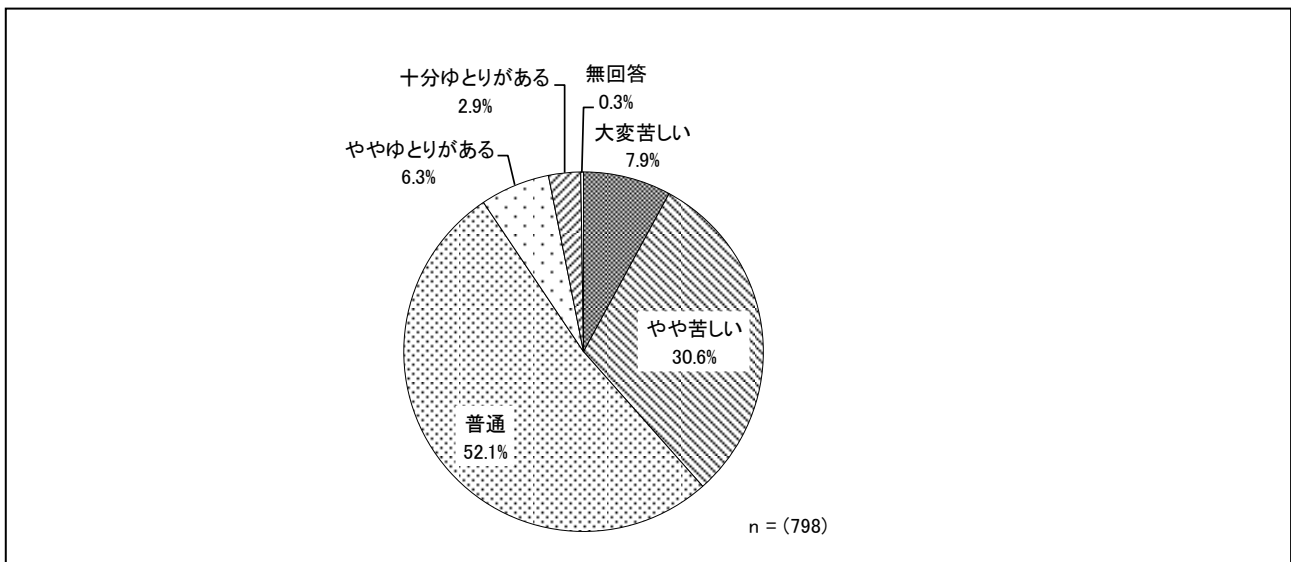
社会保障給付金の受給は、「児童手当」が91.1%と最も高く、次いで「育児休業給付」が28.3%、「児童扶養手当」が18.2%となっている。



### (7) 現在の暮らしの状況

問32 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、「普通」が52.1%と約半数を占める。「苦しい」と「ゆとりがある」の対比では「やや苦しい」30.6%と「大変苦しい」7.9%の合計が38.5%で、「ややゆとりがある」6.3%と「十分ゆとりがある」2.9%の合計9.2%を大きく上回っている。



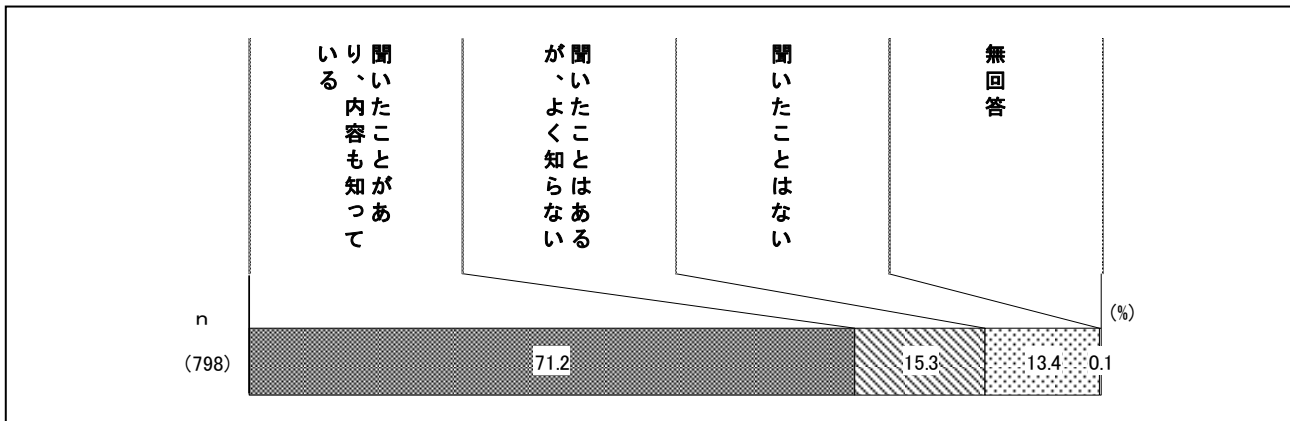


## 11. 子ども・子育て全般について

### (1) 「ヤングケアラー」の認知状況

問33 あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。(〇は1つ)

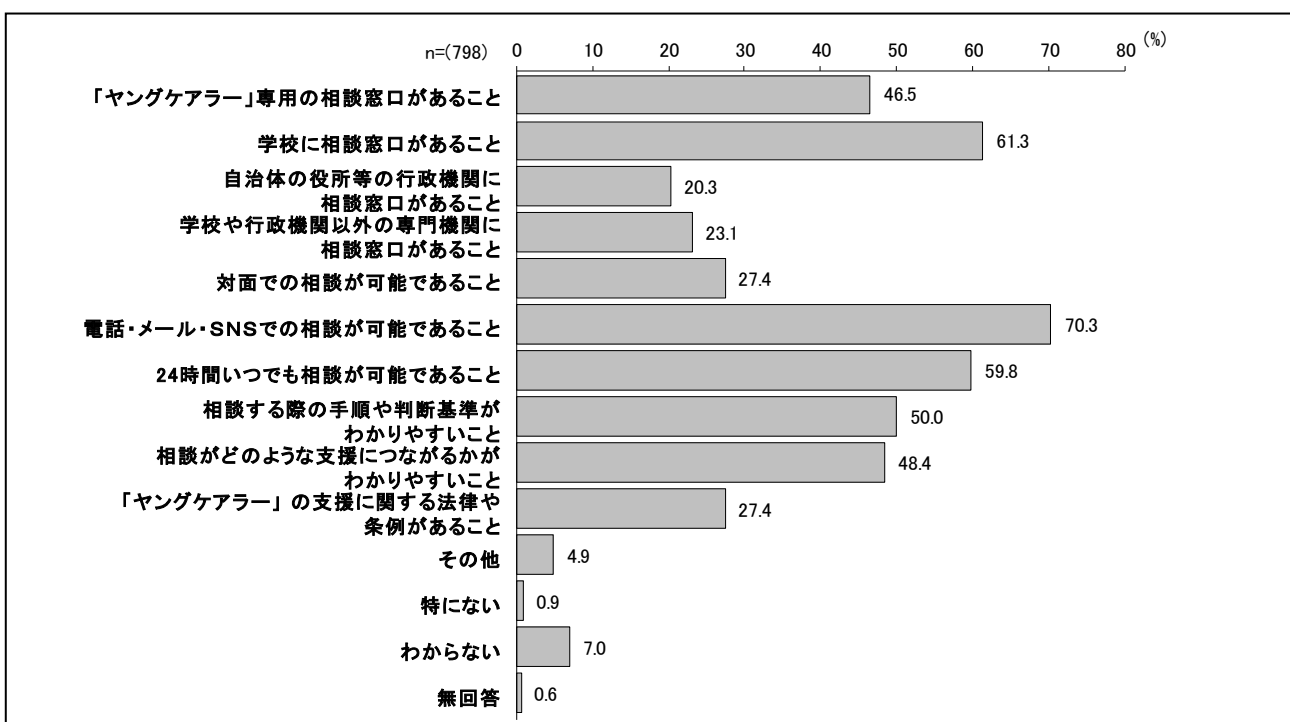
「ヤングケアラー」について「聞いたことがあり、内容も知っている」は71.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は15.3%、「聞いたことはない」は13.4%となっている。



### (2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組

問34 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながるとお考えですか。(当てはまるものすべてに〇)

「ヤングケアラー」に対する取り組みや環境づくりについて、「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」が70.3%と最も高く、次いで「学校に相談窓口があること」が61.3%、「24時間いつでも相談が可能であること」が59.8%となっている。

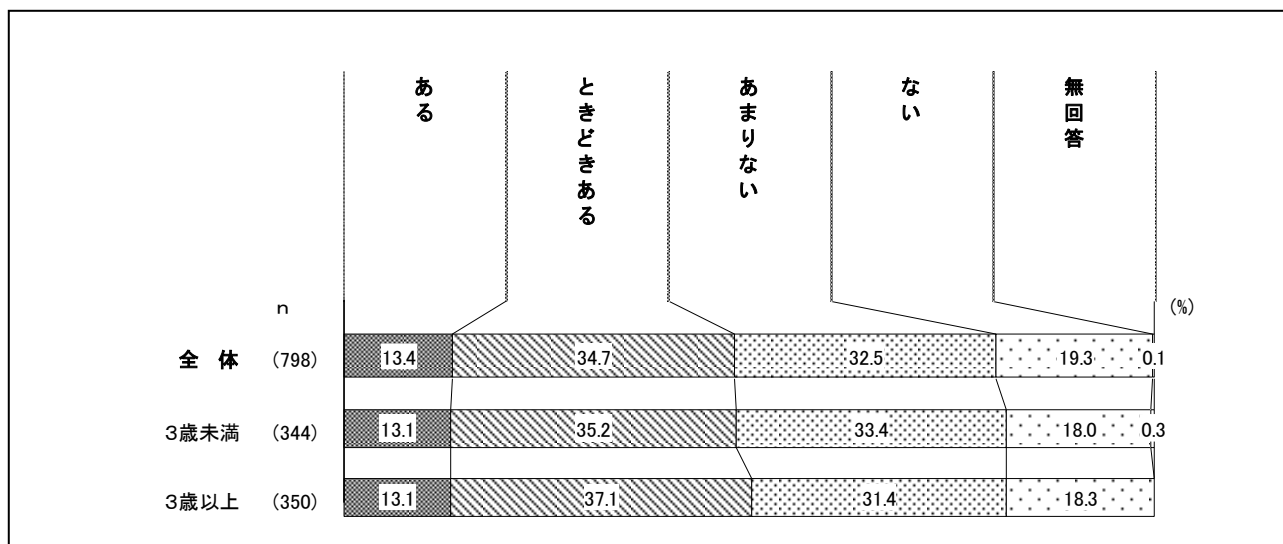


## 第2章 調査結果

### (3) 子育てに関する孤立感

問35 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。(〇は1つ)

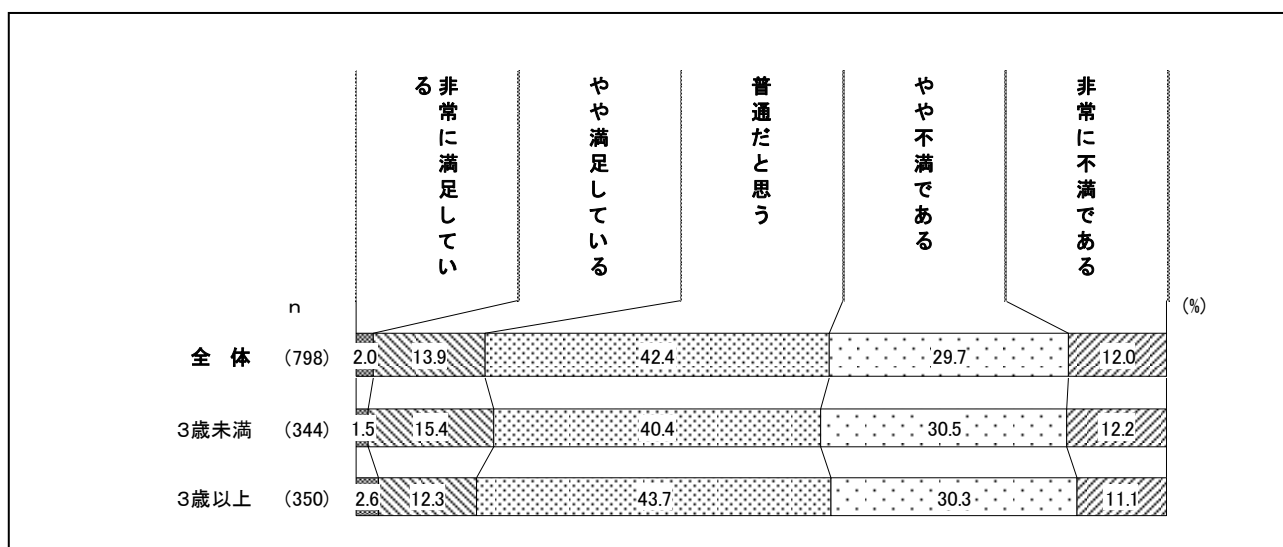
子育てに関して孤立感を感じるものが「ある」が13.4%、「ときどきある」が34.7%であり、孤立感を感じている人は48.1%を占める。一方、「ない」は19.3%、「あまりない」は32.5%であり、孤立感を感じていない人は51.8%となっている。



### (4) 地域の子育て環境や支援への満足度

問36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

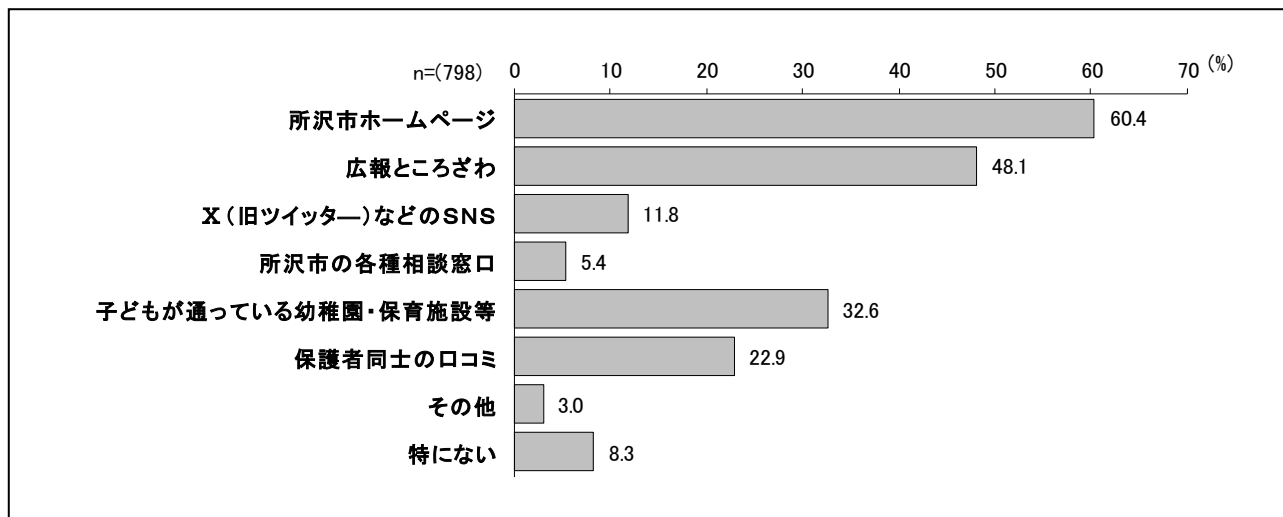
地域における子育ての環境や支援への満足度は、「普通だと思う」が42.4%を占める。また、「不満」と「満足」の対比では、「やや不満である」29.7%と「非常に不満である」12.0%の合計が41.7%で、「やや満足している」13.9%と「非常に満足している」2.0%の合計15.9%を大きく上回っている。



## (5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先

問37 市内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。  
(当てはまるものすべてに○)

市内の相談窓口・サービス等の情報入手方法は、「所沢市ホームページ」が60.4%と最も高く、次いで「広報ところざわ」が48.1%、「子どもが通っている幼稚園・保育施設等」が32.6%、「保護者同士の口コミ」が22.9%となっている。

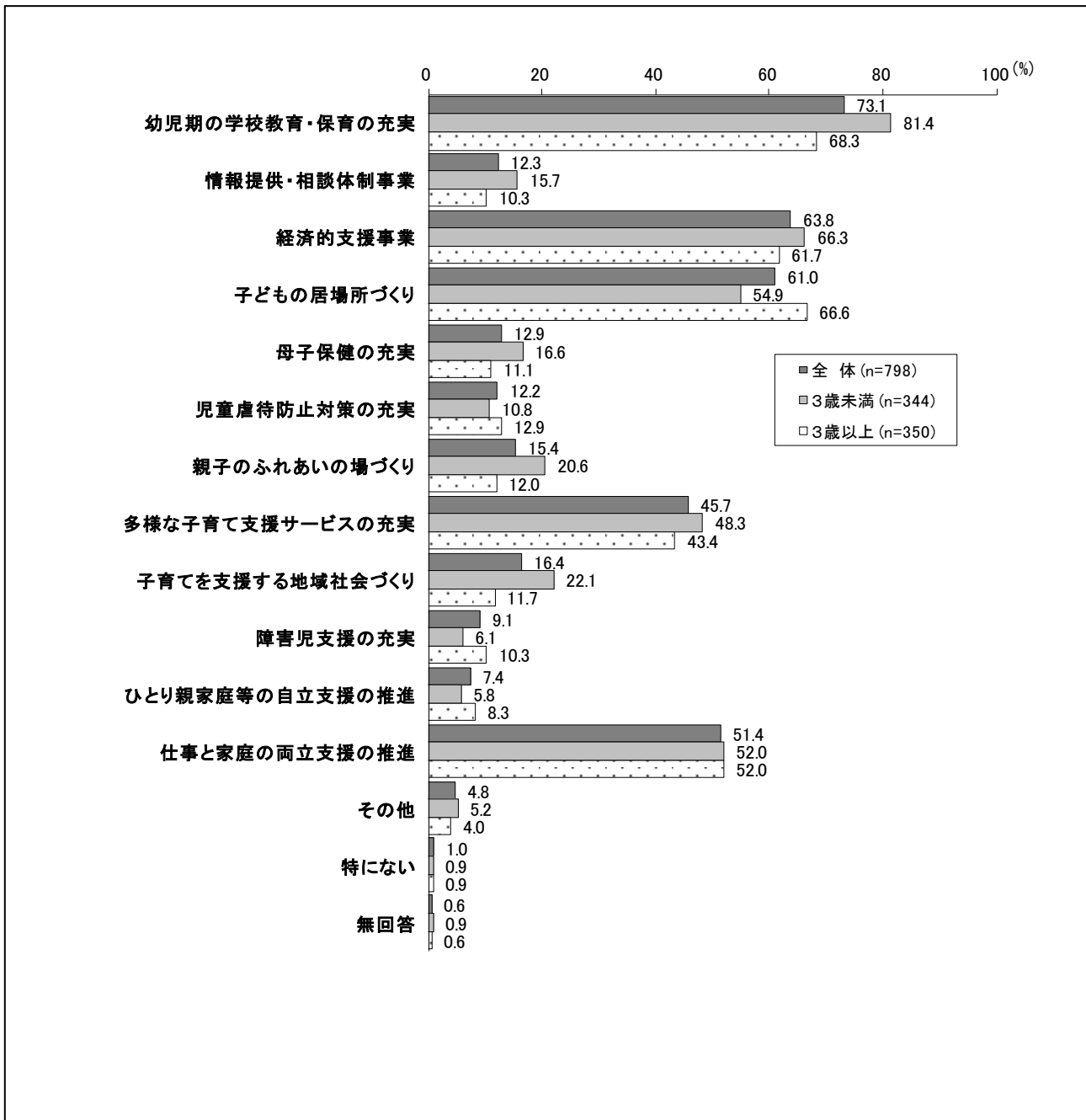


## 第2章 調査結果

### (6) 子育て支援で充実を希望すること

問38 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは、「幼児期の学校教育・保育の充実」が73.1%と最も高く、次いで「経済的支援事業」が63.8%、「子どもの居場所づくり」が61.0%、「仕事と家庭の両立支援の推進」が51.4%、「多様な子育て支援サービスの充実」が45.7%となっている。



## (7) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について

問39 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、430人から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

また、主な意見を抜粋して掲載する。

## ※現在調整中

内容		件数
保育園・認定こども園等について	待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	93
	育休退園について	31
	保育人材の確保・待遇改善について	29
	保育所の充実・質の向上	45
	保育園に対する要望	19
	病児・病後児保育の充実・利便性の向上	11
	障害児・発達障害への支援・サポート	11
	その他	18
一時預かり等について	一時預かり等について	31
幼稚園について	預かり保育について	5
	幼稚園の充実	5
	その他	2
子育てと就労の両立について	仕事と子育ての両立支援	38
	仕事と子育ての両立に対する不安、難しさ	8
	その他	5
遊び場について	公園・広場・施設の充実	36
	安全に遊べる場の確保	6
	児童館・公民館等の充実	21
	保護者同士や子どもとの交流の機会・場の提供	14
	その他	6
地域子育て支援拠点事業等について	地域子育て支援拠点事業等について	10
子育てに関する情報・発信・周知方法について	子育てに関する情報・発信・周知方法について	29
経済的支援・補助について	経済的支援・補助について	118
医療体制・医療費について	医療体制・医療費について	6

## 第2章 調査結果

内容		件数
就学後について	放課後児童クラブ（学童保育）について	28
	特別支援等について	2
	学校設備の充実	7
	子どもの放課後の居場所の充実	12
	学校の開校時間について	2
	学校選択制について	2
	就学後について	8
その他・全般的な意見	市長への期待	19
	アンケートについて	11
	子育て支援策全般について	29
	子育てしやすいまちづくりへの希望	9
	父親の子育て参加の促進・講座の充実	2
	安心・安全な子育てしやすい地域づくり	13
	その他	34

### ○保育園・認定こども園等について

- ・就労や経済状況にかかわらず全ての家庭が保育園・幼稚園に子どもを預けられるようになってほしいです。園に預けられることが決まらないと就職が難しいと感じています。
- ・育休退園が無くなったのが今後の子育て世代の負担軽減になって良かったと思います。
- ・質の高い教育、保育の為に、まずは保育士等の待遇改善(特に賃金アップ)をお願いしたいです。
- ・平日フルタイム勤務をしていると、幼稚園の預かり保育よりは、やはり保育園を利用したいです。
- ・オムツのサブスク、オムツ持ち帰りなしなどがあるととても助かります。オムツに名前を書くのはとても時間がかかり手間なので、それがなくなるだけでも嬉しいです。
- ・病児保育の場所、定員を増やしてほしいです。
- ・子供の発達において障害や障害までいかないが発達がおそい子に対しての保育士さん達の理解や知識についてもっと、伝えていく方が良いと思います。

### ○一時預かり等について

- ・たまにリフレッシュしたいと思う時に誰にも頼れないので、気軽に一時預かりやベビーシッターを安く利用できるようにしてほしい。
- ・一時預かりについて、手続きが多く、手続きしても空きがなく結局預けられなかったりと本当に必要な時に使えないのは残念です。

### ○幼稚園について

- ・幼稚園の預かり保育も利用していますが、朝の預かりの時間が遅く（7時45分）、いつも遅刻ギリギリになってしまいます。もうあと15分でも早く預かってもらえると少し余裕ができるのですが…。
- ・息子たちを幼稚園に通わせていますが、先生方は、いつも工夫をこらして、子どもたちを楽しませたり、創作意欲を沸かせたり一生懸命に指導して下さっています。願わくば、幼稚園にも保育園と同等の補助金を充て、幼児教育の場を守っていただきたいと思います。

### ○子育てと就労の両立について

- ・出産、育児で仕事から離れた母親が社会復帰しやすい環境を望みます。
- ・両親共にフルタイムで勤務することとなった場合、明らかに預かりの時間が短く結局どちらかが時短勤務をしなくてはならなくなる。時短勤務になると給料が下がり、生活が苦しくなる。どうしたら良いのか分かりませんが解決したいです。
- ・保育園に入れても小学校に入学後、変わらず働けるのが不安。安心してキャリアを積み重ねると思っただけが1度もない。

### ○遊び場について

- ・もう少し公園を増やして欲しい。そして、小さい子供も安心して遊べるような環境がほしい。（遊具や砂場など）ベビーカーを押しにくい道が多い。駅のエレベーターなども狭くて乗るのに時間がかかる。
- ・今年の夏は暑く外では遊べない為、家の近くに小さい子が室内で遊べる場所があったら嬉しい。
- ・児童館が近くになく、とても不便。子供が同い年の子と遊んだ事がなく、もっと気軽にいつでも親子とふれ合える場を提供してほしい。
- ・保育園や幼稚園に通ってない子が利用しやすい施設が増えると地域の子育て世代の人たちと交流しやすくなると思う。

### ○地域子育て支援拠点事業等について

- ・子育て支援センター的なものを各行政区に作って欲しい。小手指町にはなく、所沢（保健センターも駅から遠く行きづらい）、新所沢は行きにくく面倒。電話でも相談できるが対面で話を聞いて欲しいこともある。
- ・ルピナスが0～1歳児迄向きで2～3歳になるとほぼ行かなくなった。もう少し上の子も遊べるよう工夫してほしい。

### ○子育てに関する情報・発信・周知方法について

- ・制度が変わっていく中で、情報が追いつかない事が多々あるので所沢のLINEなど都度通知していただくと、参考にしやすいです。
- ・ホームページをわかりやすくしてほしい。インターネットで調べても情報が分かりにくかったり、古い情報のままなことが多い。アプリや情報一覧HPを作って、子育てに関する支援がすぐにわかるようにしてほしい。

## 第2章 調査結果

### ○経済的支援・補助について

- ・こどもの支援も多くあるが経済的に物価も上がり、子育て世帯の助成を増やしてほしい。0歳から3歳までの保育料の無償化や給食費の無償化など色々子どもたちのために検討いただきたい。
- ・使用期間が短いベビー用品等（ベビーバスやベビーベッド等）を市で貸し出し等していただけたら、便利でみんな助かると思います。
- ・子供、2人、3人目…と考えた時、いつ出産しても園料金、半額無料など、家庭での出費が増える分、利用料が少しでも安くなってくれると、次の子供も考えやすいと思っています。

### ○医療体制・医療費について

- ・子供のインフルエンザの予防接種費用を補助してほしい。
- ・医療費の無償化継続して下さい。

### ○就学後について

- ・学童を希望する児童が入れるように定員を増やしてほしい。夏休みだけでも学童に誰でも（普段利用していなくても）使える制度を作してほしい。
- ・小学校や中学校のトイレを洋式に変えてあげて欲しい。
- ・ほうかごところの拡充をお願いします。学童クラブに入れられないかもしれないため、ほうかごところを実施してもらえると安心して仕事ができます。子どもの居場所確保のためぜひ全校実施を目指してもらいたいです。

### ○その他・全般的な意見

- ・新市長さんのもと、子育てがもっとしやすい所沢になることを心から願っております。
- ・今回だけのアンケートで終わらせないで、今後も意見を聞いていただける場を設けてほしいです。
- ・就労していなくても気軽に預けられる場所が欲しい。駅から近い場所で利用できる場所があつてほしい。
- ・子供のケアはもちろんですが、母親のメンタルケアも充実させて頂きたい。
- ・所沢市は子どもが遊べる環境（公園、支援センターなど）が豊かだと思っています。今後は子育てしやすい制度を整えていただきたいです。
- ・産後の両親学級、もしくはパパの育児教育の学級を増やして欲しい。やはりママよりも意識が低くパパの育児レベルをあげることに苦勞する。保健センターなどに行くとなると腰が重くなるので、オンラインがあるとありがたいです。
- ・幼稚園、保育園、小学校などの見廻りの強化。不審者対策・暗い道への街灯設置。子供のみならず市民が安心して暮らせる地域を望みます。



## Ⅱ. 小学生児童保護者調査結果



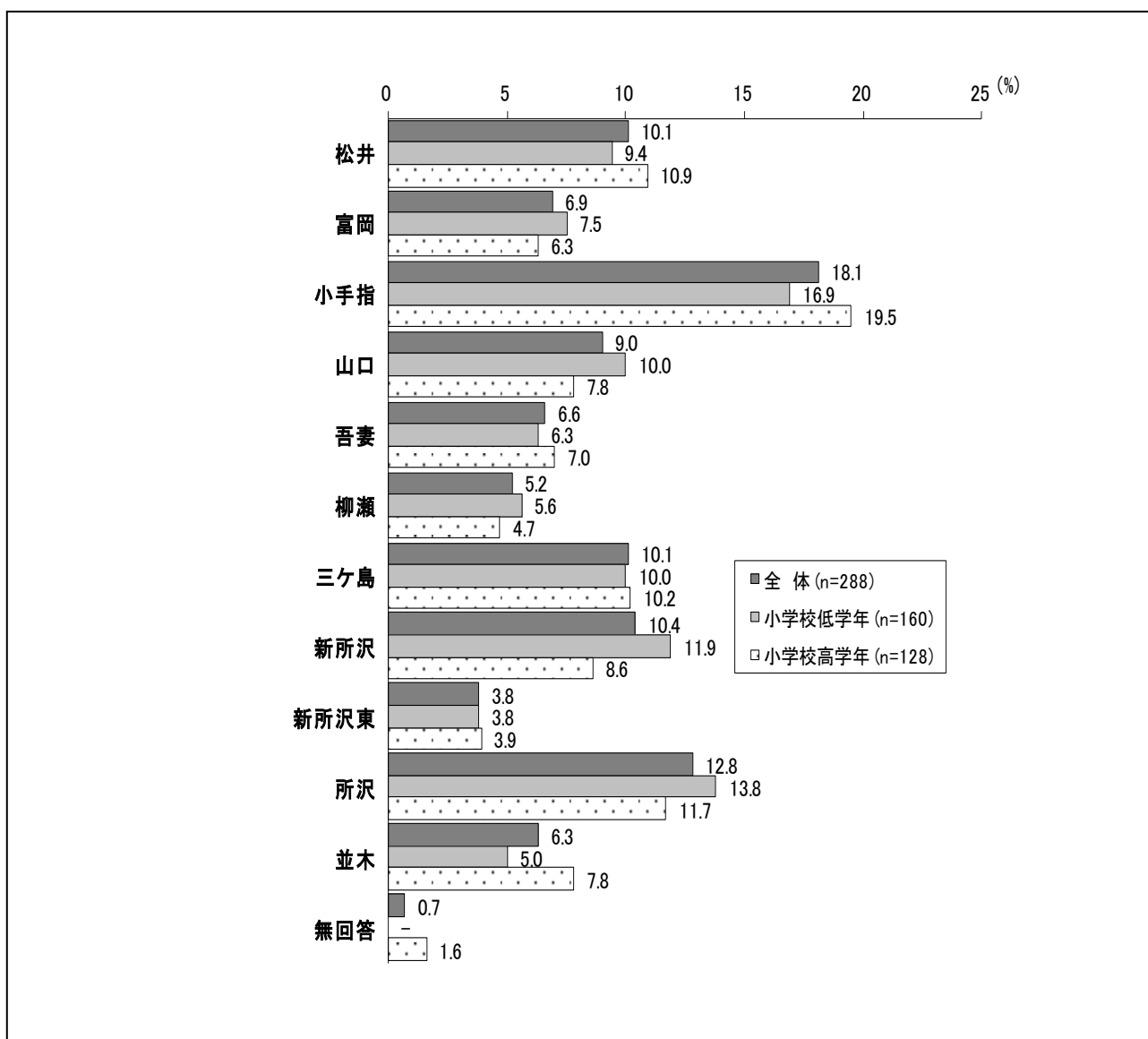
## 1. 子どもと家族の状況

### (1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

※どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

居住地区は、「小手指」が18.1%と最も高く、次いで「所沢」が12.8%、「新所沢」が10.4%となっている。



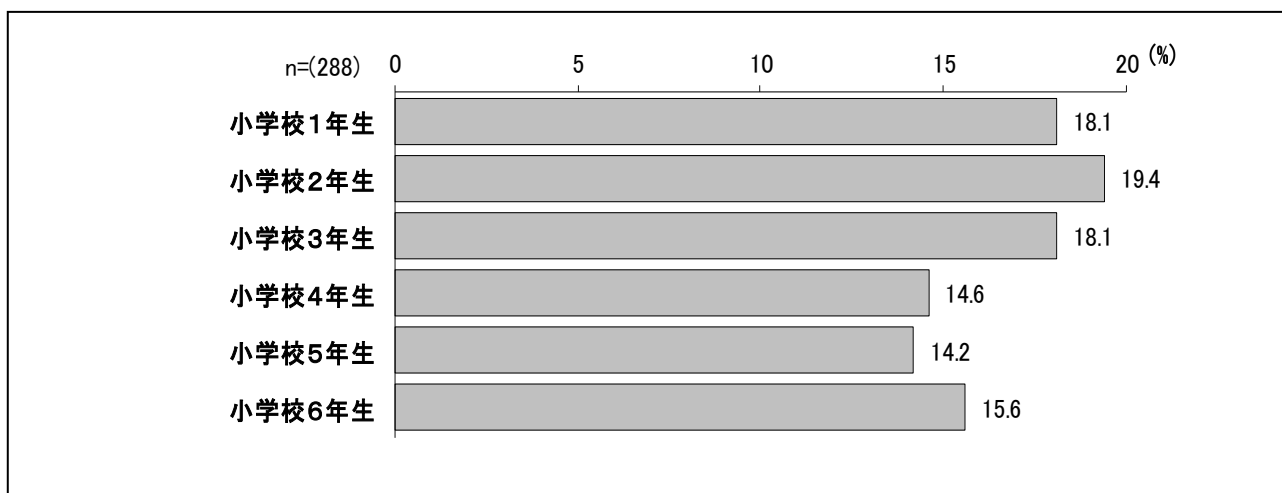
## 第2章 調査結果

### (2) 子どもの学年・性別

問2 宛名のお子さんの生年月を口枠内に数字でご記入いただき、性別について○をつけてください。

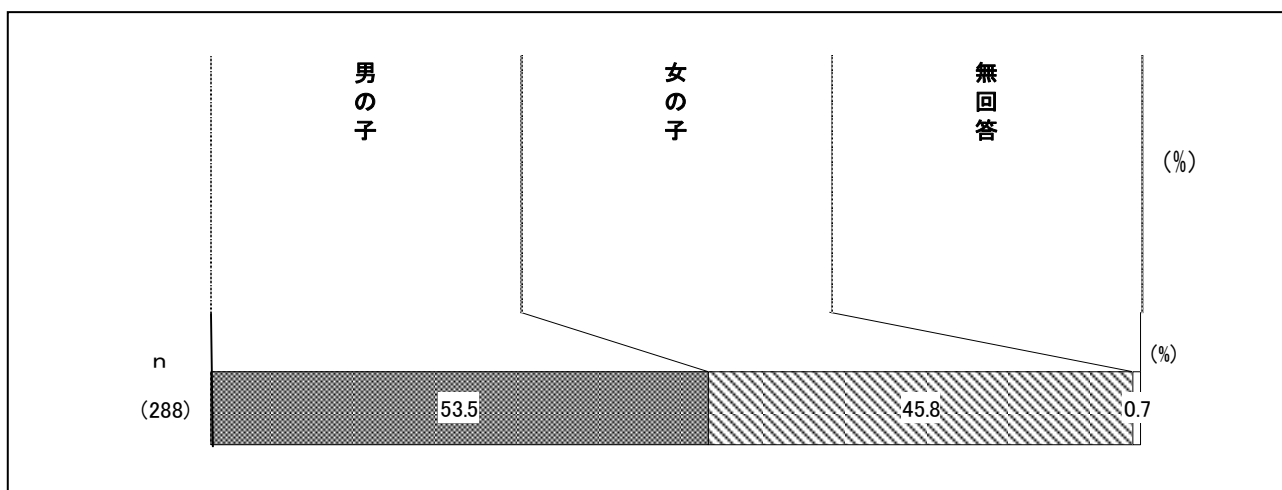
#### ①学年

子どもの学年は、「小学校2年生」が19.4%と最も高く、次いで「小学校1年生」と「小学校3年生」が各18.1%で「小学校低学年」が55.6%を占める。一方、「小学校高学年」は合計で44.4%となっている。



#### ②性別

子どもの性別は、「男の子」が53.5%、「女の子」が45.8%となっている。



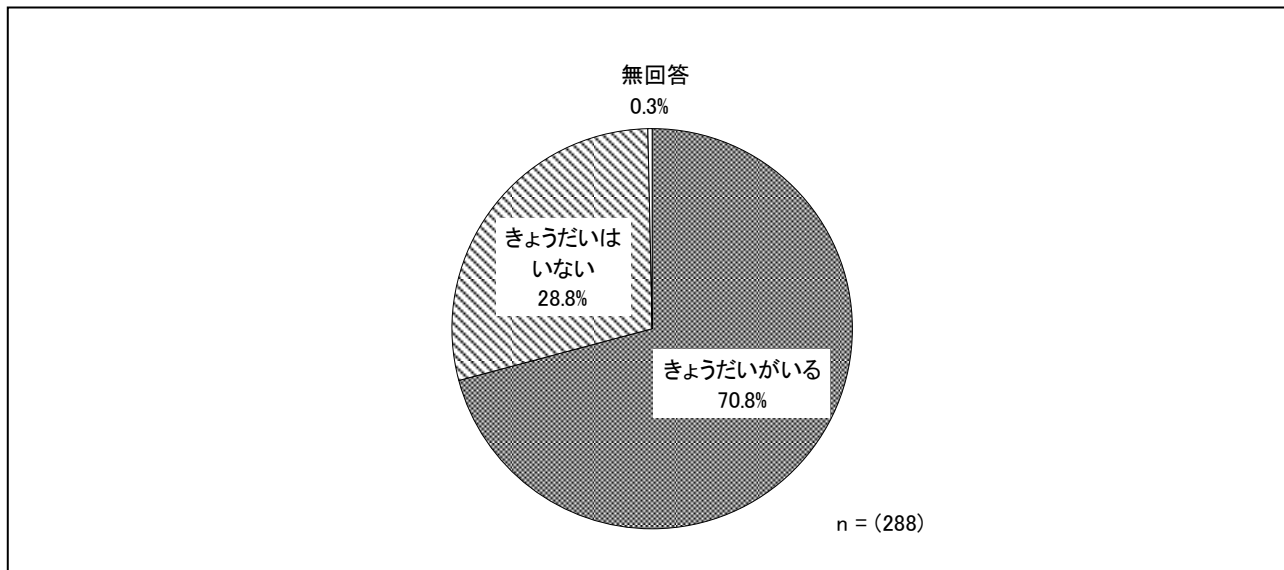
(3) きょうだいの状況

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

きょうだいがいらっしゃる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目か口枠内に数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を口枠内に数字でご記入ください。

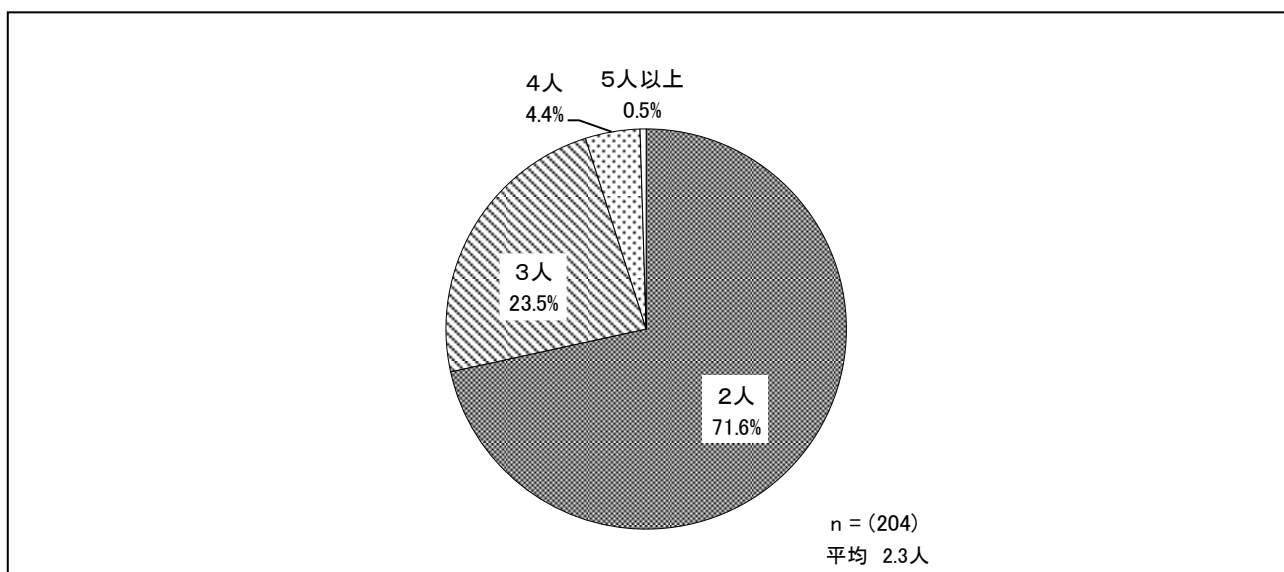
①きょうだいの有無

きょうだいについては、「いる」が70.8%、「いない」が28.8%となっている。



②きょうだいの人数

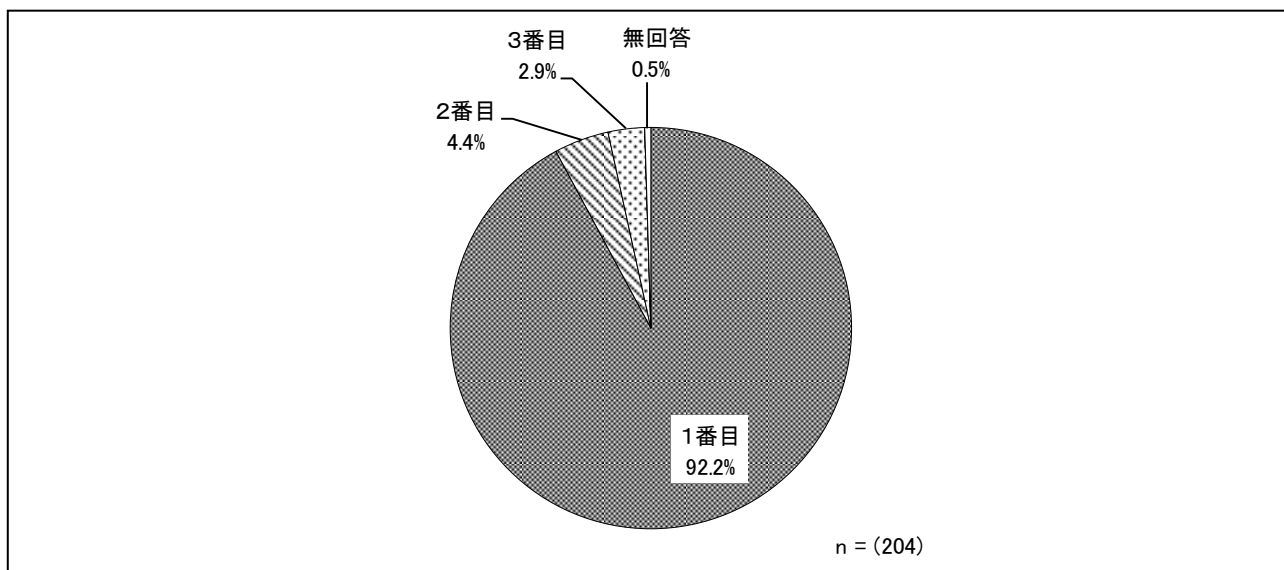
「きょうだいがいる」場合のきょうだいの人数は、「2人」が71.6%、「3人」が23.5%を占め、平均2.3人となっている。



## 第2章 調査結果

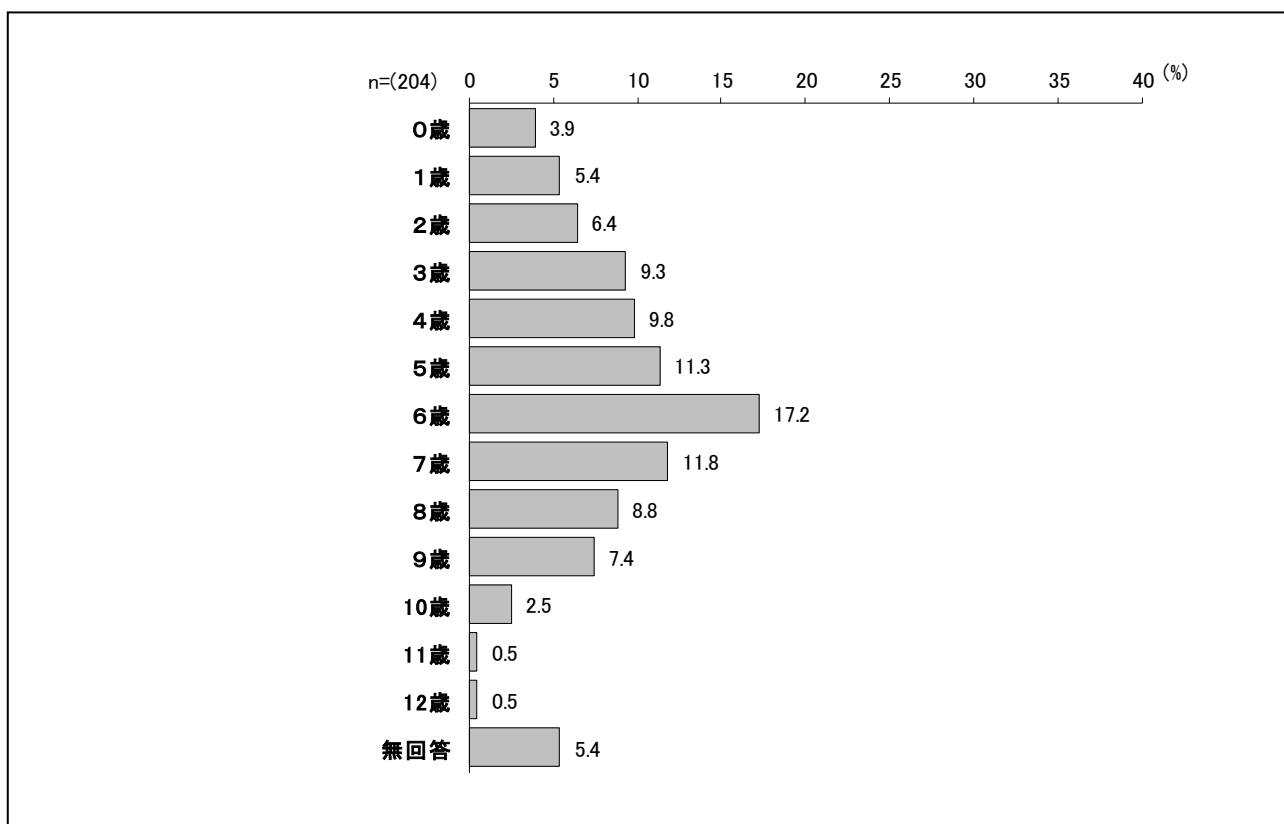
### ③きょうだいの中での出生順位

宛名の子どものきょうだいの中での出生順位は、「1番目」が92.2%と最も高く、次いで「2番目」が4.4%となっている。



### ④末子の年齢

末子の年齢は、「6歳」が17.2%と最も高くなっている。

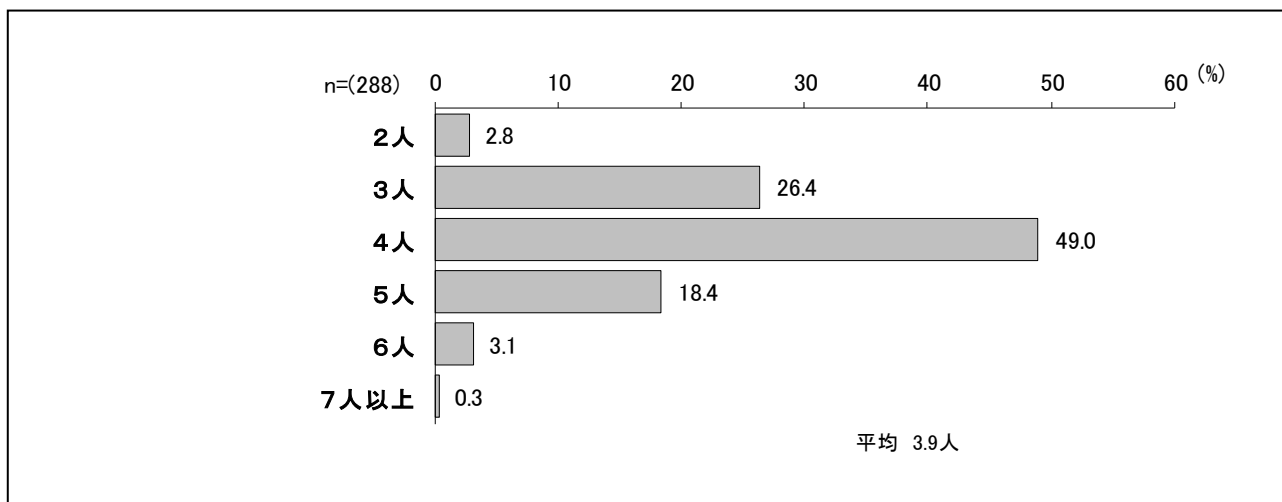


(4) 世帯の人数

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満のお子さんの人数は何人ですか。□枠内に数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

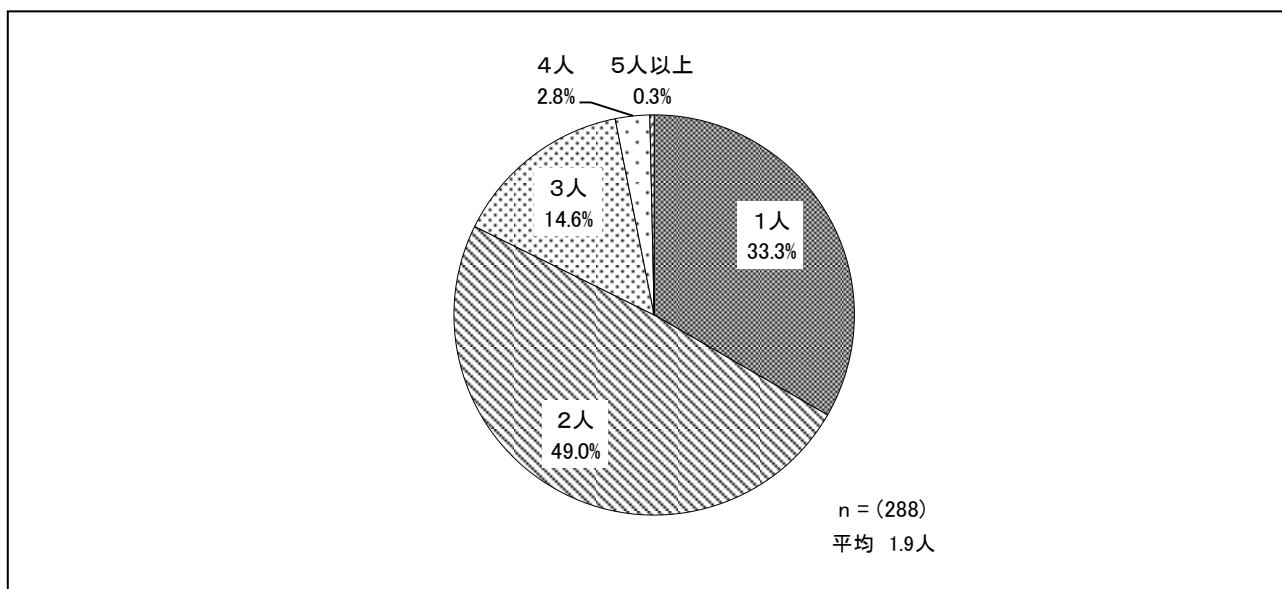
①世帯の人数

世帯の人数は、「4人」が49.0%と最も高く、次いで「3人」が26.4%、「5人」が18.4%となっており、平均3.9人となっている。



②子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が49.0%と最も高く、次いで「1人」が33.3%となっており、平均1.9人となっている。



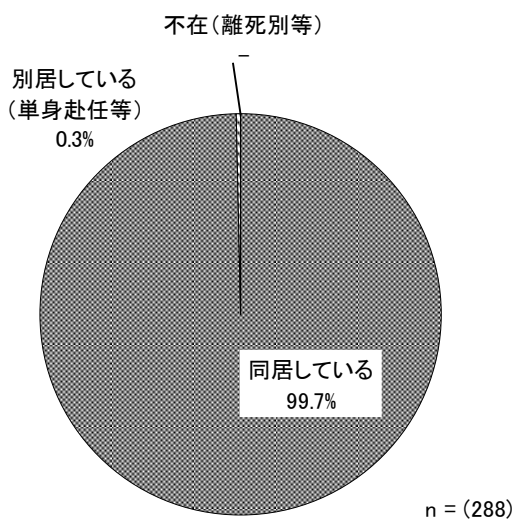
## 第2章 調査結果

### (5) 父母の同居の状況

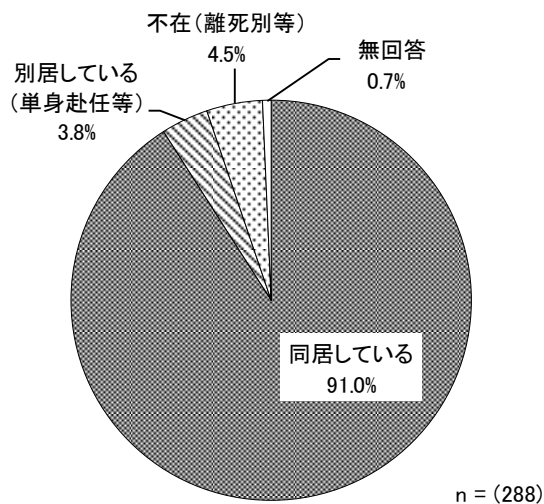
問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

父母の同居の状況を見ると、「同居している」は母親99.7%、父親91.0%、「別居している（単身赴任等）」は母親0.3%、父親3.8%、「不在（離死別等）」は母親の回答は見られず、父親4.5%となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】



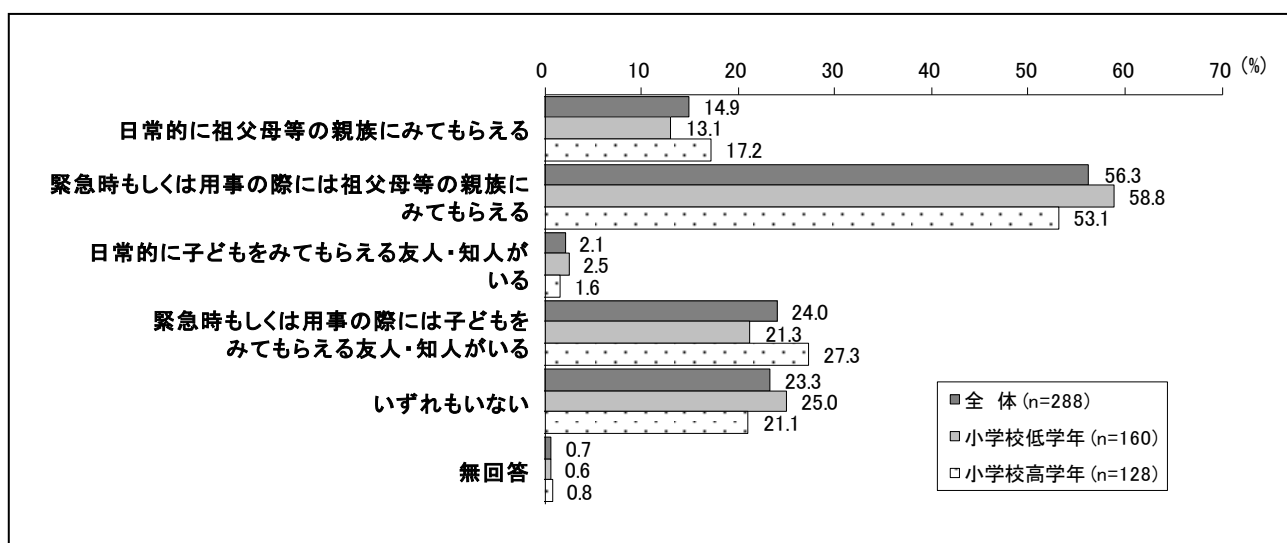


## (6) 子どもをみてもらえる親族・知人

## ①子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問5 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

日頃子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56.3%と最も高く、次いで「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が24.0%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が14.9%となっている。一方、「いずれもない」は23.3%となっている。



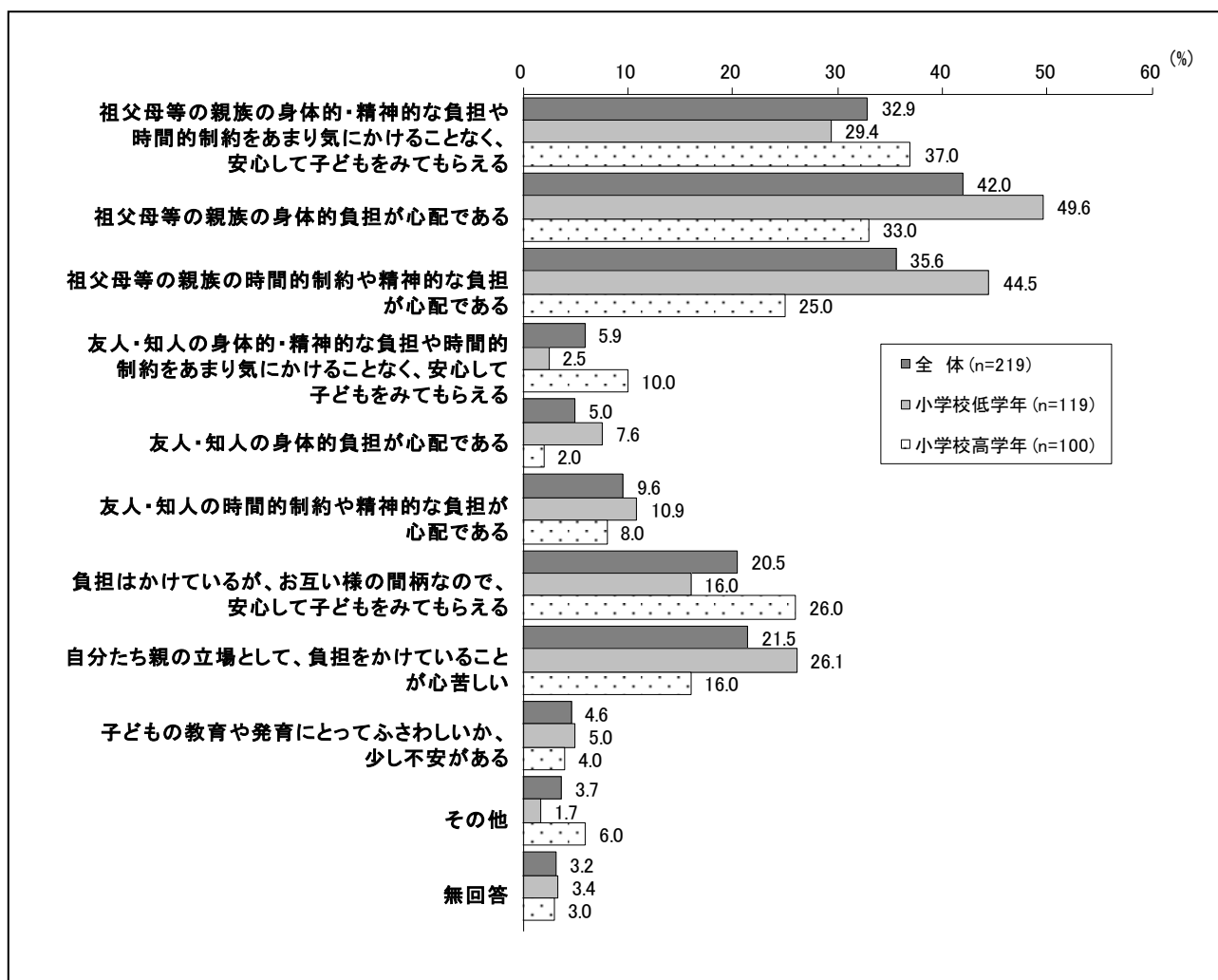
## 第2章 調査結果

### ②親族・知人にみてもらっている状況

問5で、「1」～「4」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問5-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。  
(当てはまるものすべてに○)

親族・知人にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が42.0%、次いで「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」が35.6%となっている一方で、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる」は32.9%となっている。

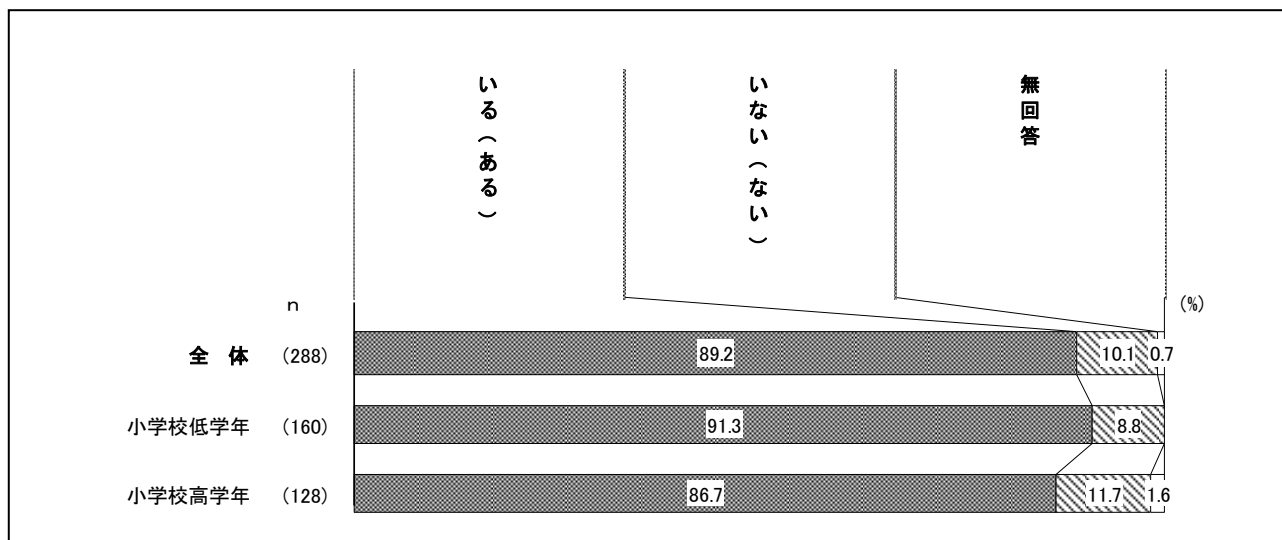


(7) 子育ての相談ができる人・場所

①子育ての相談ができる人・場所の有無

問6 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(〇は1つ)

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる(ある)」が89.2%で、「いない(ない)」が10.1%となっている。



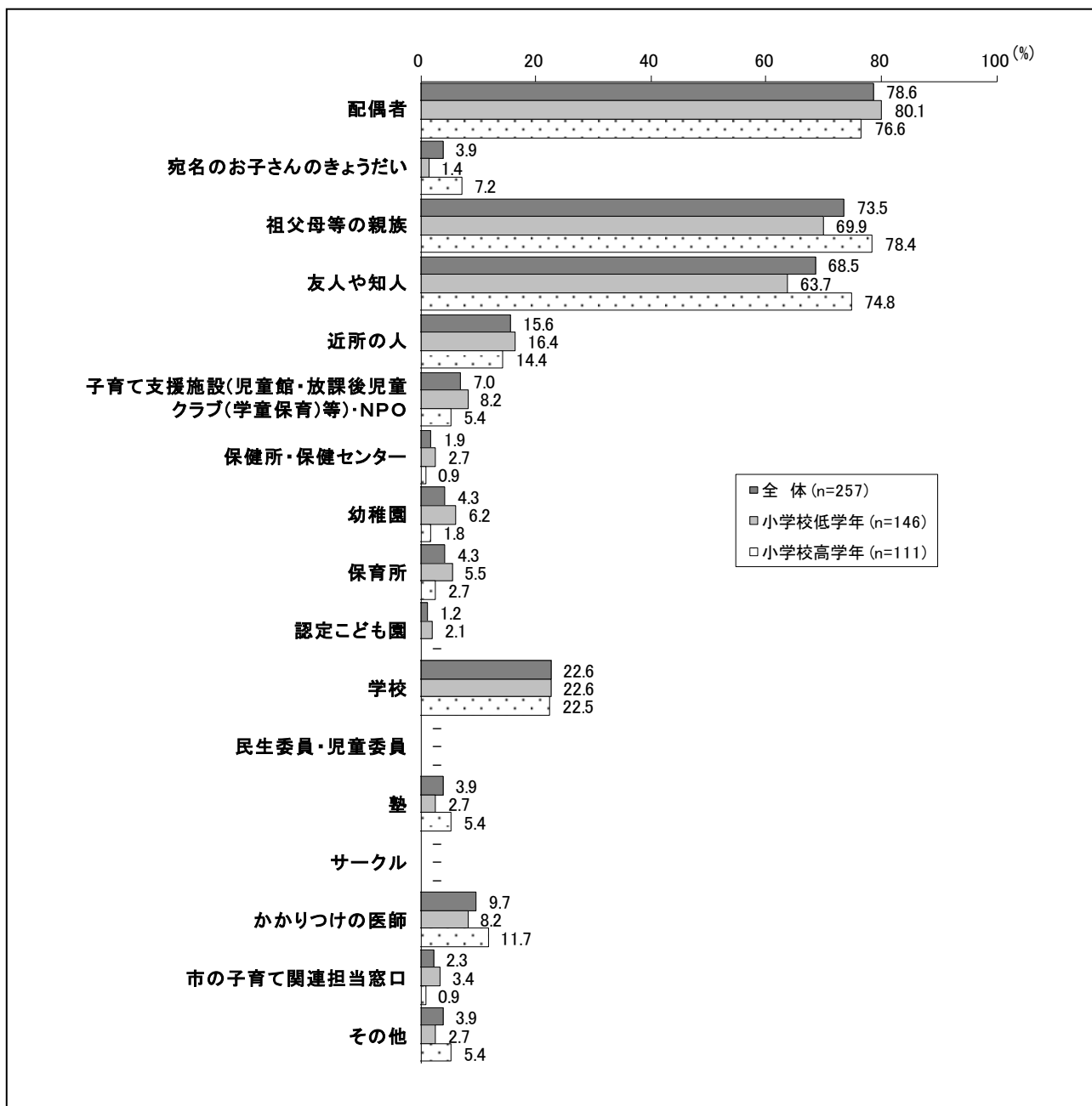
## 第2章 調査結果

### ②子育ての相談ができる人・場所

問6で、「1」（いる（ある））を選択した方にうかがいます。

問6-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。  
（当てはまるものすべてに○）

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「配偶者」が78.6%、「祖父母等の親族」が73.5%、「友人や知人」が68.5%と特に高くなっている。



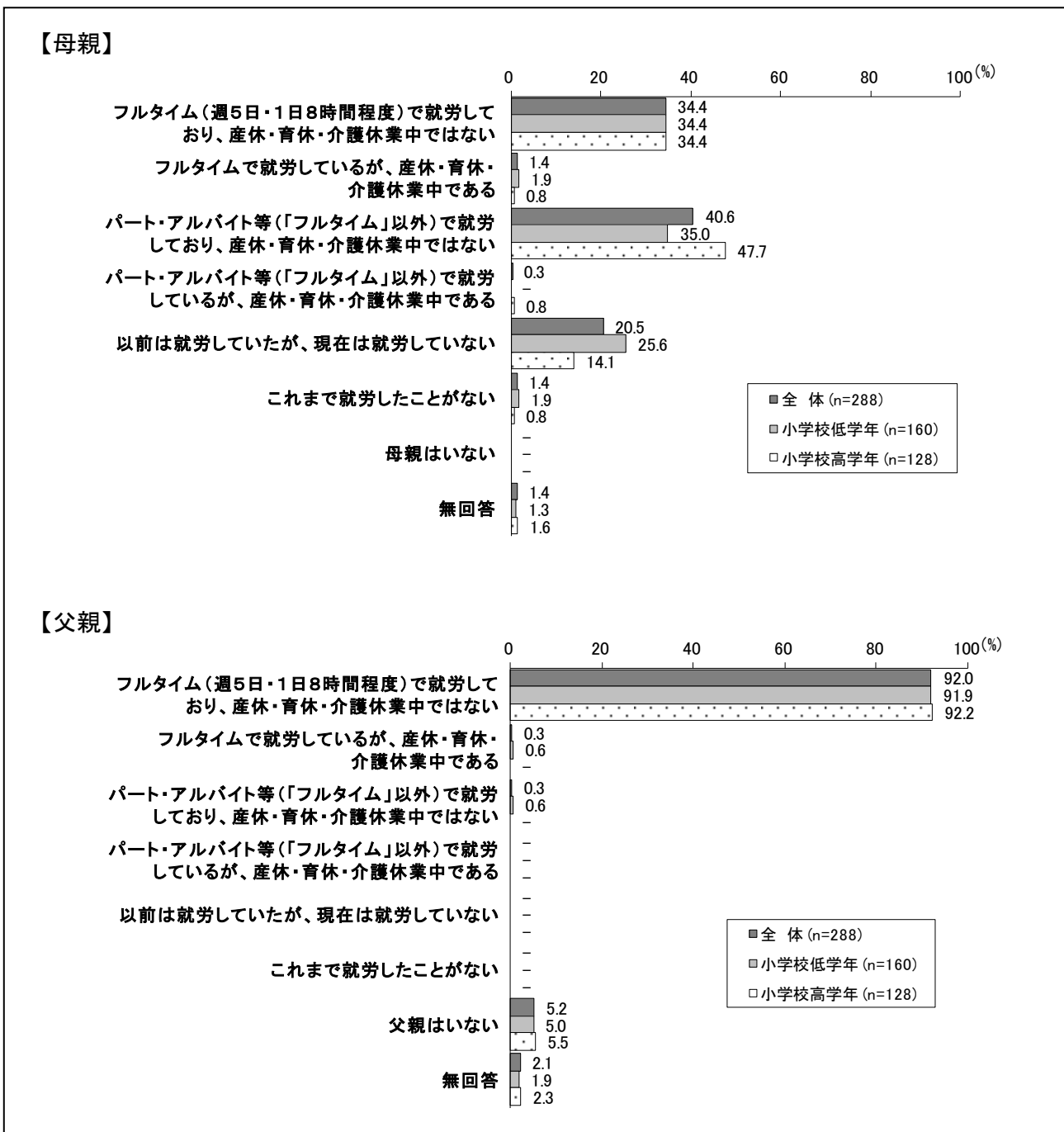
## 2. 保護者の就労状況

### (1) 保護者の就労状況

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号を□枠内にそれぞれ1つずつご記入ください。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が40.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.5%となっている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が92.0%を占めている。



## 第2章 調査結果

### (2) 就労日数・就労時間

問7の母親または父親で、「1」～「4」（就労している）を選択した方にうかがいます。

問7-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間・残業時間等を含む拘束時間）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

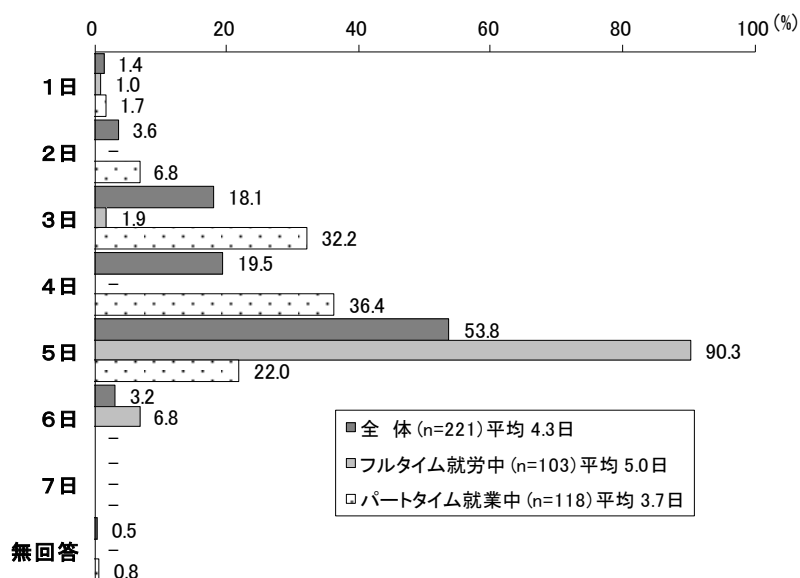
※在宅勤務を実施されている方は、就業開始時刻及び終了時刻をお答えください。

#### ① 1週当たりの就労日数

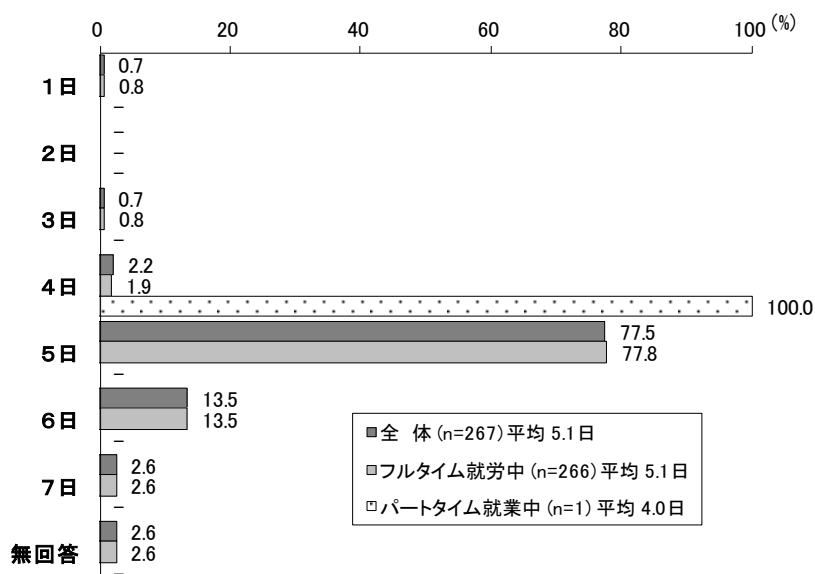
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が53.8%と高く、平均4.3日となっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が77.5%と高く、平均5.1日となっている。

#### 【母親】



#### 【父親】

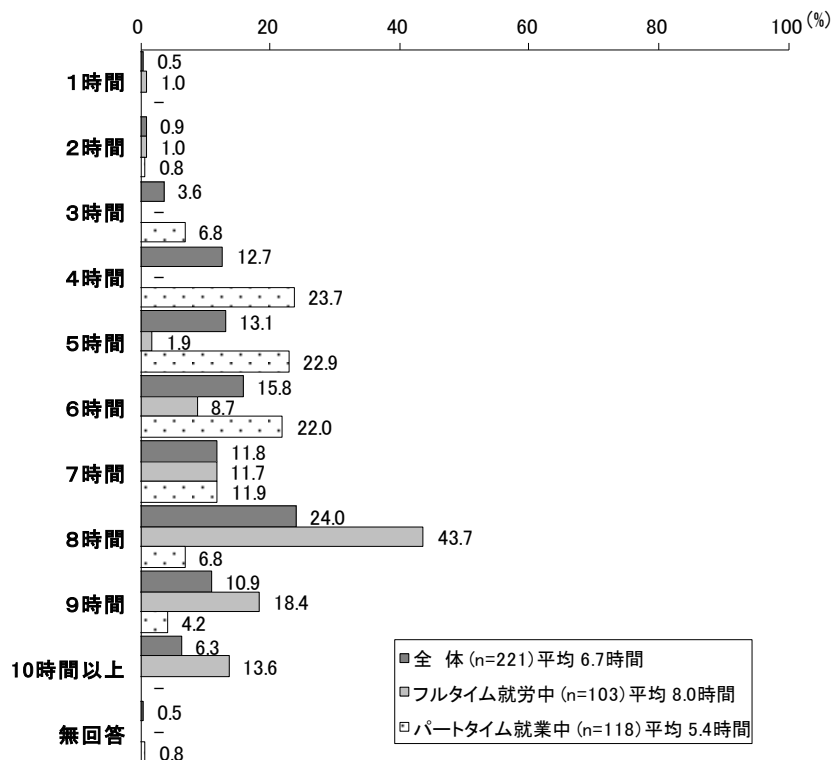


② 1日当たりの就労時間

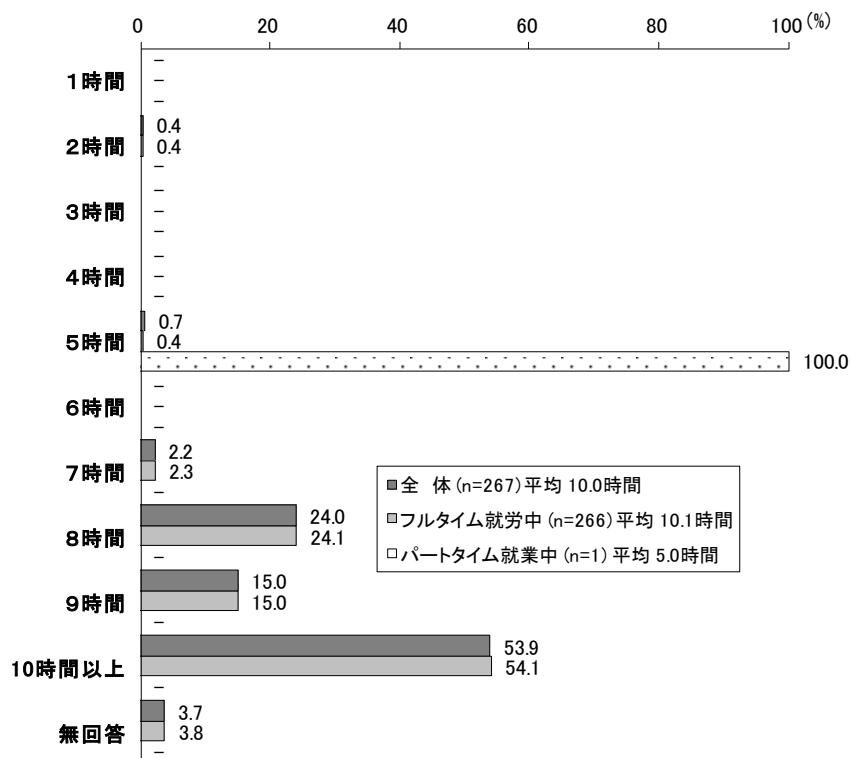
母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が24.0%と最も高く、平均6.7時間となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が53.9%と最も高く、平均10.0時間となっている。

【母親】



【父親】



## 第2章 調査結果

### (3) 家を出る時刻、帰宅時刻

問7-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも  
多いパターンについてお答えください。

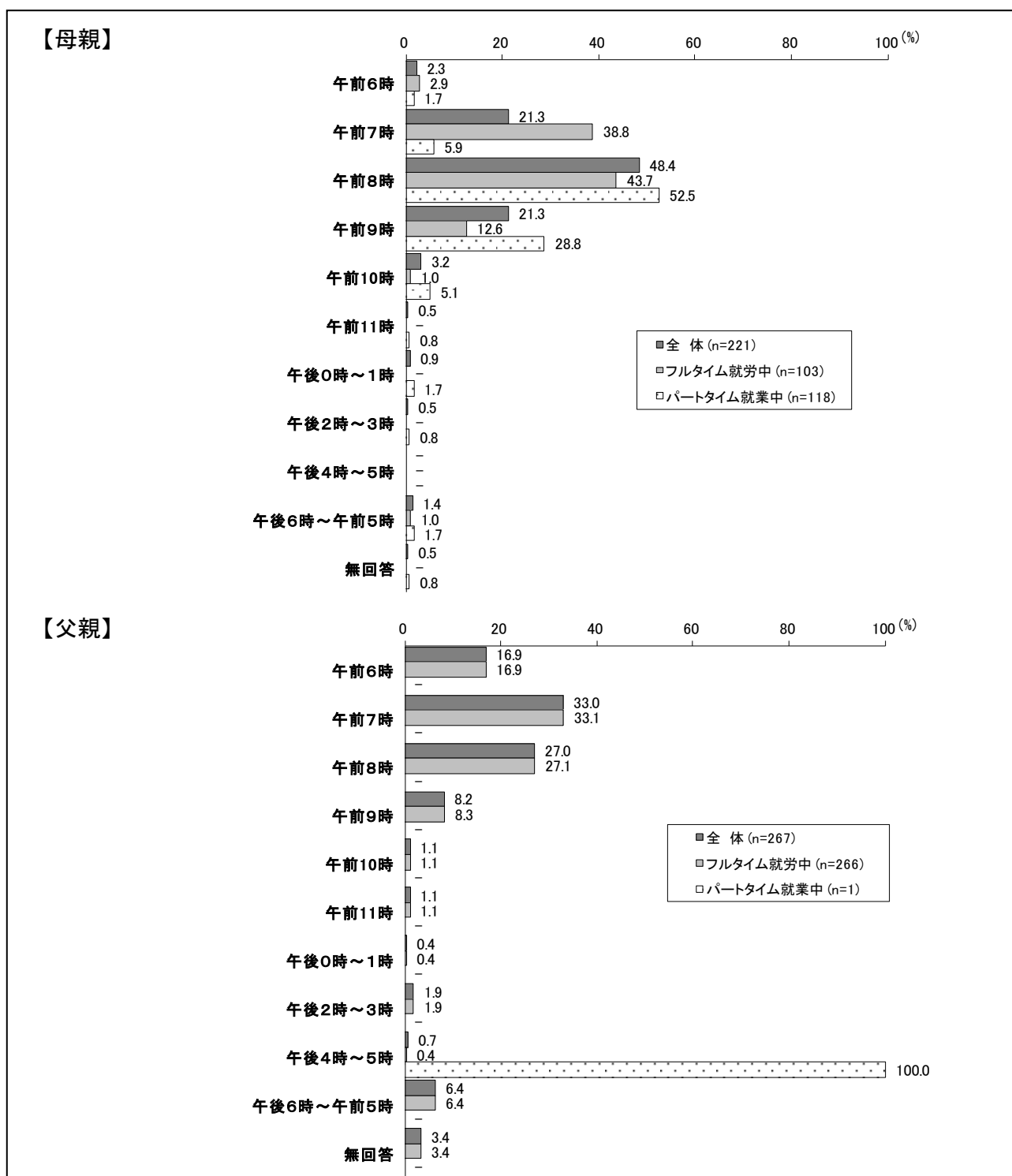
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※在宅勤務を実施されている方は、就業開始時刻及び終了時刻をお答えください。

#### ①家を出る時刻

母親の家を出る時刻は、「午前8時」が48.4%と最も高くなっている。

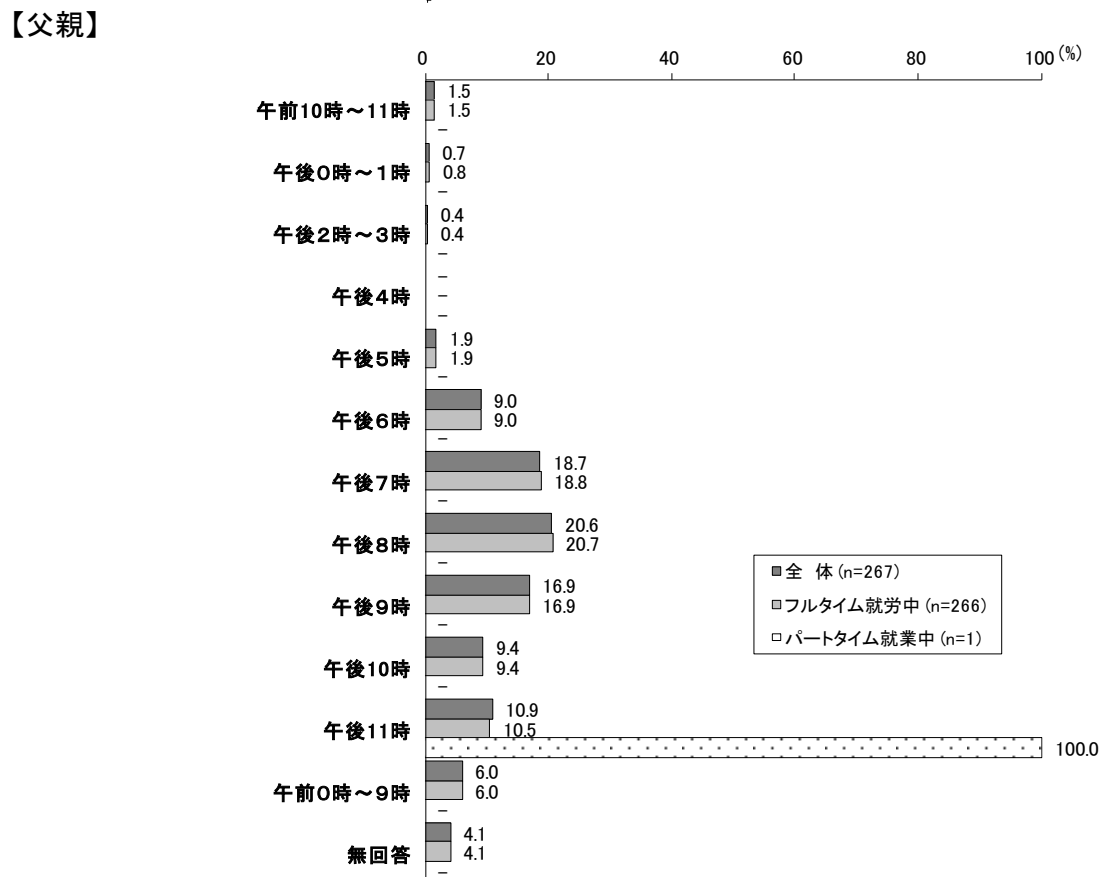
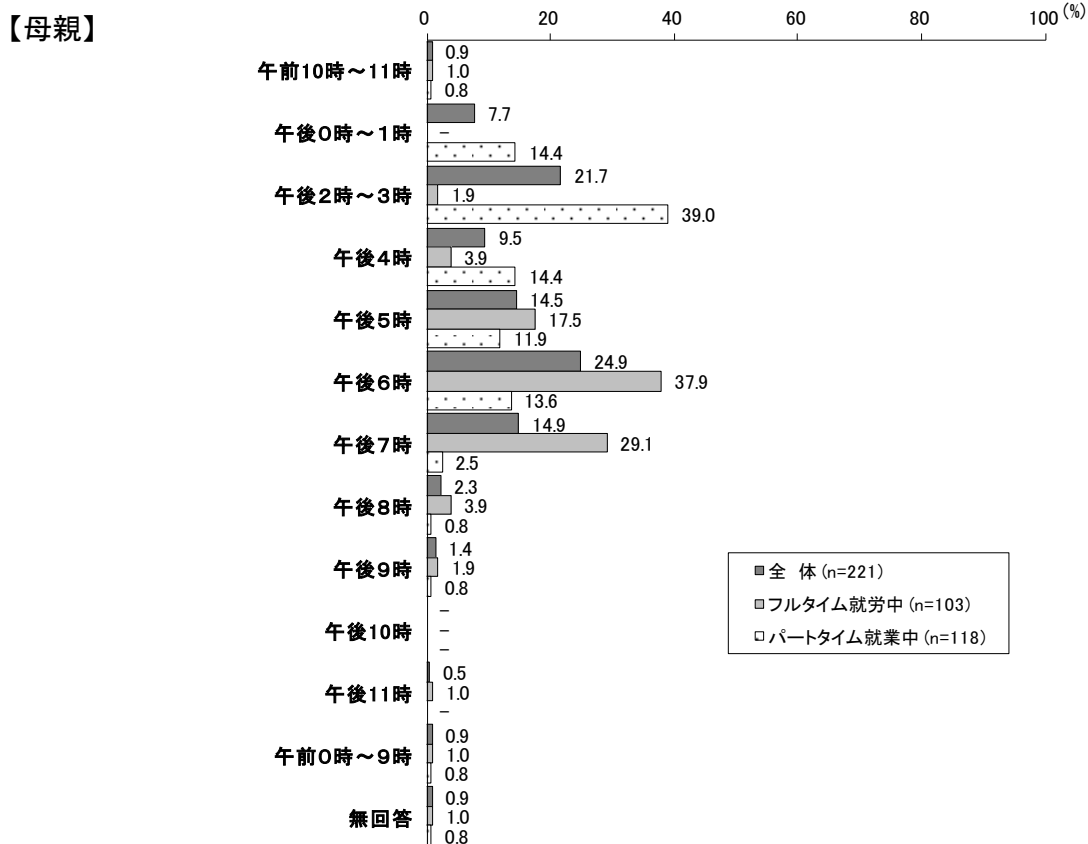
父親の家を出る時刻は、「午前7時」が33.0%と最も高くなっている。





②帰宅時刻

母親の帰宅時刻は、「午後6時」が24.9%、「午後2時～3時」が21.7%と高くなっている。  
 父親の帰宅時刻は、「午後8時」が20.6%、「午後7時」が18.7%と高くなっている。



## 第2章 調査結果

### (4) フルタイム等への転換希望

問7の母親または父親で、「3」、「4」（パート・アルバイト等で就労している）を選択した方にかがいます。

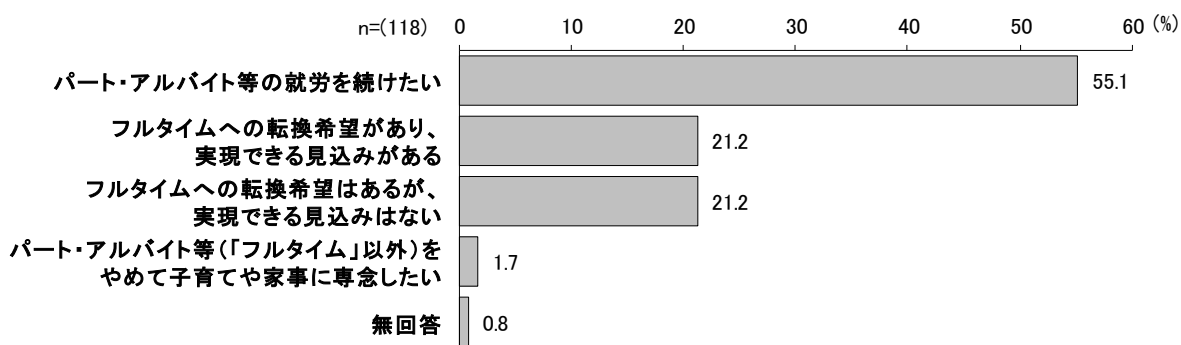
問8 フルタイム等への転換希望はありますか。父母共に該当する番号を□枠内にそれぞれ1つずつ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期に○をつけてください。

#### ①フルタイム等への転換希望

現在パート・アルバイト等で就労している母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が55.1%と特に高く、次いで「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がともに21.2%となっている。

父親は、1人が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」と回答している。

#### 【母親】



#### 【父親】

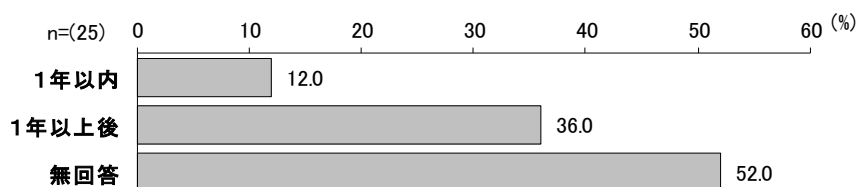
父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

#### ②フルタイムへの転換の見込み

「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」と回答した母親の転換見込み時期は、「1年以上後」が36.0%、「1年以内」が12.0%となっている。

父親は、回答者がいなかった。

#### 【母親】



#### 【父親】

父親は回答者がいなかったため、グラフを掲載していない。

(5) 就労希望

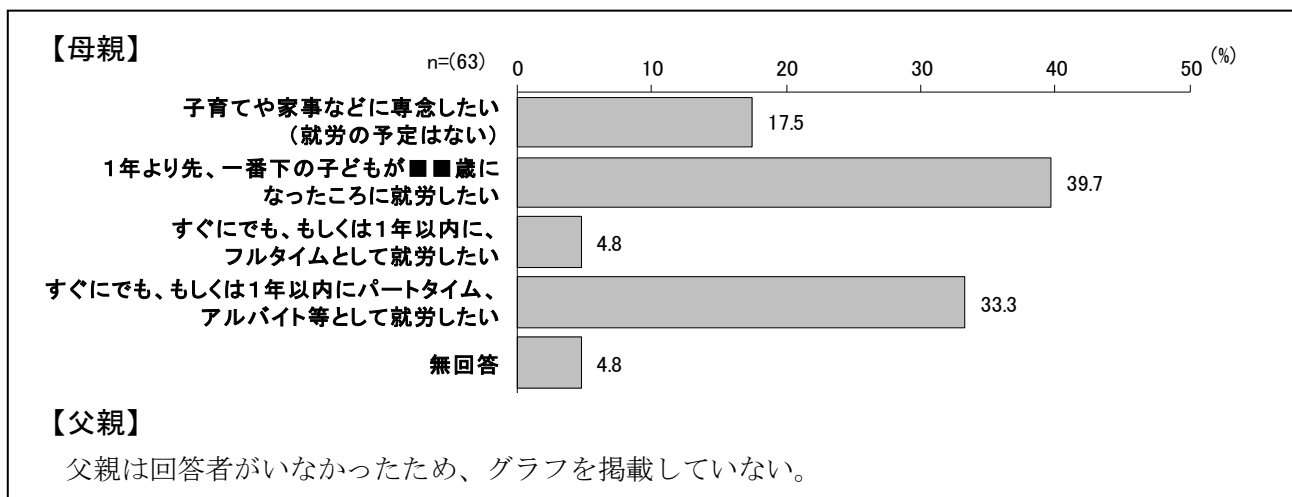
問7の母親または父親で、「5」（以前は就労していたが、現在は就労していない）または「6」（これまで就労したことがない）を選択した方にうかがいます。

問9 就労したいという希望はありますか。父母共に該当する番号を□枠内にそれぞれ1つずつご記入ください。また「2」または「4」を選んだ場合には、□枠内にそれぞれ数字をご記入ください。

①就労希望

現在就労していない母親の就労希望をみると、「1年より先、一番下の子どもが■■歳になったころに就労したい」が39.7%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい」が33.3%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が17.5%となっている。

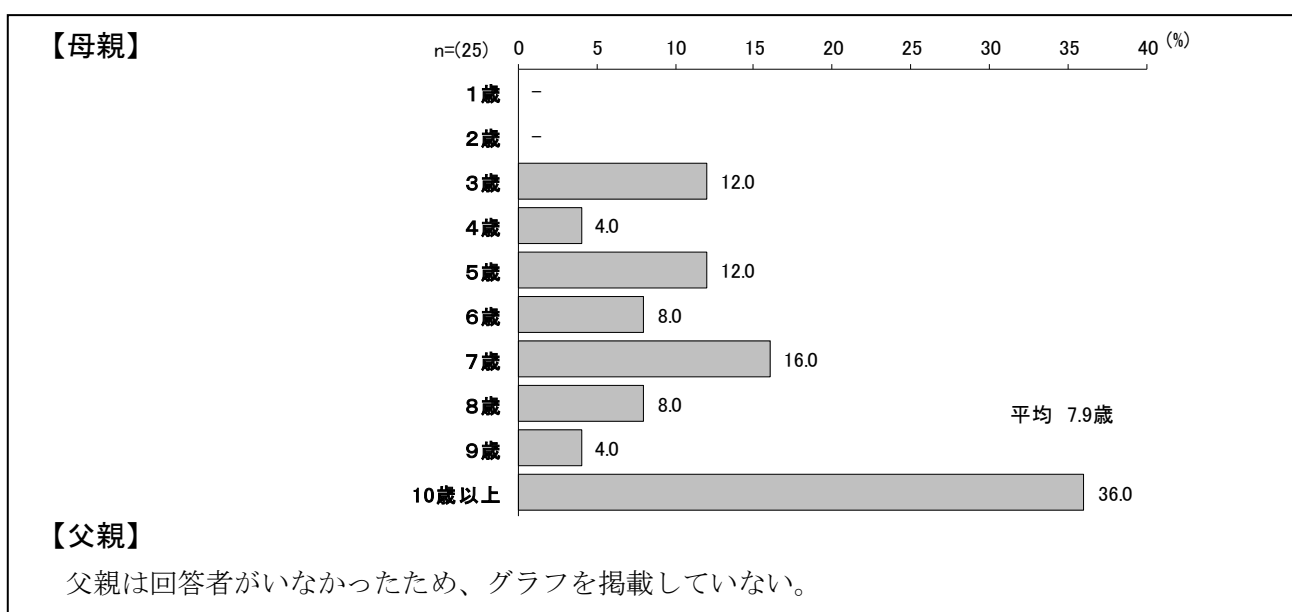
父親は、回答者がいなかった。



②一番下の子どもが何歳になったら就労したいか

母親の就労意向は、一番下の子どもの年齢が「10歳以上」が36.0%と最も高く、平均7.9歳となっている。

父親は、回答者がいなかった。



## 第2章 調査結果

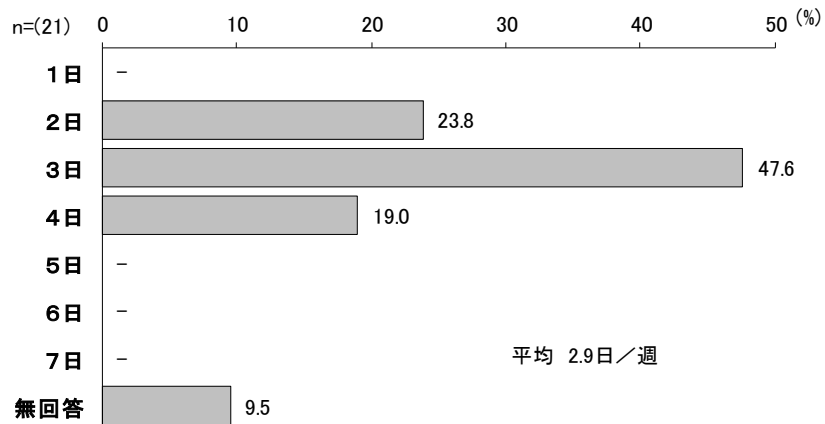
### ③ すぐにも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい方の希望する就労日数及び時間

母親の希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が47.6%と最も高く、平均2.9日/週となっている。また、母親の希望する1日当たりの就労時間は、「4時間」が57.1%と最も高く、平均4.2時間/日となっている。

父親は、回答者がいなかった。

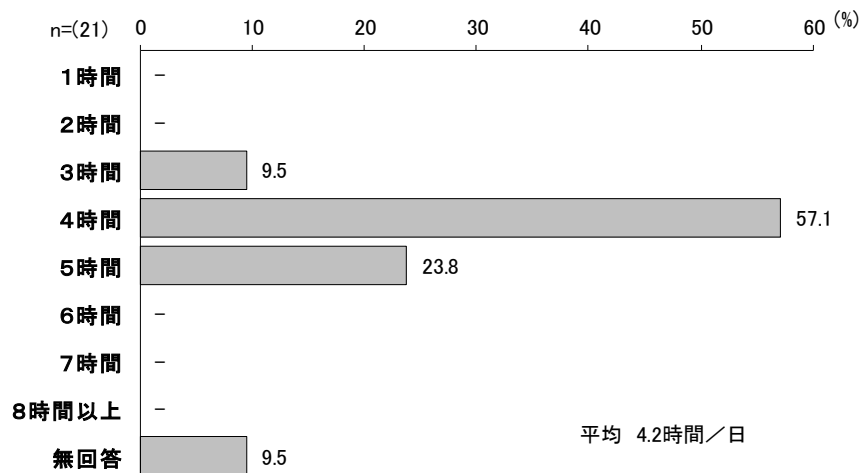
#### <就労日数>

##### 【母親】



#### <就労時間>

##### 【母親】



##### 【父親】

父親は回答者がいなかったため、グラフを掲載していない。

## ④就労希望があるのに就労していない理由

問9の母親または父親で、「3」、「4」（すぐにでも就労したい）を選択した方にうかがいます。

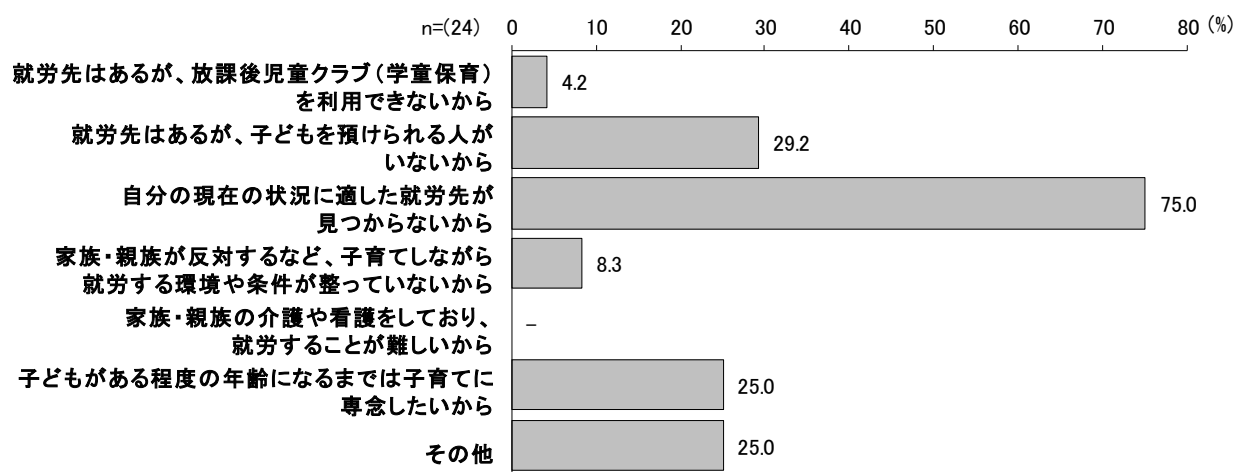
問9-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。

（それぞれ当てはまるものすべてに○）

母親の就労希望があるのに働いていない理由は、「自分の現在の状況に適した就労先が見つからないから」が75.0%と最も高く、次いで「就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから」が29.2%、「子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから」が25.0%となっている。その他の理由としては、病気のため、下の子が幼いため、父親の転勤の可能性、PTAなど他の活動が忙しいためなどの回答があった。

父親は、回答者がいなかった。

## 【母親】



## 【父親】

父親は回答者がいなかったため、グラフを掲載していない。

### 3. 放課後の過ごし方

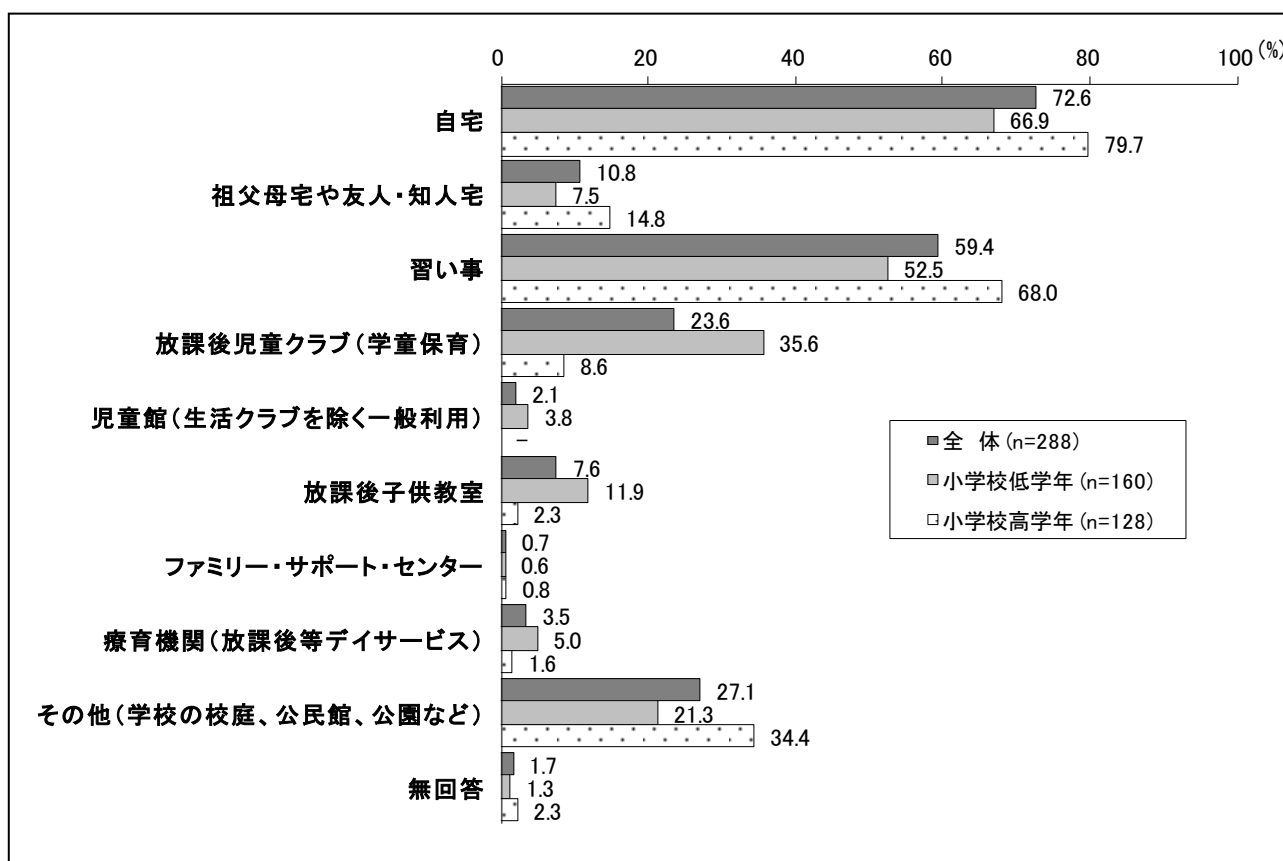
#### (1) 現在の放課後の過ごし方

問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。①、②それぞれに当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を口枠内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用している（希望する）時間も24時間制で口枠内に数字でご記入ください。

#### ① 過ごしている場所

子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が72.6%と最も高く、次いで「習い事」が59.4%となっている。



## ②過ごしている日数・放課後児童クラブ（学童保育）利用時間

子どもが放課後過ごしている主な場所の1週間の平均日数をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が4.5日、「自宅」が3.2日、「習い事」が2.4日となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用時間は「午後6時まで」が51.5%と最も高くなっている。

	回答者数 (人)	平均(日)
自宅	209	3.2
祖父母宅や友人・知人宅	31	2.0
習い事	171	2.4
放課後児童クラブ(学童保育)	65	4.5
児童館(生活クラブを除く一般利用)	6	1.2
放課後子供教室	21	1.8
ファミリー・サポート・センター	2	1.0
療育機関(放課後等デイサービス)	10	2.2
その他(学校の校庭、公民館、公園など)	76	1.8

回答者数 (人)	午後3時 まで	午後4時 まで	午後5時 まで	午後6時 まで	午後7時 まで	午後8時 まで	午後9時 以降まで	無回答
68	-	2.9	33.8	51.5	8.8	-	-	2.9

## 第2章 調査結果

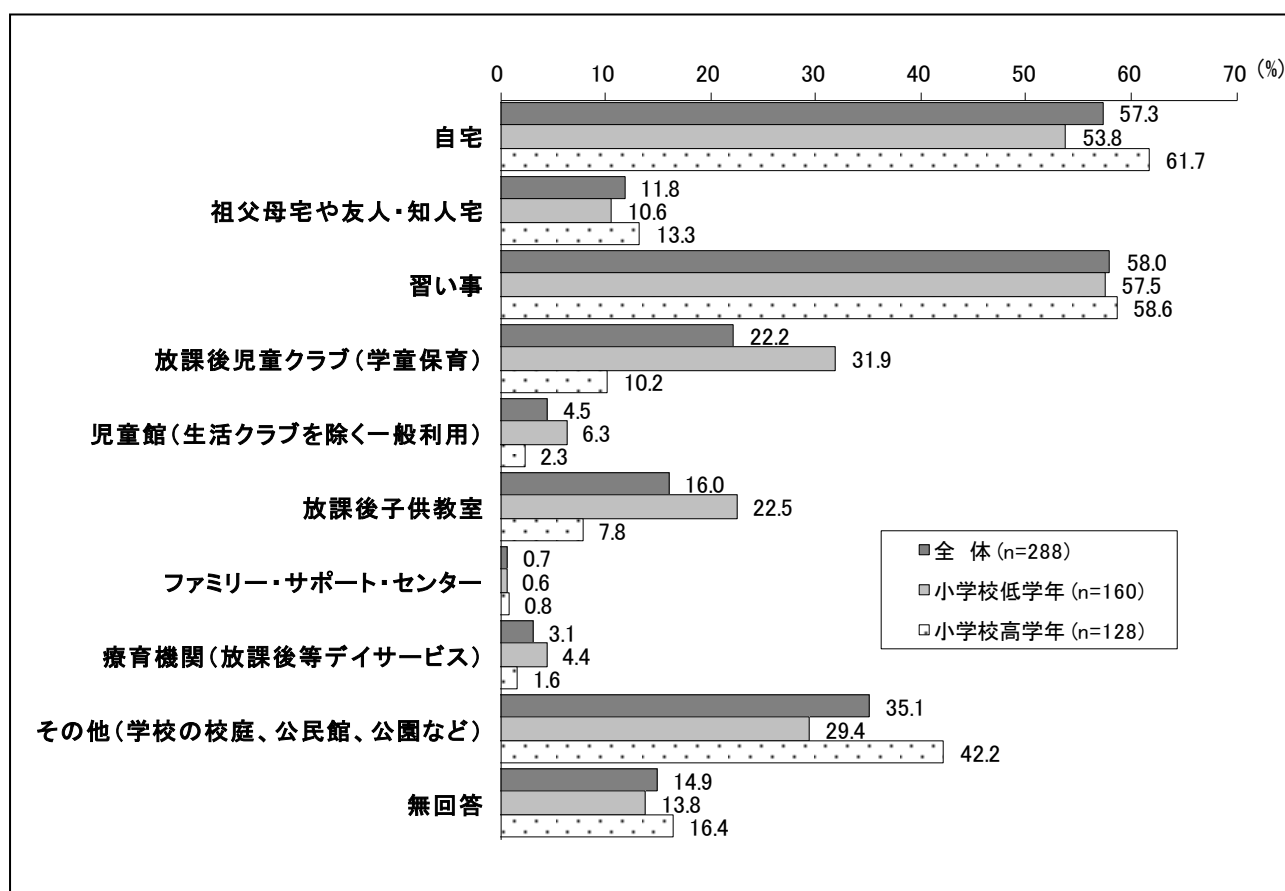
### (2) 希望する放課後の過ごし方

問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。①、②それぞれに当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週あたり日数を口枠内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」の場合には利用している（希望する）時間も24時間制で口枠内に数字でご記入ください。

#### ① 過ごさせたい場所

子どもに放課後過ごさせたい場所は、「習い事」が58.0%、「自宅」が57.3%と特に高くなっており、次いで「その他（学校の校庭、公民館、公園など）」が35.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が22.2%となっている。





## ②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）利用希望時間

放課後過ごさせたい主な場所の1週間の平均日数をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が3.9日、「自宅」が2.6日、「放課後子供教室」が2.4日、「習い事」が2.3日となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望時間は「午後6時まで」が39.1%と最も高く、次いで「午後5時まで」が35.9%となっている。

平均利用日数

	回答者数 (人)	平均(日)
自宅	165	2.6
祖父母宅や友人・知人宅	33	1.6
習い事	167	2.3
放課後児童クラブ(学童保育)	63	3.9
児童館(生活クラブを除く一般利用)	13	2.0
放課後子供教室	46	2.4
ファミリー・サポート・センター	2	1.0
療育機関(放課後等デイサービス)	9	2.4
その他(学校の校庭、公民館、公園など)	101	1.9

放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間 (単位:%)

回答者数 (人)	午後3時 まで	午後4時 まで	午後5時 まで	午後6時 まで	午後7時 まで	午後8時 まで	午後9時 以降まで	無回答
64	-	9.4	35.9	39.1	7.8	1.6	-	6.3

## 第2章 調査結果

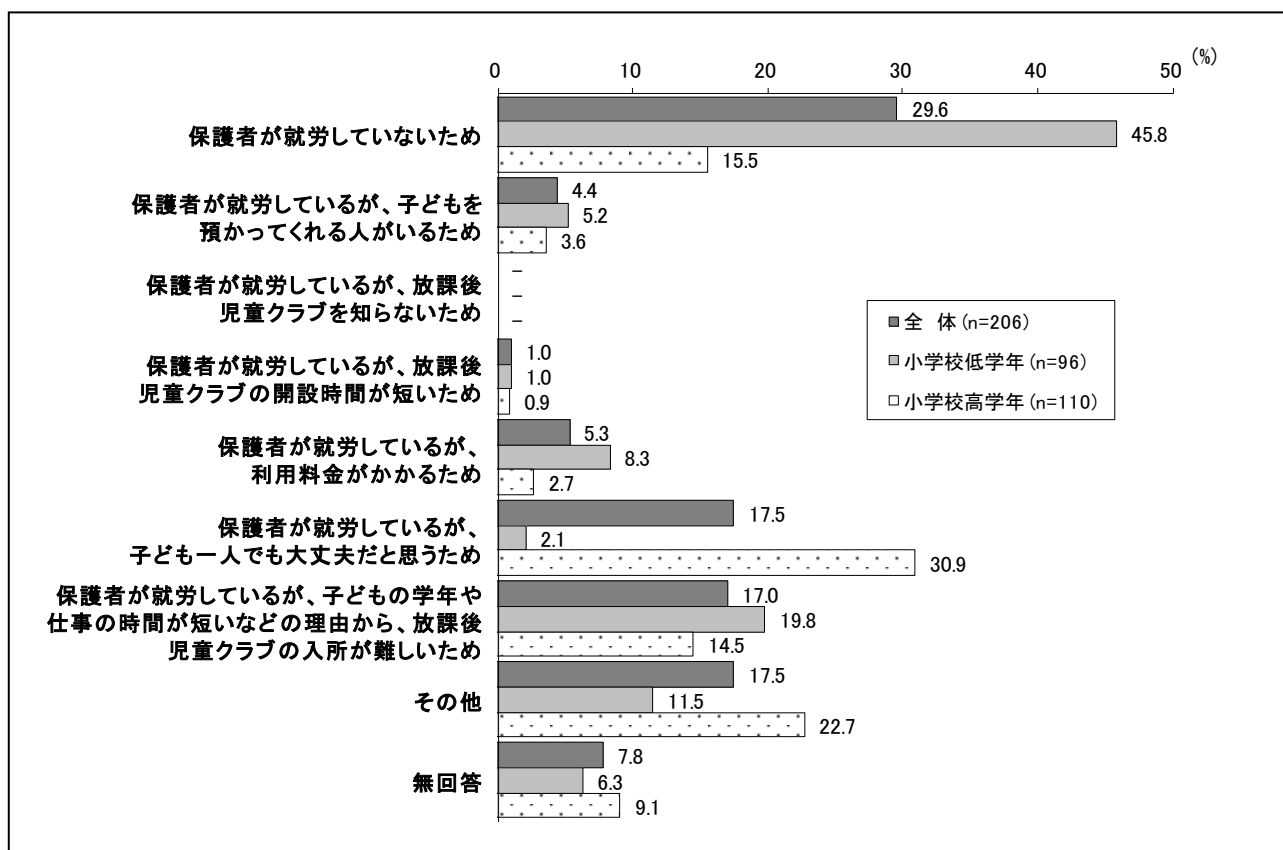
### (3) 「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない（希望しない）理由

問10で、「4」（放課後児童クラブ（学童保育））を現在利用していない方と、希望しない方にうかがいます。

問10-1 利用していない（希望しない）理由についてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない理由は、「保護者が就労していないため」が29.6%と最も高く、次いで「保護者が就労しているが、子ども一人でも大丈夫だと思うため」が17.5%、「保護者が就労しているが、子どもの学年や仕事の時間が短いなどの理由から、放課後児童クラブの入所が難しいため」が17.0%となっている。

また、「その他」の具体的な回答としては、「保護者が就労しているが、子どもが帰る時間には帰宅しているので」、「子どもが行きたがらない、望まないため」、「他の事業、施設を利用しているため」、「低学年時は利用できても、学童希望人数により高学年になると利用できなかったため」などがあつた。



## (4) 低学年の子どもが高学年になったときに希望する放課後の過ごし方

宛名のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にかがいます。

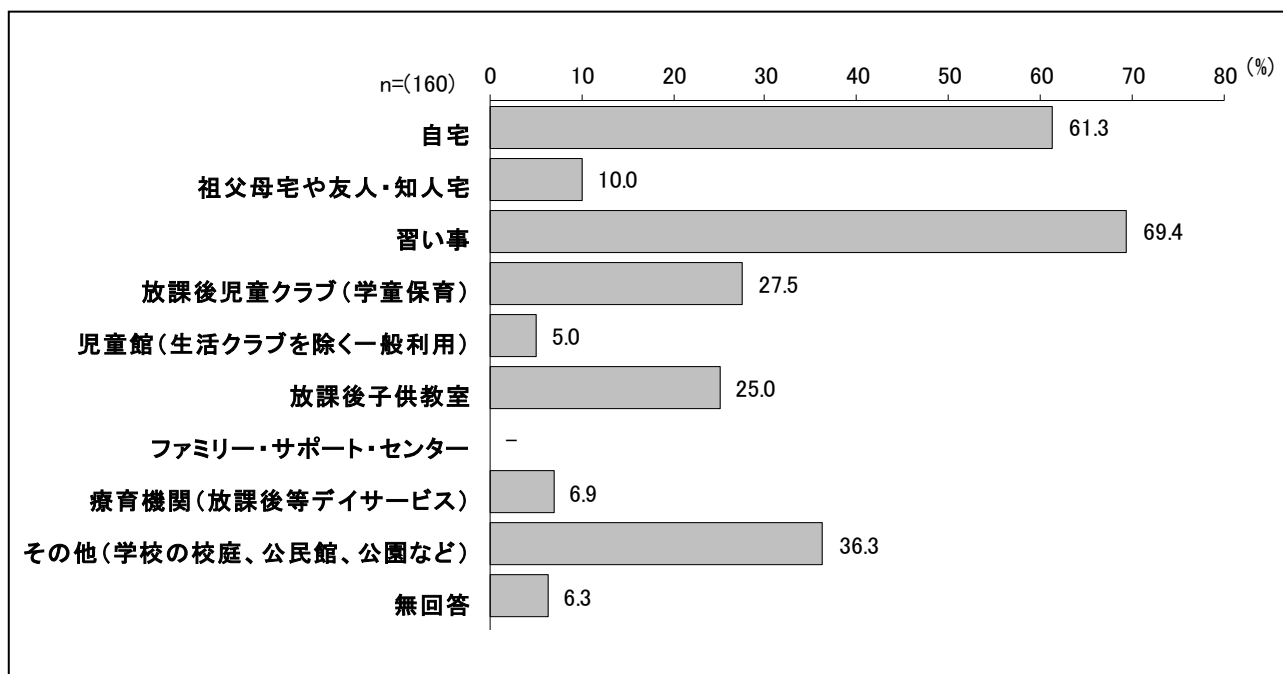
※小学校高学年（4～6年生）の方は、問12へお進みください。

問11 今後、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を口枠内に数字でご記入ください。

「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には利用を希望する時間も24時間制で口枠内に数字でご記入ください。

## ① 過ごさせたい場所

子どもが高学年になったら過ごさせたい場所は、「習い事」が69.4%、「自宅」が61.3%と特に高くなっている。



## 第2章 調査結果

### ②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

子どもが高学年になったら放課後過ごさせたい主な場所の1週間の平均日数をみると、「放課後児童クラブ（学童保育）」が4.0日、「放課後子供教室」が2.5日、「自宅」が2.4日となっている。また、「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望時間は「午後6時まで」が59.1%と最も高く、次いで「午後5時まで」が25.0%となっている。

平均利用日数

	回答者数 (人)	平均(日)
自宅	98	2.4
祖父母宅や友人・知人宅	16	1.4
習い事	111	2.1
放課後児童クラブ(学童保育)	44	4.0
児童館(生活クラブを除く一般利用)	8	2.3
放課後子供教室	40	2.5
ファミリー・サポート・センター	-	-
療育機関(放課後等デイサービス)	11	2.9
その他(学校の校庭、公民館、公園など)	58	1.9

放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間

(単位:%)

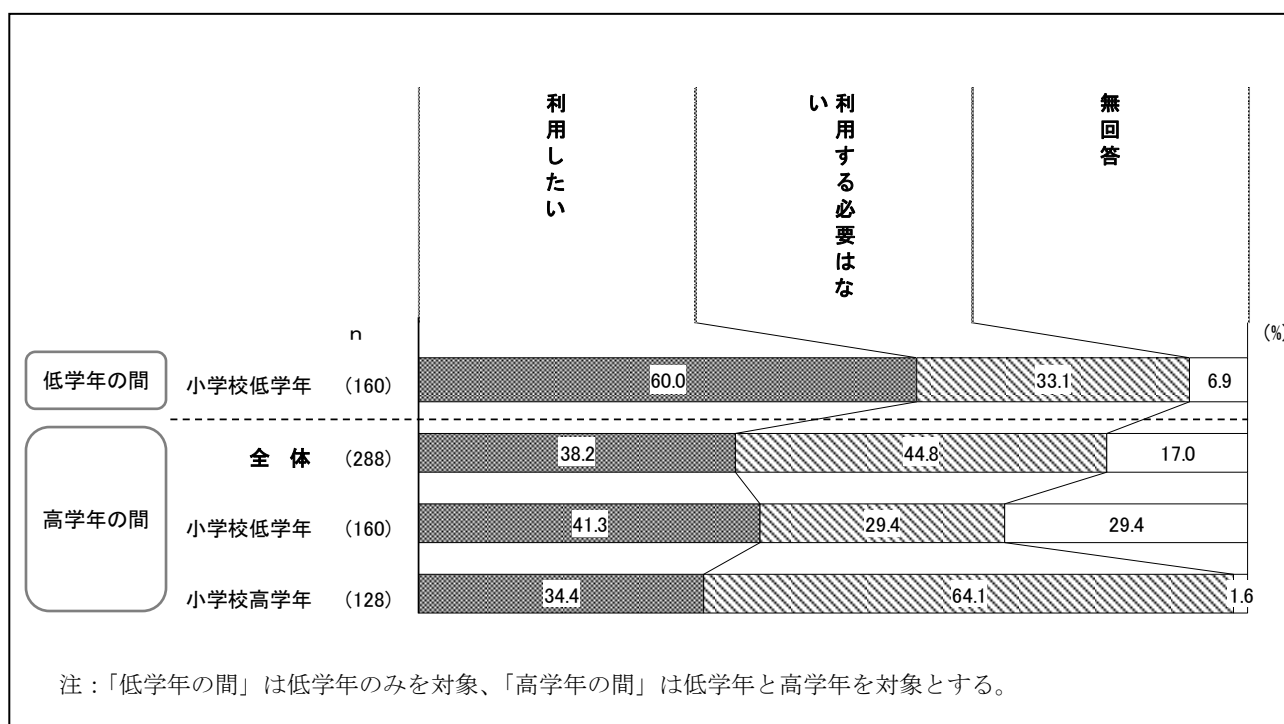
回答者数 (人)	午後3時 まで	午後4時 まで	午後5時 まで	午後6時 まで	午後7時 まで	午後8時 まで	午後9時 以降まで	無回答
44	-	2.3	25.0	59.1	11.4	-	-	2.3

(5) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望

問12 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。（それぞれ〇は1つ）  
 「1」に〇印をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、口枠内に数字でご記入ください。

■利用希望

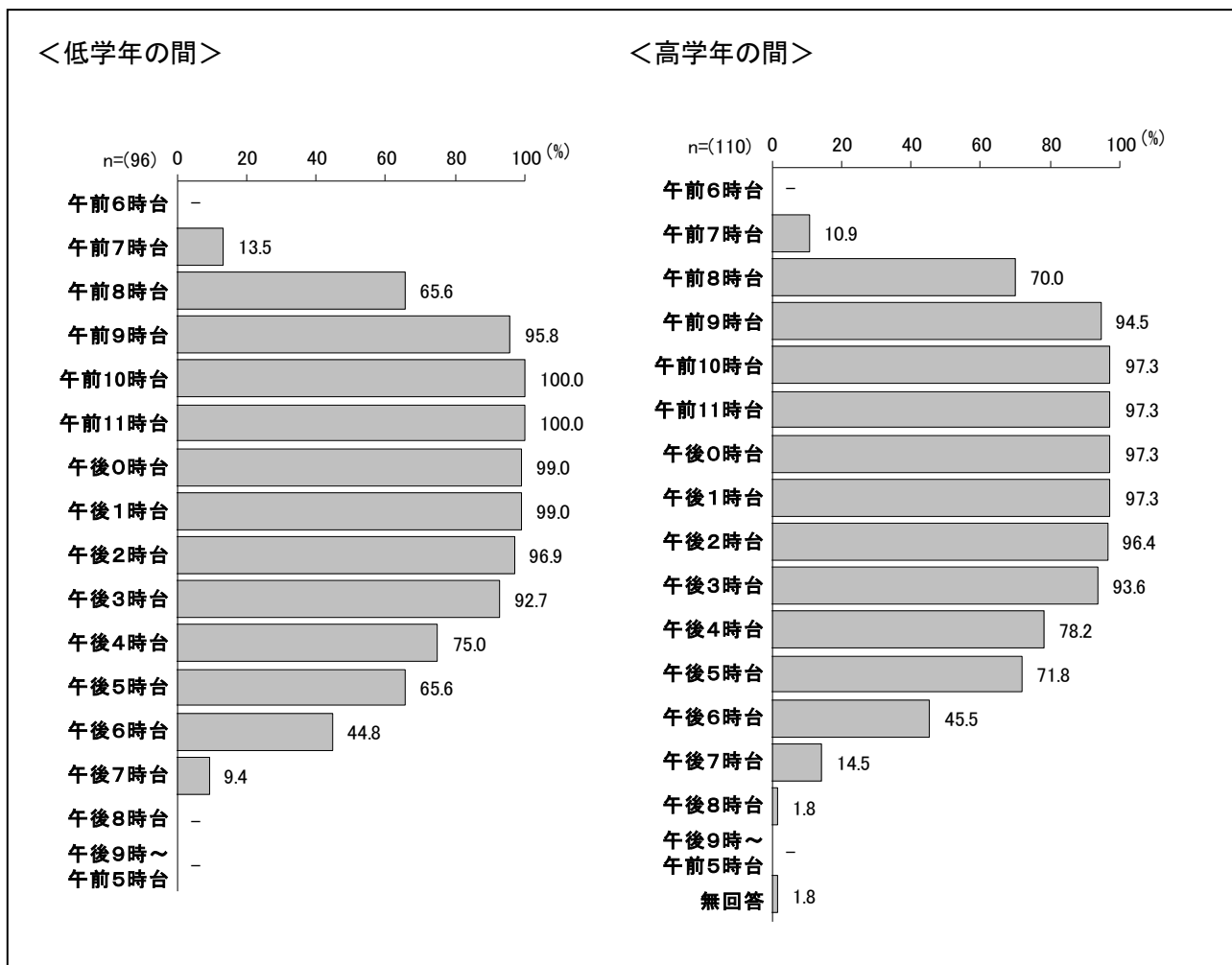
長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、低学年の間は60.0%、高学年の間は38.2%となっている。



## 第2章 調査結果

### ■希望利用時間帯

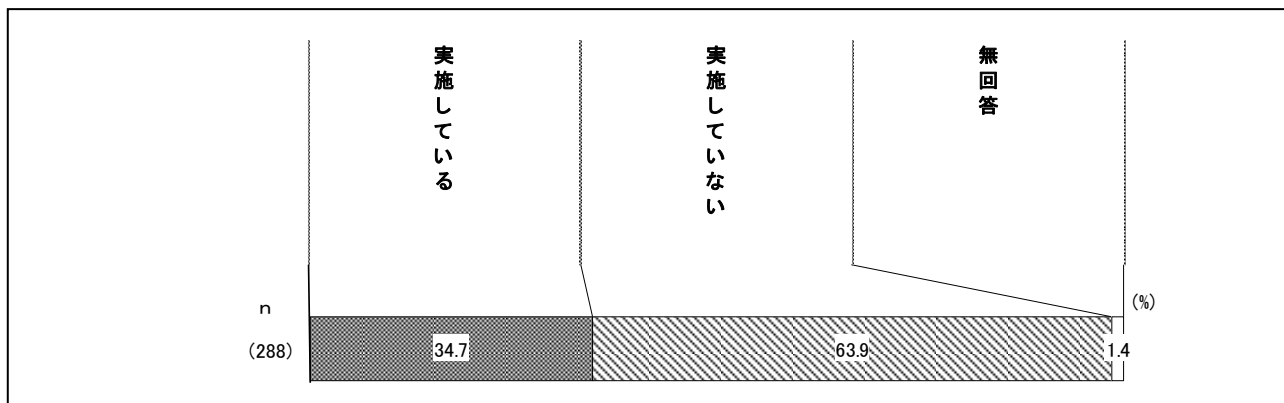
長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年と高学年ともに「午前9時台」から「午後3時台」までが概ね9割台と高くなっている。



(6) 子どもが通っている小学校の「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況

問13 宛名のお子さんが通っている小学校では、「ほうかごところ・ほうかご広場」を実施していますか。  
(○は1つ)

子どもが通う小学校の「ほうかごところ・ほうかご広場」の実施状況は、「実施している」が34.7%、「実施していない」が63.9%となっている。



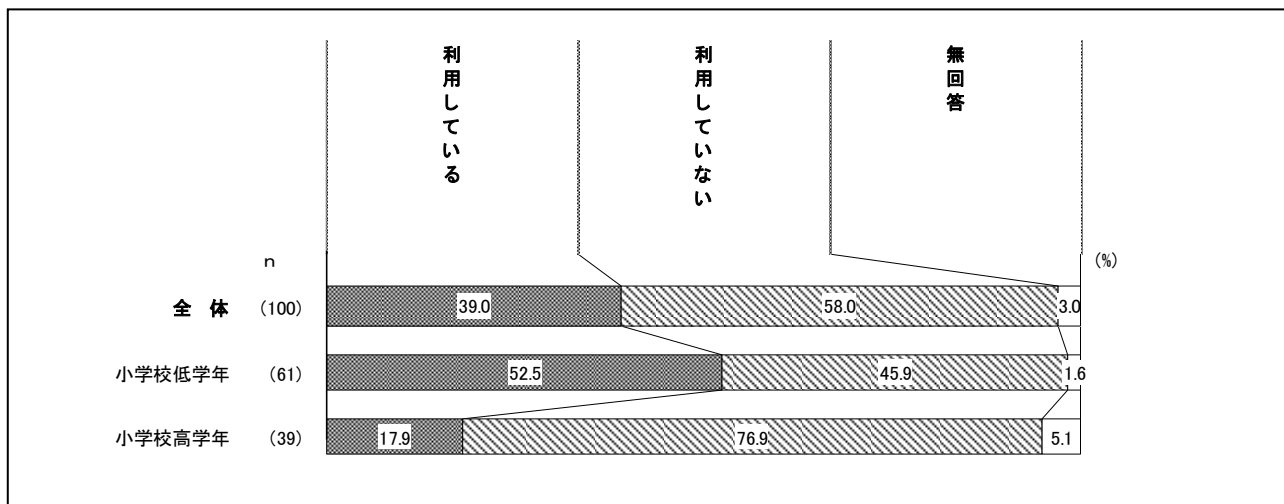
(7) 「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用状況

問13で、「1」(実施している)を選択した方にうかがいます。

問13-1 「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用していますか。(○は1つ)

利用している場合は、利用している日数や時間帯を24時間制で、口枠内にご記入ください。

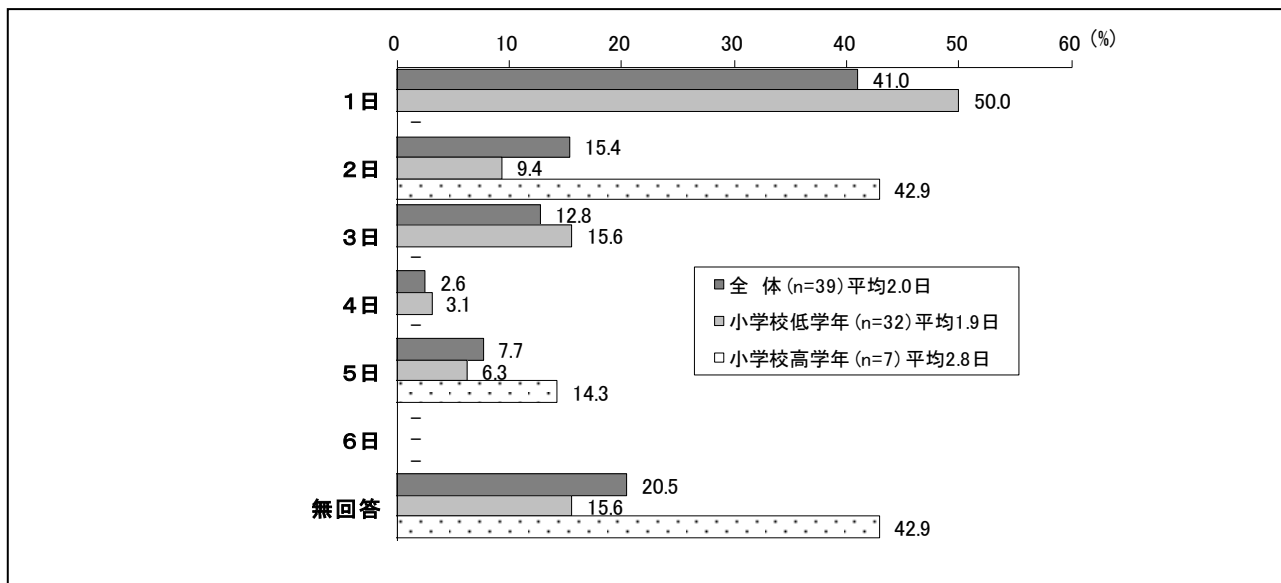
「ほうかごところ・ほうかご広場」を実施している小学校に通う人の「ほうかごところ・ほうかご広場」の利用状況は、「利用している」が39.0%、「利用していない」が58.0%となっている。



## 第2章 調査結果

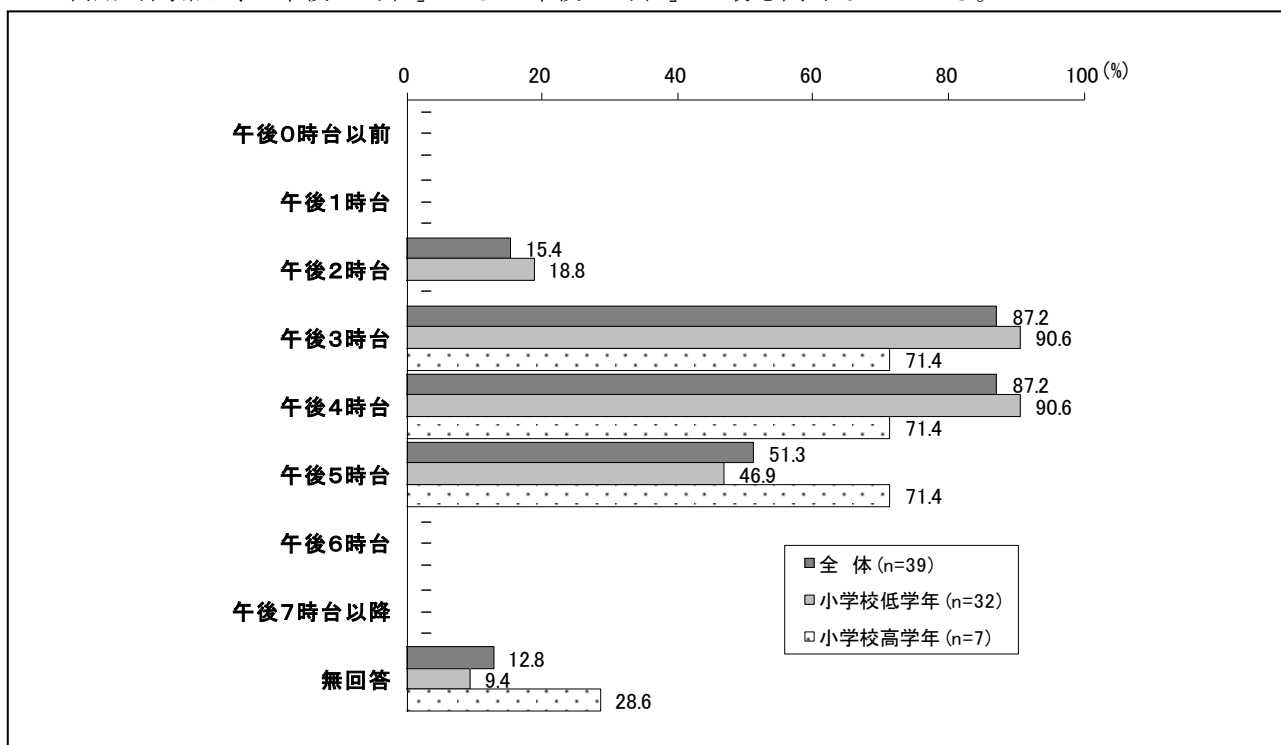
### ■利用日数

利用日数は、「1日」が41.0%と最も高く、平均2.0日となっている。



### ■利用時間帯

利用時間帯は、「午後3時台」から「午後4時台」が最も高くなっている。





## (8)「ほうかごところ・ほうかご広場」の感想・評価

問13-1で、「1」（利用している）を選択した方にうかがいます。

問13-2 「ほうかごところ・ほうかご広場」についての感想・評価をご記入ください。

「ほうかごところ・ほうかご広場」についての感想・評価として、38人から回答があった。主な内容は次のとおりとなっている。

## ◆利用しやすい、助かっている

- ・安全な場所で子どもの遊び場を提供していただけて大変ありがたいです。助かります。
- ・学校内でスタッフさんが見守って下さり安心できます。自身の用事で家を空けていたり遊び場がない時に利用できて、上の子が高学年なので姉弟で（お迎えなしで）帰宅できるのも助かります。
- ・仕事をしているので17時半まで利用することができてとても助かっています。又、下の子の行事（幼稚園）などでも利用できてとても良い。
- ・授業参観の後の懇談会の際に利用させてもらっています。まだ1人で留守番ができないので助かっています。

## ◆子どもが楽しんでいる、子どものためになる

- ・通常級の子供とまじわることができるので、本人にとっても勉強になると思う。
- ・スタッフの方たちが見守っている中で友達と遊ばせられるのは、とてもありがたい。子ども自身もとても気に入っており、習い事以外の日は、行きたがることが多い。季節ごとにイベントを行ってくださり、楽しみも作ってくださっています。
- ・クラスが違う子どもも遊べて楽しいようです。たまに工作のイベントもあり、喜んで参加しています。

## ◆時間延長、長期休暇中の実施希望

- ・安心して利用できている。長期休みにもあってほしい。
- ・子供は学童よりもほうかごところの方が遊びの自由度が高いようで好きなようです。預かる時間が冬季も18時頃まで延長してもらえればより助かります。

## ◆その他

- ・親としては子どもを大人の目が届くところで遊ばせる事ができ、大変助かっているが、子どもが友達がいらないからと利用したがない。
- ・親子ともに学校で遊べる安心感があります。登録制だと遊べる友だちに限りがあるので、広く学校が遊べる場であってほしいです。
- ・通級前のお迎えまでの居場所としており、あまり遊ぶ時間はなく分かりません。16：30で終わってしまうのでフルタイム保護者には使いづらい。
- ・とても良いと思うが、まだ低学年なので迎えに行かなければならないのが少し大変。

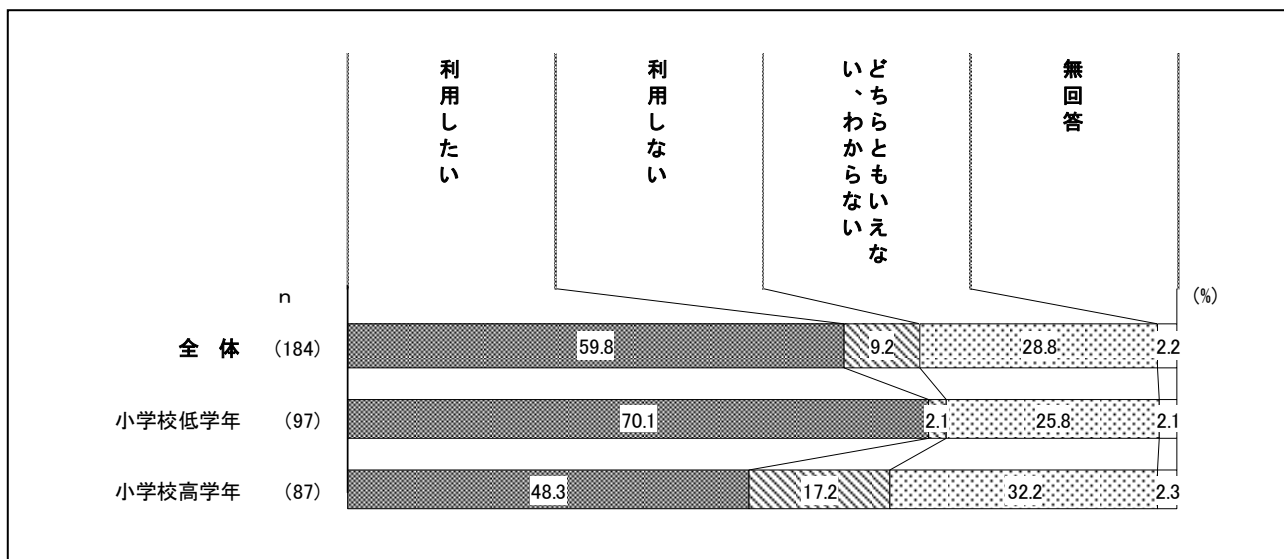
## 第2章 調査結果

### (9) 「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望の有無

問13で、「2」(実施していない)と答えた方にうかがいます。

問13-3 今後「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合、利用したいと思いますか。  
(○は1つ)

子どもが通う小学校で「ほうかごところ・ほうかご広場」が実施された場合の利用希望は、「利用したい」が59.8%、「利用しない」が9.2%、「どちらともいえない、わからない」が28.8%となっている。



## (10) 「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用していない・利用を希望しない理由

問13-1で「2」（利用していない）、問13-3で「2」（利用しない）を選択した方にうかがいます。

問13-4 「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用していない方と今後も利用を希望しない方は、その理由をご記入ください。

「ほうかごところ・ほうかご広場」を利用していない・今後も利用を希望しない理由として、68人から回答があった。主な内容は次のとおりとなっている。

## ◆利用する必要がない（高学年になったから、保護者等がいるため）

- ・保護者と弟が在宅しており、家で過ごすことが多いので。
- ・放課後は習い事もしくは公園や自宅・友人宅で遊ぶようになり利用する必要がなくなり現在は利用してません。
- ・親が在宅で勤務しているため。

## ◆利用する必要がない（学童や習い事等をしているため）

- ・学童を利用している。
- ・習い事があるため、なかなか時間がとれない
- ・塾の勉強が忙しく遊んでいるヒマはない。

## ◆子どもの希望で利用していない

- ・子どもが低学年のころは利用していたが、高学年になるにつれて、行きたがらなくなった。
- ・高学年のため、家で自由に過ごした方が楽しいと本人が言っているため。

## ◆利用しづらい

- ・両親とも就労しており、実施時間の終了時間に迎えに行くことができないため。夏休み、冬休みなどの長期休暇期間中に実施していないため。
- ・学校都合による休み（振替休日など）に対応していないため。
- ・安全管理の責任の所存がわからないので。

## ◆知らない、実施していない

- ・ほうかごところ・ほうかご広場がそもそも何なのかがわからない。
- ・市に問い合わせた所、小手指地区では放課後ところはやっていないと言われ、今後小手指でも子供のために早急に実施してくれるのか不明。

## ◆その他

- ・放課後児童クラブを利用していないため。
- ・電車通学のため早く帰ってきて家で休ませてあげたいから。

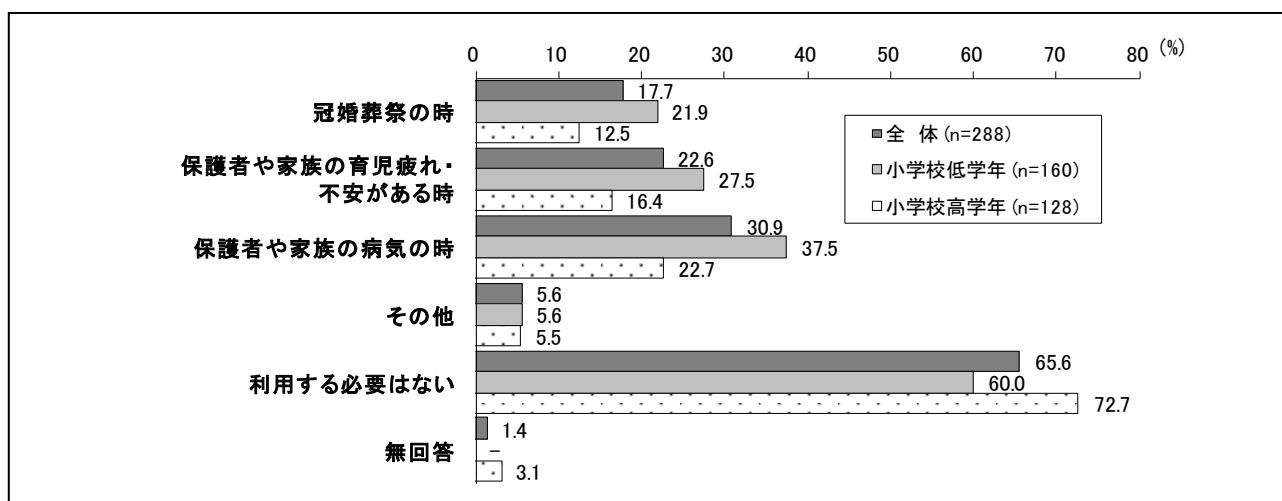
## 4. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

### (1) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

問14 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子育て短期支援事業（ショートステイ）（里親宅等に児童を預け、一定期間養育する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。  
 ※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

#### ①利用希望

具体的な利用希望の理由としては、「保護者や家族の病気の時」が30.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が22.6%、「冠婚葬祭の時」が17.7%となっている。その他の場合として、出張、早朝の仕事、夜勤業務などの回答があった。



#### ②平均利用希望泊数

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがある場合の必要な年間の平均泊数は、「保護者や家族の病気の時」が5.9泊、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が4.0泊、「冠婚葬祭の時」が2.7泊、その他が8.4泊となっている。

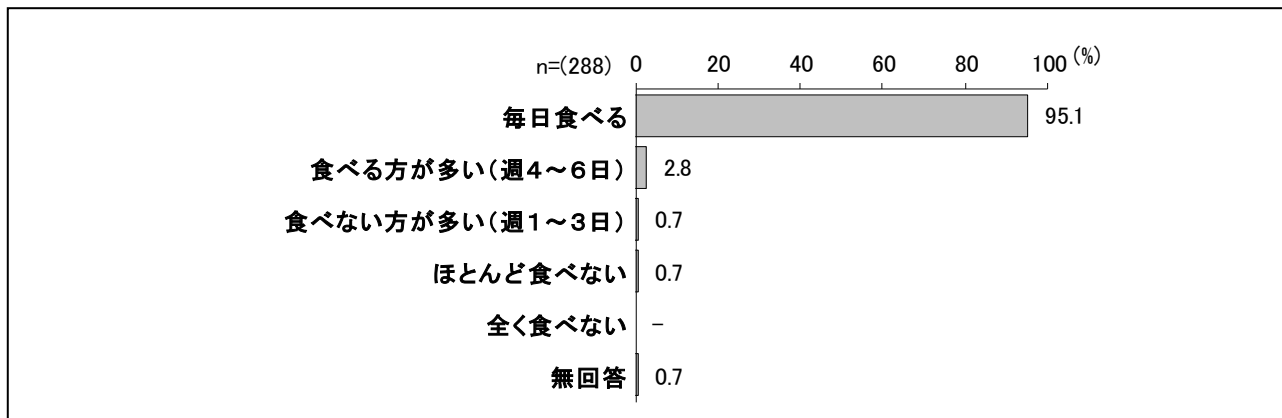
	回答者数 (人)	平均(泊)
1冠婚葬祭の時	50	2.7
2保護者や家族の育児疲れ・不安がある時	63	4.0
3保護者や家族の病気の時	85	5.9
4その他	12	8.4

## 5. 生活や家庭のことについて

### (1) 朝食の摂取状況

問15 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

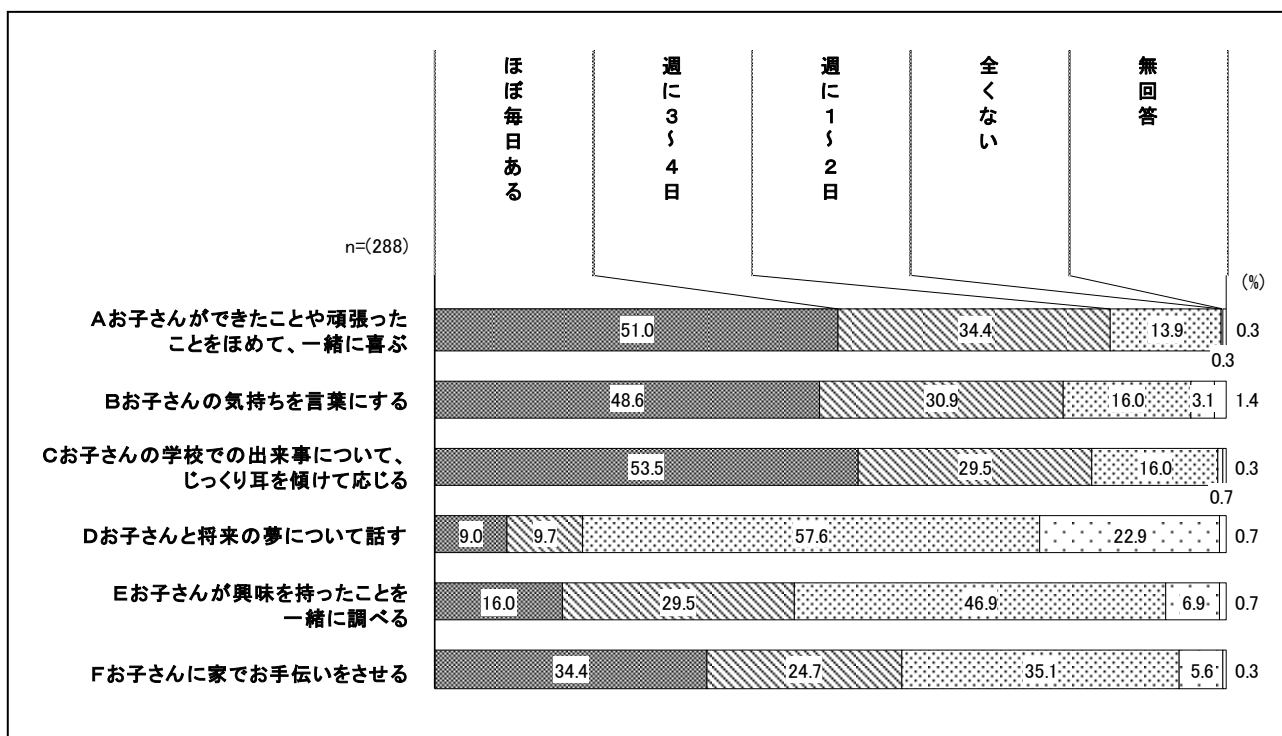
子どもの朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が95.1%を占めている。



### (2) 子どもとのかかわりの状況

問16 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ〇は1つ)

子どもとのかかわりの状況について、「ほぼ毎日ある」の項目は、「お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる」が53.5%、「お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ」が51.0%、「お子さんの気持ちを言葉にする」が48.6%で4~5割台と上位となり、次いで「お子さんに家でお手伝いをさせる」が34.4%となっている。

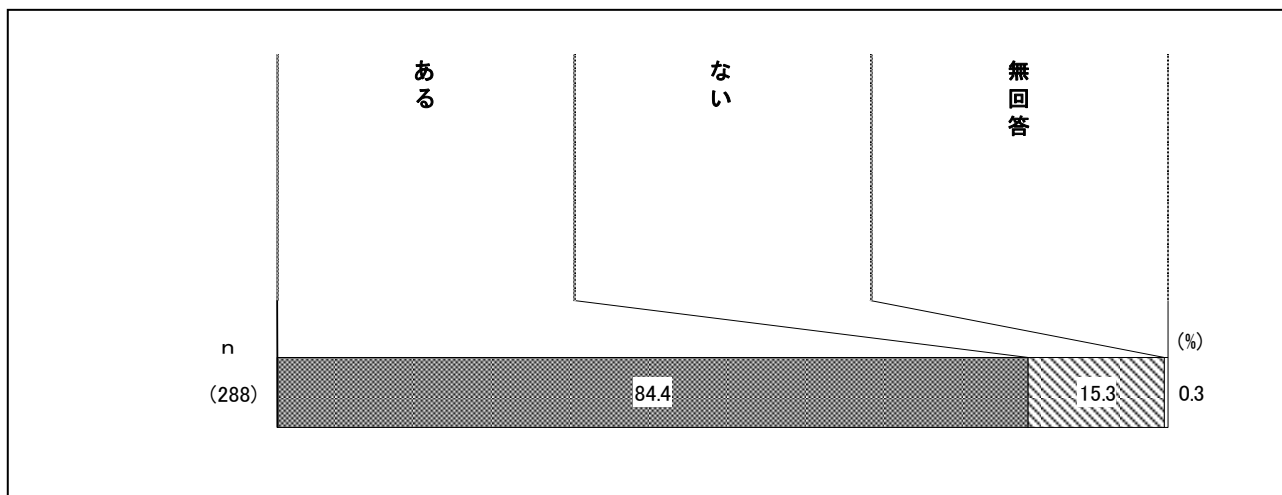


## 第2章 調査結果

### (3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無

問17 宛名のお子さんが落ち着いて勉強できる環境がありますか。(〇は1つ)

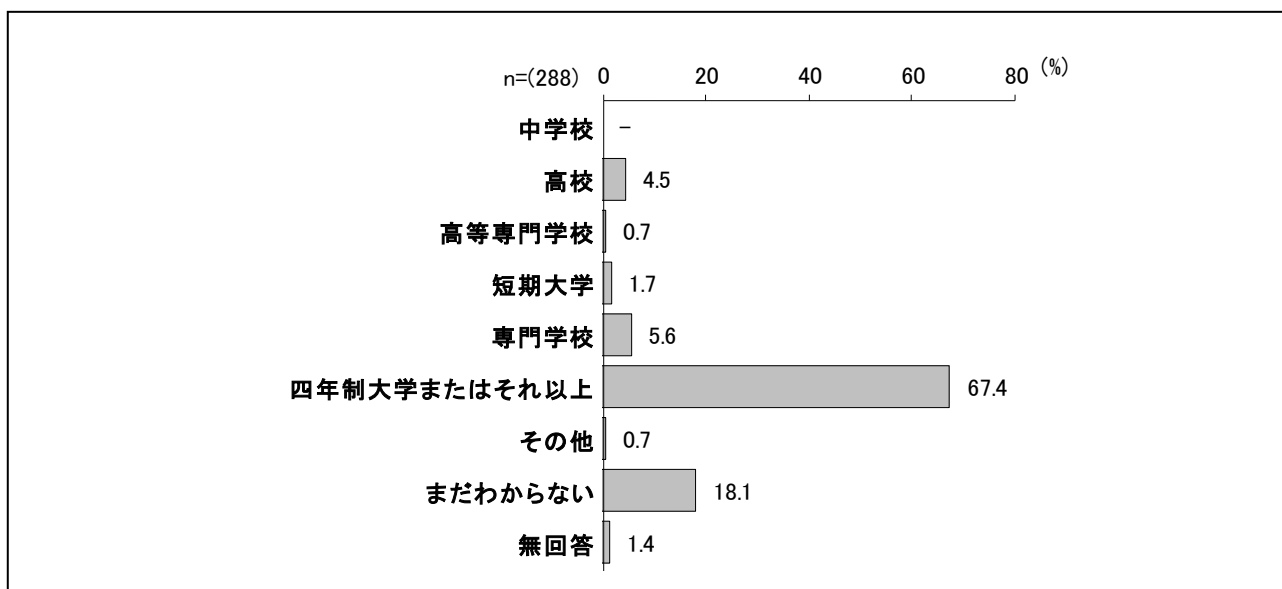
子どもが落ち着いて勉強できる環境については、「ある」が84.4%、「ない」が15.3%となっている。



### (4) 今後の子どもの教育の段階

問18 宛名のお子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(〇は1つ)

子どもに受けさせたい教育の段階は、「四年制大学またはそれ以上」が67.4%を占めている。

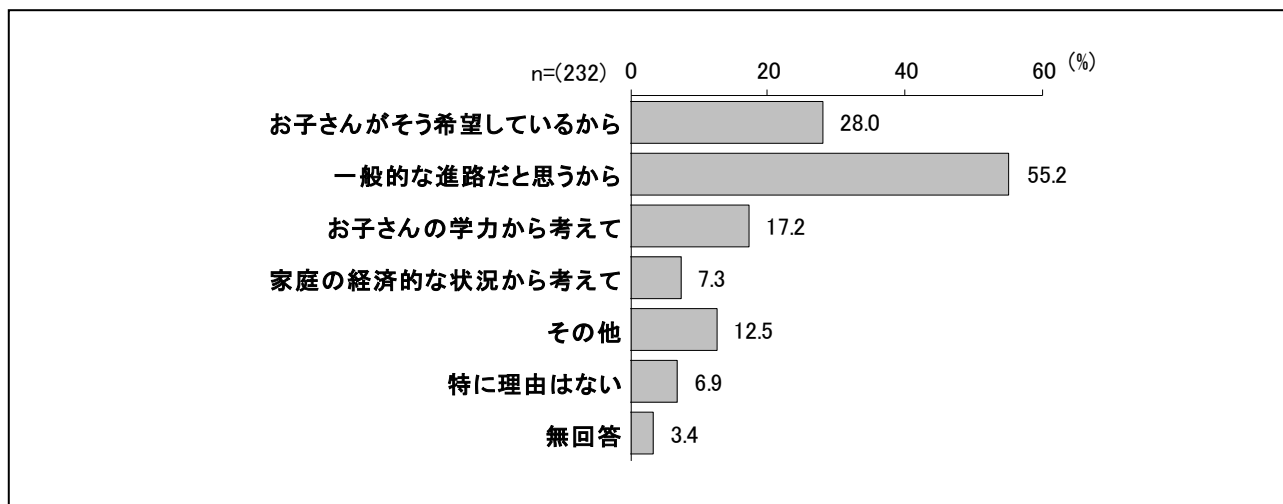


## (5) 今後の子どもの教育の段階を希望する理由

問18で、「1」～「7」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問18-1 その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

子どもに受けさせたい教育の段階の理由は、「一般的な進路だと思うから」が55.2%と最も高く、次いで「お子さんがそう希望しているから」が28.0%となっている。

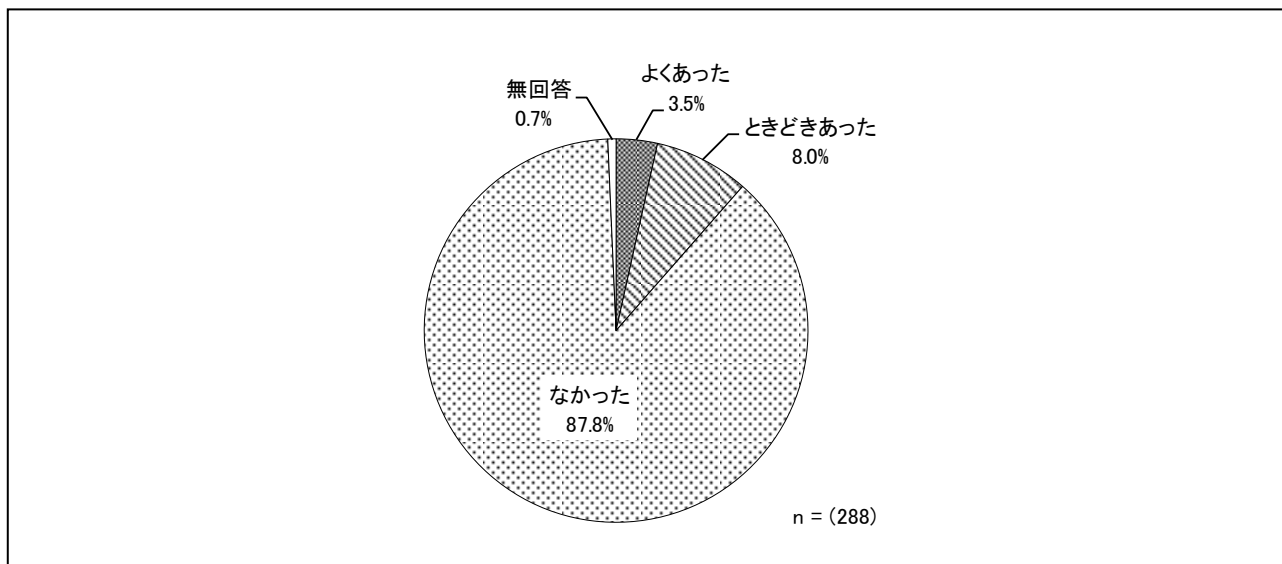


## 第2章 調査結果

### (6) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無

問19 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

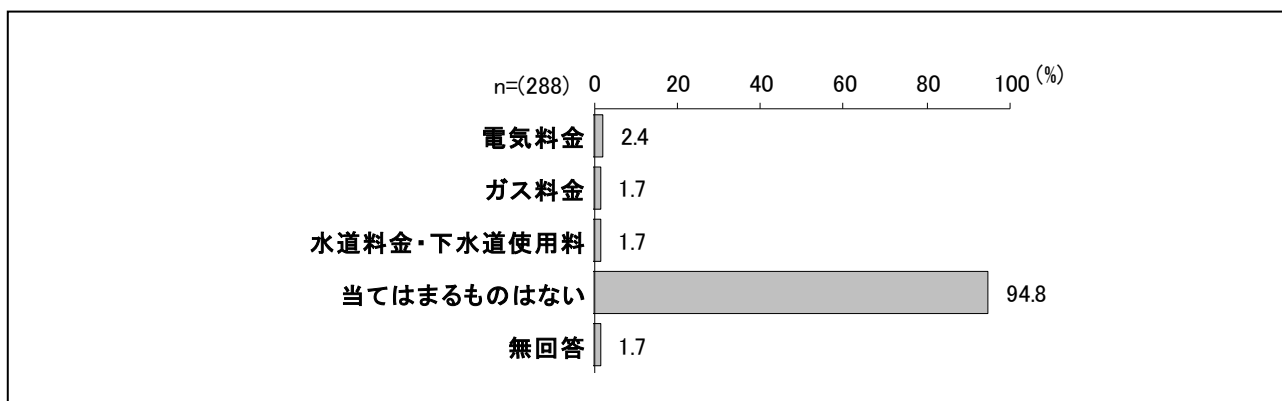
過去1年間に経済的な理由で食料・衣類を買えないことが「あった」家庭は、「ときどきあった」8.0%と「よくあった」3.5%との合計で11.5%となっている。



### (7) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無

問20 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下の費用を支払えないことがありましたか。(当てはまるものすべてに○)

過去1年間に経済的な理由で支払えないことがあった公共料金等としては、「電気料金」が2.4%、「ガス料金」と「水道料金・下水道使用料」がともに1.7%となっている。一方で、「当てはまるものはない」が94.8%を占めている。

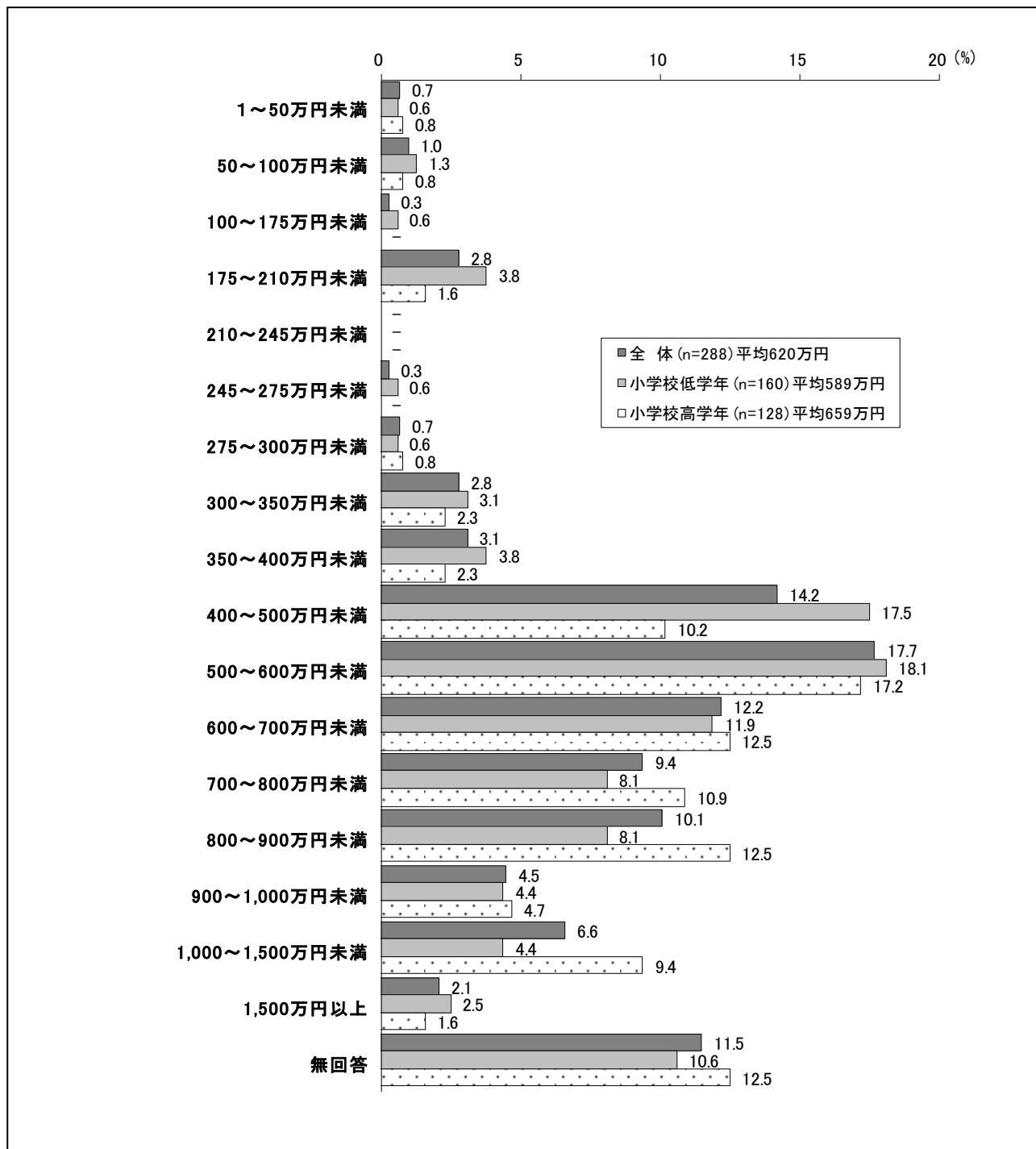




(8) 令和4(2022)年の可処分所得金額

問21 宛名のお子さんの世帯の、令和4(2022)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。□枠内に数字でご記入ください。

令和4(2022)年の可処分所得は、「500～600万円未満」が17.7%、「400～500万円未満」が14.2%、「600～700万円未満」が12.2%となっており、平均620万円となっている。

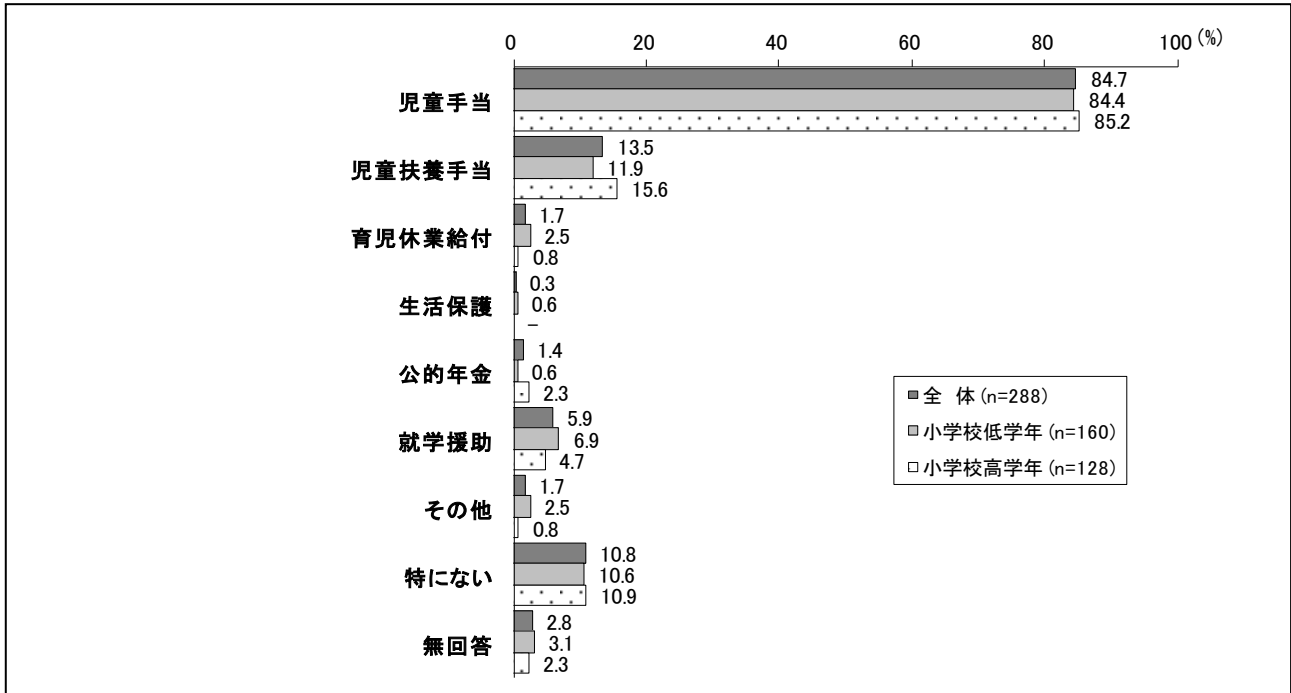


## 第2章 調査結果

### (9) 公的年金、社会保障給付金の受給状況

問22 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金がありますか。  
(当てはまるものすべてに○)

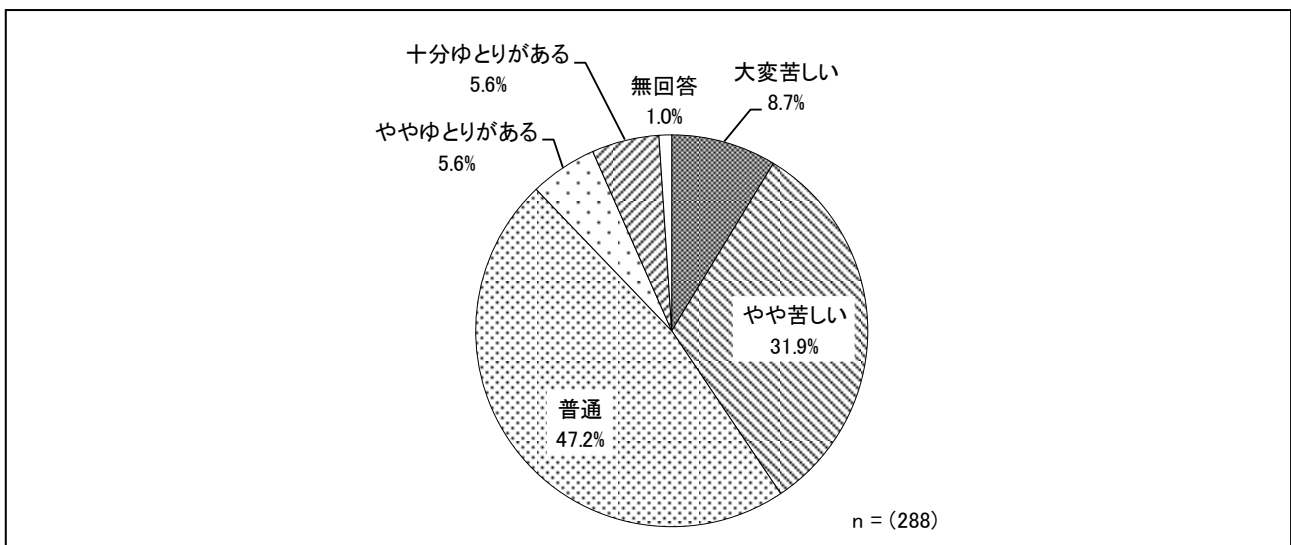
社会保障給付金の受給は、「児童手当」が84.7%と最も高くなっている。



### (10) 現在の暮らしの状況

問23 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、「普通」が47.2%と約半数を占める。「苦しい」と「ゆとりがある」の対比では「やや苦しい」31.9%と「大変苦しい」8.7%の合計が40.6%で、「ややゆとりがある」と「十分ゆとりがある」各5.6%の合計11.2%を大きく上回っている。

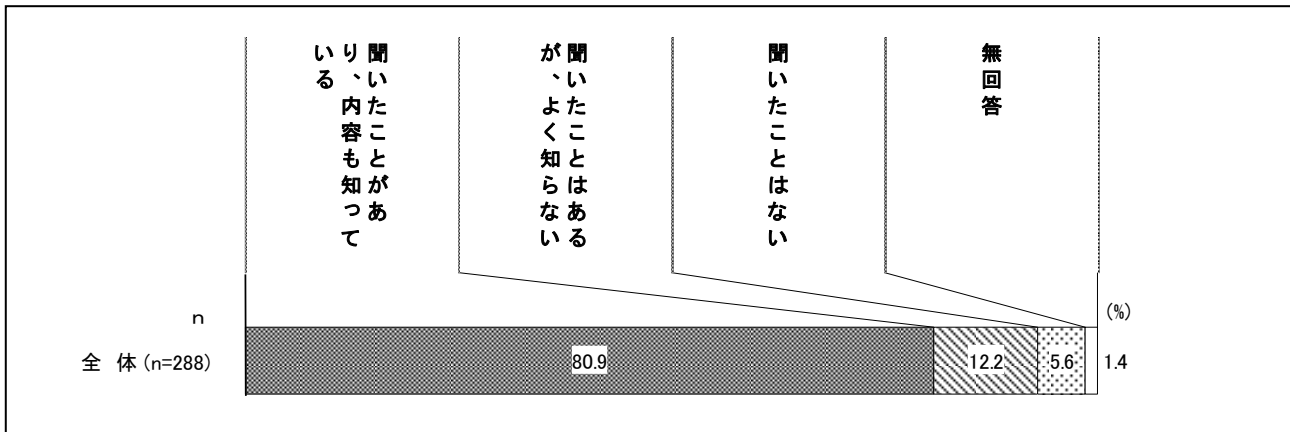


## 6. 子ども・子育て全般について

### (1) 「ヤングケアラー」の認知状況

問24 あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(○は1つ)

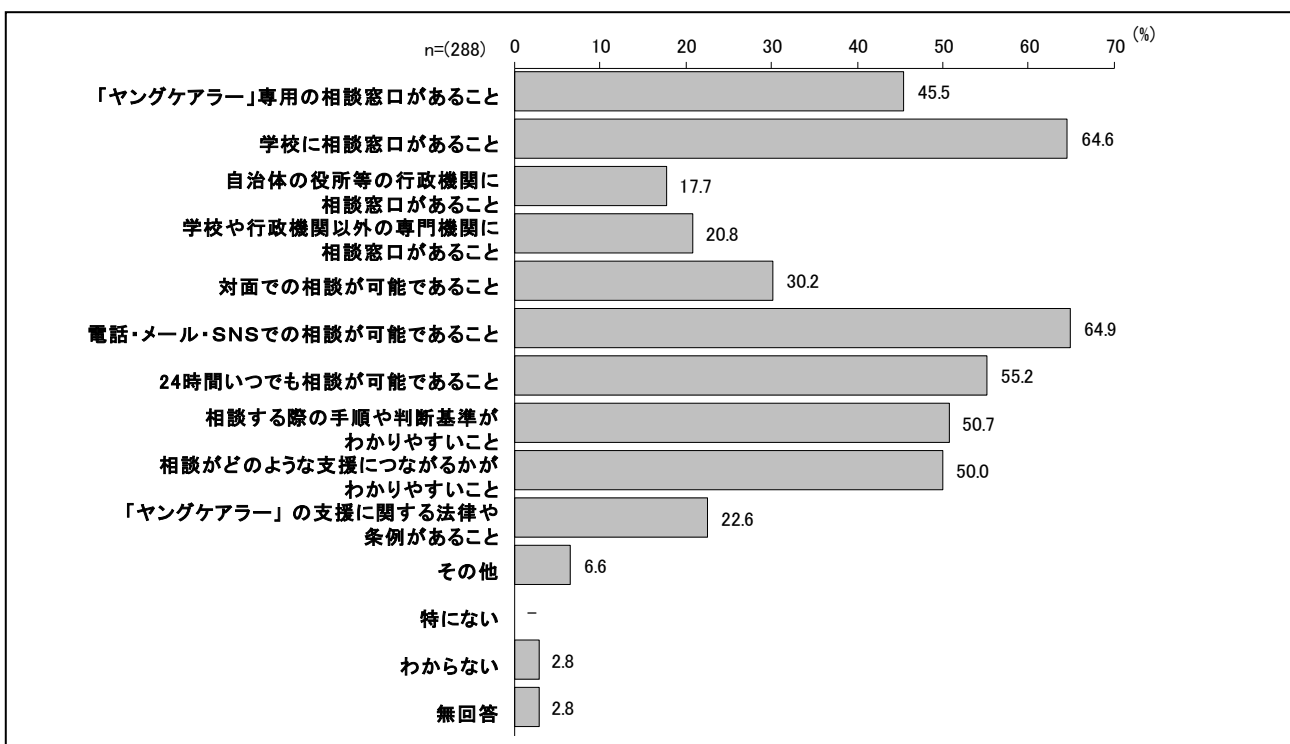
「ヤングケアラー」について「聞いたことがあり、内容も知っている」は80.9%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は12.2%、「聞いたことはない」は5.6%となっている。



### (2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組

問25 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながるとお考えですか。(当てはまるものすべてに○)

「ヤングケアラー」に対する取り組みや環境づくりについて、「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」が64.9%、「学校に相談窓口があること」が64.6%と特に高く、次いで「24時間いつでも相談が可能であること」が55.2%となっている。

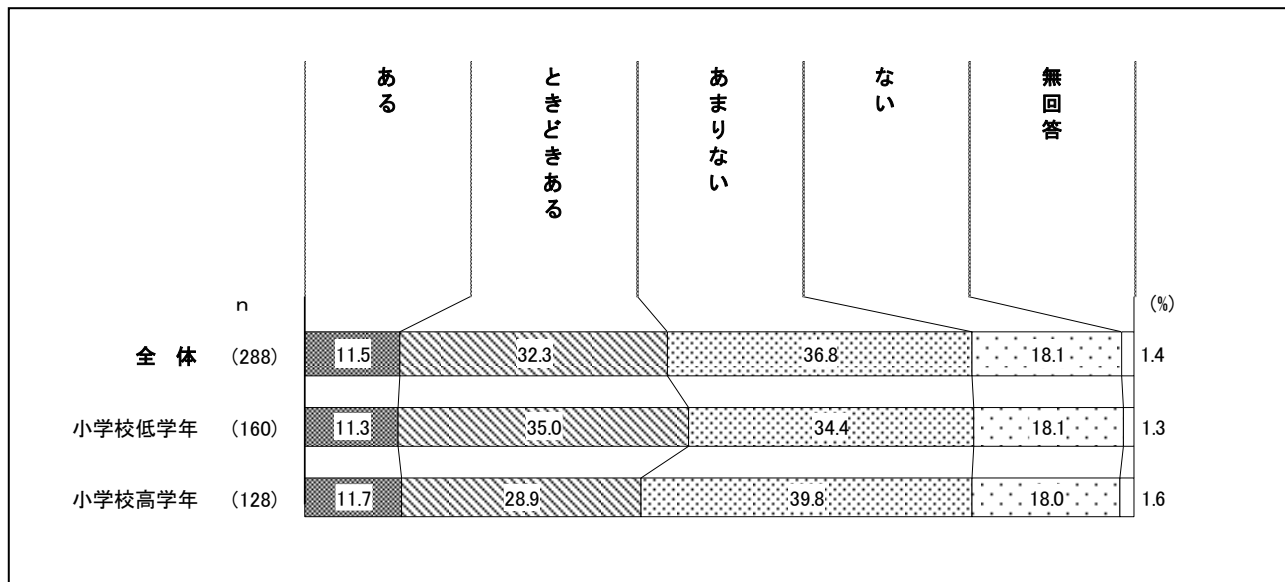


## 第2章 調査結果

### (3) 子育てに関する孤立感

問26 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。(〇は1つ)

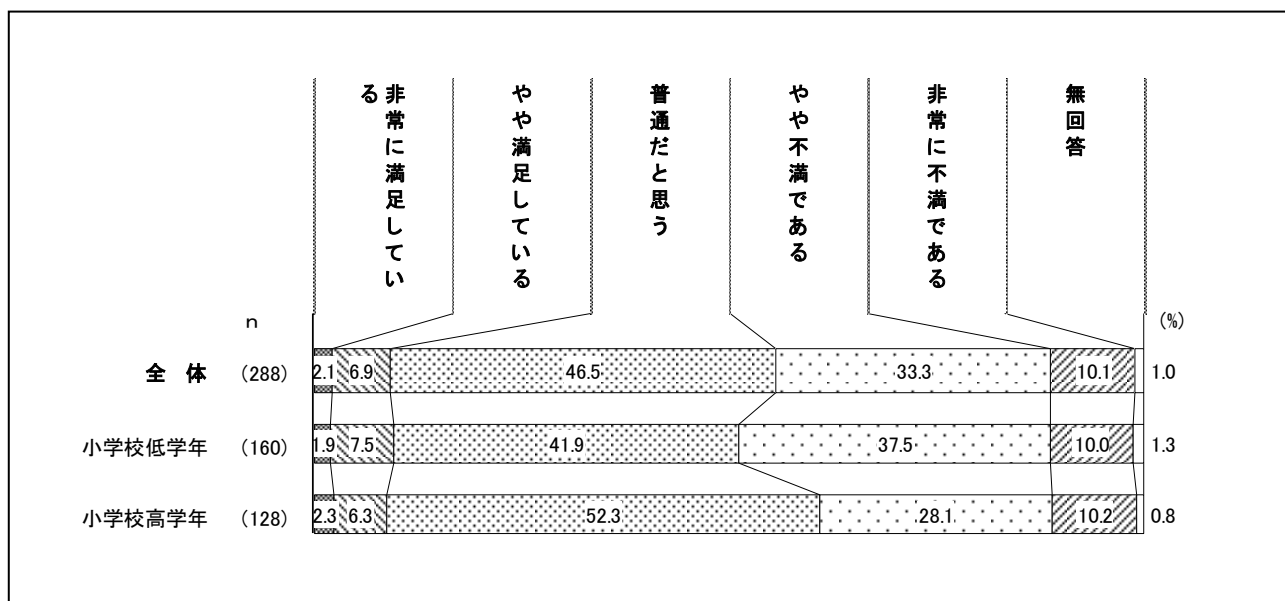
子育てに関して孤立感を感じるものが「ある」が11.5%、「ときどきある」が32.3%であり、孤立感を感じている人は43.8%を占める。一方、「ない」は18.1%、「あまりない」は36.8%であり、孤立感を感じていない人は54.9%となっている。



### (4) 地域の子育ての環境や支援への満足度

問27 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

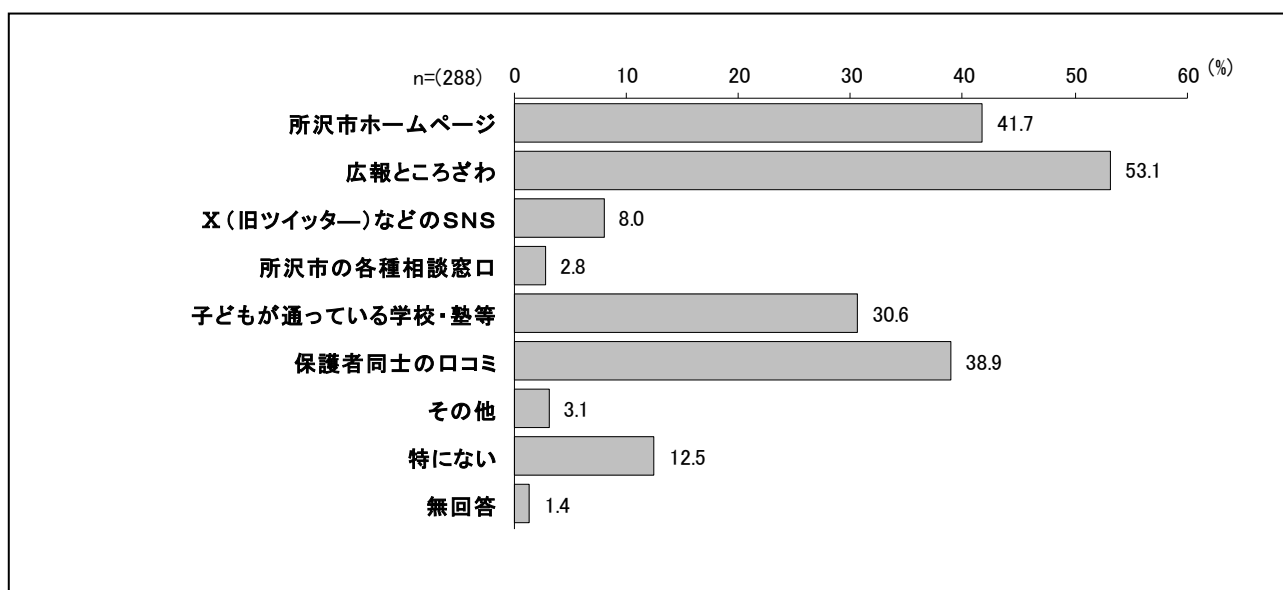
地域における子育ての環境や支援への満足度は、「普通だと思う」が46.5%を占める。また、「不満」と「満足」の対比では、「やや不満である」33.3%と「非常に不満である」10.1%の合計が43.4%で、「やや満足している」6.9%と「非常に満足している」2.1%の合計9.0%を大きく上回っている。



## (5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先

問28 市内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。  
(当てはまるものすべてに○)

市内の相談窓口・サービス等の情報入手先は、「広報とところざわ」が53.1%と最も高く、次いで「所沢市ホームページ」が41.7%、「保護者同士の口コミ」が38.9%、「子どもが通っている学校・塾等」が30.6%となっている。

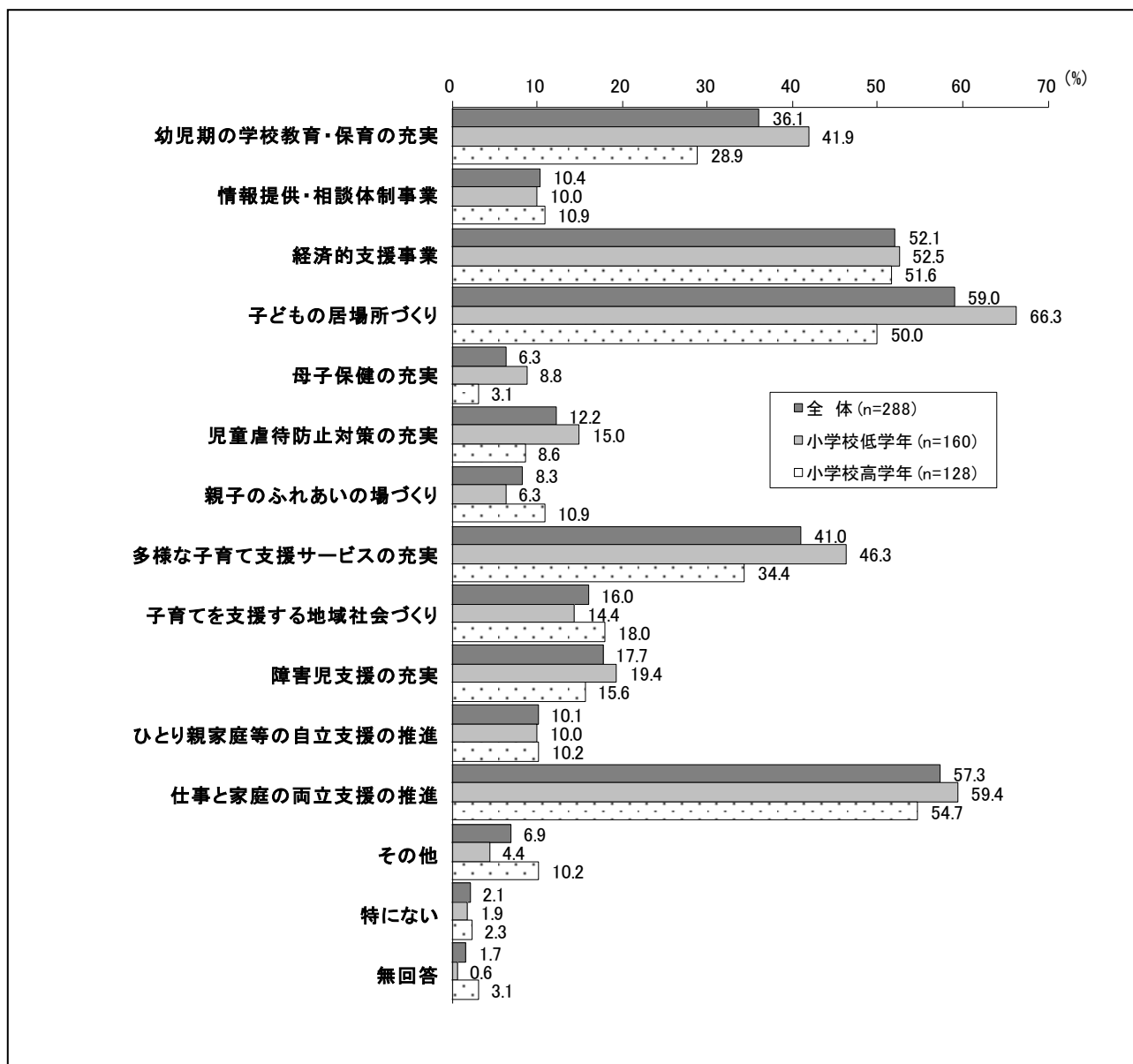


## 第2章 調査結果

### (6) 子育て支援で充実を希望すること

問29 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは、「子どもの居場所づくり」が59.0%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立支援の推進」が57.3%、「経済的支援事業」が52.1%、「多様な子育て支援サービスの充実」が41.0%、「幼児期の学校教育・保育の充実」が36.1%となっている。



## (7) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見

問30 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、  
ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、168人から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

また、主な意見を抜粋して掲載する。

内容		件数
学校・放課後について	学校の充実	22
	放課後児童クラブ（学童保育）の充実	27
	放課後子供教室の充実	5
	放課後・長期休暇中の居場所の確保	33
	学校での保護者の役割・負担の軽減	7
交流・遊び場について	公園・広場・施設等遊び場の充実	12
	児童館・公民館・図書館等の充実	4
	安全に遊べる場所の確保	3
教育・保育事業について	待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	5
	一時預かりの充実・利便性の向上	17
	保育所の充実・質の向上	9
	その他	6
相談について	相談窓口の充実	7
その他支援について	経済的支援・教育・保育の無償化について	55
	障害児・発達障害への支援・サポート	9
	安心・安全な地域づくり	9
	医療体制の充実・医療費補助の充実	9
	地域や社会の支援・見守り	5
	保育士や先生等の待遇について	11
	情報発信・周知方法	3
	子育て支援施策全般について	18
その他のご意見	アンケートについて	6
	その他	26

## 第2章 調査結果

### ○学校・放課後について

- ・コロナ禍で出来なかった事が多い子供たちのために、学校が連携したイベント（授業の一環として）等あるといいなと感じました。（PTAだと限界があるので）
- ・共働きが増えているので、必ず学童の利用ができるように、クラブ数を増やしてほしい。
- ・小学校中学年からの子どもたちが、安全に遊んだり学べる施設があると長期休みが安心できます。よろしくをお願いします。
- ・PTA役員や町内会の役員は仕事量が多く、負担が大きい。民間事業に委託する、情報共有や発信の方法を紙媒体からwebにする、時代にあわない業務、イベントをなくすなどで、スリム化を図ってほしい。

### ○交流・遊び場について

- ・公園の数は多いがどこも遊具が少なかったり、公園が狭いなど子供が走りまわって遊べるような環境が少ない。
- ・住んでいる地域に子供たちが遊べる公園が少ない。放課後集まって遊べる場所がなく、道路で遊ぶしかなく危険。

### ○教育・保育事業について

- ・希望する人が全員保育園や学童が利用できるようにしてほしい。
- ・宿泊を伴う一時預かりがあると、親の介護や通院の同行などできるので有り難いです。
- ・保育所の先生方の負担軽減による質の向上。ICTを活用し、効率化と連絡の円滑化してほしい。

### ○相談について

- ・昨年、スクールカウンセラーの先生に大変お世話になりました。親子共々相談できる窓口があり、感謝しております。皆が利用できたらいいなと感じました。
- ・子育てや夫婦問題で恥ずかしくて相談できない時があって辛い時があります。自分の事を知らない人に話を聞いてほしい。

### ○その他支援について

- ・小学生・中学生の子を持つ家庭への支援制度（ファミサポ利用券とか、給付金など）を増やしてほしい。
- ・小学校で発達不安について一般の学級だと相談できる事が限られるのが気になります。この曜日はどうぞ～など、発達の段階をふまえた相談が気軽にできたりする環境があるととても有り難いです。（グレーだと、通級の様な細かい支援は受けられないので）
- ・ショートステイ、育児支援のヘルパー派遣などは、すでに他の自治体では何年も前から実施されていることで、整備されれば助かる方も多いのではないのでしょうか。
- ・所沢市はお年寄に対してとても優しい市だと思うが、子育て世代にとってはどうかな？といつも思う。働いている全員が親に頼れるわけではないので、ファミリーサポート事業をもっと充実させてほしい。

### ○その他のご意見

- ・アンケートはデジタルでも行えるとよい。
- ・父親になる男側にも、早くから勉強させて、産後のやる事、父親がやるべき事をしっかりたたき込んで欲しい。



### Ⅲ. 中高生生徒保護者調査結果



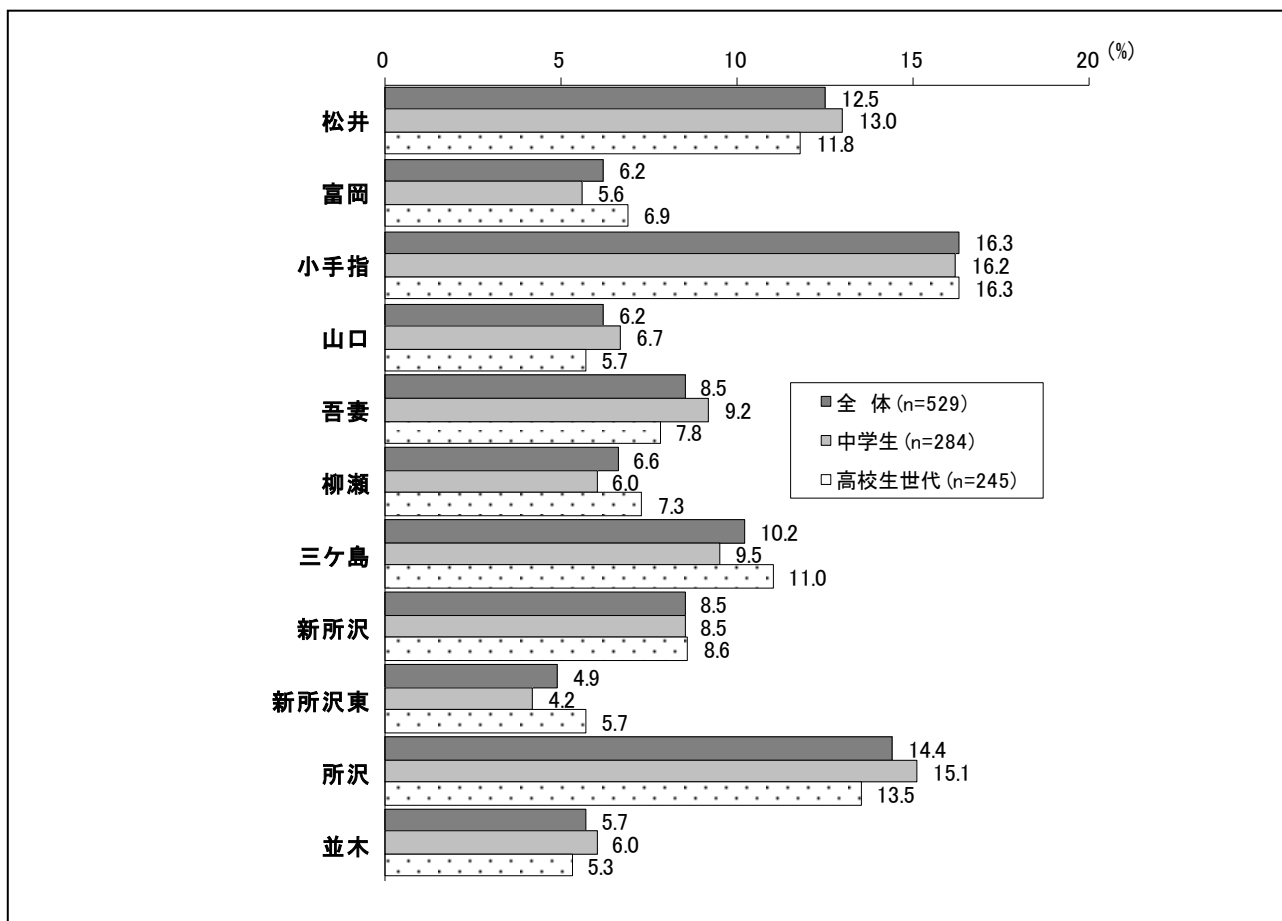
## 1. 子どもと家族の状況

### (1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

※どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

居住地区は、「小手指」が16.3%と最も高く、次いで「所沢」が14.4%、「松井」が12.5%、「三ヶ島」が10.2%となっている。

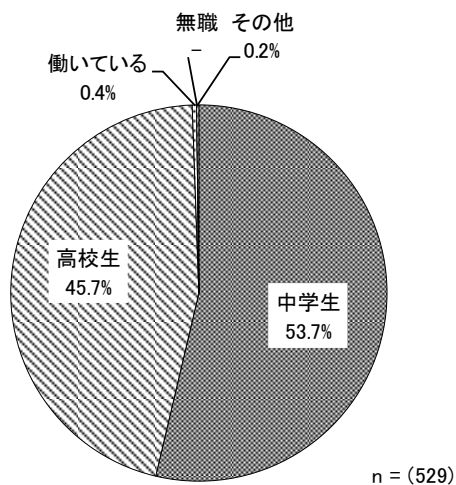


## 第2章 調査結果

### (2) 子どもの状況

問2 宛名のお子さんの状況をお答えください。(〇は1つ)

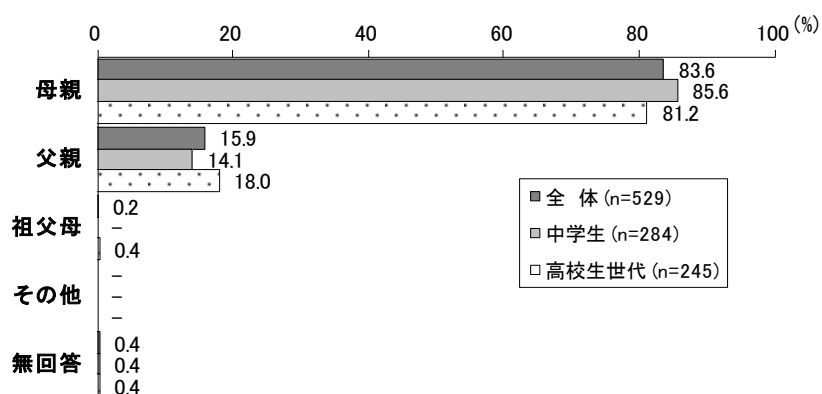
子どもの状況は、「中学生」が53.7%、「高校生」が45.7%、「働いている」が0.4%、「その他」が0.2%となっており、「無職」は回答は見られなかった。



### (3) 続柄

問3 宛名のお子さんとなあたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(〇は1つ)

宛名の子どもと回答者の関係は、「母親」が83.6%、「父親」が15.9%となっている。

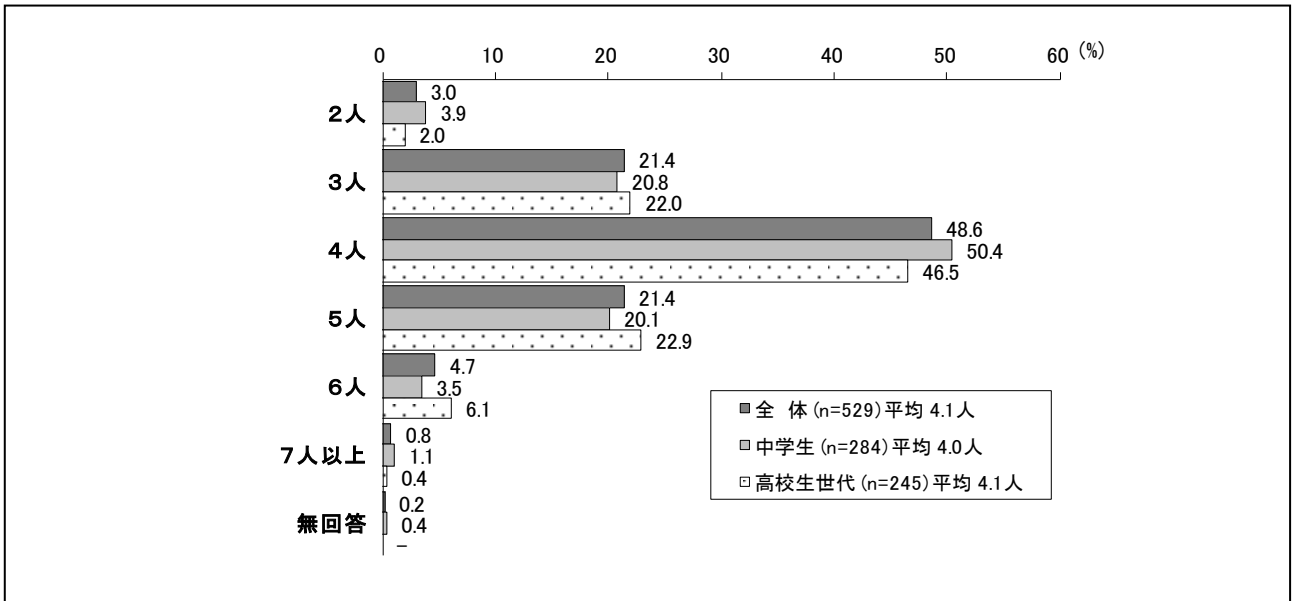


(4) 世帯の人数

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満のお子さんの人数は何人ですか。□枠内に数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

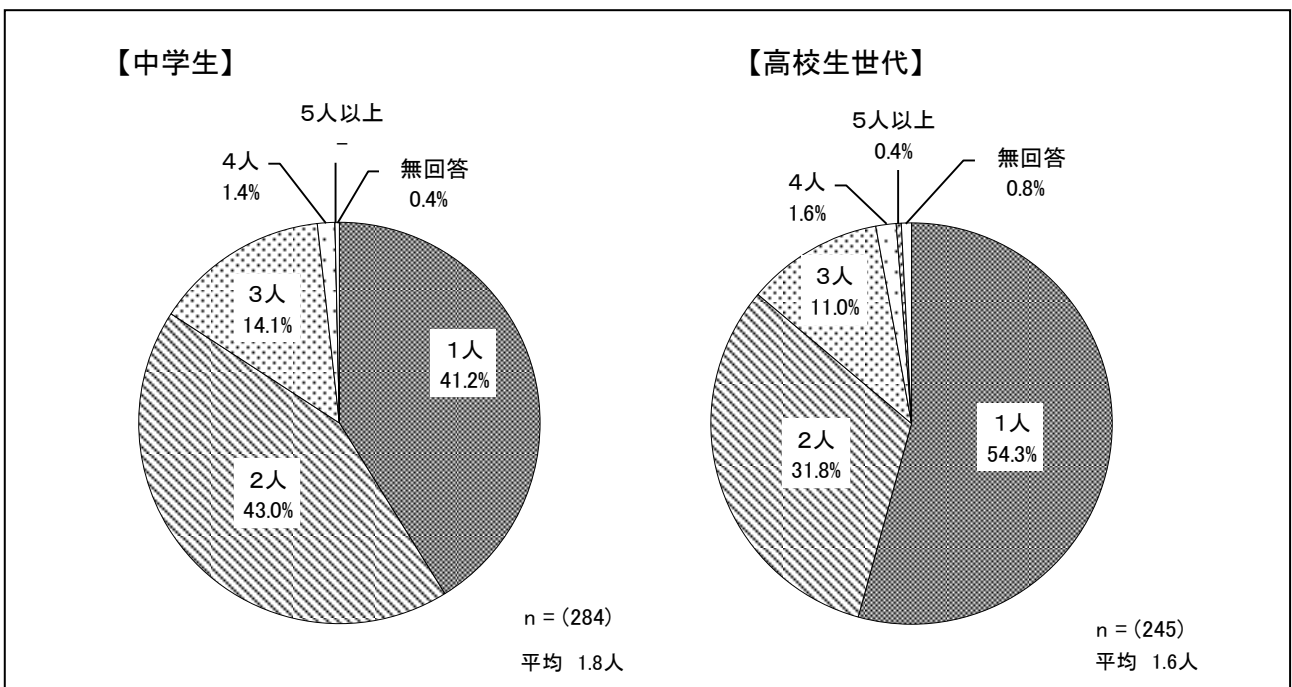
①世帯の人数

世帯の人数は、「4人」が48.6%と最も高く、次いで「3人」と「5人」がともに21.4%であり、平均4.1人となっている。



②子どもの人数

子どもの人数は、中学生では「2人」が43.0%と最も高く、平均1.8人となっている。高校生世代では「1人」が54.3%と最も高く、平均1.6人となっている。

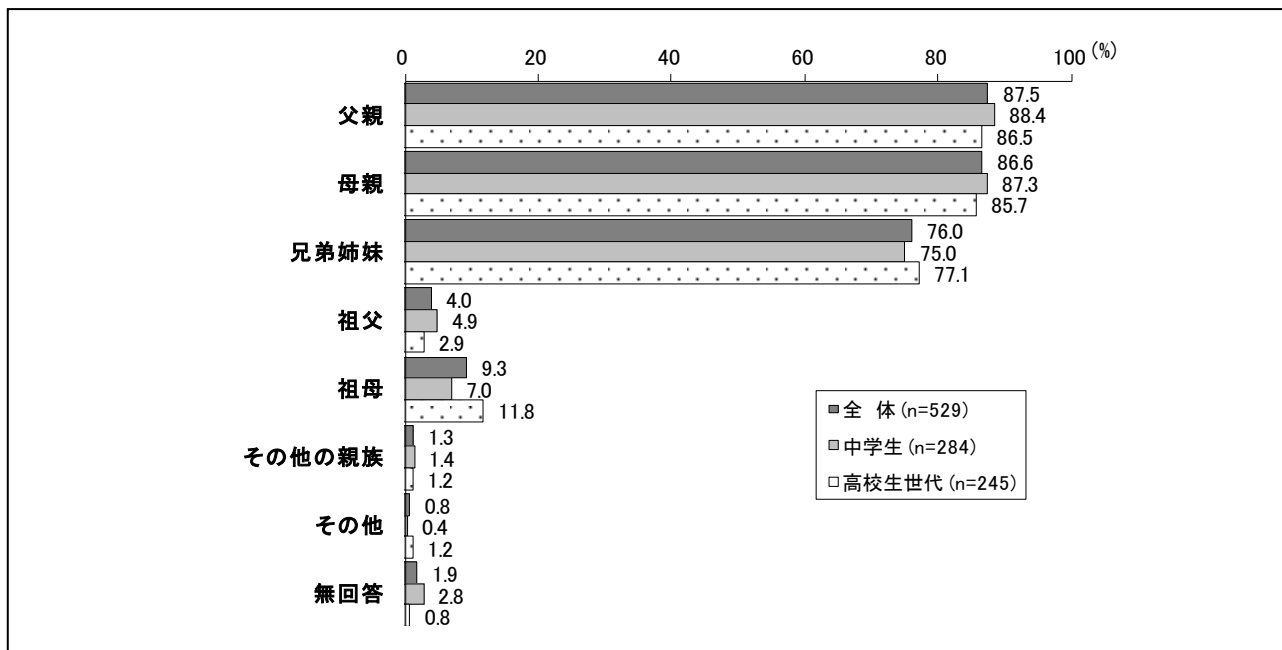


## 第2章 調査結果

### (5) 一緒に住んでいる人

問5 現在、宛名のお子さんと同居している方をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

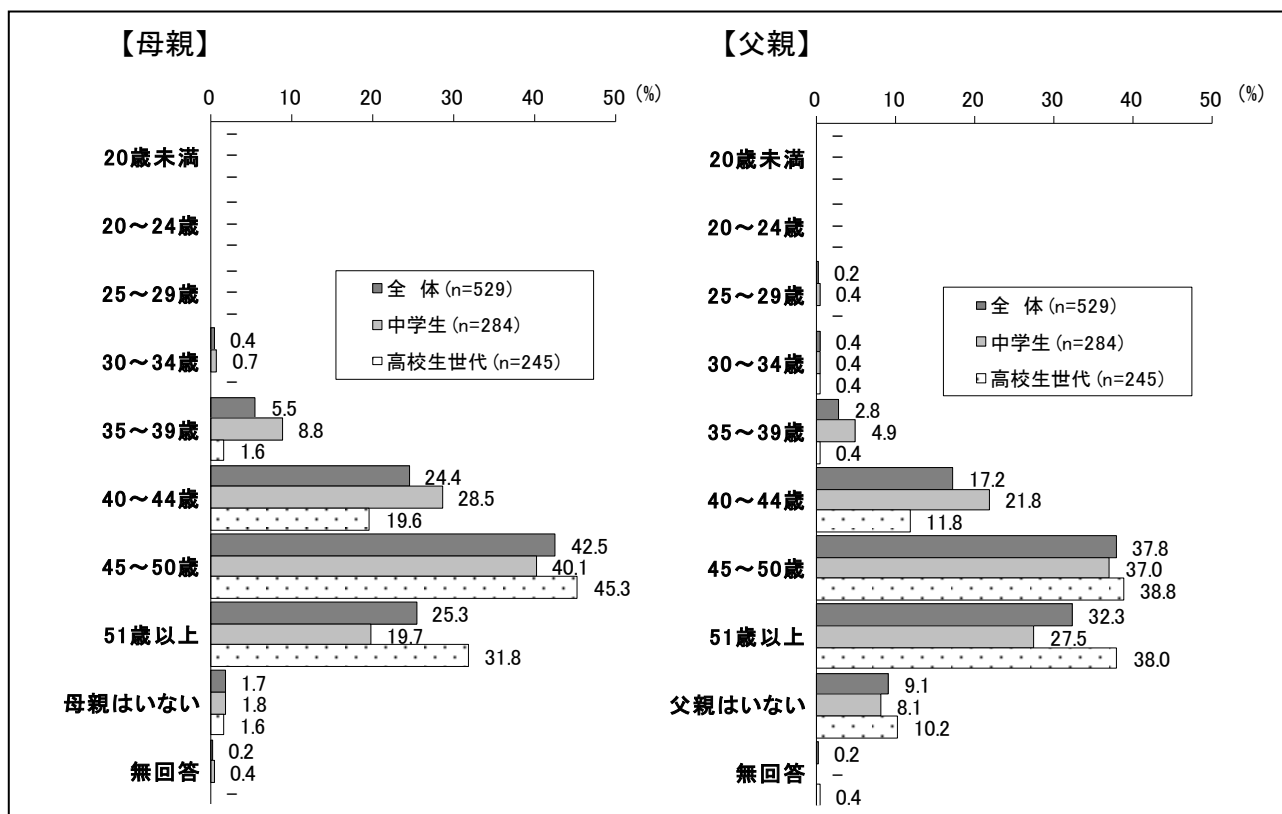
一緒に住んでいる人は、「父親」が87.5%、「母親」が86.6%、「兄弟姉妹」が76.0%となっている。



(6) 両親の年齢

問6 宛名のお子さんの母親、父親の年齢をお答えください。(それぞれ〇は1つ)

母親の年齢は、「45～50歳」が42.5%と最も高く、次いで「51歳以上」が25.3%、「40～44歳」が24.4%となっている。父親の年齢は、「45～50歳」が37.8%と最も高く、次いで「51歳以上」が32.3%、「40～44歳」が17.2%となっている。

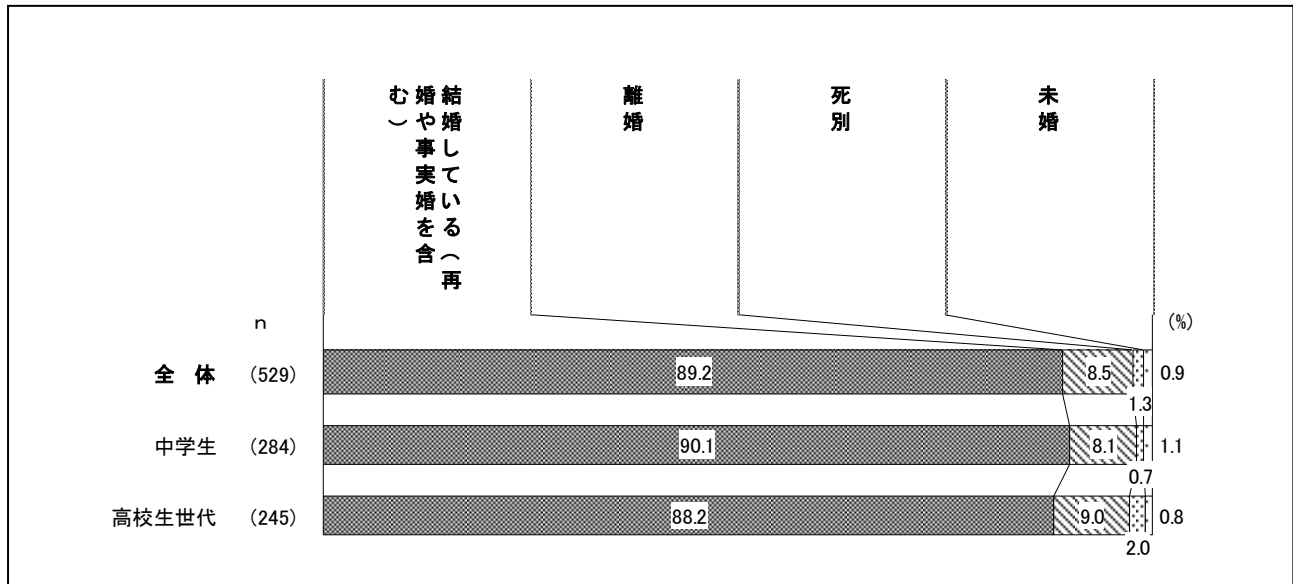


## 第2章 調査結果

### (7) 婚姻状況

問7 あなたの現在の婚姻状況についてお答えください。(〇は1つ)

回答者の現在の婚姻状況は、「結婚している(再婚や事実婚を含む)」が89.2%、「離婚」が8.5%、「死別」が1.3%、「未婚」が0.9%となっている。





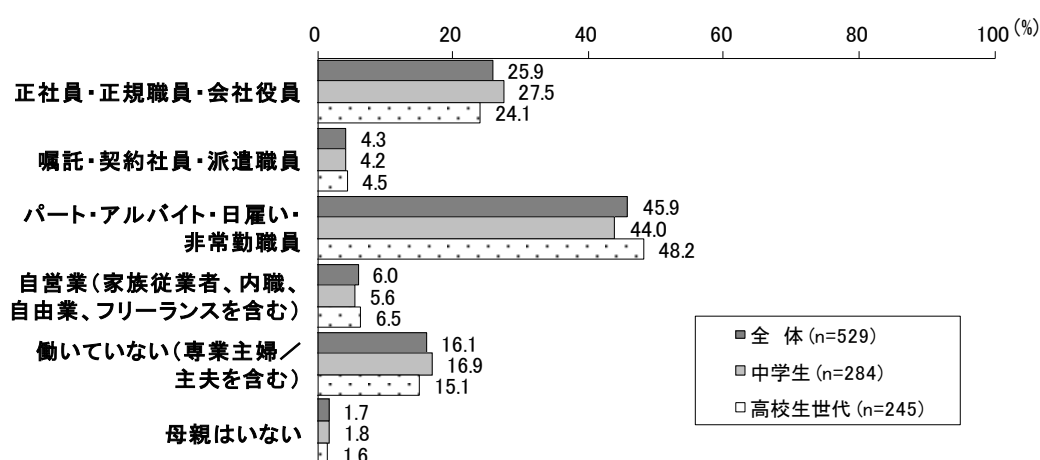
(8) 保護者の就労状況

問8 宛名のお子さんの保護者の就労状況についてお答えください。(それぞれ〇は1つ)

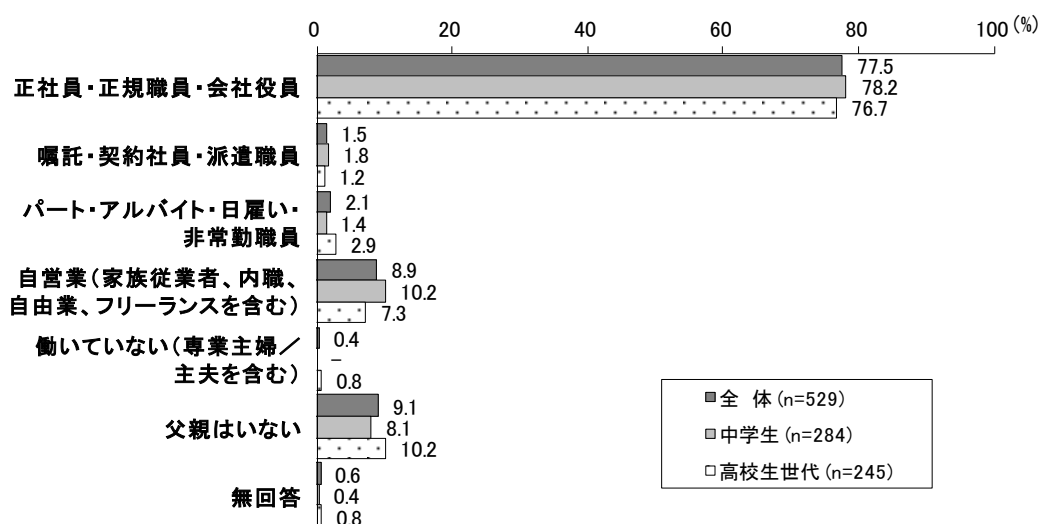
母親の就労状況は、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が45.9%と最も高く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が25.9%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が16.1%となっている。また、「母親はいない」は1.7%となっている。

父親の就労状況は、「正社員・正規職員・会社役員」が77.5%と最も高く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が8.9%となっている。また、「父親はいない」は9.1%となっている。

【母親】



【父親】



## 第2章 調査結果

### (9) 働いていない理由

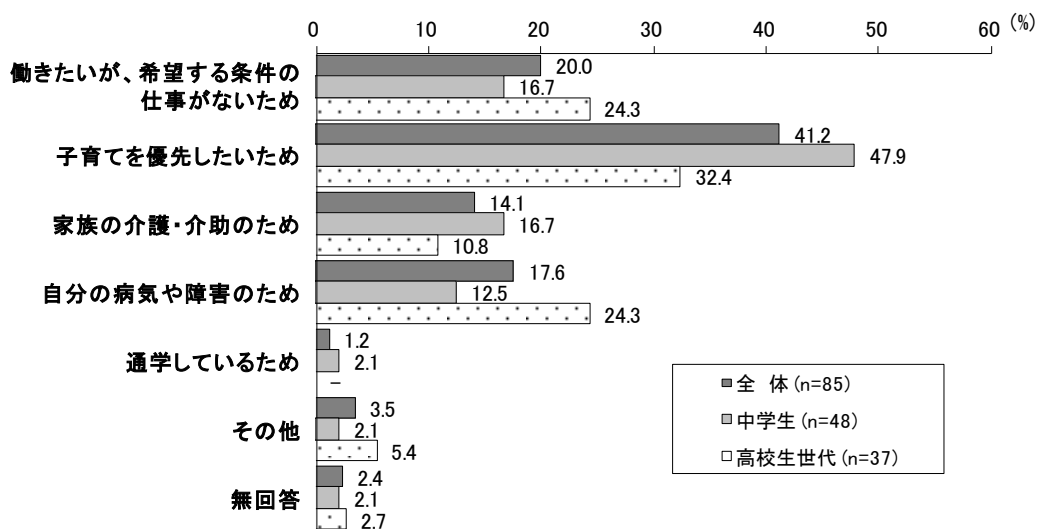
問8で、「5」(働いていない)を選択した方にうかがいます。

問8-1 働いていない最も主な理由を教えてください。(それぞれ〇は1つ)

母親が働いていない理由は、「子育てを優先したいため」が41.2%と最も高く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が20.0%となっている。

父親は、「家族の介護・介助のため」と「自分の病気や障害のため」が1件ずつとなっている。

#### 【母親】



#### 【父親】

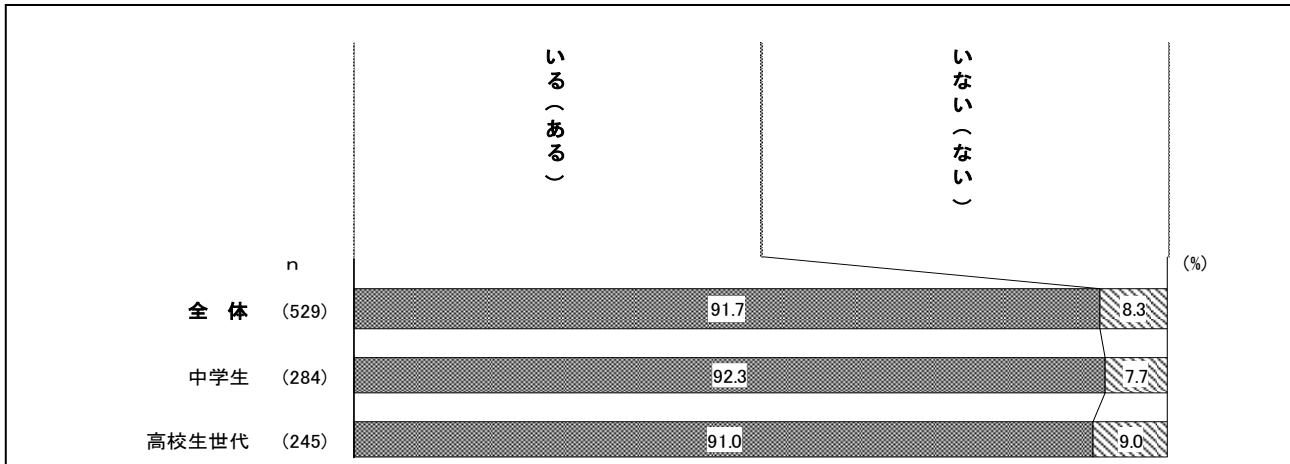
父親は回答者が2人のため、グラフを掲載していない。

(10) 子育ての相談ができる人・場所

①子育ての相談ができる人・場所の有無

問9 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(〇は1つ)

子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる(ある)」が91.7%で、「いない(ない)」が8.3%となっている。



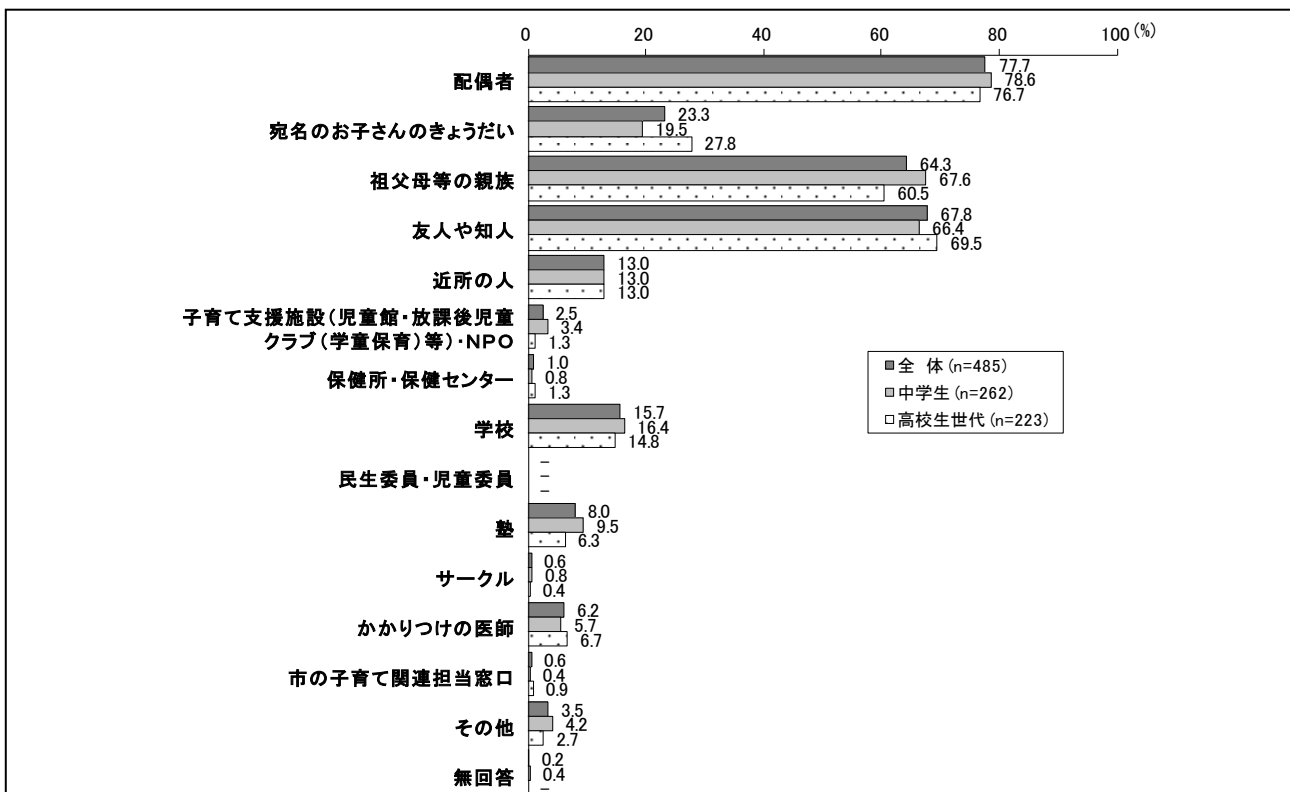
②子育ての相談ができる人・場所

問9で、「1」(いる(ある))を選択した方にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。

(当てはまるものすべてに〇)

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「配偶者」が77.7%、「友人や知人」が67.8%、「祖父母等の親族」が64.3%と高くなっている。

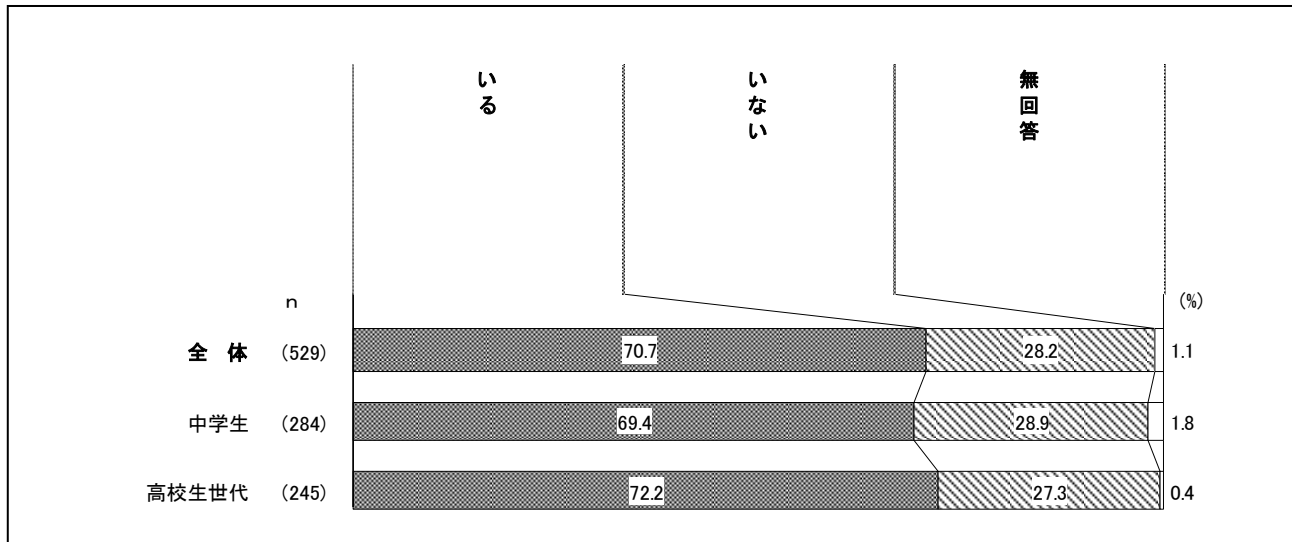


## 第2章 調査結果

### (11) 子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問10 お子さんの具合が悪い時や、あなたに用事があるときに、頼ることができる親戚や友人はいますか。(〇は1つ)

子どもの具合が悪い時や保護者に用事があるときに、頼ることができる親戚や友人が「いる」が70.7%、「いない」は28.2%となっている。



## 2. 宿泊を伴う一時預かり等の利用について

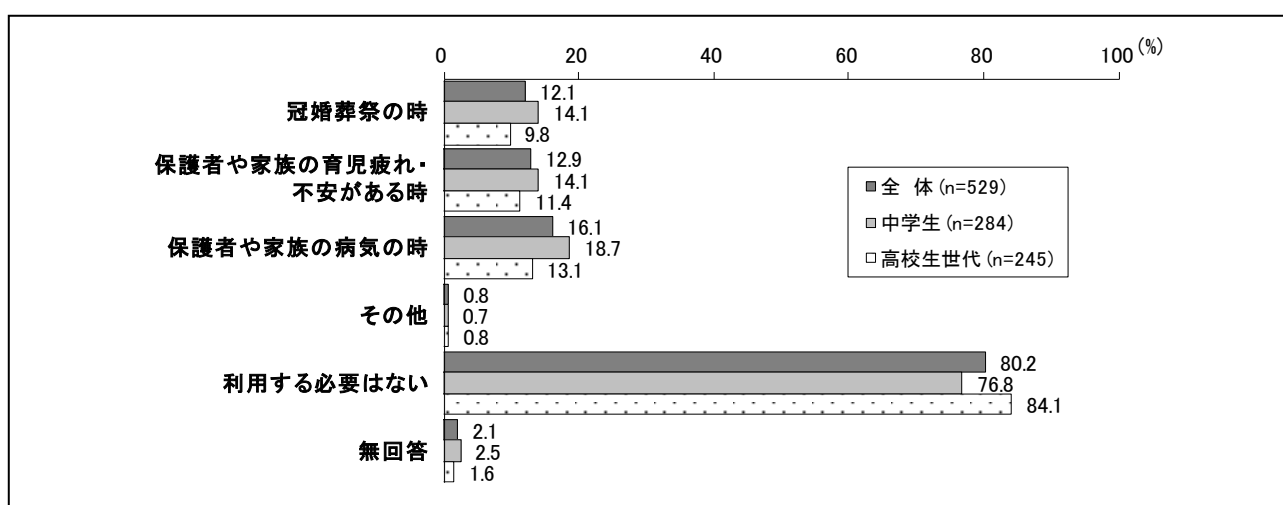
### (1) 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望

問11 宛名のお子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、泊りがけで年間何泊くらい家族以外に預ける必要があると思いますか。子育て短期支援事業（ショートステイ）（里親宅等に児童を預け、一定期間養育する事業）の利用希望の有無について当てはまる番号すべてに○をつけ、必要な泊数をご記入ください。

※なお、事業の利用に当たっては、一定の利用料がかかります。

#### ①利用希望

具体的な利用希望の理由としては、「保護者や家族の病気の時」が16.1%、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が12.9%、「冠婚葬祭の時」が12.1%となっている。



#### ②平均利用希望泊数

子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことがある場合の必要な年間の平均泊数は、「保護者や家族の育児疲れ・不安がある時」が5.8泊、「保護者や家族の病気の時」が4.7泊、「冠婚葬祭の時」が2.2泊となっている。

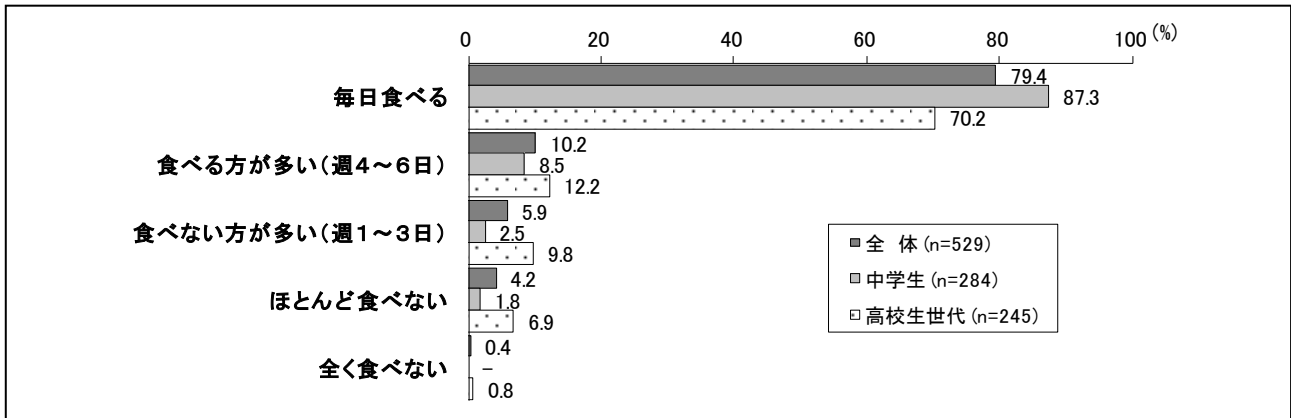
	回答者数 (人)	平均(泊)
1冠婚葬祭の時	64	2.2
2保護者や家族の育児疲れ・不安がある時	68	5.8
3保護者や家族の病気の時	82	4.7
4その他	3	2.3

### 3. 生活や家庭のことについて

#### (1) 朝食の摂取状況

問12 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(〇は1つ)

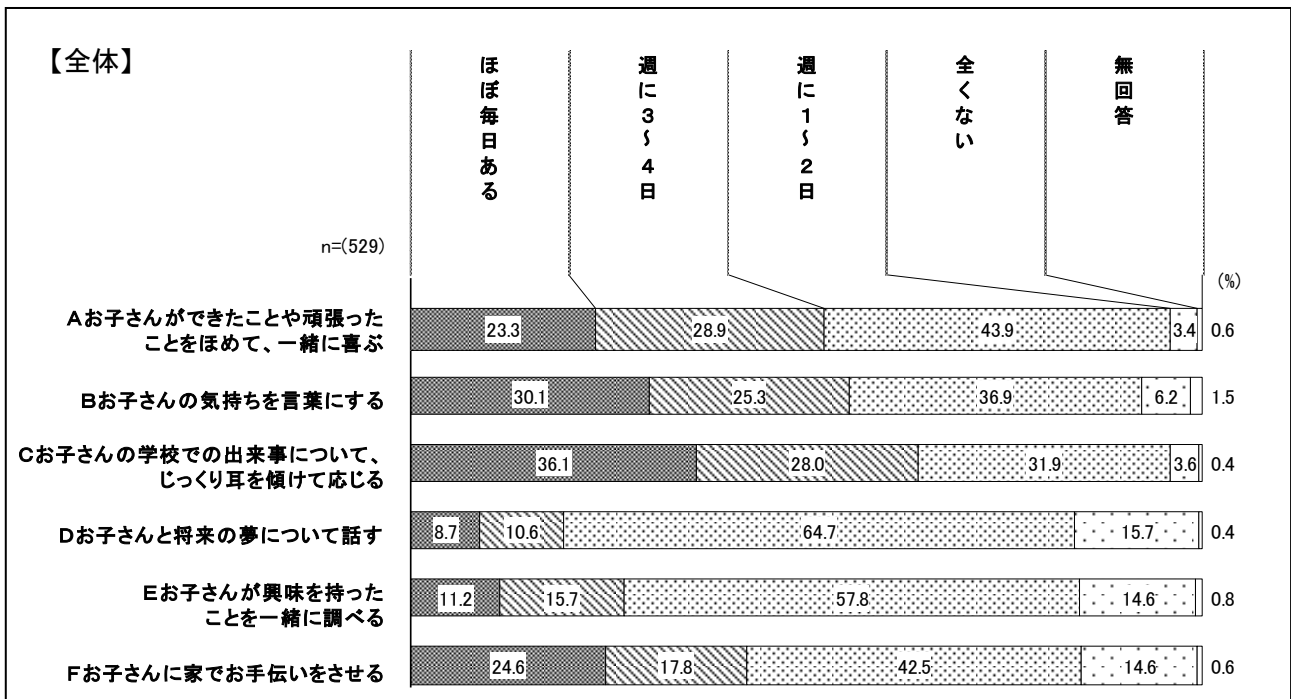
子どもの朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が79.4%を占めており、次いで「食べる方が多い(週4～6日)」が10.2%となっている。



#### (2) 子どもとのかかわりの状況

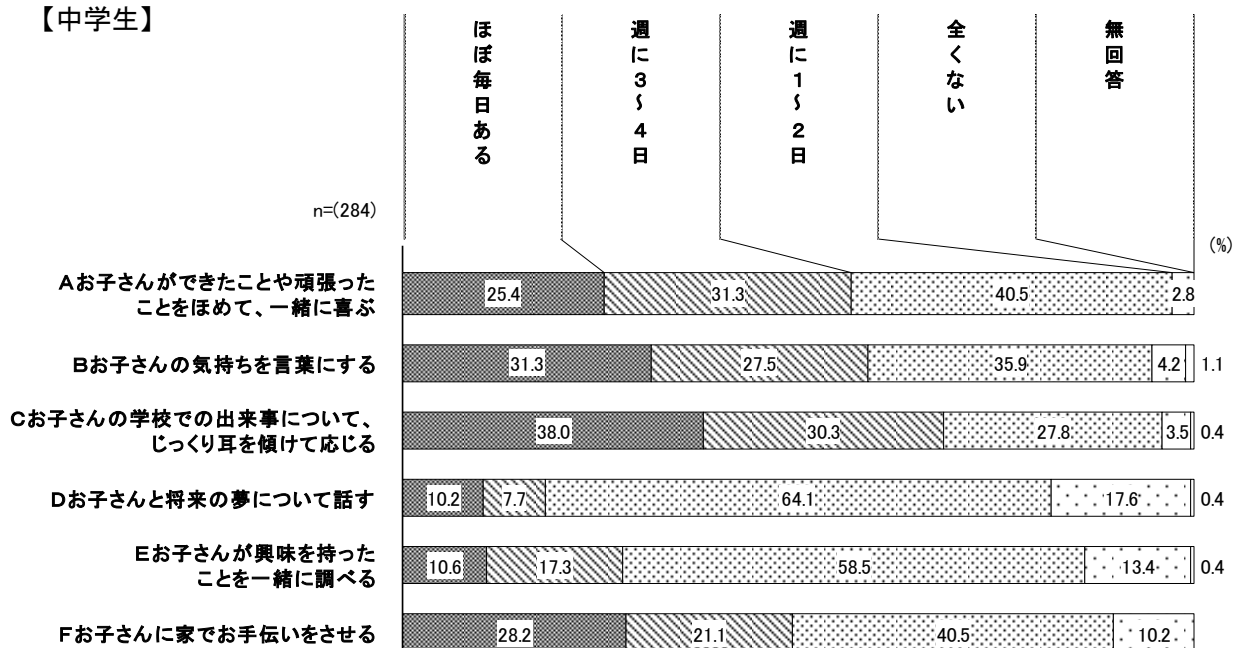
問13 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(それぞれ〇は1つ)

子どもとのかかわりの状況について、「ほぼ毎日ある」の項目は、「お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる」が36.1%と最も高く、次いで「お子さんの気持ちを言葉にする」が30.1%、「お子さんに家でお手伝いをさせる」が24.6%、「お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ」が23.3%となっている。



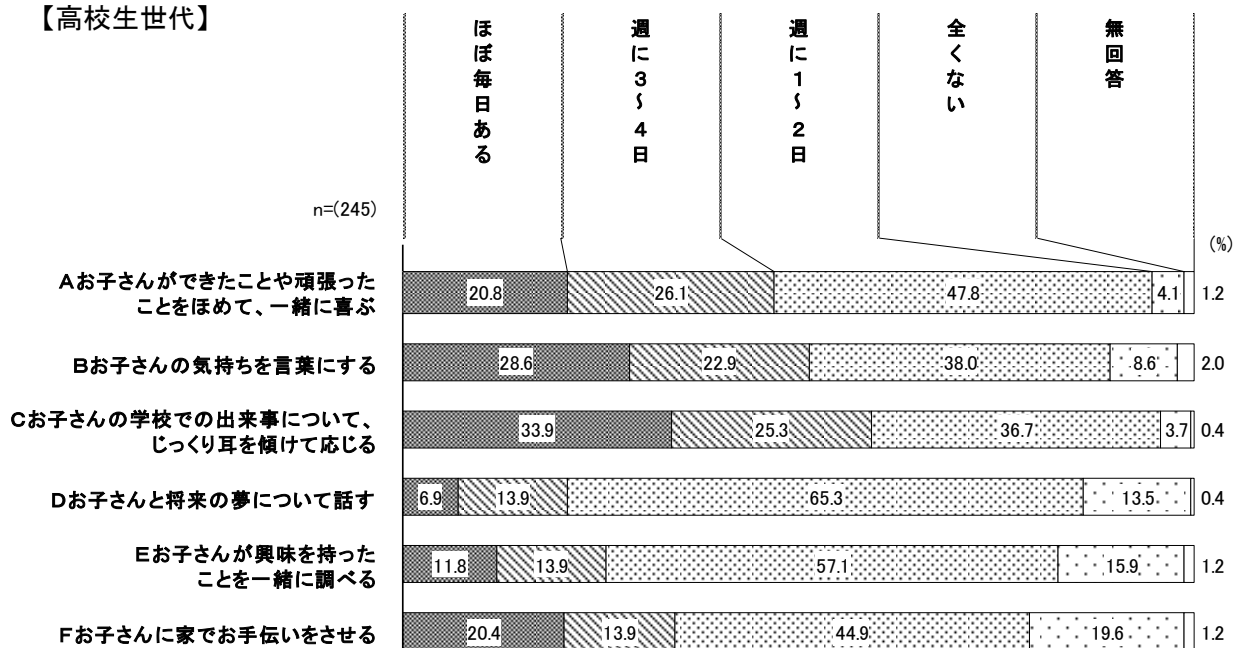
【中学生】

n=(284)



【高校生世代】

n=(245)

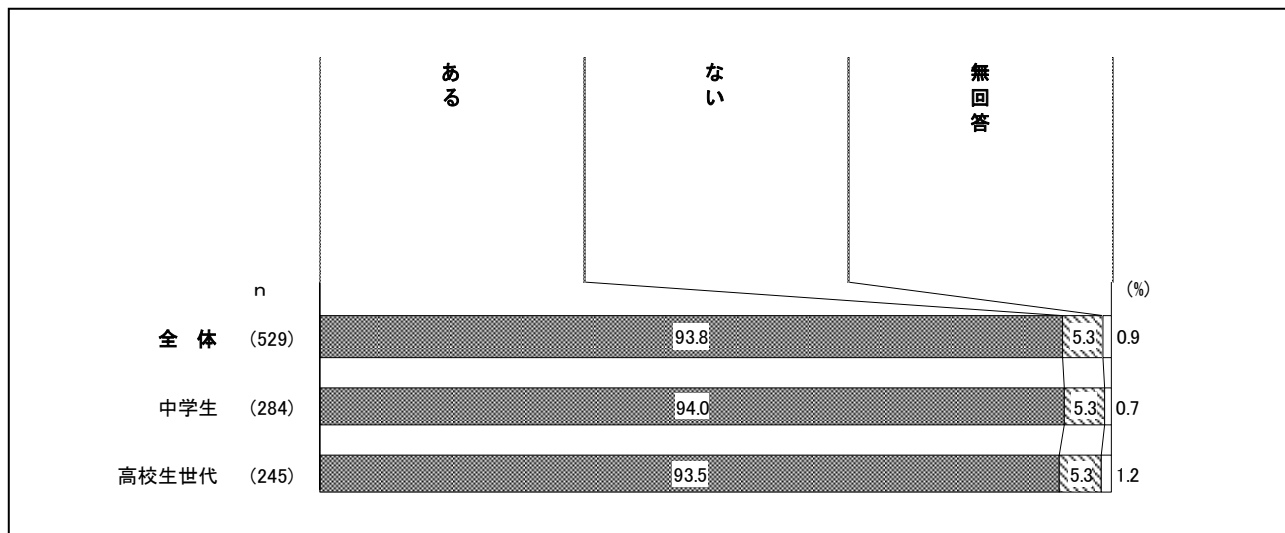


## 第2章 調査結果

### (3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無

問14 宛名のお子さんが落ち着いて勉強できる環境がありますか。(〇は1つ)

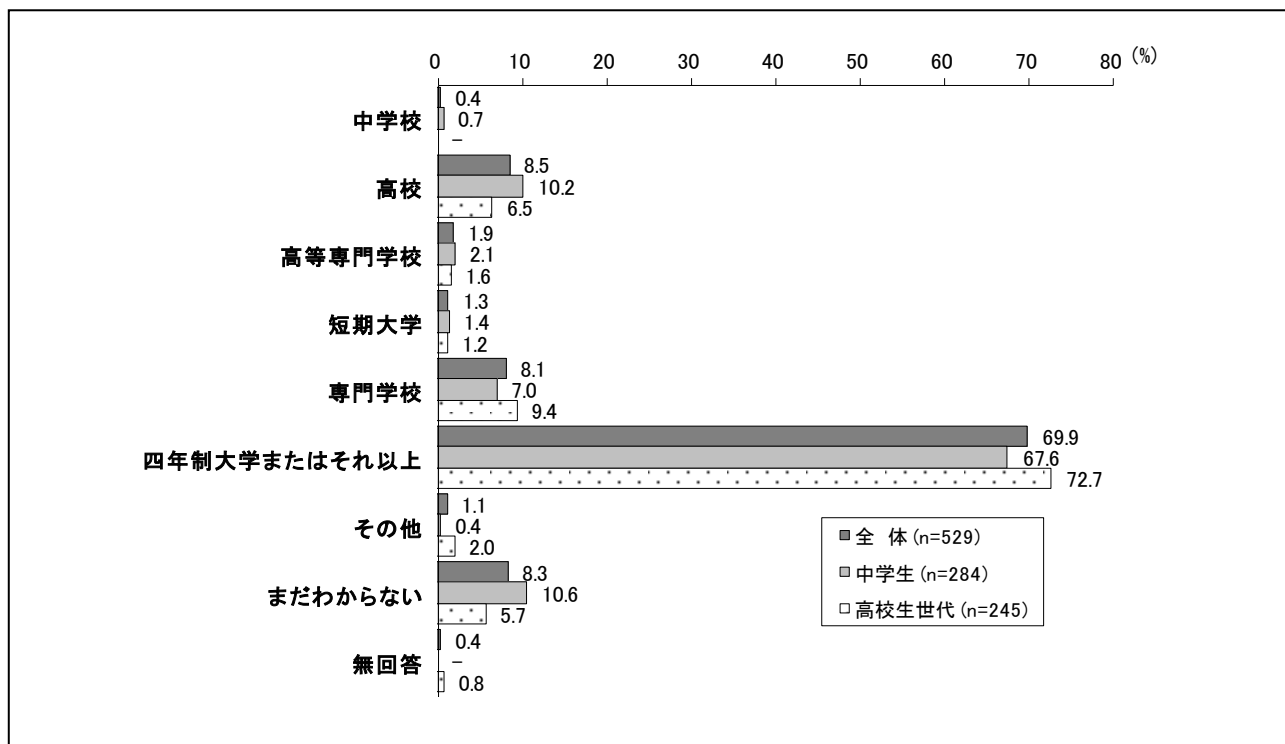
子どもが落ち着いて勉強できる環境については、「ある」が93.8%、「ない」が5.3%となっている。



### (4) 今後の子どもの教育の段階

問15 宛名のお子さんにとどの段階までの教育を受けさせたいですか。(〇は1つ)

子どもに受けさせたい教育の段階は、「四年制大学またはそれ以上」が69.9%、次いで「高校」が8.5%、「専門学校」が8.1%となっている。



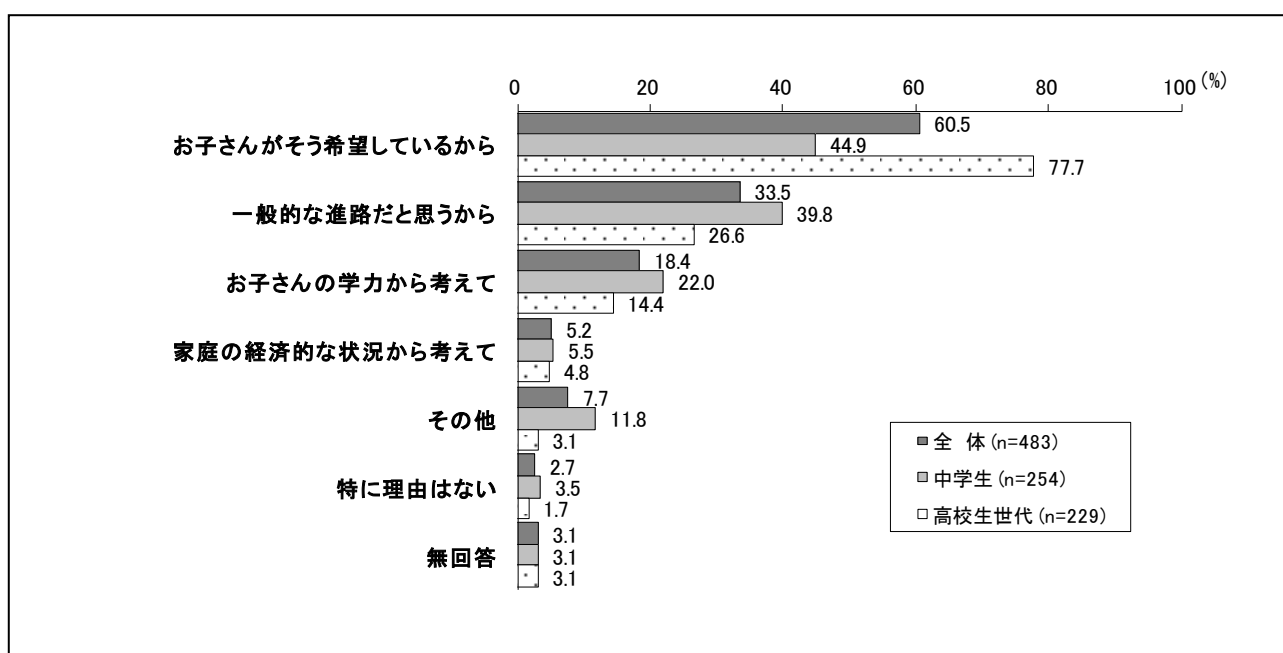


## (5) 今後の子どもの教育の段階を希望する理由

問15で、「1」～「7」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問15-1 その理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

子どもに受けさせたい教育の段階の理由は、「お子さんがそう希望しているから」が60.5%と最も高く、次いで「一般的な進路だと思うから」が33.5%、「お子さんの学力から考えて」が18.4%となっている。

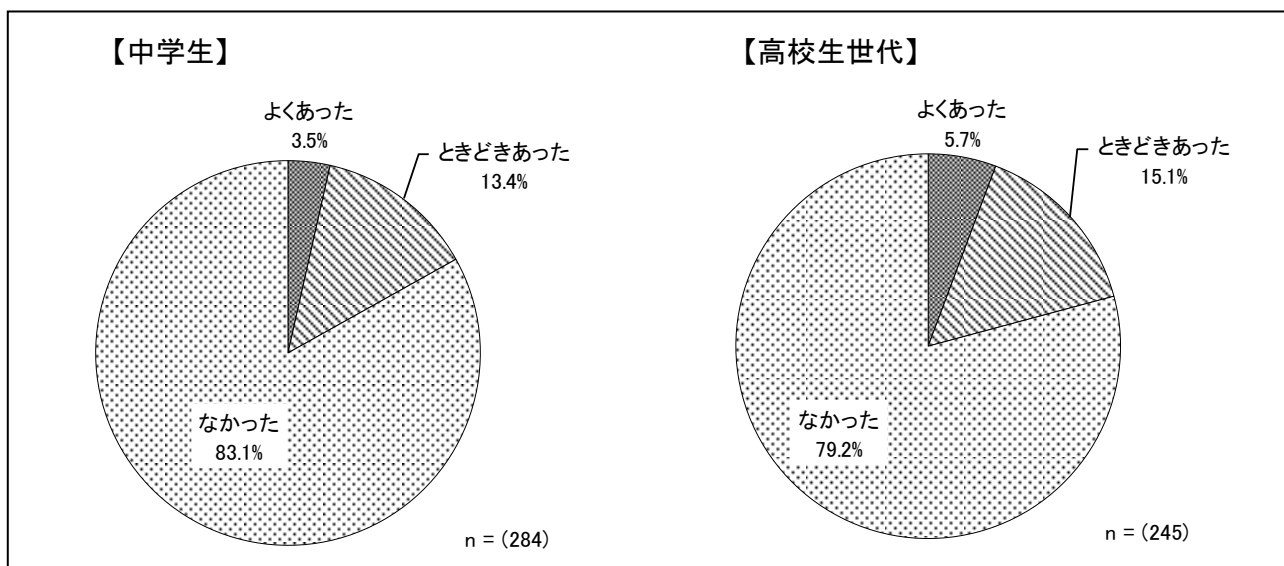


## 第2章 調査結果

### (6) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無

問16 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

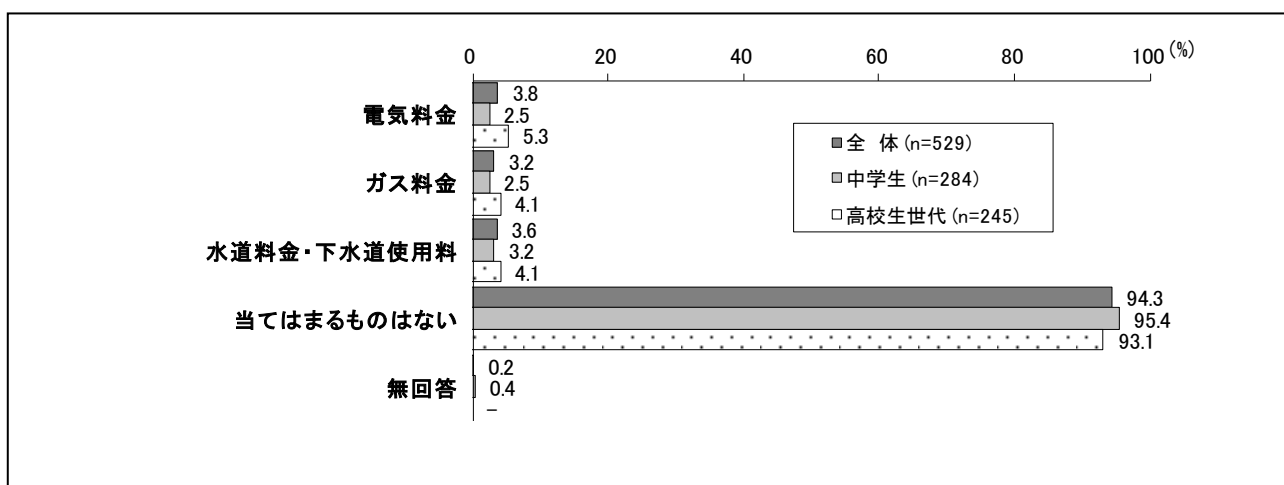
過去1年間に経済的な理由で食料・衣類を買えないことが「あった」家庭は、中学生では「ときどきあった」13.4%と「よくあった」3.5%との合計で16.9%となっており、高校生世代では「ときどきあった」15.1%と「よくあった」5.7%との合計で20.8%となっている。



### (7) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無

問17 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下の費用を支払えないことがありましたか。(当てはまるものすべてに○)

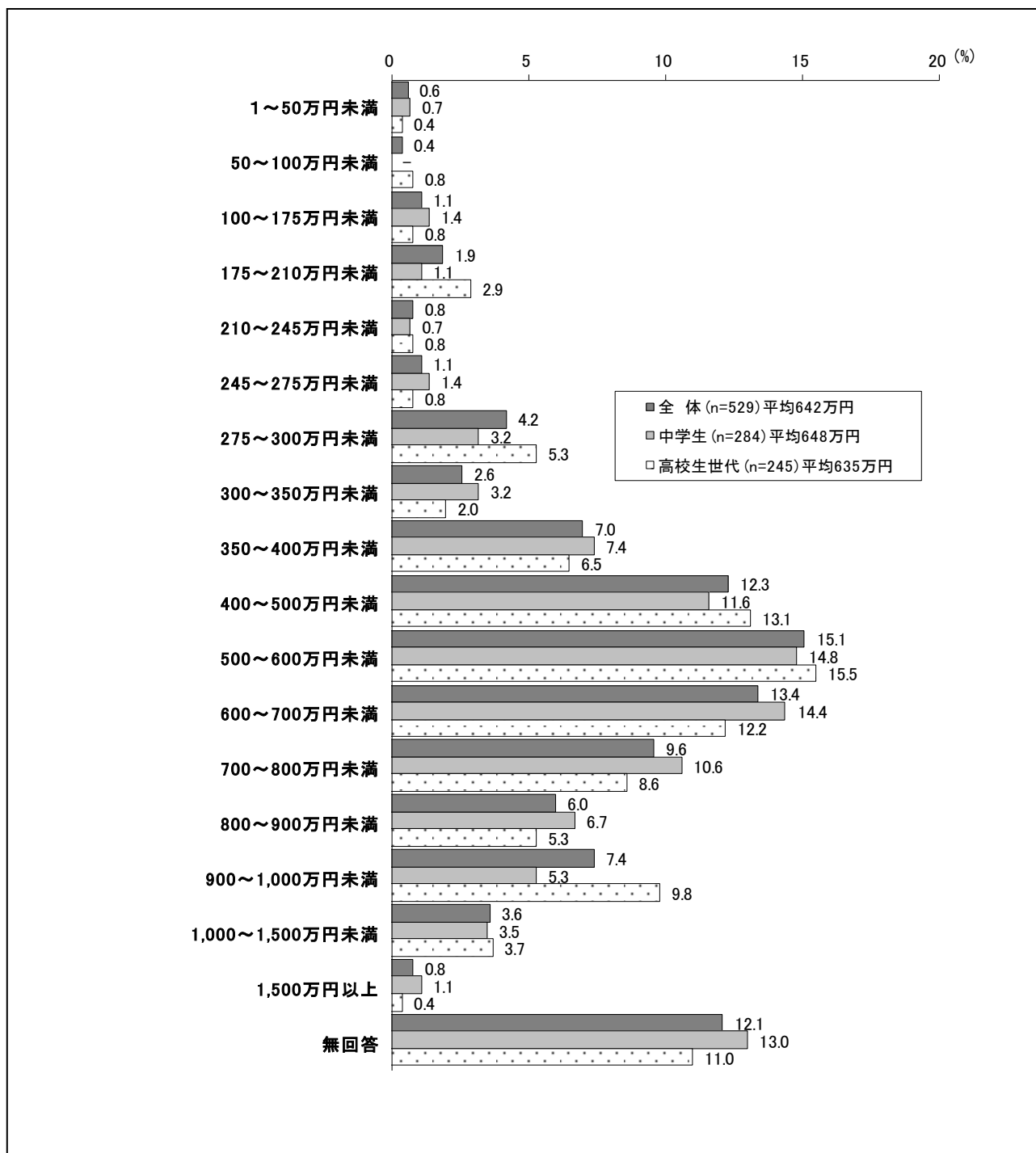
過去1年間に経済的な理由で支払えないことがあった公共料金等としては、「電気料金」が3.8%、「水道料金・下水道使用料」が3.6%、「ガス料金」が3.2%となっている。一方で、「当てはまるものはない」が94.3%を占めている。



(8) 令和4(2022)年の可処分所得金額

問18 宛名のお子さんの世帯の、令和4(2022)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。□枠内に数字でご記入ください。

令和4(2022)年の可処分所得は、「500～600万円未満」が15.1%、「600～700万円未満」が13.4%、「400～500万円未満」が12.3%となっており、平均642万円となっている。

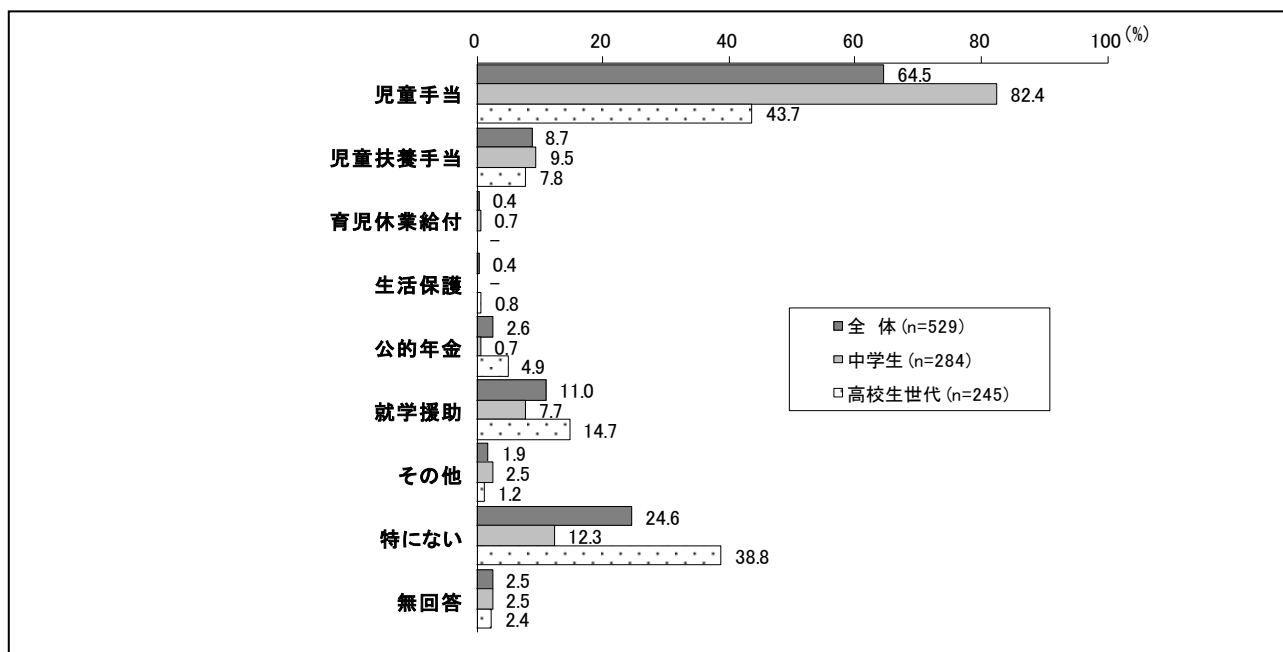


## 第2章 調査結果

### (9) 公的年金、社会保障給付金の受給状況

問19 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金はありますか。  
(当てはまるものすべてに○)

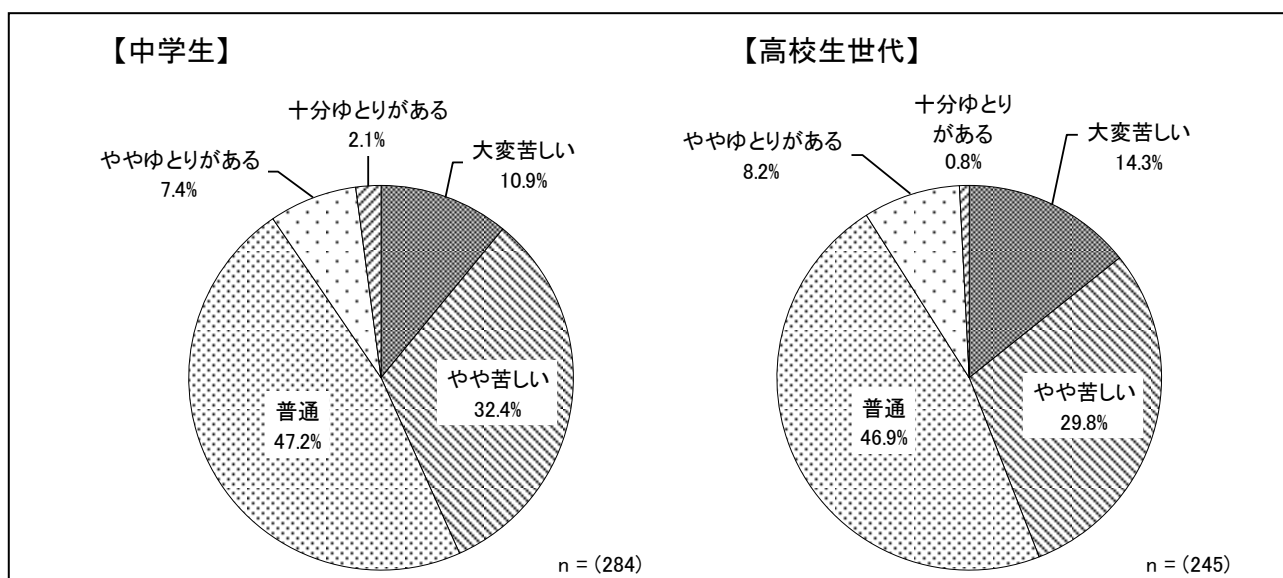
社会保障給付金の受給は、「児童手当」が64.5%と最も高くなっている。



### (10) 現在の暮らしの状況

問20 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、中学生、高校生世代ともに「普通」が約半数を占める。「苦しい」と「ゆとりがある」の対比では「やや苦しい」(中学生32.4%、高校生世代29.8%)と「大変苦しい」(中学生10.9%、高校生世代14.3%)の合計が中学生43.3%、高校生世代44.1%で、「ややゆとりがある」(中学生7.4%、高校生世代8.2%)と「十分ゆとりがある」(中学生2.1%、高校生世代0.8%)の合計(中学生9.5%、高校生世代9.0%)をともに大きく上回っている。

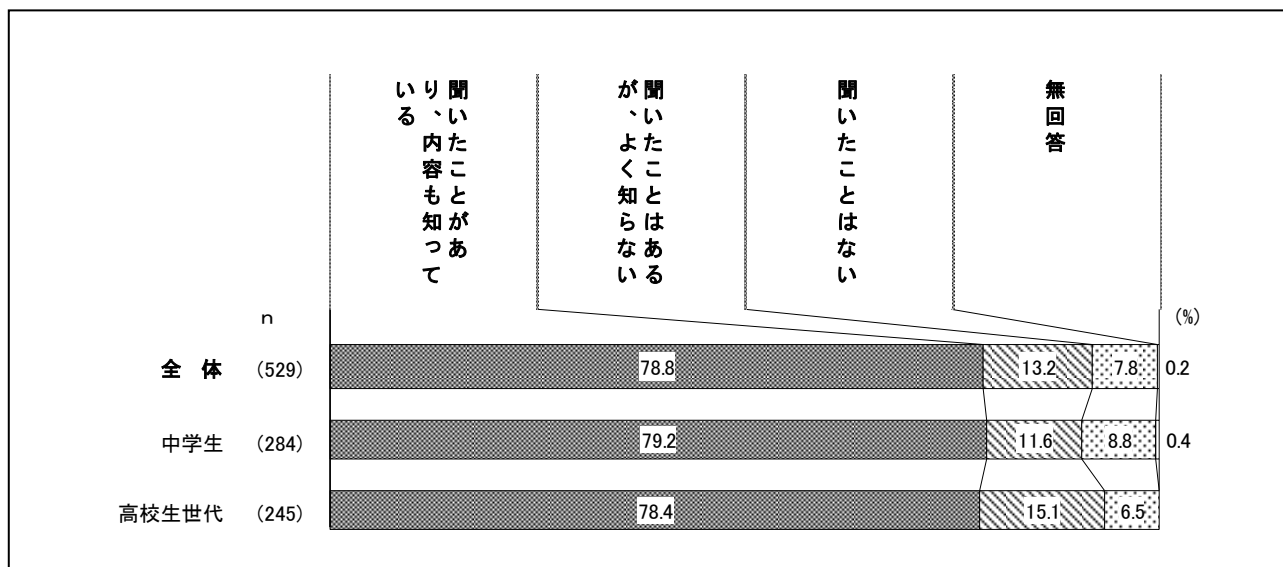


## 4. 子ども・子育て全般について

### (1)「ヤングケアラー」の認知状況

問21 あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(〇は1つ)

「ヤングケアラー」について「聞いたことがあり、内容も知っている」は78.8%、「聞いたことはあるが、よく知らない」は13.2%、「聞いたことはない」は7.8%となっている。

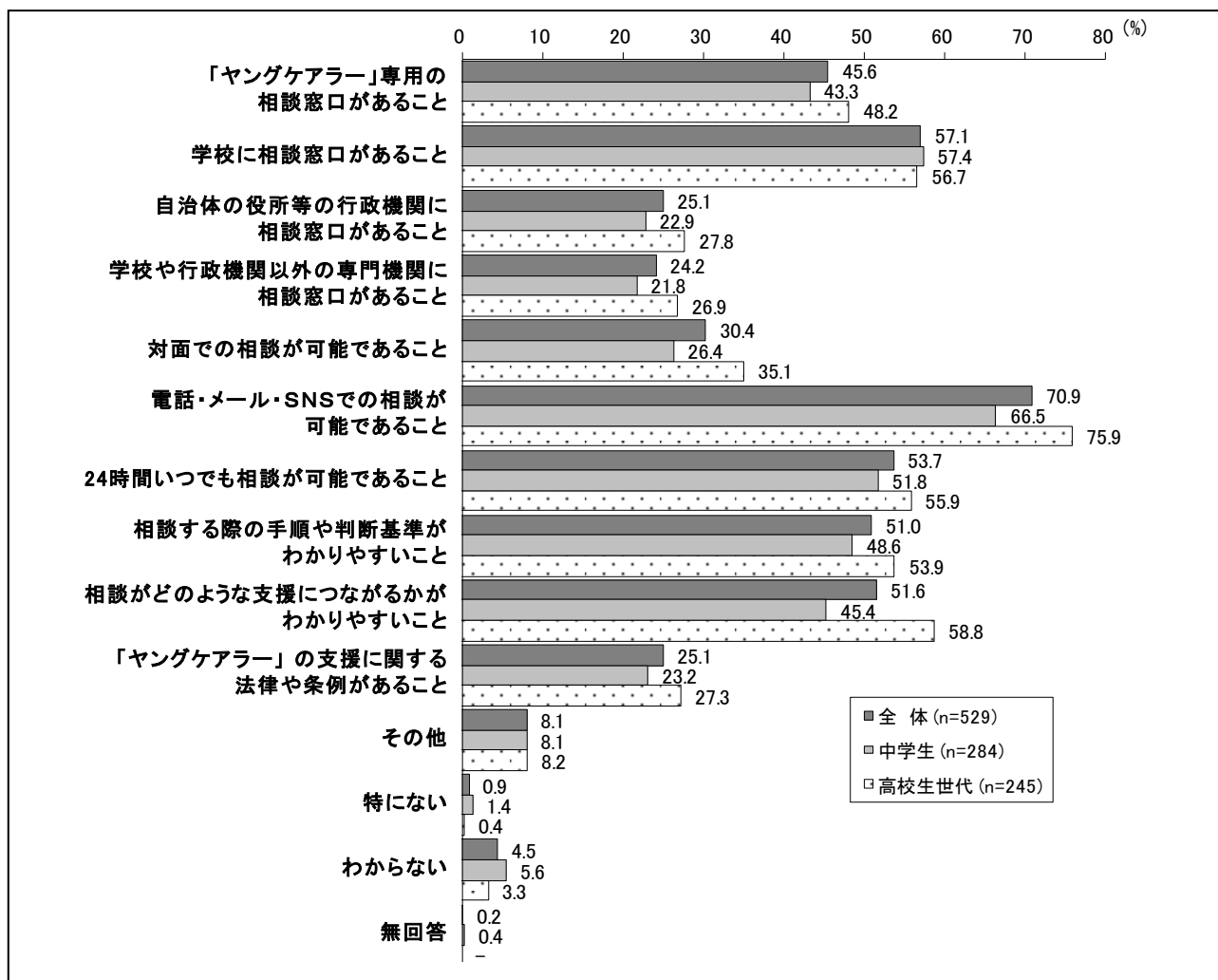


## 第2章 調査結果

### (2) ヤングケアラーが相談しやすい環境づくりに向けた仕組みや取組

問22 「ヤングケアラー」と思われる子どもがいる場合、どのような仕組みや取組があると相談しやすい環境づくりにつながるとお考えですか。(当てはまるものすべてに○)

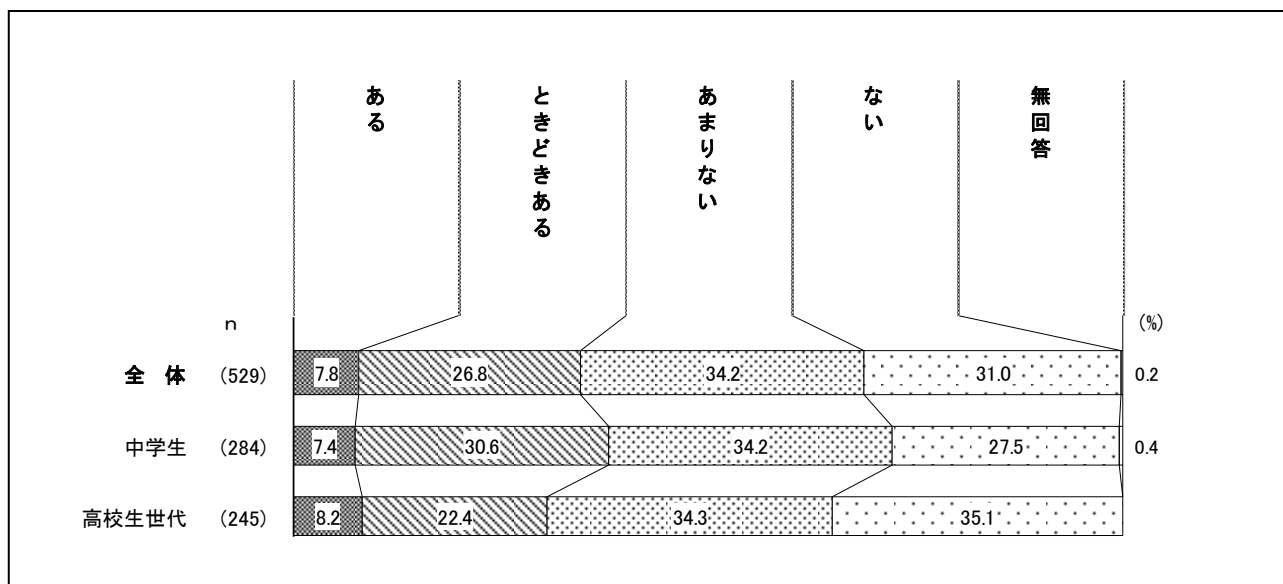
「ヤングケアラー」に対する取組や環境づくりについて、「電話・メール・SNSでの相談が可能であること」が70.9%と最も高く、次いで「学校に相談窓口があること」が57.1%、「24時間いつでも相談が可能であること」が53.7%となっている。



### (3) 子育てに関する孤立感

問23 あなたは子育てに関して孤立感を感じることはありますか。(〇は1つ)

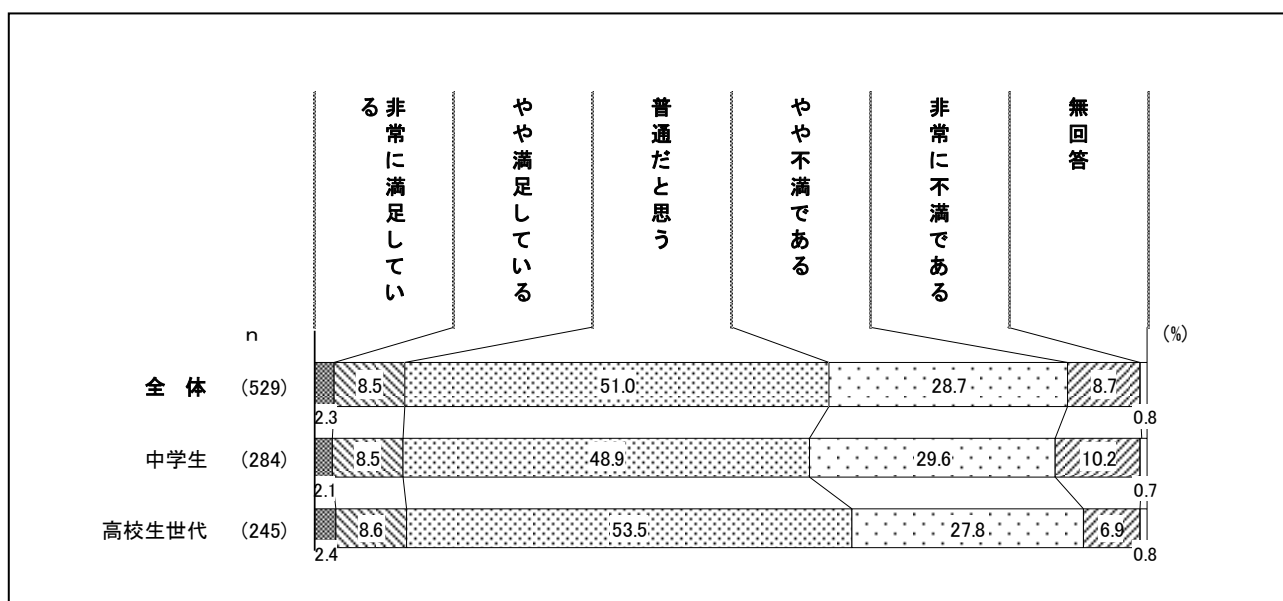
子育てに関して孤立感を感じるものが「ある」が7.8%、「ときどきある」が26.8%であり、孤立感を感じている人は34.6%を占める。一方、「ない」は31.0%、「あまりない」は34.2%であり、孤立感を感じていない人は65.2%となっている。



### (4) 地域の子育ての環境や支援への満足度

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

地域における子育ての環境や支援への満足度は、「普通だと思ふ」が51.0%を占める。また、「不満」と「満足」の対比では「やや不満である」28.7%と「非常に不満である」8.7%の合計が37.4%で、「やや満足している」8.5%と「非常に満足している」2.3%の合計10.8%を大きく上回っている。

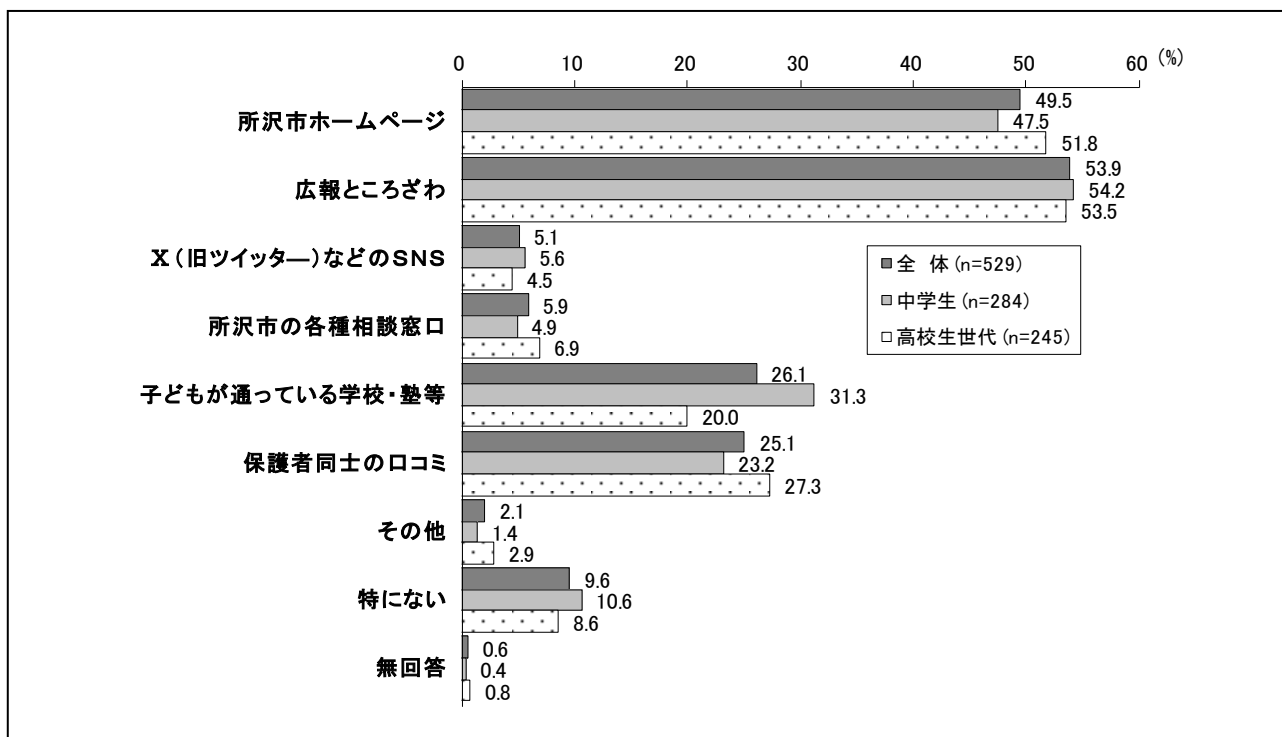


## 第2章 調査結果

### (5) 市内の相談窓口・サービス等の情報入手先

問25 市内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。  
(当てはまるものすべてに○)

市内の相談窓口・サービス等の情報入手先は、「広報ところざわ」が53.9%と最も高く、次いで「所沢市ホームページ」が49.5%、「子どもが通っている学校・塾等」が26.1%、「保護者同士の口コミ」が25.1%となっている。

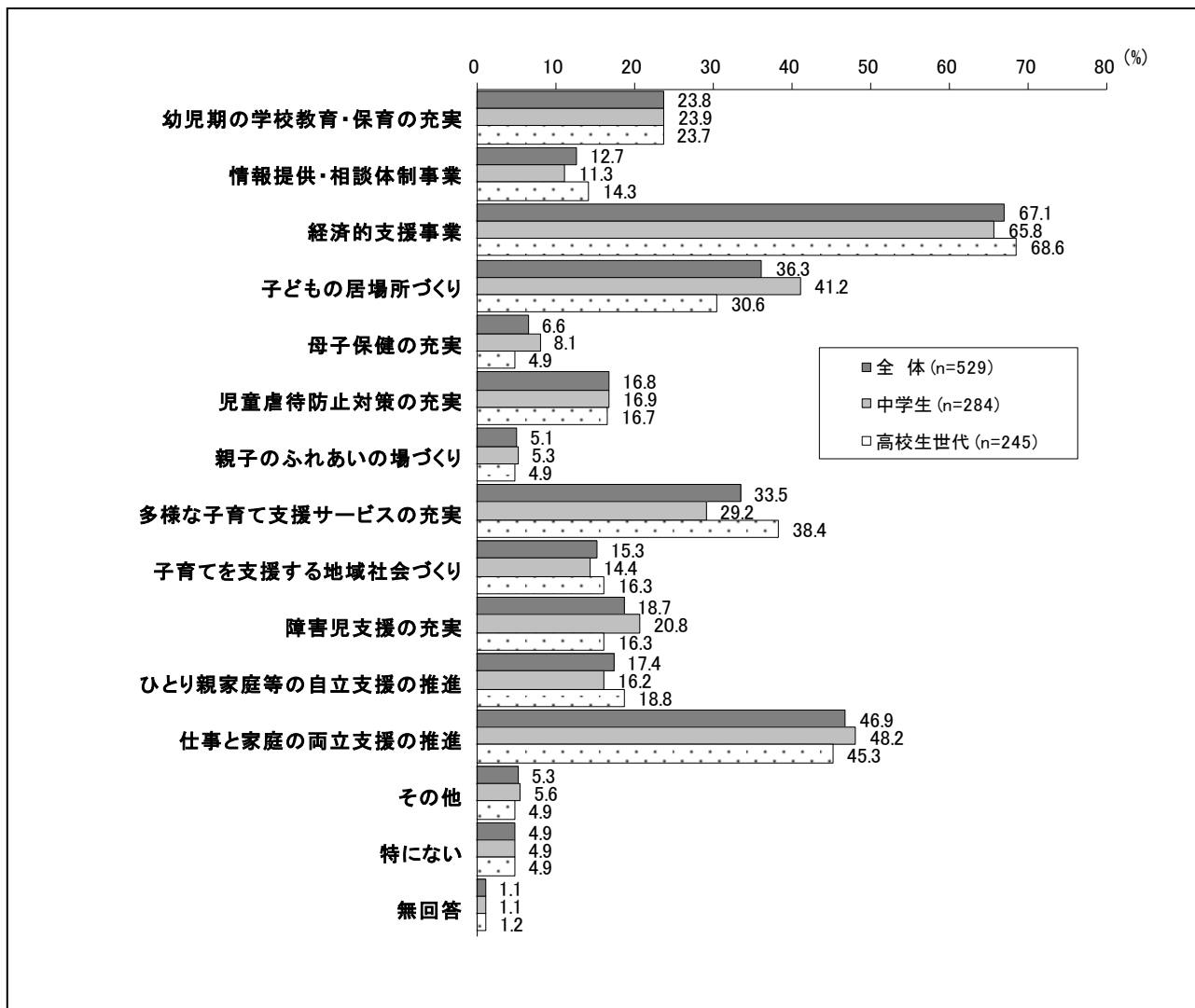




(6) 子育て支援で充実を希望すること

問26 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは、「経済的支援事業」が67.1%と最も高く、次いで「仕事と家庭の両立支援の推進」が46.9%、「子どもの居場所づくり」が36.3%、「多様な子育て支援サービスの充実」が33.5%となっている。



## 第2章 調査結果

### (7) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について

問27 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、219人から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

	内容	件数
学校について	施設・設備について	7
	授業・行事について	18
	教師・職員について	12
	教材・制服等について	5
	部活動について	2
	学校外の学習の場について	7
	進路・受験について	6
	学校の質について	3
	教育環境について	11
	学校での保護者の役割・負担の軽減	9
	不登校の子どもへの支援について	12
居場所について	学童について	7
	放課後・長期休暇中の居場所（学童以外）	10
	公園・広場・施設等遊び場の充実	7
	児童館・公民館・図書館等の充実	6
	保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	4
教育・保育について	保育所への入園のしやすさ・利便性の向上	8
	保育所の充実・質の向上	4
	一時預かりの充実・利便性の向上	5
	保育職員の待遇等について	2
行政について	市の子育て施策について	26
	手続きについて	2
	相談について	8
	経済的支援・補助・無償化について	83
	ひとり親家庭・困窮家庭への支援	6
	障害児・発達障害への支援・サポート	5
	アンケートについて	7

内容		件数
その他	仕事と子育ての両立について	5
	心のケアについて	2
	安心・安全な地域づくり	5
	医療体制・医療費助成について	38
	地域や社会の支援・見守り	4
	その他	5

### ○学校について

- ・公立高校の設備の老朽化への対策を市から県へ声をあげていただきたい。
- ・塾に通えない子が勉強で不利にならないように各学校で補習のシステムがあると良いと思う。
- ・学校の先生方の負担が大きすぎるように感じます。部活動の外部委託などで負担を減らして、教育（学習面だけでなく）活動に使える時間を増やして欲しいです。保護者としても、お忙しい先生には相談をためらってしまいます。
- ・中学生の制服リサイクルも活発におこなわれるととてもありがたい。
- ・放課後利用出来る自習室の拡充と利用時間の延長をして欲しい。また、出張サポートで勉強で分からない事を教えてもらえる支援があると参加、利用しやすいのかと思います。
- ・高校へ行くこと、大学へ行くことが当たり前の世の中が、どんな道を選んでも良い、偏見のない世の中になってほしいと思います。
- ・家庭の経済力に差による教育格差をなくしてほしい。どんな家庭環境の子どもでも大学に行けるような社会にしてほしい。
- ・近年のデジタル化の状況からすると対応が遅れているのではないかと思うものがあると感じている。特に教育の関係では、押印が必要なものがあったり、学校と保護者の間の情報のやりとりがアナログのものがあるので改善が必要ではないかと考える。
- ・不登校児は増える一方です。何か手は打たないのですか？一人で悩む子や親はたくさんいます。居場所、相談できるところ、安心できるところを作ってあげてください。

### ○居場所について

- ・学童保育は子どもが長時間過ごす場であるが施設によっては外遊びが出来なかつたり人数が多くて騒がしい所があったりする。職員を増やす、施設を充実させる必要がある。
- ・小学生以下の学童保育だけでなく、中高生の居場所づくり。
- ・今はどの公園もボール遊び禁止で遊ぶ場所がありません。
- ・学童や児童館も、地域によってばらつきがある。子の状況も様々なので、市内どこに住んでいてもサービスを選べるとよい。

## 第2章 調査結果

### ○教育・保育について

- ・0-2歳までをあずかってくれる保育所が少なすぎる。復帰の事を考えると、子供が産めない。
- ・保育園の待機児童はまだ多いようなので、必要に十分な園を作ってほしい。
- ・所沢市に小児専門のショートステイができる場所がないので作って頂きたいです。今、利用する為には遠くまで行く必要があり、負担が大きい上、順番待ちがあったりするので思うように利用できない時があります。保護者の負担軽減はもちろん、ヤングケアラーの対策にもなります。

### ○行政について

- ・所沢も、本当に小さい子が減ったと感じます。子育て支援を充実させて、娘が結婚や出産をした時に所沢に住みたいと思えるような取り組みをしていただけると嬉しいです。
- ・色々と支援があっても申請や手続きが複雑&紙ベースで、大変です。もっと簡単にしてほしい。
- ・「ヤングケアラー」については、子供の友人で、そのような話を聞くことはないのですが、実際、そのような立場にあっても、自覚がなかったり、親しい友人にでも相談することは難しいと思うので、匿名や24時間対応など少しでも窓口を広げてあげる事が良いのではないかと思います。
- ・年齢が上がるにつれ比較にならないほどお金がかかる。しかも、高校生になるとなくなる補助がある。たとえば医療費など。子育て支援の充実は、所沢の魅力にもつながると思う。
- ・高校（私立含む）の無償化をしてほしいです。経済的な理由で進路が制限されている子どもは多いと思います。
- ・子供の貧困問題は本当に深刻だと思う。子供達に罪はない。社会・地域で支える仕組みを作って欲しい。
- ・発達障害のサポートを充実させて欲しいと思います。

### ○その他

- ・子供が中学を卒業するまでは、専業主婦として子供中心の生活でしたので、仕事と子育てを両立させるといよりは、子供が小さい時は、子育てに母親、又は、父親が仕事よりも子供との時間を優先できるように行政サポートがあれば良いなと思います。
- ・他市から引越してきた者としての印象だが、街灯が少ない、暗く感じるため、もっと明るくしてほしい。
- ・子どものインフルエンザワクチン予防接種料金をもう少し安くしてほしい。
- ・子ども医療費、高校生まで助成していただけたらと思います。
- ・子供食堂の充実（家から離れたところが多い。子育て落ちついたら参加したい。）

## IV. 児童・生徒本人調査結果



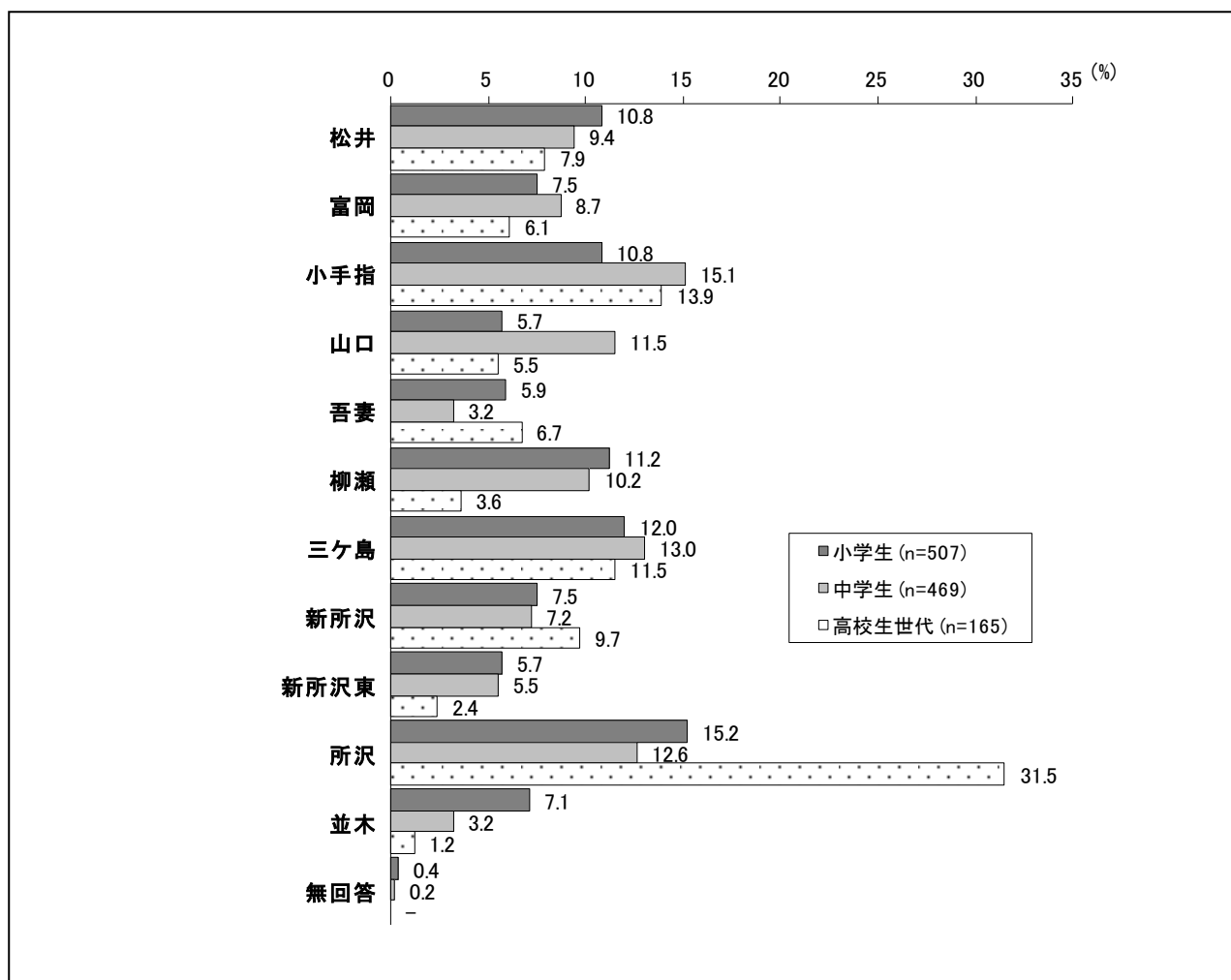
## 1. 自分自身と家族の状況について

## (1) 居住地区

【共通】問1 あなたのお住まいの地区はどこですか。(○は1つ)

※どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

居住地区は、小学生では「所沢」が15.2%と最も高く、次いで「三ヶ島」が12.0%、「柳瀬」が11.2%となっている。中学生では「小手指」が15.1%と最も高く、次いで「三ヶ島」が13.0%、「所沢」が12.6%となっている。高校生世代では「所沢」が31.5%と最も高く、次いで「小手指」が13.9%、「三ヶ島」が11.5%となっている。



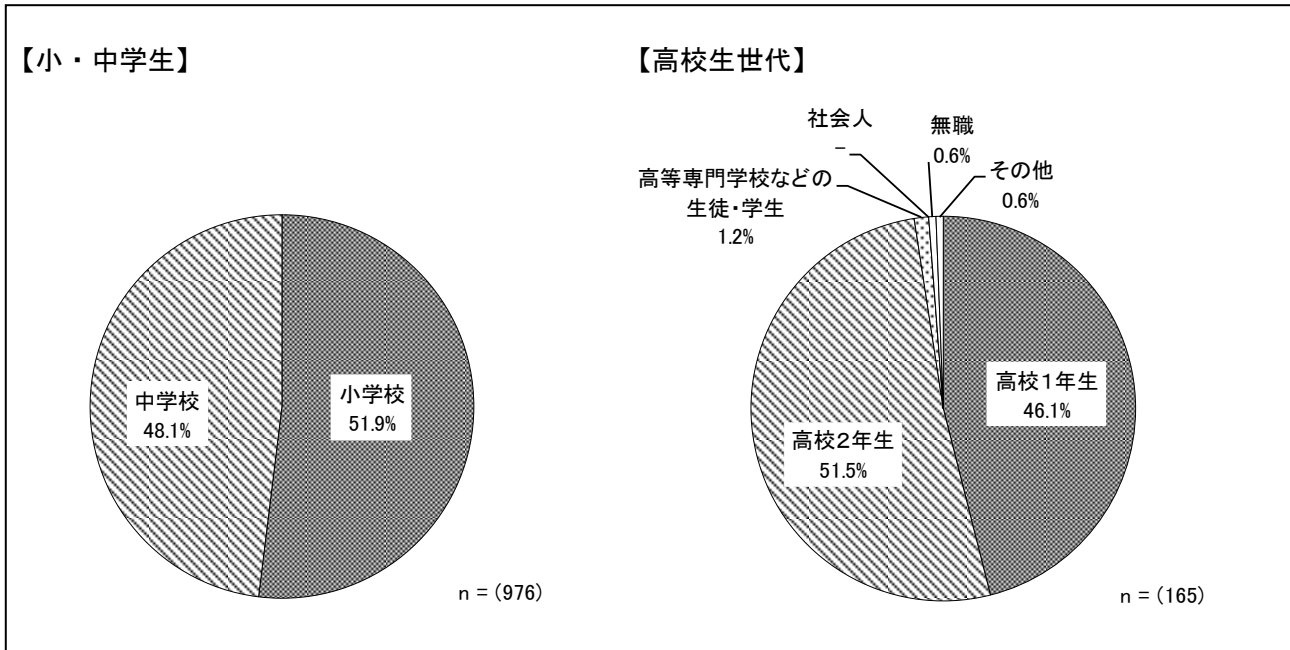
## 第2章 調査結果

### (2) 現在の状況

【小・中学生】問2 現在、あなたが在学している学校はどれですか。(〇は1つ)

【高校生世代】問2 あなたの現在の状況をお答えください。(〇は1つ)

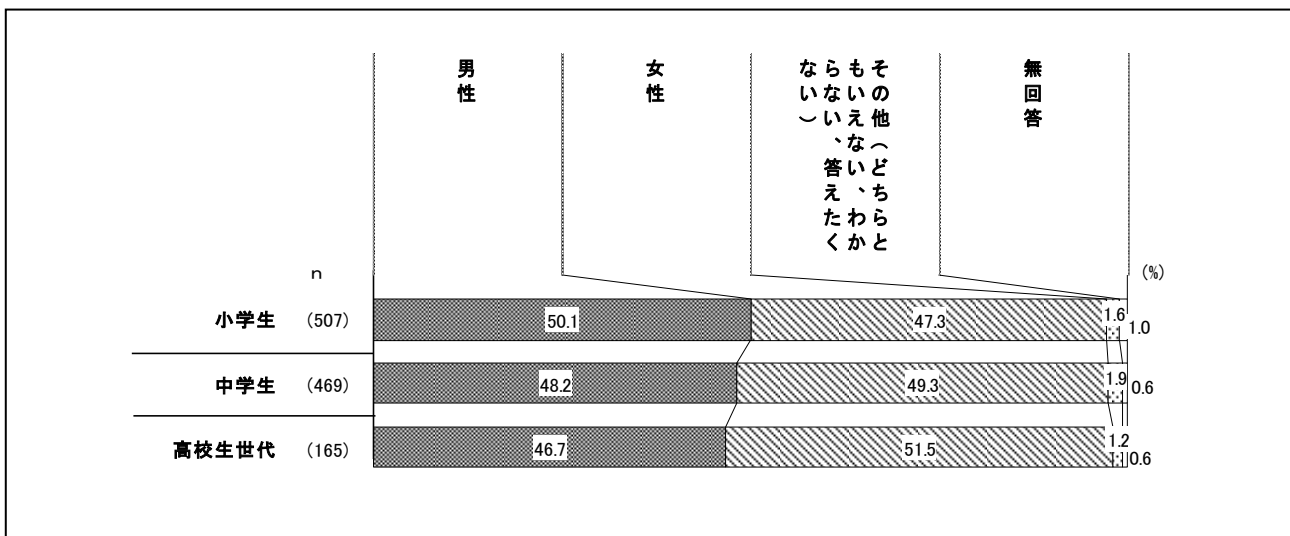
子どもの状況は、「小学校」が51.9% (507名)、「中学校」が48.1% (469名)となっている。高校生世代 (165名) の内訳は、「高校生1年生」が46.1%、「高校2年生」が51.5%となっている。



### (3) 性別

【共通】問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つ)

回答者の性別は、小学生は「男性」が50.1%、「女性」が47.3%、中学生は「男性」が48.2%、「女性」が49.3%、高校生世代は「男性」が46.7%、「女性」が51.5%となっている。

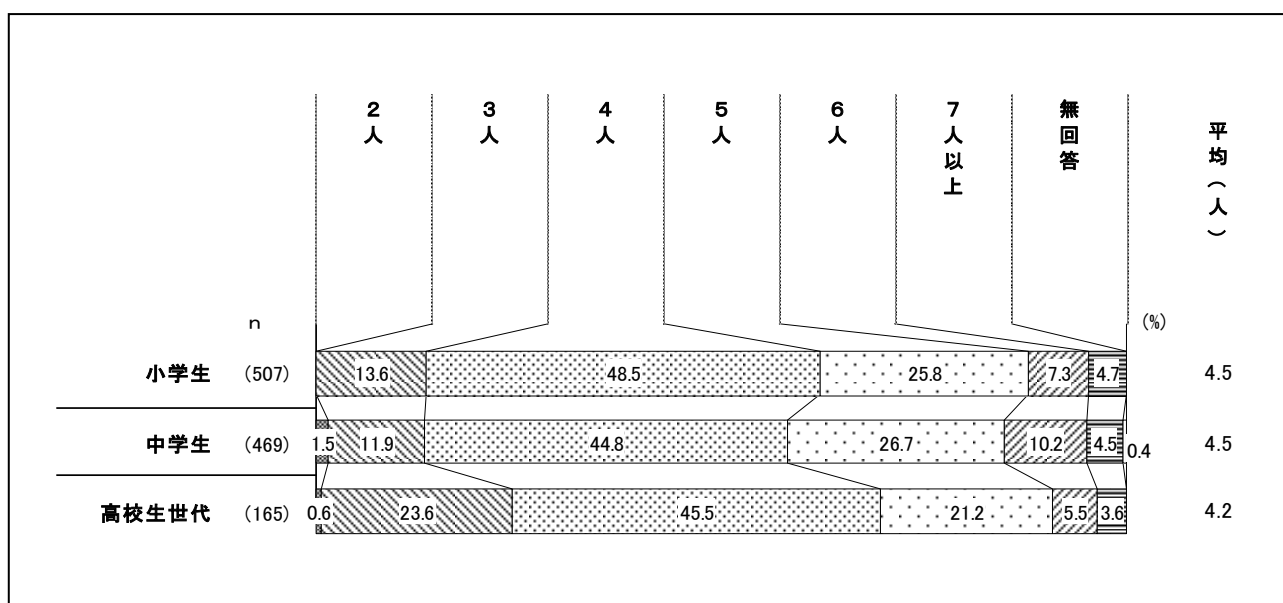




(4) 世帯の人数

【共通】問4 あなたの家族はあなたを入れて全員で何人ですか（仕事や学校などのために、一時的に家からはなれてくらしている人も人数に入れてください）。

世帯の人数は、各年代とも「4人」が4割台と最も高く、次いで小学生と中学生では「5人」が2割台半ば、「3人」が1割台となっている。一方、高校生世代では「3人」と「5人」が2割台となっている。平均人数は、小学生4.5人、中学生4.5人、高校生世代4.2人となっている。



(5) 一緒に住んでいる人

【共通】問5 現在、あなたがいっしょに住んでいる人をお答えください。  
(当てはまるものすべてに○)

同居の状況をみると、各年代とも「母親」が9割台半ば以上（小学生96.4%、中学生98.3%、高校生世代97.0%）と最も高く、次いで「父親」が小学生で9割台、中学生と高校生世代で8割台、「兄弟姉妹」が小学生と中学生で8割台、高校生世代で7割台半ばとなっている。

(単位：%)

	回答者数(人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	おば、その他の親族(おじ、いとこなど)	その他	無回答
小学生	507	92.3	96.4	85.0	5.3	8.3	1.2	0.4	1.0
中学生	469	87.4	98.3	83.6	6.6	10.4	1.1	0.4	0.4
高校生世代	165	84.2	97.0	75.8	3.0	8.5	1.8	-	-

## 第2章 調査結果

### 2. 日常生活について

#### (1) 普段の生活の中で一番楽しさを感じるとき

【共通】問6 あなたは、ふだんの生活の中で一番楽しさを感じるのはどんなときですか。

(○は3つまで)

普段の生活の中で一番楽しさを感じるときは、各年代とも「友達と一緒に過ごしているとき」が6割台（小学生63.1%、中学生69.7%、高校生世代65.5%）と最も高くなっている。小学生では次いで「家族と一緒に過ごしているとき」が56.0%、「ゲームをしているとき」が47.3%となっている。中学生と高校生世代では次いで「パソコンや携帯電話、スマートフォンを使っているとき」が3割台半ば（中学生37.1%、高校生世代37.6%）、「家族と一緒に過ごしているとき」が3割台（中学生36.2%、高校生世代32.7%）となっており、中学生では「ゲームをしているとき」も同値（36.2%）となっている。

(単位：%)

	回答者数（人）	家族と一緒に過ごしているとき	学校の部活動やクラブ活動をしているとき	※仕事をしているとき ※高校生世代のみ	友達と一緒に過ごしているとき	学校で授業を受けているとき	何かを学んでいるとき	塾や習い事に行っているとき	スポーツなど体を動かしているとき	地域の行事や活動に参加しているとき
小学生	507	56.0	10.1		63.1	1.6	2.6	10.1	29.2	2.2
中学生	469	36.2	21.5		69.7	1.9	2.1	4.7	20.3	0.4
高校生世代	165	32.7	23.6	0.6	65.5	3.6	9.7	0.6	18.8	0.6

(単位：%)

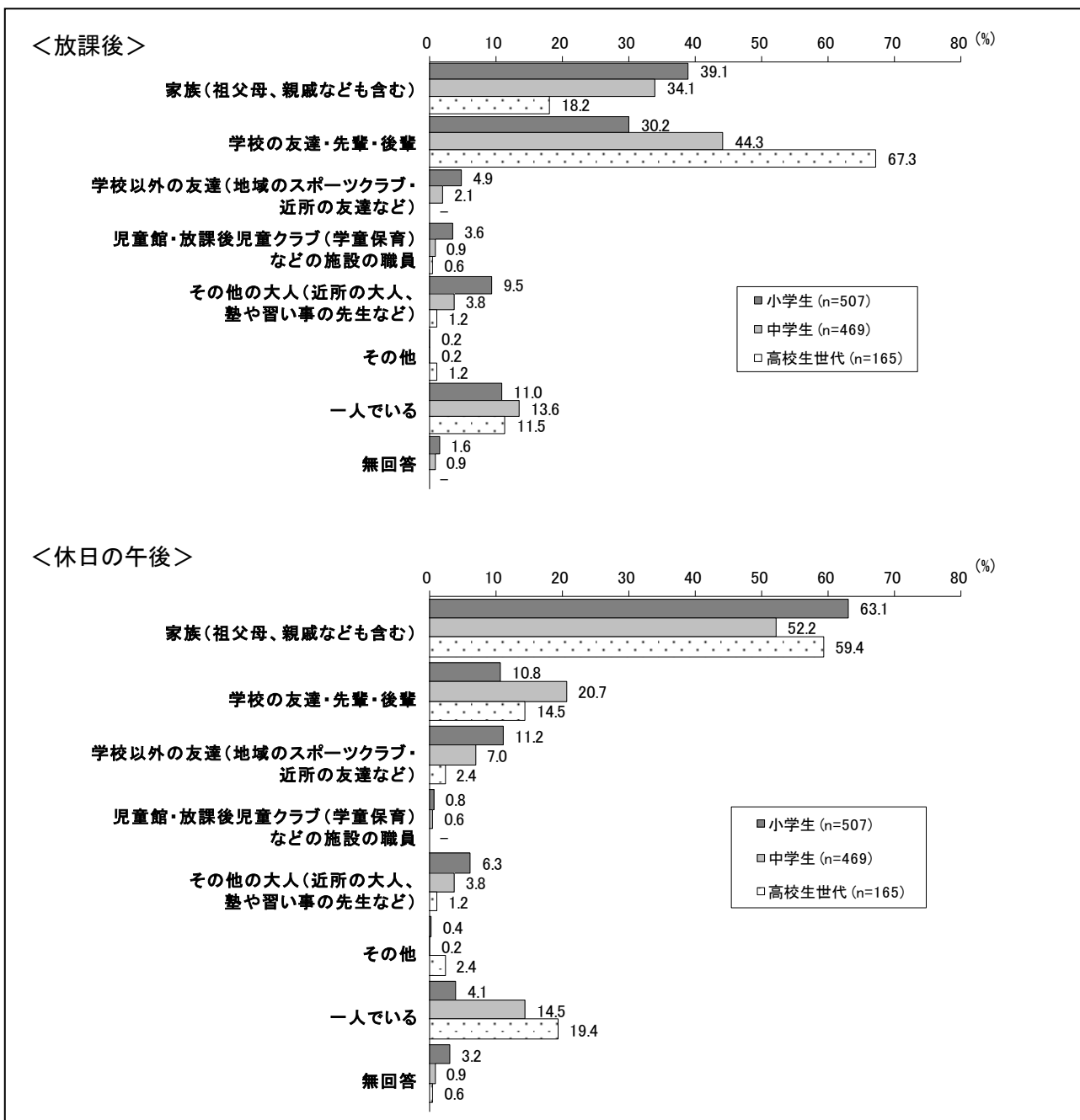
	回答者数（人）	まちで買い物などをしていくとき	ひとりで過ごしているとき	テレビを見ているとき	ゲームをしているとき	パソコンや携帯電話、スマートフォンを使っているとき	その他	特にない	無回答
小学生	507	9.5	11.6	13.8	47.3	23.1	2.4	0.6	0.6
中学生	469	17.5	17.9	9.4	36.2	37.1	6.0	1.1	-
高校生世代	165	15.8	24.8	7.3	27.3	37.6	7.3	0.6	-

(2) 放課後、休日午後の過ごし方

【共通】問7 あなたは、以下の時間は誰と一緒に過ごすことが多いですか。(それぞれ〇は1つ)

放課後の時間帯と一緒に過ごす人は、小学生では「家族（祖父母、親戚なども含む）」が39.1%と最も高く、次いで「学校の友達・先輩・後輩」が30.2%となっている。中学生と高校生世代では「学校の友達・先輩・後輩」（中学生44.3%、高校生世代67.3%）が最も高く、次いで「家族」（中学生34.1%、高校生世代18.2%）となっている。また、各年代とも「一人でのいる」が1割以上みられる。

休日の午後の時間帯と一緒に過ごす人は、各年代とも「家族」が最も高く半数以上（小学生63.1%、中学生52.2%、高校生世代59.4%）となっている。次いで、小学生では「学校以外の友達（地域のスポーツクラブ・近所の友達など）」が11.2%、「学校の友達・先輩・後輩」が10.8%となっている。中学生では「学校の友達・先輩・後輩」が20.7%、「一人でのいる」が14.5%、高校生世代では「一人でのいる」が19.4%、「学校の友達・先輩・後輩」が14.5%となっている。



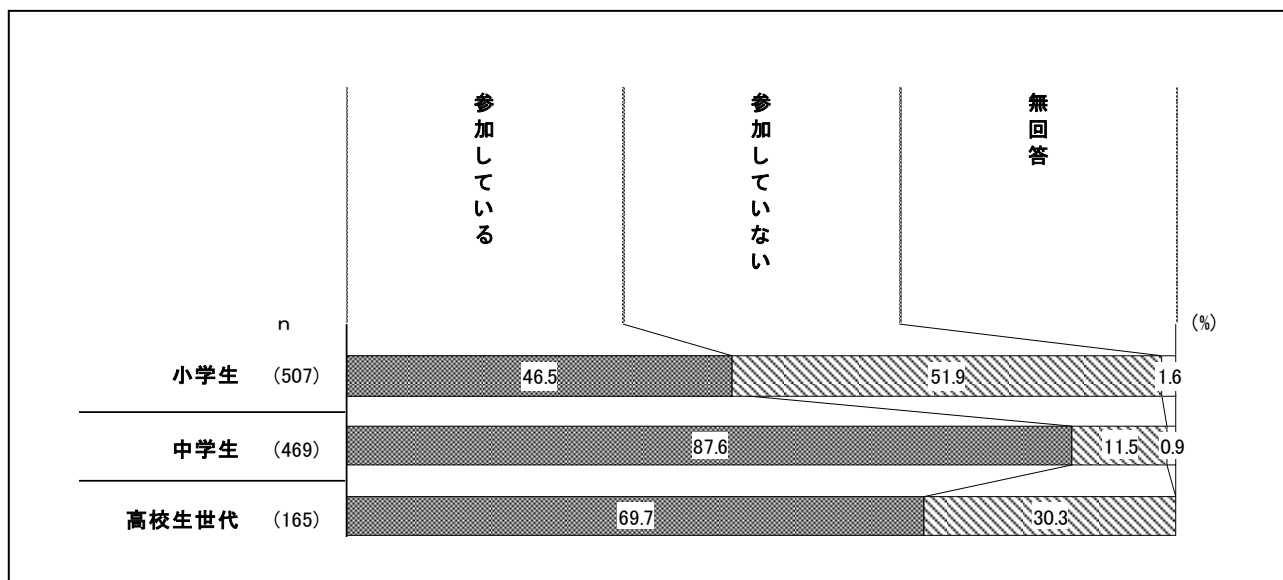
## 第2章 調査結果

### (3) クラブや部活動等への参加状況

【共通】問8 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

(○は1つ) (小・中学生のみ：※小学校のクラブ活動は含みません。)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に「参加している」割合は、小学生で46.5%、中学生で87.6%、高校生世代で69.7%となっている。



### (4) クラブや部活動等へ参加していない理由

問8で、「2」(参加していない) を選択した方にうかがいます。

【共通】問8-1 参加していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していない理由は、各年代とも「入りたいクラブ・部活動がないから」が半数以上(小学生50.6%、中学生50.0%、高校生世代58.0%)と最も高くなっている。次いで小学生と中学生では「塾や習い事が忙しいから」(小学生32.7%、中学生27.8%)が3割前後、高校生世代では「塾や習い事が忙しいから」、「費用がかかるから」が同値(14.0%)となっている。

(単位: %)

	回答者数(人)	入りたくないから	塾や習い事が忙しいから	費用がかかるから	家の事情(家族の世帯)	一緒にいる友達がいないから	その他	無回答
小学生	263	50.6	32.7	11.8	17.9	14.8	20.2	1.5
中学生	54	50.0	27.8	16.7	7.4	11.1	22.2	1.9
高校生世代	50	58.0	14.0	14.0	2.0	12.0	24.0	-

## (5) 今の自分にとっての居場所

【共通】問9 今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、安心できる場所）は次のうちどれですか。（当てはまるものすべてに○）

今の自分にとっての居場所は、小学生では「家庭（親戚の家を含む）」が75.5%と最も高く、次いで「自分の部屋」が53.5%、「学校」が34.9%となっている。中学生では「自分の部屋」が74.2%、「家庭」が71.2%と特に高く、次いで「インターネット空間」が26.9%、「学校」が26.4%と同程度となっている。高校生世代では「自分の部屋」が70.9%と最も高く、次いで「家庭」が63.0%、「学校」が37.0%となっている。

(単位：%)

	回答者数（人）	自分の部屋	家庭（親戚の家を含む）	学校	※職場 高校生世代のみ	地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）	インターネット空間（SNS、ゲームなど）	その他	特にない	無回答
小学生	507	53.5	75.5	34.9		20.1	29.2	2.6	2.6	1.4
中学生	469	74.2	71.2	26.4		8.7	26.9	4.7	2.1	0.2
高校生世代	165	70.9	63.0	37.0	0.6	6.1	23.6	1.8	3.6	-

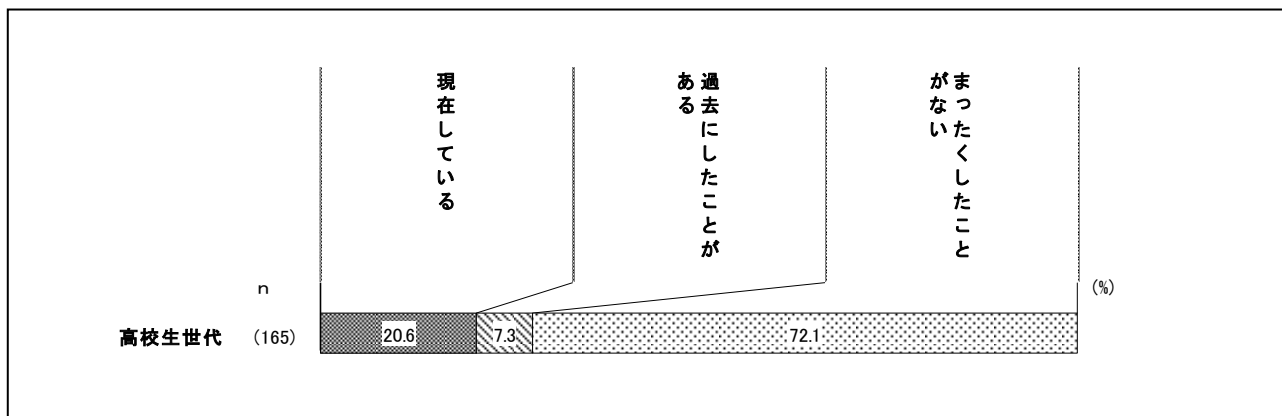
## 第2章 調査結果

### (6) 就労経験の有無

【高校生世代のみ】

問10 あなたは、今までにアルバイトや仕事をしたことがありますか。(〇は1つ)

高校生世代でアルバイトや仕事を「現在している」は20.6%、「過去にしたことがある」は7.3%となっている。一方、「まったくしたことがない」は72.1%となっている。



### (7) 給料の使用用途

【高校生世代のみ】

問10で、「1」(現在している)または「2」(過去にしたことがある)を選択した方にうかがいます。

問10-1 アルバイトや仕事で稼いだお金は何に使っていますか。(当てはまるものすべてに〇)

アルバイトや仕事で稼いだお金の使用用途は、「友だちと遊ぶ費用」が78.3%と最も高く、次いで「学用品」が23.9%、「学校の昼食代」が19.6%、「部活動の費用」が17.4%となっている。その他としては「趣味の活動のため」や「貯金」などの回答がみられた。

(単位:%)

回答者数(人)	家計の足し	通学のための交通費	修学旅行などの学校行事費	学校の昼食代	学用品(文具など)	現在の学費(授業料や校納金)	部活動の費用	塾の費用	進学のための費用	友だちと遊ぶ費用	携帯・スマートフォン代	その他
46	10.9	4.3	2.2	19.6	23.9	2.2	17.4	-	8.7	78.3	6.5	21.7

## 3. インターネットの利用状況について

## (1) デジタル機器の所有状況

【小・中学生】問10 【高校生世代】問11

あなたは、次のような機器を持っていますか。(当てはまるものすべてに○)

デジタル機器の保有状況を見ると、小学生では「据え置き型（テレビと接続）ゲーム機」が54.8%、「スマートフォン」が52.5%、「携帯ゲーム機」が49.3%とそれぞれ半数程度となっている。中学生と高校生世代では「スマートフォン」（中学生90.4%、高校生世代97.6%）が9割以上と最も高くなっている。次いで中学生は「据え置き型（テレビと接続）ゲーム機」が58.2%、「携帯ゲーム機」が47.8%となっており、高校生世代は「タブレット端末（iPad、Nexus等）」が47.3%となっている。

(単位：%)

	回答者数（人）	デスクトップパソコン	ノートパソコン	タブレット端末（iPad、Nexus等）	スマートフォン	携帯電話（ガラケー）	据え置き型（テレビと接続）ゲーム機	携帯ゲーム機	その他	いずれも持っていない	無回答
小学生	507	6.5	18.1	37.3	52.5	6.7	54.8	49.3	7.1	4.7	0.8
中学生	469	8.1	20.0	38.2	90.4	2.3	58.2	47.8	0.6	1.1	-
高校生世代	165	9.7	21.8	47.3	97.6	0.6	34.5	38.8	-	0.6	0.6

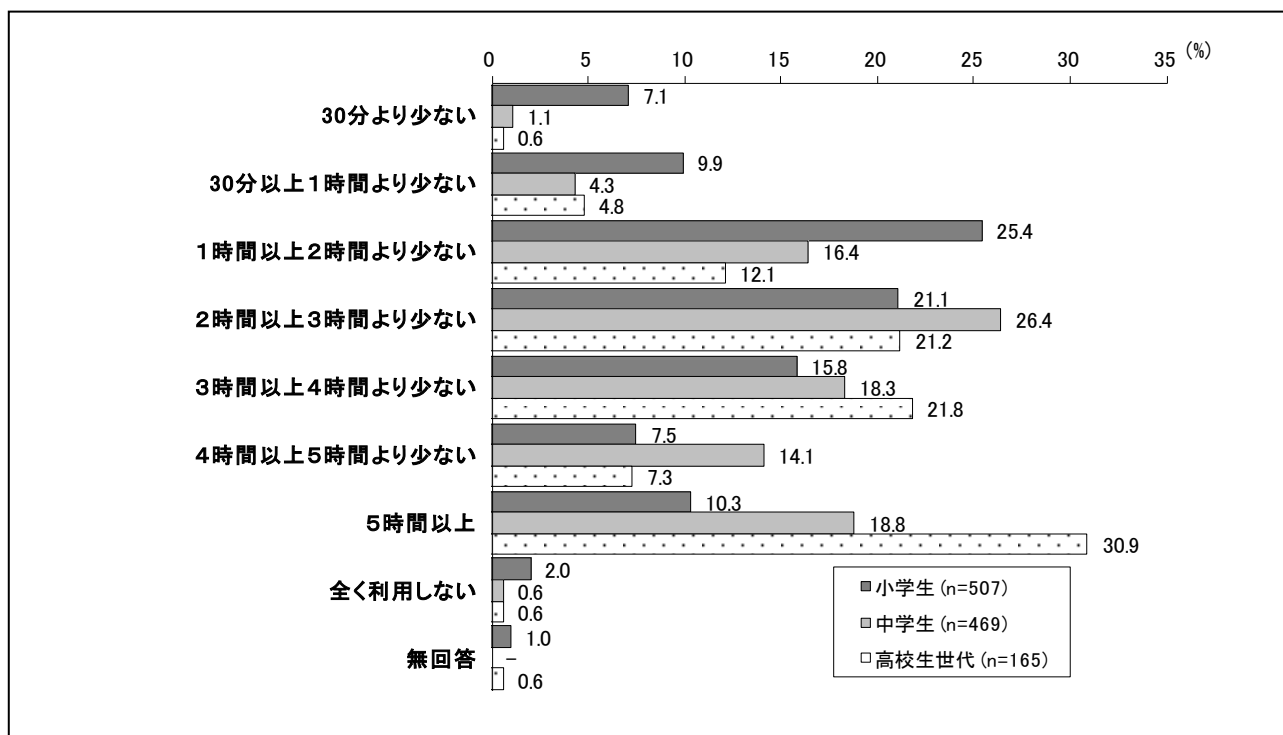
## 第2章 調査結果

### (2) インターネットの利用頻度

【小・中学生】問11 【高校生世代】問12

あなたは学校以外で、1日あたりどれくらいの時間、メール、SNS、ゲーム、動画視聴等のインターネット利用をしますか。(○は1つ)

インターネットの1日当たりの利用時間は、小学生では「1時間以上2時間より少ない」が25.4%と最も高く、次いで「2時間以上3時間より少ない」が21.1%となっており、2時間前後の利用が多くなっている。中学生では「2時間以上3時間より少ない」が26.4%と最も高く、次いで「5時間以上」が18.8%となっており、高校生世代では「5時間以上」が30.9%と最も高く、次いで「3時間以上4時間より少ない」が21.8%となっている。





## (3) インターネットを利用する目的

【小・中学生】問11-1 【高校生世代】問12-1

小・中学生は問11、高校生世代は問12で、「1」～「7」のいずれかを選択した方にうかがいます。

あなたは学校以外でインターネットを使って何をしていますか。(当てはまるものすべてに○)

インターネットを利用する目的は、小学生では「ゲームをする」が79.1%と最も高く、次いで「動画や画像を見る」が74.4%、「家族とメール・LINE等のSNSでやりとりする」が56.9%となっている。中学生と高校生世代では同様の傾向を示しており、「動画や画像を見る」(中学生88.0%、高校生世代89.6%)と「友達とメール・LINE等のSNSでやりとりする」(中学生86.9%、高校生世代88.3%)が9割弱と特に高くなっている。次いで中学生では「ゲームをする」が74.2%、「音楽を聴く、ダウンロードする」が73.4%となっており、高校生世代では「家族とメール・LINE等のSNSでやりとりする」が77.3%、「音楽を聴く、ダウンロードする」が74.8%となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	家族とメール・LINE等のSNSでやりとりする	友達とメール・LINE等のSNSでやりとりする	電話をする	知らない人やインターネットを通じて知り合った人と、SNS等でやりとりする	SNS等に自分の写真や動画等をアップする	動画や画像を見る	音楽を聴く、ダウンロードする	ネットショッピングをする	ゲームをする
小学生	492	56.9	43.9	42.1	6.5	2.8	74.4	40.4	3.7	79.1
中学生	466	69.1	86.9	50.2	11.8	7.1	88.0	73.4	16.3	74.2
高校生世代	163	77.3	88.3	37.4	17.8	16.0	89.6	74.8	18.4	66.9

(単位:%)

	回答者数(人)	調べ物をする	勉強・学習アプリやサービスを利用する	塾や学校等のオンライン学習・授業を受ける	その他	無回答
小学生	492	53.5	18.3	6.1	0.8	0.6
中学生	466	67.2	22.7	8.4	1.5	0.2
高校生世代	163	69.3	37.4	12.3	0.6	0.6

## 第2章 調査結果

### (4) インターネット利用上の家庭でのルール

【小・中学生】問11-2 【高校生世代】問12-2

小・中学生は問 11、高校生世代は問 12 で、「1」～「7」のいずれかを選択した方にうかがいます。

あなたは、インターネットの利用にあたって、家の人とルールを決めていますか。

(当てはまるものすべてに○)

インターネット利用上の家庭でのルールとしては、小学生では「利用する時間」が60.4%と高く、次いで「困ったときにはすぐに保護者に相談する」が41.7%、「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」が41.5%となっている。中学生と高校生世代では「ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法」（中学生49.4%、高校生世代38.7%）が最も高く、次いで中学生では「利用する時間」が45.7%、「困ったときにはすぐに保護者に相談する」が36.3%、高校生世代では「困ったときにはすぐに保護者に相談する」が34.4%、「利用者情報がもれないようにしている（パスワードや電話帳情報、位置情報等）」が23.9%となっている。一方、「特にない」は年代が上がるほど高くなっており、高校生世代では35.6%となっている。

(単位：%)

	回答者数(人)	利用する時間	利用する場所	メールやメッセージを送る相手	利用するサイトやアプリの内容	送信・投稿する内容(悪意のある書き込み、言葉による攻撃をしない等)	報告・位置情報等	利用者が情報もれないようにしている(パスワードや電話帳情報)	ゲームやアプリの利用料金の上限や課金の利用方法	困ったときにはすぐに保護者に相談する	その他	特にない	無回答
小学生	492	60.4	29.7	30.9	29.5	19.9	30.1	41.5	41.7	1.4	10.4	3.0	
中学生	466	45.7	15.9	19.5	34.8	25.8	35.4	49.4	36.3	1.7	18.0	2.1	
高校生世代	163	19.0	9.2	10.4	17.8	18.4	23.9	38.7	34.4	0.6	35.6	1.2	

## 4. 家族とのかかわりについて

## (1) 家族の世話の状況

【小・中学生】問12 【高校生世代】問13

家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでの「お世話」とは、普通大人が行うような家事や家族のお世話を指します。)(当てはまるものすべてに○)

家族の世話の状況は、各年代とも「お世話をしている人はいない」(小学生57.8%、中学生62.5%、高校生世代89.1%)が過半数を占めている。世話が必要な家族については、各年代とも「兄弟姉妹」(小学生11.2%、中学生6.4%、高校生世代4.8%)が最も高くなっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	お世話をしている人はいない	無回答
小学生	507	3.0	4.9	11.2	1.0	1.6	1.4	57.8	25.0
中学生	469	1.7	2.1	6.4	0.6	1.1	0.4	62.5	28.4
高校生世代	165	1.8	1.2	4.8	0.6	-	-	89.1	4.8

## 第2章 調査結果

### (2) 世話が必要な家族の状況

【小・中学生】問12-1 【高校生世代】問13-1

小・中学生は問12、高校生世代は問13で、「1」～「6」（家族の誰かのお世話をしている）のいずれかを選択した方にうかがいます。

それはどのような理由ですか。（当てはまるものすべてに○）

世話が必要な家族の状況としては、小学生では「けが」が10.3%、「年をとっている」が9.2%と1割前後となっている。中学生では「障がいがある」が16.3%と最も高く、次いで「病気」が11.6%となっている。また、「その他」が小学生で37.9%、中学生で48.8%みられ、具体的な内容としては「(弟妹などが) 幼いため」、「父母が忙しい、帰りが遅いため」などが回答されている。

(単位:%)

	回答者数(人)	年をとっている	病気	けが	からだ弱い	からだ不自由	疑い含む こころの病気(うつ病など) ※	障がいがある	日本語が苦手	その他	わからない	無回答
小学生	87	9.2	3.4	10.3	3.4	4.6	2.3	4.6	1.1	37.9	25.3	13.8
中学生	43	4.7	11.6	4.7	4.7	2.3	7.0	16.3	4.7	48.8	11.6	7.0
高校生世代	10	20.0	-	-	-	10.0	-	30.0	-	20.0	40.0	-

## (3) お世話をしていることで困ったこと

【小・中学生】問12-2 【高校生世代】問13-2

小・中学生は問12、高校生は問13で、「1」～「6」（家族の誰かのお世話をしている）のいずれかを選択した方にうかがいます。

お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。（当てはまるものすべてに○）

家族の世話をしていることで困ったことは、各年代ともに「特にない」が最も高くなっている。経験したこととしては、小学生では「自分の時間が取れない」が19.5%、「宿題など勉強をする時間がない」が14.9%、「友達と遊ぶことができない」が12.6%となっている。中学生では「友達と遊ぶことができない」と「自分の時間が取れない」がともに7.0%となっている。

(単位：%)

	回答者数（人）	学校を休んでしまう	遅刻や早退をしてしまう	宿題など勉強をする時間がない	眠る時間が足りない	友達と遊ぶことができない	習い事ができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
小学生	87	6.9	2.3	14.9	8.0	12.6	1.1	19.5	1.1	49.4	13.8
中学生	43	4.7	2.3	4.7	4.7	7.0	-	7.0	-	74.4	11.6
高校生世代	10	20.0	10.0	-	20.0	-	-	-	-	70.0	-

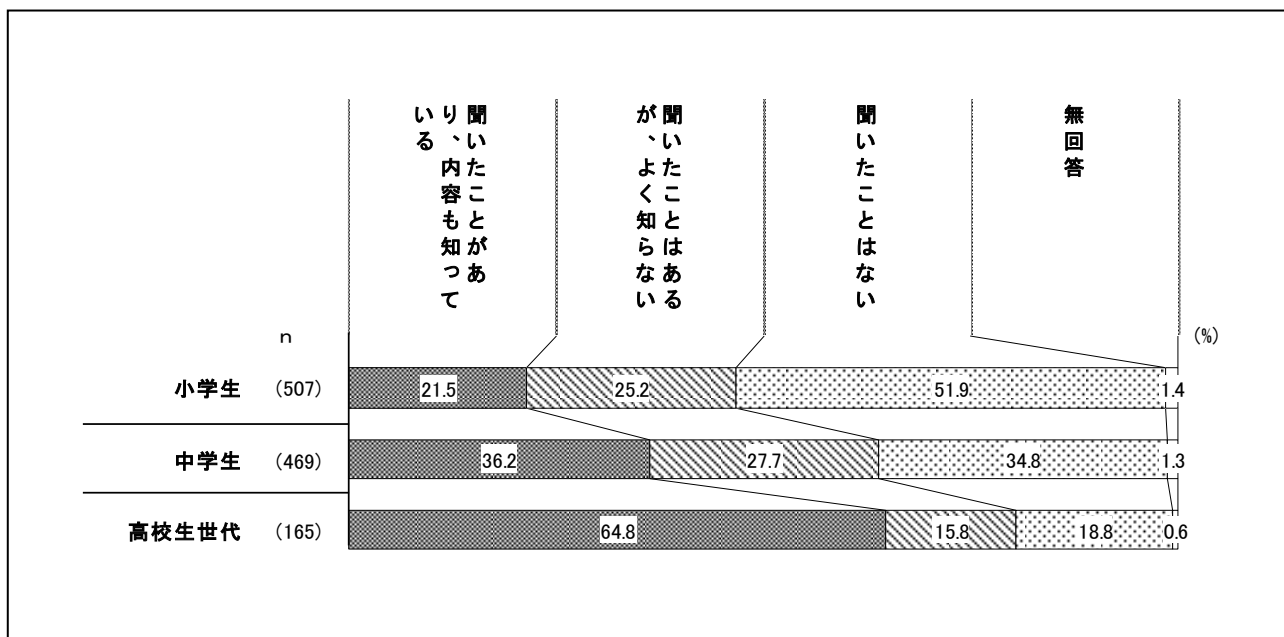
## 第2章 調査結果

### (4)「ヤングケアラー」の認知状況

【小・中学生】問13 【高校生世代】問14

あなたは「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(○は1つ)

「ヤングケアラー」について「聞いたことがあります、内容も知っている」は、小学生で21.5%、中学生で36.2%、高校生世代で64.8%となっており、年代が上がるほど認知度は高くなっている。



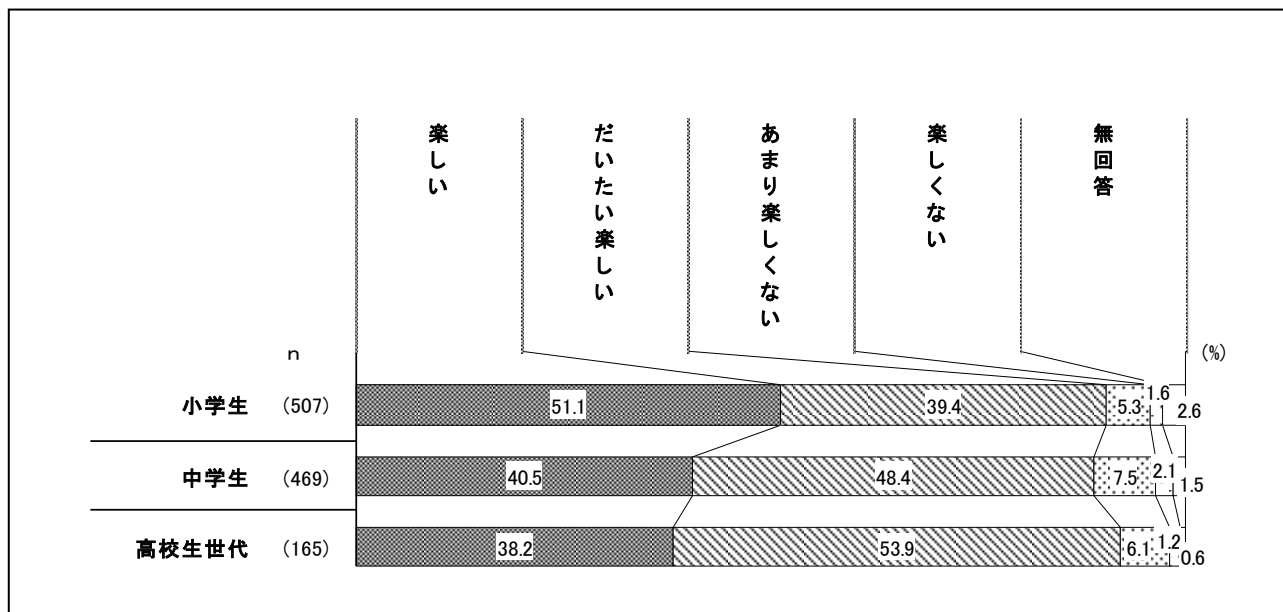
## 5. 自分自身、悩みなどについて

## (1) 毎日の充実感

【小・中学生】問14 【高校生世代】問15

あなたは、毎日が楽しいですか。(○は1つ)

毎日が「楽しい」と感じている割合は、小学生で51.1%、中学生で40.5%、高校生世代で38.2%となっており、「だいたい楽しい」と合わせた割合では、小学生で90.5%、中学生で88.9%、高校生世代で92.1%と、各年代とも9割前後となっている。



## 第2章 調査結果

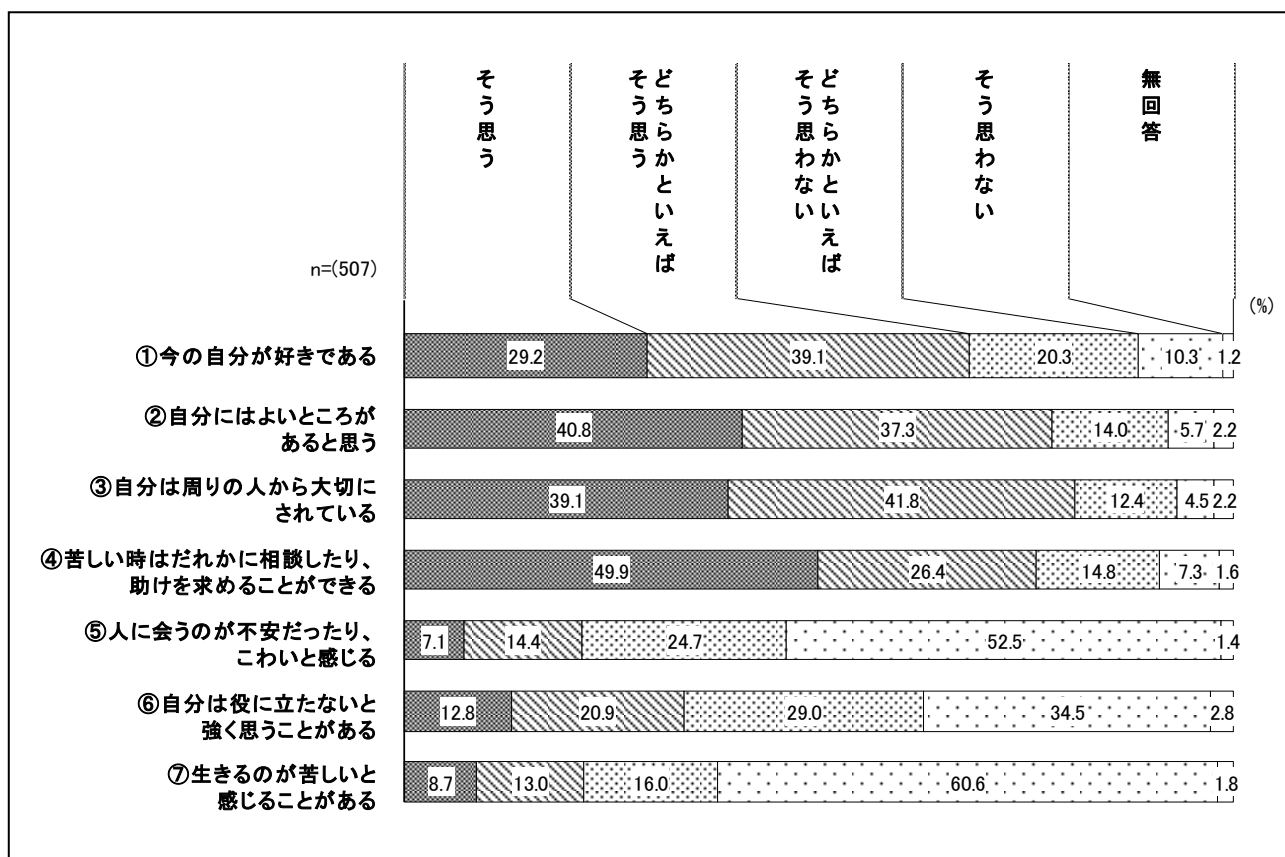
### (2) 自分自身に対して思うこと

【小・中学生】問15 【高校性世代】問16

次の①～⑦のことについて、あなたはどのように思いますか。(それぞれ〇は1つ)

#### <小学生>

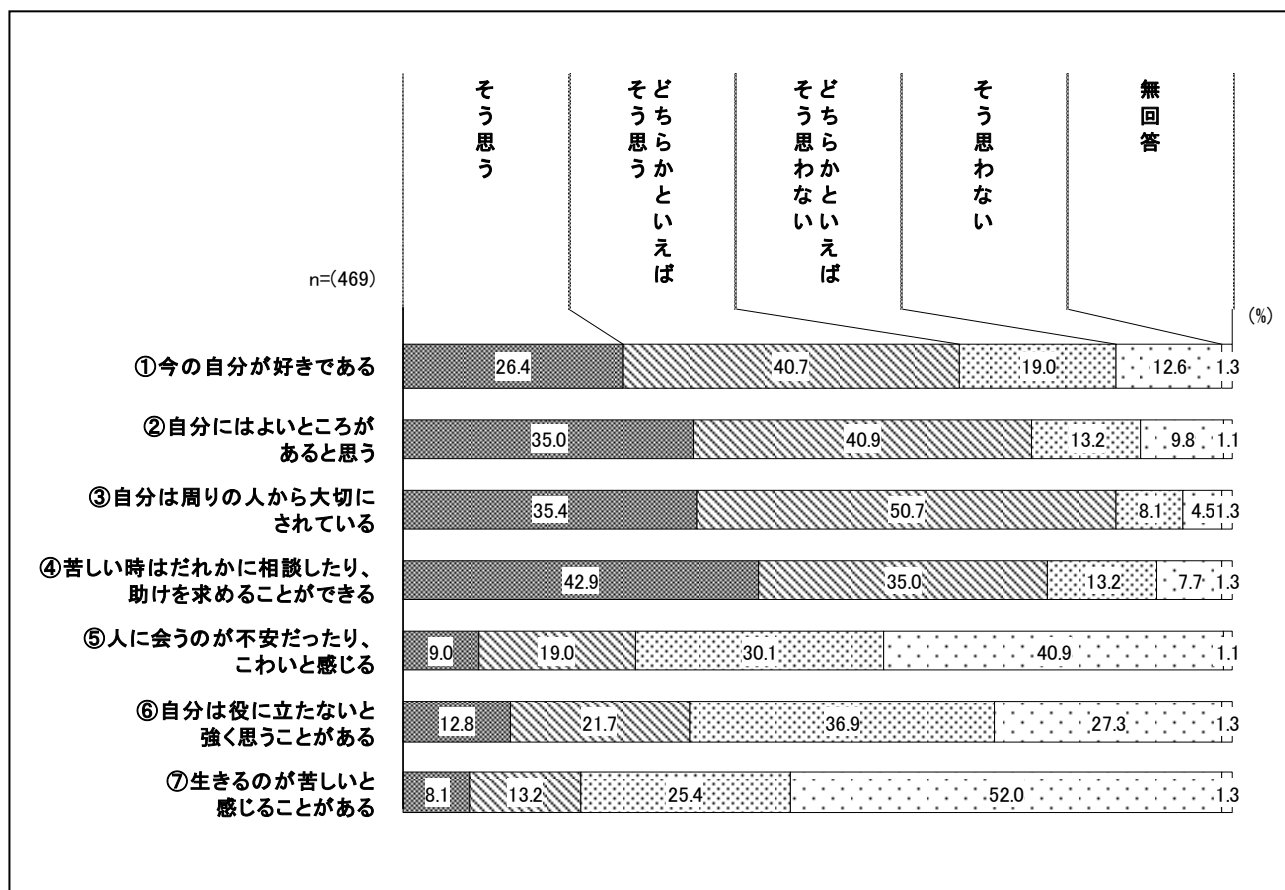
自分自身に対して思うことについて「そう思う」割合をみると、「苦しい時はだれかに相談したり、助けを求めることができる」が49.9%と最も高く、次いで「自分にはよいところがあると思う」が40.8%、「自分は周りの人から大切にされている」が39.1%となっている。一方、「そう思わない」割合は、「生きるのが苦しいと感じることがある」が60.6%、「人に会うのが不安だったり、こわいと感じる」が52.5%となっている。





<中学生>

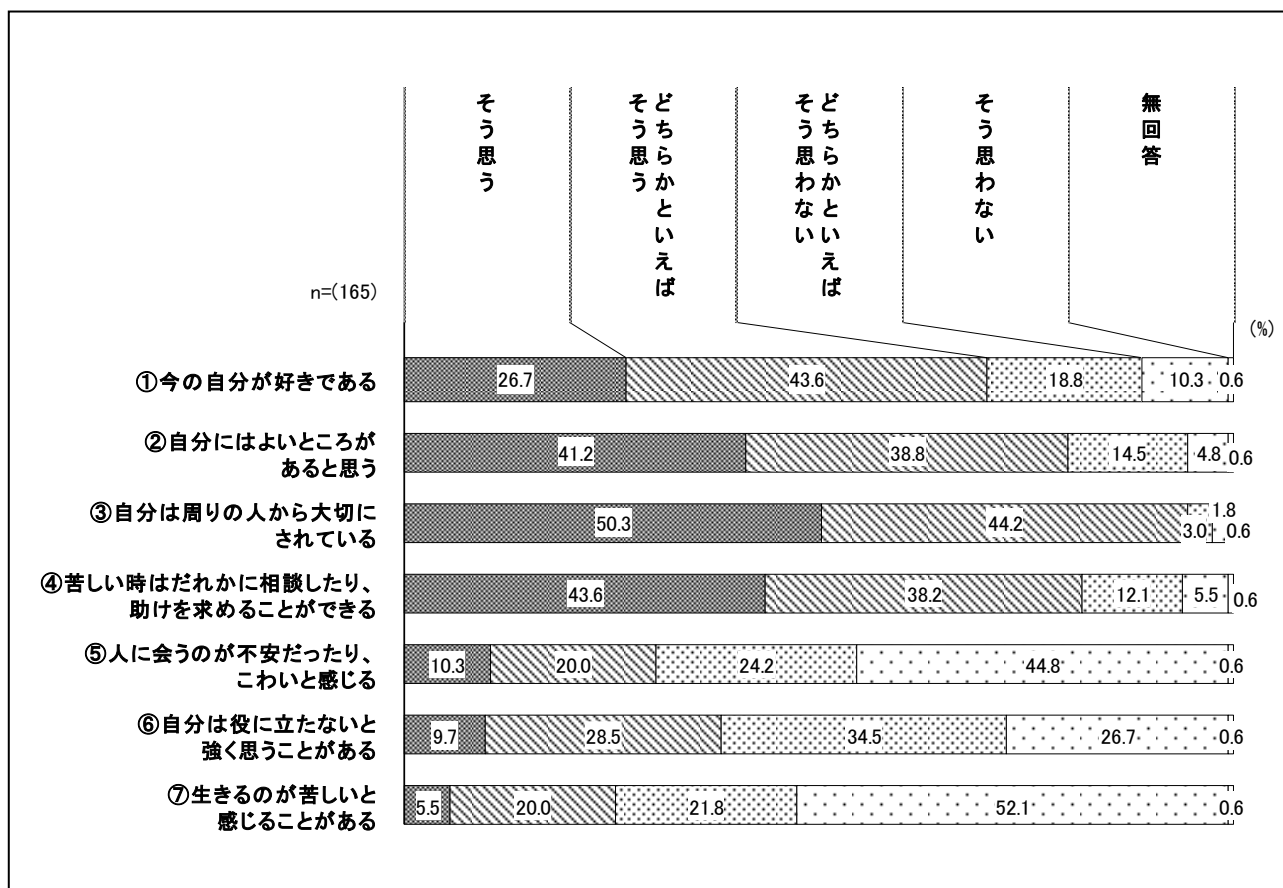
自分自身に対して思うことについて「そう思う」割合をみると、「苦しい時はだれかに相談したり、助けを求めることができる」が42.9%と最も高く、次いで「自分は周りの人から大切にされている」が35.4%、「自分にはよいところがあると思う」が35.0%となっている。一方、「そう思わない」割合は、「生きるのが苦しいと感じることがある」が52.0%、「人に会うのが不安だったり、こわいと感じる」が40.9%となっている。



## 第2章 調査結果

### <高校生世代>

自分自身に対して思うことについて「そう思う」割合をみると、「自分は周りの人から大切にされている」が50.3%と最も高く、次いで「苦しい時はだれかに相談したり、助けを求めることができる」が43.6%、「自分にはよいところがあると思う」が41.2%となっている。一方、「そう思わない」割合は、「生きるのが苦しいと感じることがある」が52.1%、「人に会うのが不安だったり、こわいと感じる」が44.8%となっている。



## (3) 興味・関心があること

【小・中学生】問16 【高校性世代】問17

あなたが興味・関心があることは何ですか。(〇は5つまで)

興味・関心があることとしては、小学生では「ゲーム」が60.2%と最も高く、次いで「友達づきあい」が42.6%、「マンガ、アニメ」が42.2%となっている。中学生と高校生世代では、「音楽」(中学生55.4%、高校生世代57.6%)が最も高くなっている。次いで中学生では「マンガ、アニメ」が47.8%、「ゲーム」が47.1%となっており、高校生世代では「友達づきあい」が43.0%、「成績、受験」が42.4%となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	健康、からだ	成績、受験	学校、先生のこと	クラブ活動、部活動	友達づきあい	異性とのつきあい	スポーツ	音楽	テレビ番組	マンガ、アニメ
小学生	507	17.9	22.1	2.8	13.8	42.6	9.9	39.6	39.1	21.1	42.2
中学生	469	11.7	28.6	1.3	28.1	37.1	11.3	27.3	55.4	15.6	47.8
高校生世代	165	15.8	42.4	6.7	24.8	43.0	23.6	18.2	57.6	5.5	35.8

(単位:%)

	回答者数(人)	ゲーム	インターネット、SNS	ファッション	芸能界の動き	家族、家のこと	世の中の動き	将来のこと	その他	特にない	無回答
小学生	507	60.2	16.8	17.2	3.4	23.7	10.5	32.7	3.7	1.2	2.0
中学生	469	47.1	34.5	25.4	6.0	16.8	8.5	24.3	5.3	0.4	1.1
高校生世代	165	41.2	37.0	32.7	7.3	9.7	10.3	23.0	4.2	2.4	0.6

## 第2章 調査結果

### (4) 考え方に影響を受けている大人

【小・中学生】問17 【高校性世代】問18

あなたの考え方に影響を与えている大人は誰ですか。(当てはまるものすべてに○)

各年代とも「母親」が5割以上と最も高く、次いで「父親」が5割前後となっている。小学生と中学生では「YouTuber」(小学生27.8%、中学生24.3%)、「兄弟姉妹」(小学生、中学生ともに23.5%)が続いている。高校生世代では「学校の先生」が24.8%、「兄弟姉妹」が21.8%と続いている。

(単位:%)

	回答者数(人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父、祖母、 おば、いとこなど	学校の先生	塾や習い事の先生	学校の先輩	近所の人	クラブ活動や部活の先生や コーチ
小学生	507	50.1	56.4	23.5	17.9	21.5	19.1	2.8	3.4	11.0
中学生	469	47.5	58.6	23.5	17.5	18.3	20.0	8.1	1.7	15.8
高校生世代	165	53.3	65.5	21.8	14.5	24.8	9.1	11.5	1.2	13.9

(単位:%)

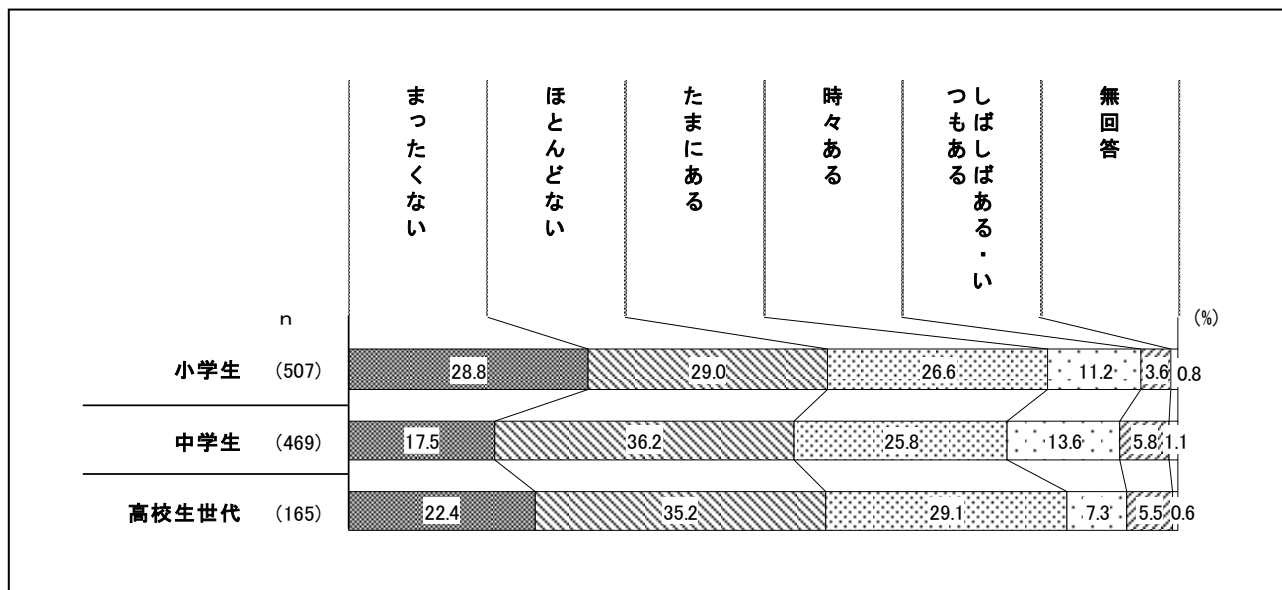
	回答者数(人)	テレビに出ている人	YouTuber	その他	特 に い ない	無 回 答
小学生	507	16.4	27.8	3.4	20.1	1.6
中学生	469	19.0	24.3	5.1	17.5	1.3
高校生世代	165	18.2	18.8	7.3	17.6	0.6

(5) 孤立感を感じることの有無

【小・中学生】問18 【高校生世代】問19

あなたは孤立感を感じることはありますか。(〇は1つ)

孤立感を感じるものが「まったくない」は小学生が28.8%、中学生が17.5%、高校生世代が22.4%となっており、中学生が最も低くなっている。一方、「時々ある」と「しばしばある・いつもある」を合わせた割合は小学生が14.8%、中学生が19.4%、高校生世代が12.8%となっており、中学生が最も高くなっている。



## 第2章 調査結果

### (6) 現在困っていることや悩んでいること

【小・中学生】問19 【高校生世代】問20

あなたは、今困っていることや悩んでいることがありますか。(当てはまるものすべてに○)

小学生では「将来のこと」が31.8%、「勉強や進学のこと」が31.4%と3割台で高くなっている。中学生と高校生世代では「勉強や進学のこと」(中学生59.3%、高校生世代60.0%)が6割前後と特に高くなっており、次いで「将来のこと」(中学生38.2%、高校生世代37.0%)が約4割となっている。小学生、中学生のみの項目である「お金のこと」はともに2割程度であり、高校生世代のみの項目である「就職のこと」は14.5%となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	勉強や進学のこと	※就職のこと ※高校生世代のみ	※仕事のこと ※高校生世代のみ	家族のこと	友達や仲間のこと	恋愛のこと	※お金のこと ※小・中学生のみ	※学費のこと ※高校生世代のみ	※生活費のこと ※高校生世代のみ	政治や社会のこと	性格のこと
小学生	507	31.4			13.2	26.4	15.2	20.9			6.9	21.1
中学生	469	59.3			9.6	28.4	15.8	20.9			5.3	19.8
高校生世代	165	60.0	14.5	4.2	7.9	19.4	13.3		9.7	5.5	5.5	18.2

(単位:%)

	回答者数(人)	将来のこと	健康のこと	見た目のこと／容姿のこと	性別や体のこと	心に関すること	はつきりとした悩みはないが、 なんとなく不安	その他	特にない	答えたくない	無回答
小学生	507	31.8	14.2	16.2	5.5	8.5	19.9	1.4	25.4	2.2	1.6
中学生	469	38.2	8.3	17.3	4.1	7.5	21.5	1.9	16.4	2.3	1.1
高校生世代	165	37.0	6.1	20.6	4.8	7.9	8.5	1.8	16.4	2.4	0.6

(7) 相談相手

【小・中学生】問20 【高校性世代】問21

あなたが何でも話せる相手や、悩んでいるときに相談に乗ってくれる人（場所）を教えてください。  
 （当てはまるものすべてに○）

相談相手としては、各年代とも「母親」（小学生 72.6%、中学生 67.2%、高校生世代 59.4%）が最も高く、次いで「学校の友達」（小学生 58.8%、中学生 62.9%、高校生世代 53.9%）、「父親」（小学生 52.1%、中学生 37.7%、高校生世代 29.7%）となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	父親	母親	兄弟姉妹	祖父、祖母、おば、いとこなど	学校の先生	塾や習い事の先生	学校の友達	学校の先輩	※高校時代の友達 ※高校性世代のみ	※職場の同僚 ※高校性世代のみ	※職場の上司や先輩 ※高校性世代のみ	近所の友達
小学生	507	52.1	72.6	32.3	23.9	27.8	7.3	58.8	3.6				14.4
中学生	469	37.7	67.2	25.8	18.1	24.5	9.2	62.9	9.6				9.4
高校生世代	165	29.7	59.4	18.2	13.3	17.6	4.2	53.9	9.1	17.0	1.2	0.6	8.5

(単位:%)

	回答者数(人)	クラブ活動などの仲間	※趣味の団体・グループなどの仲間 ※高校生世代のみ	実際相手	ソーシャルカウンセラー、相談員	児童館、放課後児童クラブ(学童保育)などの施設の職員	子ども専用の電話相談	インターネット上の人	地域の支援団体(学習支援の場や子ども食堂など地域で同じ年ごろの子どもが集まる場所の人)	その他	きない(どこ)にも相談しない・で	無回答
小学生	507	8.5		0.4	2.8	2.8	3.0	2.4	0.4	1.6	9.5	1.2
中学生	469	14.3		2.1	3.6	-	1.7	4.7	0.4	0.6	11.3	0.9
高校生世代	165	13.9	1.8	5.5	4.2	1.2	0.6	7.3	-	1.2	11.5	0.6

## 第2章 調査結果

### (8) 相談しない・できない理由

【小・中学生】問20-1 【高校性世代】問21-1

小・中学生は問20で「18」、高校生世代は問21で「22」(だれ(どこ)にも相談しない・できない)を選択した方にうかがいます。

相談しない・できない理由を教えてください。(当てはまるものすべてに○)

相談しない・できない理由としては、小学生では「めいわくをかけてしまいそうで悪いと思うから」が62.5%と最も高く、次いで「相談したことが他の人に知られたらいやだから」が56.3%、「相談相手が信じられないから」が52.1%となっている。中学生では「相談しても解決しないと思うから」が37.7%と最も高く、次いで「めいわくをかけてしまいそうで悪いと思うから」が34.0%、「相談したことが他の人に知られたらいやだから」が28.3%となっている。高校生世代では「自分で解決しようと思うから」が47.4%と最も高く、次いで「相談しても解決しないと思うから」が42.1%、「人に自分の弱いところを見せたくないから」が36.8%となっている。

(単位：%)

	回答者数(人)	相談相手がいないから	相談相手が信じられないから	相談したことが他の人に知られたらいやだから	人に自分の弱いところを見せたくないから	だれかにたよってはいけない気がするから	めいわくをかけてしまいそうで悪いと思うから	どこに相談したらよいかわからなから	相談するのにお金がかかりそうだから	何を相談したらいいかわからなから
小学生	48	20.8	52.1	56.3	37.5	27.1	62.5	20.8	-	16.7
中学生	53	20.8	26.4	28.3	18.9	11.3	34.0	13.2	-	20.8
高校生世代	19	15.8	31.6	31.6	36.8	21.1	26.3	10.5	-	31.6

(単位：%)

	回答者数(人)	前に相談したことがあり、その時にいやな思いをしたから	相談しても解決しないと思うから	自分で解決しようと思うから	インターネット等で調べればどうしたらいいかわかるから	自分の好きなことをして気晴らしをするから	その他	特にな	わからない	無回答
小学生	48	20.8	31.3	31.3	4.2	20.8	4.2	4.2	-	4.2
中学生	53	13.2	37.7	26.4	11.3	24.5	9.4	5.7	-	7.5
高校生世代	19	15.8	42.1	47.4	5.3	21.1	10.5	5.3	5.3	-



## 6. 社会参加について

## (1) 希望するボランティア活動

【小・中学生】問21 【高校性世代】問22

あなたは、どのようなボランティア活動を行いたいと思いますか。(〇は3つまで)

小学生では「自然や環境を守る活動」が37.9%と最も高く、次いで「スポーツ、音楽など得意なことをいかす活動」が35.5%、「地域の行事や祭りなどの手伝い」が28.2%となっている。中学生、高校生世代では、「地域の行事や祭りなどの手伝い」(中学生37.7%、高校生世代35.2%)が最も高く、次いで「スポーツ、音楽など得意なことをいかす活動」(中学生36.2%、高校生世代27.9%)となっている。中学生では「自然や環境を守る活動」が23.5%、高校生世代では「小さな子どもを対象にした活動」が22.4%と続いている。

(単位:%)

	回答者数(人)	地域の行事や祭りなどの手伝い	公園や地域の清掃活動	自然や環境を守る活動	小さな子どもを対象にした活動	お年寄りを手助けする活動	障害がある人との交流や支援をする活動	スポーツ、音楽など得意なことをいかす活動	まちづくりの調査や提案をする活動	その他	参加したいとは思わない	無回答
小学生	507	28.2	20.3	37.9	19.1	11.6	9.3	35.5	3.6	1.2	18.9	1.6
中学生	469	37.7	18.1	23.5	21.7	7.5	4.3	36.2	2.6	0.9	23.0	1.9
高校生世代	165	35.2	17.0	21.8	22.4	8.5	6.1	27.9	8.5	1.8	27.9	0.6

## 第2章 調査結果

### (2) ボランティア活動に興味がある理由

【小・中学生】問21-1 【高校生世代】問22-1

小・中学生は問21で、高校生世代は問22で「1」～「9」（ボランティア活動を行いたい）のいずれかを選択した方にうかがいます。

あなたがボランティア活動に興味があるのは、どのような気持ちからですか。

（当てはまるものすべてに○）

ボランティア活動に興味がある理由は、小学生では「地域や社会をよりよくしたい」が49.1%と最も高く、次いで「困っている人の手助けをしたい」が44.2%、「自分のやりたいことを発見したい」が34.7%となっている。中学生では「新しい技術や能力を身に着けたり経験を積んだりしたい」が39.2%と最も高く、次いで「自分のやりたいことを発見したい」が35.5%、「地域や社会をよりよくしたい」が34.4%となっている。高校生世代では「困っている人の手助けをしたい」が42.4%と最も高く、次いで「自分のやりたいことを発見したい」が36.4%、「新しい技術や能力を身に着けたり経験を積んだりしたい」が34.7%となっている。

（単位：％）

	回答者数（人）	地域や社会をよりよくしたい	困っている人の手助けをしたい	新しい技術や能力を身に着けたり経験を積んだりしたい	自分のやりたいことを発見したい	いろいろな人と出会いたい	進学、就職などで有利になるようにしたい	自由時間を有効に使いたい	周りの人がやっているから	その他	わからない	無回答
小学生	403	49.1	44.2	33.7	34.7	28.5	14.1	19.6	6.7	4.5	3.2	3.5
中学生	352	34.4	33.0	39.2	35.5	28.4	21.3	9.9	4.8	6.8	4.0	2.6
高校生世代	118	33.1	42.4	34.7	36.4	27.1	24.6	14.4	4.2	2.5	5.9	-

## (3) 近所の大人にしてほしいこと

【小・中学生】問22 【高校性世代】問23

あなたが近所の大人たちにしてもらいたいことは何ですか。(〇は3つまで)

近所の大人にしてほしいことは、小学生では「危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら、注意してほしい」が40.4%と最も高く、次いで「良いことをしたときには、ほめてほしい」が28.6%、「いじめられているときは、助けてほしい」が22.5%となっている。中学生と高校生世代では「特にない」を除くと「社会のルールを守るなど、大人自身きちんとしてほしい」(中学生24.9%、高校生世代35.8%)が最も高く、次いで中学生では「危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら、注意してほしい」が24.7%、「良いことをしたときには、ほめてほしい」が24.1%、高校生世代では「良いことをしたときには、ほめてほしい」が22.4%、「あいさつや言葉がけなど、大人のほうからも積極的にしてほしい」が21.2%となっている。一方、「特にない」は、中学生が33.0%、高校生世代が32.1%と3割以上となっている。

(単位:%)

	回答者数(人)	危険なこと、人に迷惑がかかることをしていたら、注意してほしい	良いことをしたときには、ほめてほしい	いじめられているときは、助けてほしい	スポーツや遊びを一緒にしてほしい	悩んでいるときは、相談に乗ってほしい	のほうからも積極的にしてほしい	あいさつや言葉がけなど、大人のほうからも積極的にしてほしい	子どもあつかいしないで、話をしっかりと聞いてほしい	社会のルールを守るなど、大人自身きちんとしてほしい	得意なこと、専門的なことを教えてほしい	その他	特にない	無回答
小学生	507	40.4	28.6	22.5	18.3	11.8	17.4	15.0	21.5	10.3	1.0	20.7	2.2	
中学生	469	24.7	24.1	11.5	7.9	9.4	19.8	8.1	24.9	10.4	1.1	33.0	1.3	
高校生世代	165	17.6	22.4	11.5	3.6	9.7	21.2	7.3	35.8	11.5	1.2	32.1	-	

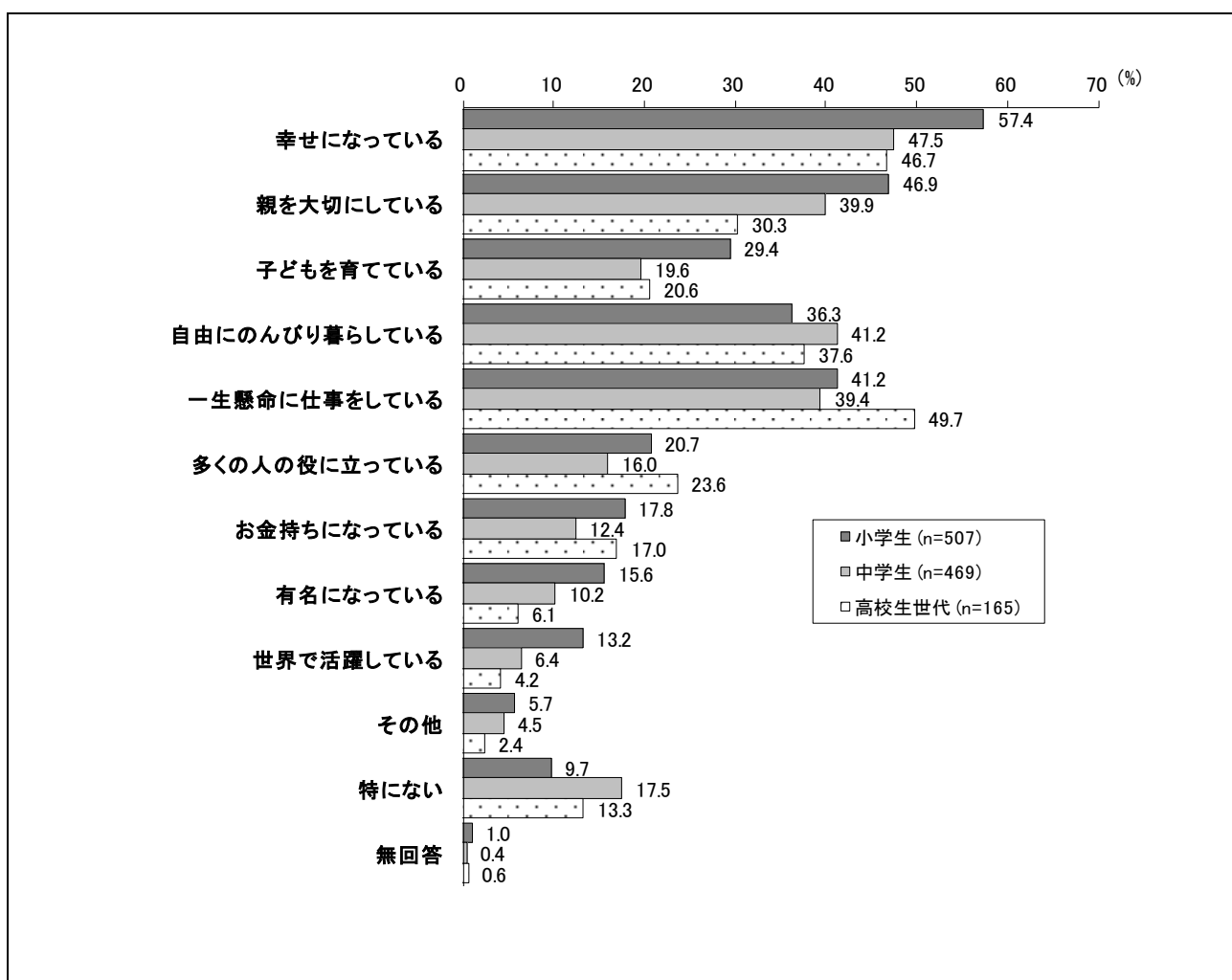
## 7. 将来について

### (1) 自分の将来についての考え

【小・中学生】問23 【高校性世代】問24

あなたは自分の将来についてどう考えていますか。(当てはまるものすべてに○)

自分自身の将来についての考えは、小学生、中学生では「幸せになっている」(小学生57.4%、中学生47.5%)が最も高くなっている。小学生では次いで「親を大切にしている」が46.9%、「一生懸命に仕事をしている」が41.2%となっており、中学生では次いで「自由にのんびり暮らしている」が41.2%、「親を大切にしている」が39.9%となっている。高校生世代では「一生懸命に仕事をしている」が49.7%と最も高く、次いで「幸せになっている」が46.7%、「自由にのんびり暮らしている」が37.6%となっている。



## (2) 子どもが健やかに成長するために大切なことや市への要望

【小・中学生】問24 【高校性世代】問25

所沢市は、一人一人の子どもが健やかに成長することができる社会を目指して取組を進めています。そうした社会を実現するために、どんなことが大切だと思いますか。また、そのために市にしてほしいことは何ですか。自由に何でも書いてください。

子どもが健やかに成長することができる社会の実現に関する意見や市への要望として、737人（小学生380人、中学生267人、高校生世代90人）から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

	内容	件数
学校について	部活動・クラブ活動	6
	学校の設備等	61
	給湯設備について	12
	空調設備について	25
	トイレ設備について	42
	体育館設備について	51
	学校の勉強、授業について	38
	学校生活、行事について	27
	クラスについて	9
	休日について	5
	給食について	10
	先生・職員について	12
	通学について	5
	進路・受験について	11
その他	16	
居場所について	子どもの居場所について	9
	公共施設等について	6
	公園、運動場、屋内遊び場等について	87
	習い事・学びの場について	13
地域生活について	商業施設等の要望	21
	道路・交通のこと	27
	防犯・防災・安全	18
	環境のこと	72
	人との交流・イベント	65

## 第2章 調査結果

内容		件数
いじめや差別の防止、思いやりについて	いじめや虐待への対策	37
	差別・多様性のこと	21
	思いやりを持つこと	48
悩み・困りごとについて	相談のこと	21
	子どもの意見等について	31
	大人への意見・要望	43
大切だと思うことや取組	大切だと思うことや取組	51
市について	市のこれからの取組について	23
	子ども・若者支援について	15
	経済的支援・無償化等について	106
	その他	28
その他	その他	17

### ○学校について

- ・自分は不自由じゃないけど学校にもっとユニバーサルデザインを入れてほしい（かいだんとか）（小学生）
- ・エアコンをつけてほしい。あつすぎると体調が悪くなったりしてしまう。（小学生）
- ・不登校の子が、気軽に行けるようなしくみをつくってほしいです。不登校の子が学校に来た時に、皆と同じ授業を受けるのではなく、専用の先生の授業を受けられるようにするなど。（中学生）
- ・一人ひとりの個性を大切にするために、学校などでも、決まりを少し減らしてもよいと思う。（小学生）
- ・小中学校の先生 子供のために思ってくれる良い先生になって欲しい（高校生世代）

### ○居場所について

- ・外でかなしんでいたり、つらいきもちになっている子がらくにできるようなへやを作ってほしい（小学生）
- ・こどもたちが自由に遊べて、近所の方にも迷惑のかからないような遊び場を作ってほしい。（中学生）
- ・自習室を増やしてほしい（高校生世代）

### ○地域生活について

- ・通学路でも街灯が少ないところがありそこを通るしかないときは不安を感じる。曲がり角にミラーがなく車や自転車に気づかず子供が飛び出し事故になるようなところがあるのでなるべくミラーを取り付けて欲しい。(高校生世代)
- ・ふしん者が増えてきているのでげこう時間になったらパトロールしてほしい。(中学生)
- ・もっと、人と人が関われる(社会とはどんな人がいて、どんな考えがあるかを知れる)市の行事を作ってほしいです。(小学生)
- ・市が主催するイベントで子どもが気軽に参加しようと思えるものが少なかったように感じている。難しいとは思いますが、小中学生でこういうのがある、というのを教えてほしいと思った。(友達を誘いやすくなるため)(高校生世代)

### ○いじめや差別の防止、思いやりについて

- ・将来をこわしたり、いじめなどをうけて、学校を休んでしまっている子どもがいないような社会になると、うれしいです。(小学生)
- ・いじめに対する教育をしっかりする(中学生)
- ・だれでも自由にらせるような社会になってほしい。しょうがい者やおとしりの方々もくらしやすい社会になるような活動を行ってほしいです。(小学生)

### ○悩み・困りごとについて

- ・なやんだときに、そうだんできる大人をふやしてほしい。チャイルドラインなど、21:00までとなっているが、夜間も対応してほしい。(中学生)
- ・やってはいけないことを大人にやってほしくないたとえば、、しんごう(おうだんほどう)のギリギリでたったりしてほしくない小さい子も見てるかもしれないから。(小学生)

### ○大切だと思うことや取組

- ・決めたことに対して、あきらめずに実現させるのが、大切だと思う。(中学生)
- ・みんながよりよくらせるために他の人を助けたり、障害のある人などを助けるボランティアをもっと増やす!(小学生)

### ○市について

- ・市民の本心が見える化し、市の方向の決定に役立ててほしい。「学生だから」「子どもだから」と考えず、本気で真剣に子どもの声を聞かせられる場を設けてほしい(中学生)
- ・福祉に強い所沢にして欲しい グレーゾーンの子供達(発達障害)の支援を、もっとして欲しい(高校生世代)
- ・ヤングケアラーの人をもっと支えてあげてほしい。(小学生)
- ・給食や医療費など、せめて高校生まではお金がかからないようにしてほしい。(高校生世代)





令和6年3月

所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査  
報告書

発行 〒359-8501 埼玉県所沢市並木1丁目1番地の1  
所沢市 こども未来部 こども政策課  
TEL 04-2998-9415